患者管理データベース

ウィステリア Pro ver.4.0

ユーザーズマニュアル

for Macintosh & Windows

The Japan Health Care Dental Association
日本ヘルスケア歯科研究会

QuickTimeおよびQuickTimeロゴは，ライセンスに基づいて使用される商標です．
QuickTimeは，米国およびその他の国々で登録された商標です．

はじめに

う蝕や歯周病のリスク管理を行うためには，患者さん自身の個別のリスクを患者さんに分かりやすく示すことが必要になります．検査で得た情報を蓄積することができれば，リスクの変化を評価できます．口腔内写真を必要なときに即座に見せることは，動機付けとインフォームドコンセントに重要な役割を果たします．また，このようなデータを使うことにより，歯科衛生士がチェアサイドで行う情報提供，患者指導は格段に重みを増すでしょう．さらにこの情報をコンピュータで管理すれば，診療室の来院患者の全体像やリスク管理の成果を把握することができます．そこから診療の問題点を分析するすることも可能です．

そこで日本ヘルスケア歯科研究会では，煩雑になりつつある受付の事務と診療に携わる歯科衛生士との業務連携をよりスムーズに行うために，日吉歯科診療所で作成されたデータ入力テンプレートを元に，さらに使いやすく改良を重ね，《ウィステリア》を開発しました．

頒布以来，多くの会員の方々にご使用いただいてきておりますが，ユーザーの皆様のご要望を反映し，歯周管理データの蓄積やデータ分析機能を大幅にレベルアップし，《ウィステリア Pro》として新たに生まれ変わったものを，ファイルメーカー ™ Pro 10 対応としました．

ファイルメーカー ™ Pro 10 用《ウィステリア Pro》は，独立したコンピュータでも使用できますし，チェアサイドと受付に LAN を構築したシステムでも使用することができます．

《ウィステリア Pro》は，カルテデータ（カルテ番号，生年月日）とさまざまな検査結果を入力することができ，それらをレーダーチャート上に表すことができます．また，確実なメインテナンスに重要なリコール管理を行うことができます．

“Factory’s FileMaker Plug-in 2”というプラグインソフトを使用することによって，外部にある大量の画像ファイルを効率よく管理できます．そのためには，ご使用のコンピュータの環境を整備する必要があります．詳細は 10 ページからの《ウィステリア Pro》を使うための準備をご確認ください．

©Shozo Fujiki 2009 All rights reserved. Production: Editorial House Aki Ltd.
本テンプレートおよびマニュアルの著作権は日本ヘルスケア歯科研究会に帰属します．本研究会の許可なく，本テンプレートおよびマニュアルの一部または全部を，いかなる方法においても複写・複製・翻訳することは，国内および海外において禁じられています．
ファイルメーカー ™ Pro はファイルメーカー社，Macintosh および Power Macintosh，Intel Mac，QuickTime™，Mac OS は米国および他の国々で登録された Apple Computer, Inc.の商標です．QuickTime および QuickTime ロゴはライセンスに基づいて使用される商標です．Windows は米国 Microsoft Corporation の商標または登録商標です．また，製品およびマニュアル・サンプルファイル等に登場する住所・氏名などのデータは全て架空のものです．

The Japan Health Care Dental Association
日本ヘルスケア歯科研究会
1 - 45 - 15 - 104 Sekiguchi, Bunkyo-ku, Tokyo 112-0014, JAPAN
東京都 文京区関口 1 丁目45 - 15 日火江戸川橋ビル第1-104
☎ 03-5227-3716 FAX 03-3260-4906 〒112 - 0014
Web site http://www.healthcare.gr.jp
E-mail center@healthcare.gr.jp

《ウィステリア Pro》を開発して

日本ヘルスケア歯科研究会誌の創刊号に掲載された熊谷 崇さんの二つの報告『初診患者のカリエスリスク・プロフィール』と『初診患者の歯周病学的プロフィールと喫煙習慣』を，当時，多くの会員は驚きをもって眺めたに違いありません．私もそのひとりです．予防管理の診療を始めるだけでも困難は少なくありません．それをすでに十数年つづけてきたことだけでも驚嘆に値します．それに加えて数々の検査，そしてそのデータの蓄積，その整理という，これは気の遠くなるような労力を必要としたことでしょう．

しかし，予防に軸足を置いた診療をすることとリスク検査をし，そのデータを管理すること，そしてそれを集計し検討することは，それぞれ相互に深くかかわり合うひとまとまりの仕事なのです．だから「診療の質は高いが，レントゲンは汚い」ということがありえないように，予防歯科診療はしているが，データはないなどということは，今後はありえないことになるでしょう．二つの臨床疫学報告は，診療のなかから必然的に産み落とされた成果であり，これから始まる膨大な臨床疫学の序論に過ぎません．

カルテ管理と患者のリスクの把握とリコールの管理，そしてそれと並行して診療所の運営や診療方法さらには診療担当者の能力の客観評価という一連の作業は，パーソナルコンピュータを利用することにより可能になりました．この患者データ管理ソフト《ウィステリア》（ファイルメーカー ™ Pro 10 対応テンプレート）が，それを可能にします．この簡易なソフトを診療所で使いこなすことにより，研究会の会員の誰もが洗練されたプロトコルを共有し，同じ条件でディスカッションできるようになりました．

《ウィステリア》は，臨床疫学データを蓄積する一方で，診療所の総合評価，患者層の実態把握，担当者の能力評価までが可能になります．アポイント管理ソフトとリレーションさせることにより医院経営の大きな戦力となります．是非，有効な使い方を工夫して下さい．

なおこのソフトは，研究会会員だけに頒布しております．

ウィステリア制作履歴

《ウィステリア》は，熊谷 崇さんはじめ日吉歯科診療所スタッフの長年のノウハウの蓄積・試行錯誤の上に，ソフト面の開発を藤木省三が行い，菅野 宏さんと岡 賢二さんが協力して完成したものです．

《ウィステリア Photo》の制作に際しましては，とくに会員の田中 武さん，西村宇行さん，菅原泰典さんから貴重なアイディアと助言をいただきました．

《ウィステリア》を市販品にするための作業（1999 年 9 月 1 日）は，秋編集事務所の大宮早苗および藤木省三が行い，マニュアルの製作は研究会事務局の小野文江が担当いたしました．

《ウィステリア Photo ver.2.2》は Windows 環境でもウィステリア Photo を使いたいという希望に応じ開発されました（2002 年 7 月 1 日）．さらに唾液分泌抑制薬剤の服用の有無，全身疾患のチェック，BML 社の唾液検査データの入力項目追加，う蝕と歯周病のレーダーチャートの並列表示，歯周病の進行度あるいはプロービング値の年齢別集計などの機能も追加されています．

《ウィステリア Pro ver.3.0》は，歯周病の検査データをすべて蓄積するための PerioAssistant 機能，来院履歴，処置履歴，抜歯履歴，唾液量ファイルなどさまざまなデータが蓄積可能になりました．集計機能も充実し，より広い活用ができます．また《アポイント管理職》との連携も強化されました（2004 年 3 月 1 日）．このバージョンアップは，IT 部会；藤木省三，杉山精一が行い，マニュアルの製作は秋編集事務所の岡田里美および藤木省三が担当いたしました．

《ウィステリア Pro ver.3.1》（2005 年 11 月 1 日）は，ファイルメーカー ™ Pro 7.0 に対応したものです．

《ウィステリア Pro ver.3.1.1》（2006 年 4 月 26 日）は，PerioAssistant の入力を 6 点に変更したものです．

《ウィステリア Pro ver.4.0》（2009 年 6 月 1 日）は，写真取り込みの回数制限をなくし，取り込み時の画像の反転や，エックス線の取り込みなど，機能の充実を図りました．WindowsVista，IntelMac に対応しました．

CONTENTS

はじめに 2
《ウィステリア Pro》を開発して 3
《ウィステリア Pro》について／パッケージ内容／《ウィステリア Pro》の新しい機能・特徴 7
注意事項・お問い合わせ 8
アカウントとアクセス権について／パスワードの設定／ファイルメーカーについて 9

《ウィステリア Pro4.0》を使うための準備（Windows 版） 10

《ウィステリア Pro4.0》の動作環境／《ウィステリア Pro》インストール方法 10
Quick Time のインストール方法／ Factory's FileMaker Plug-in2 について 11
Factory's FileMaker Plug-in2 のインストール方法／シリアル番号入力 12
"NewFile" "OriginalFile" の作成 13

《ウィステリア Pro4.0》を使うための準備（Macintosh 版） 15

《ウィステリア Pro4.0》の動作環境／《ウィステリア Pro》インストール方法 15
Factory's FileMaker Plug-in2 について／ 16
Factory's FileMaker Plug-in のインストール方法／シリアル番号入力／ 17
"NewFile" "OriginalFile" の作成 18

基本的なデータの入力

立ち上がりの画面〈メニュー画面〉 19

情報エリア 20

情報エリア／ステータスツールバー（検索モード時） 20
ステータスエリアコントロール／画面の縮小 21

〈患者検索〉画面 22

A マウスを使って検索する 22
B キーボードを使って検索する 24

〈新規〉画面 25

新規データ入力 25
共通ボタン 28

〈基本データ〉画面 29

来院状況 29
来院履歴ファイル 30
アポイント状況 31

〈う蝕〉画面 32

患者データの入力 33
担当者値一覧の追加修正〈担当 DH〉〈担当 Dr〉 34
メモ設定 35
サリバテストデータ入力 36
クラス別分類ガイドライン 39
dft ・ DMFT ・残存歯の記録／ Photo1, Photo2 40
BML 齲蝕検査詳細 41

唾液量入力 41
唾液量ファイル 42
抜歯入力 43
抜歯履歴ファイル 44
処置入力 45
処置履歴ファイル 46
う蝕チャート 48

〈歯周病〉画面 49

患者データの入力 49
現在の Photoタブ選択 49
精密検査データの入力 50
PerioAssistant 50
A ウィステリアにデータを入力し，〈*PerioAssitant*〉に蓄積する 51
進行度の計算 52
プラークインデックスの計算 53
喫煙蓄積本数の計算 55
PerioAssistant 57
B 〈*PerioAssistant*〉に詳細データを入力し，ウィステリアで表示させる 59
詳細データ入力 59
PerioAssistant6 点法について／ *4* 点法への変換 64
〈*PerioAssistant*〉表示画面／一覧画面／イラスト画面 65, 66
細菌検査データの入力 67
歯周病チャート 69

〈全データ〉画面 70

〈集計〉画面 71

〈検索用〉ボタン　検索モードへ／検索条件変更／全レコードを表示 72, 73
〈集計用〉ボタン 73
う蝕リスク集計 73
う蝕リスク集計の見方 74
最新 *DMFT* 集計 76
DMFT（*6* 歳から *12* 歳） 77
DMFT 増加集計 78
歯周病リスク集計 79
歯周病リスク集計の見方 80
P 進行度集計 81
プロービング集計 82
メインテナンス来院状況 83
初診時年齢分布／抜歯原因年間割合 84

リコール〈一覧・葉書〉印刷 85

葉書印刷 85
リスト印刷 86

初期設定 87

Volume 名の設定 87
Photo タブ設定／ *PerioAssistant* にデータを移す 88

写真データの準備

写真データの準備 89

Photo2 画像表示の手順 90

画像データの入力〈Photo2　4 枚画像〉 91

画像データ取り込み 92
撮影日修正／削除 94
画像の反転（上下・左右） 95
画像データ取り戻し
Windows の場合 96
Macintosh の場合 97

画像データ表示〈Photo2　4 枚画像〉 98

拡大 150% 99
拡大 200% 100
4 枚比較 101

画像データの入力〈Photo2　9 枚画像〉 103

画像データ表示〈Photo2　9 枚画像〉 104

拡大 150% 105
拡大 200% 106
9 枚比較 107

画像データの入力〈Photo2　デンタル X 線・パノラマ X 線〉 110

デンタル X 線 110
パノラマ X 線 111

Photo1　画像 4 ／画像 9 112

写真印刷〈4 枚画像〉 114

写真印刷〈9 枚画像〉 116

写真印刷〈デンタル X 線・パノラマ X 線〉 117

Tips　症例発表用スクリーンショット画面 119
付　食事指導ソフト 121
付　健康手帳 122
付　カリオグラムの活用 125
付　印刷設定のしかた 129
Q&A　よくある質問 132
索引 134

《ウィステリア Pro》について

《ウィステリア Pro》は，患者管理データベースとして，検査結果の蓄積と口腔内写真の管理ができる機能をもったソフトです．《ウィステリア Pro》は“Factory's FileMaker Plug-in 2”というプラグインソフトを使用することによって，外部にある大量の画像ファイルを効率よく管理できます．“Factory's FileMaker Plug-in 2”は，ファイルメーカー Pro に用意されたオブジェクトフィールドを使った画像管理よりも自由度の高い処理が可能となります．

“Factory's FileMaker Plug-in 2”によって，4 枚法，9 枚法の口腔内写真を取り込むことが可能です．それぞれの写真を拡大表示させたり，撮影日の異なる写真を比較することもできます．また，画像データを《ウィステリア Pro》とは別に保存するため，画像ファイルが多くなっても《ウィステリア Pro》の動作性に影響を与えません．

《ウィステリア Pro》で画像を取り込むには，“Factory's FileMaker Plug-in 2”を別途ご購入いただく必要があります．それに伴って，動作環境を整備していただく必要がありますので，〈《ウィステリア Pro》を使うための準備〉をお読みいただき，必要なハードウエア・ソフトウエアの環境を整備してください．

パッケージ内容

・《ウィステリア Pro ver.4.0》と書かれた CD-ROM 1 枚
・ PDF マニュアル（本書　CD-ROM に同梱）
・ユーザー登録カード
・ Apple 社　QuickTime™ 7.6（Windows 版のみ）

ユーザー登録カードは必要事項を記入してご返送ください．ユーザー登録カードをご返送いただけない場合は，本製品の仕様に対するお問い合わせに応じることができませんので，必ずお送りください．

なお，“Factory's FileMaker Plug-in 2”パッケージ版は，事務局にてお取り扱いしております．お問い合わせください．

初めにご使用のコンピュータの環境を整える必要があります．詳細は**《ウィステリア Pro》を使うための準備（Windows ； 10 ページから，Macintosh ； 15 ページから）をご覧ください．**

■《ウィステリア Pro ver.4.0》の新しい機能・特徴

・回数制限なく写真の記録可能
・デンタルエックス線，パノラマエックス線の取り込み，表示
・画像を取り込みながら左右，上下反転可能
・見たい場所をワンクリックで 150%，200% に拡大表示
・必要な項目を自由に設定できるメモ欄
・歯周病データの詳細を入力可能
・「う蝕」,「歯周病」画面入力時のガイドラインを表示
・基本データに携帯電話番号欄，メールアドレス欄追加

■著作権・使用権についてのご注意

・《ウィステリア Pro4.0》および〈患者管理データベース《ウィステリア Pro4.0》について〉の著作権は，日本ヘルスケア歯科研究会に帰属します．このテンプレートは藤木省三によって，ファイルメーカー ™Pro 5.0（日本語版）で制作されたものをファイルメーカー ™Pro 8.5 ～ 10 に対応させたものです．

・《ウィステリア Pro 4.0》は，日本ヘルスケア歯科研究会の会員で，本テンプレートを購入した者にのみ使用権が発生します．

・使用権者は本テンプレート，各素材を自由に加工して使用することができます．

・使用権者であっても，賃貸目的に使用することはできません．

・使用権者であっても，コピーして第三者に販売や譲渡することはできません．

■保証の限定についてのご注意

《ウィステリア Pro4.0》は使用者本人の責任において使用されるものとします．本製品を使用したことにより発生した，または本製品を使用できないことにより発生した損害や不利益については，本会は一切責任を負いません．本製品の内容や記載事項は，将来予告なしに日本ヘルスケア歯科研究会によって変更される場合があります．

■《ウィステリア Pro》のお問い合わせ

CD-ROM に同梱の FAX シート（PDF）をご利用いただき，ユーザー登録番号を明記のうえ，FAX または郵送で本会事務局宛までお願いします．**電話でのお問い合わせはご遠慮ください**．e-mail でも FAX シートの内容を明記いただければ問い合わせを受け付けます．なお，ファイルメーカー ™Pro や Factory's FileMaker Plug-in 2 についてのお問い合わせにはお答えしかねます．

■ LAN 環境でのご使用について

LAN 環境でご使用になる場合は，使用するコンピューターの台数分のファイルメーカー ™Pro と Factory's FileMaker Plug-in 2 を購入する必要があります．複数ライセンスの購入については，ファイルメーカー社，ファクトリー社のそれぞれのホームページ，サポートセンターなどでご確認ください．

Windows，Macintosh が混在した環境で画像データを共有するには，**サーバー機にサーバー専用 OS が必要**になります．また大規模な LAN でご使用になる場合には，ファイルメーカー ™ Server の導入をおすすめします．

LAN 構築についてのサポートは致しておりません．市販のマニュアル等をご参照ください．

■《ウィステリア Pro4.0》のバックアップについて

ファイルメーカー ™Pro はファイルに対する操作を行うと，変更内容が自動保存されます．そのため**レコードを削除・変更すると元に戻せません．予めバックアップをお取りください**．また，ファイル名の書き換えはしないでください．「リレーション」されなくなり，正しく機能しなくなります．

㊟「ファイル」→「別名で保存」→「データなしのコピー」はしないでください．正しく表示されなくなります．

Attention

サーバー機の導入については，専門業者に依頼されることをお勧めします．

Win Mac

■アカウントとアクセス権について

ファイルメーカー Pro には，「アカウントとアクセス権セット」によりデータベースを不正アクセス等から保護する機能があります．初期設定では［Admin］アカウント（完全アクセス）と［ゲスト］アカウント（閲覧のみアクセス）があり，パスワードは入力されていません．**データベースを保護するためにパスワードを設定することを強くおすすめ**いたします．

アクセス権セットはそのファイルに対する操作（レコードの作成，削除，レイアウトや値一覧の編集など）を許可するものです．

アカウントおよびアクセス権の詳細はファイルメーカー Pro に添付のマニュアル（ユーザーズガイド）をご一読ください．

※《ウィステリア Pro3.0》には初期設定で仮パスワードがありましたが，ファイルメーカー Pro7.0 より設定方法がより詳細になりましたので，仮パスワードの設定は行っておりません．ご自身の使用環境にあわせて設定を行ってください．

■《ウィステリア Pro》にアカウントとパスワードを設定するには

《ウィステリア Pro4.0》のすべてのファイルにパスワードを設定します．ファイルによってパスワードが異なったり，設定されていないと，最初に開くときにパスワードを求めるダイアログが開きます．

また，LAN 環境で使用する場合，クライアントから開く際にもアカウントとパスワードを求められます．

重要

アカウント名，パスワードを紛失するとそのデータベースを開くことができなくなります．
パスワード等のお取り扱いにはご注意ください．

■ファイルメーカーについて

ファイルメーカー Pro に関するお問い合わせは，ファイルメーカー社へお願いします．

http://www.filemaker.co.jp/

《ウィステリア Pro4.0》を使うための準備　Windows 版

《ウィステリア Pro4.0》を正しく使用するためには，以下の動作環境を整備する必要があります．必要なソフトウエアをご自分で揃えてください．各ソフトウエアの使用方法はそれぞれのマニュアルでご確認ください．

■《ウィステリア Pro4.0》の動作環境

●必要なハードウエアの環境

・コンピュータ本体：ファイルメーカー ™ Pro 8.5 - 10（日本語版）が稼働する CPU を搭載している Windows 機

・ RAM およびハードディスクの空き容量：ファイルメーカー ™ Pro 8.5 - 10 の動作環境を参照

・表示画面： **1024 × 768 ピクセル以上**

●必要なソフトウエア

・基本 OS：**Windows XP（SP2），Vista（SP1），ファイルメーカー 8.5 の場合は windows2000（SP4）も可**

・基本アプリケーション：

① **ファイルメーカー ™ ファイルメーカー ™ Pro 8.5-10**（日本語版）

本テンプレートはファイルメーカー ™ Pro 10 で制作されています．

② **Factory's FileMaker Plug-in 2**

別途購入して，インストールする必要があります．（12 ページ参照）

③ QuickTime™ 7.x 以上（必須）：“Factory's FileMaker Plug-in 2”を使用するために必要

インストールされていない場合は，《ウィステリア Pro4.0》CD-ROM に収録されているものを，ご利用ください．QuickTime がインストールされていないと“Factory's FileMaker Plug-in 2”がインストールできない場合があります．必ず先にインストールしてください．QuickTime についての詳細は，Apple 社ホームページ（http://www.apple.com/jp/quicktime/index.html）をご覧ください．

■《ウィステリア Pro4.0》のインストール方法

《ウィステリア Pro4.0》のインストールは，次の手順で行ってください．

1. Windows を起動します．
2. CD ドライブに《ウィステリア Pro ver.4.0》とかかれた CD-ROM をセットします．
3. デスクトップにある「マイコンピュータ」を開きます．“ウィステリア Pro4.0”と書かれた CD のアイコンをダブルクリックすると“ウィステリア Pro4.0”のフォルダが表示されます．

   ㊟アポイント管理職 2.1 をご購入の場合は，フォルダ名は“wis40app21”と表示されます．
4. “ウィステリア Pro4.0”のフォルダにポインタを合わせて反転させてください．

   メニューバーの「編集」→「コピー」をクリックします．

   “ウィステリア Pro4.0”を保存したいハードディスク（例えばC ドライブ）を選び，クリックします．

   「編集」→「貼り付け」をクリックします．

   CD-ROM 上の《ウィステリア Pro》はロックされていますので，そのままでは書き込みができません．必ずお使いのハードディスクにコピーしてお使いください．またコピーしたフォルダは書き込み禁止になっています．「プロパティ」から読み取り専用のチェックをはずしてご使用ください．

5. ハードディスクにコピーした“ウィステリア Pro4.0”のフォルダをダブルクリックします．フォルダが開くと下記のファイルが表示されます．（ご使用の環境設定によっては拡張子は表示されません）

・ウィステリア Photo40.fp7　・チャート 2.fp7　・来院履歴 2.fp7
・ PerioAssistant4.fp7　・処置履歴.fp7　・抜歯履歴 2.fp7
・ PerioPPD-L.fp7　・郵便番号簿.fp7　・ GRAPH COLOR orange.fp7
・ PerioPPD-U.fp7　・ Perio Color.fp7　・ GRAPH COLOR Green.fp7
・ GRAPH COLOR.fp7　・唾液量.fp7　・ GRAPH COLOR 唾液量.fp7
・開始.fp7（FileMaker server をご使用の場合は不要．**削除**してください）
・アポイント管理職 21.fp7　・ Person Color.fp7（この 2 点はアポイント管理職をご購入済みの方のみ）
・ Dietary counselling3.fp7（付録：食事指導ソフト）

■“Quick Time”のインストール方法

1.《ウィステリア Pro ver.4.0》の CD-ROM に収録されている“QuickTimeInstaller.exe”アイコンをダブルクリックします．
2. インストーラが起動しますので，あとはその指示に従ってインストールしてください．

■“Factory’s FileMaker Plug-in 2”について

“Factory’s FileMaker Plug-in 2”の新規購入については，有限会社ファクトリーのホームページで購入申込みができます．

価格は，パッケージ版 20,790 円（消費税込），ノンパッケージ版 17,640 円（消費税込）です（2009 年 4 月末現在）．ただし，ご使用の動作環境を整備されてからのご購入をお勧めします．

また，ホームページからは，“Factory’s FileMaker Plug-in 2”を正式に購入する前に，“Factory’s FileMaker Plug-in 2”の試用版がダウンロードできます（30 日間試用可能）．この期間中に「製品用シリアル番号」を購入することで，試用版がそのまま製品としてご使用可能です．（ノンパッケージ版）

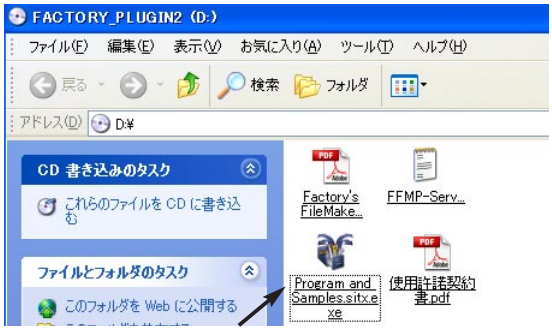
なお，本マニュアルおよび日本ヘルスケア歯科研究会事務局ではダウンロードなどのサポートは行っておりません．ホームページをよくお読みいただき，ご購入ください．

“Factory’s FileMaker Plug-in 2”の使用にあたっては，「ソフトウエア使用許諾契約書」をよくお読みください．

有限会社ファクトリー：〒 154-0024　東京都世田谷区東京都世田谷区三軒茶屋 2-13-20-1004
電話： 03-5486-7370　FAX ： 03-5486-6543
http://www.factory-1987.co.jp/

■ Factory's FileMaker Plug-in2 のインストール方法

1. CD ドライブに「Factory's FileMaker Plug-in 2」CD-ROM をセットします．
2. デスクトップにある「マイコンピュータ」を開き，“FACTORY_PLUGIN2” と書かれた CD のアイコンをダブルクリックすると “Program and Samples.sitx.exe” という自己解凍のアイコンがありますので，それをダブルクリックします．

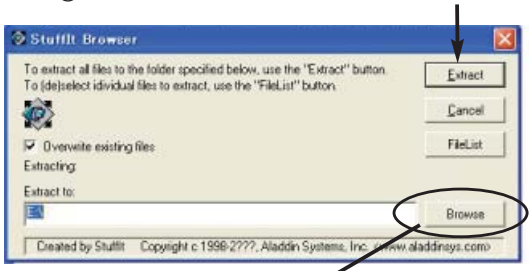


ここをダブルクリックします

3. 解凍先を入力するダイアログボックスが開きます．
   ① ［Browse］をクリックし，解凍する場所をフォルダの参照から選び［OK］します．
   ② 右上の［Extract］をクリックすると解凍されます．

㊟ ファイル参照のダイアログのみ表示されることがあります．このダイアログの［OK］をクリックすると解凍されます．

② 解凍する先を選択してからクリックします



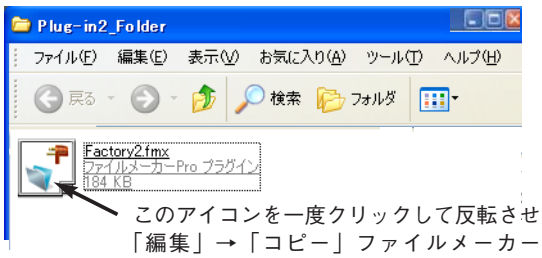
4. 「C ドライブ」を開くと解凍したフォルダ「Program and Samples」ができています．その中の「Plug-in 2 Folder」を開きます．

① クリックすると下のフォルダ参照が開きます．直接入力しても構いません．

例では C ドライブを選択しています

5. 「factory2.fmx」がありますので，これを選択し，ファイルメーカー Pro8.5-10 の中の「Extensions」フォルダへコピーします．

㊟ ファイルメーカー Pro は，ローカルディスク（C ドライブ）の「Program Files」にあります．（特に指定してインストールした場合を除く）



このアイコンを一度クリックして反転させ「編集」→「コピー」ファイルメーカー Pro8.5-10 の「Extensions」フォルダを開き，「編集」→「貼付け」

■ファイルメーカー Pro を立ち上げて，シリアル番号などを入力

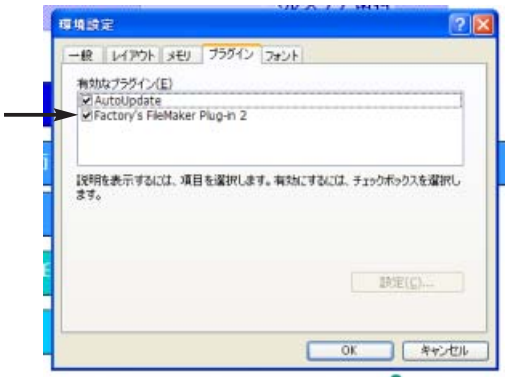
6. ファイルメーカー Pro を起動します．
7. 右のような画面が表示されますので，名前とシリアル番号を入力して［OK］ボタンをクリックします．

必要事項を入力してクリック

8.「編集」メニューの「環境設定」を選択します．

9.「環境設定」の設定画面にある「プラグイン」を選択します．

10. 現在ファイルメーカー Pro にインストールされているプラグインの一覧が表示されます．「Factory's FileMaker Plug-in2」の使用チェックボックスをクリックし，チェックを入れます．（場合によっては，既にチェックされていることがあります）



㊟「QuickTime」がインストールされていないと，「Factory's FileMaker Plug-in 2」がインストールできない場合があります．必ず先に「QuickTime」をインストールしてください．

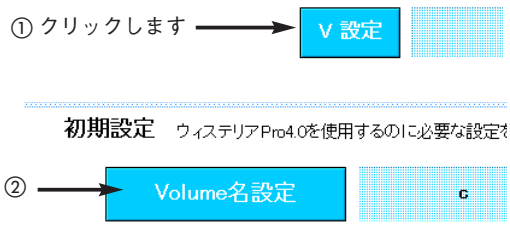
■ “NewFile” “OriginalFile” 作成

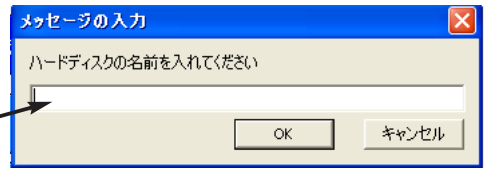
11.「ファイル」→「開く」から “ウィステリア Photo40.fp7” を開きます．

① メニュー画面にある〈V 設定〉をクリックします．

② 初期設定画面が開きますので，〈Volume 名設定〉ボタンをクリックします．

③ ハードディスク名を入力するダイアログが表示されますので，入力し，［OK］をクリックします．（例： c）

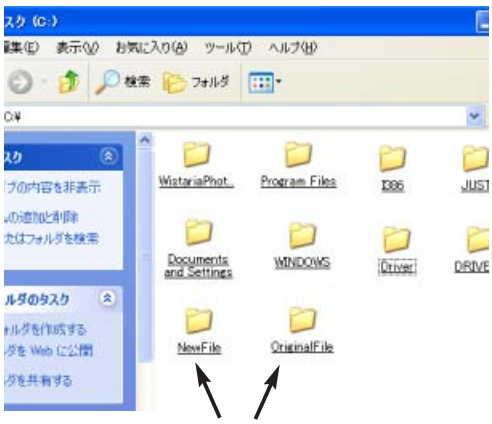




③ ハードディスク名を入力します

④ メニュー画面に戻ります．〈V 設定〉の横にご使用のハードディスク名が表示されてます．

12. このとき，**ハードディスク内に “NewFile” “OriginalFile” の 2 つのフォルダが自動的につくられます．**これらは写真データを管理するために必要なフォルダです．



㊟ LAN 環境でご使用になる場合は，〈Volume 名〉にホストのパスを入力する必要があります．（巻末 Q&A 参照）

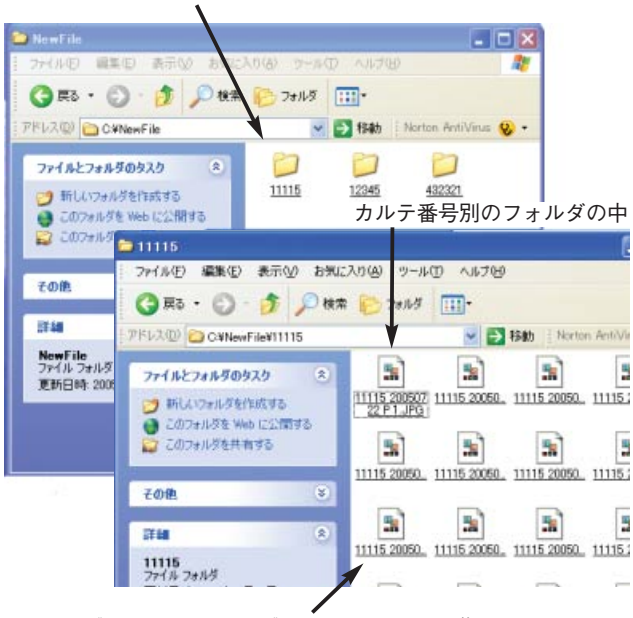
“OriginalFile”は《ウィステリア Pro4.0》に取り込みたい写真データを入れるフォルダです．このフォルダにはご自分で写真データをコピーします．

“NewFile”は《ウィステリア Pro4.0》に取り込まれた写真データが納められるフォルダです．

《ウィステリア Pro4.0》上で写真データの取り込み操作を行う，つまり“**OriginalFile**”の写真データを取り込むと，**カルテ番号のフォルダが自動的に作成され**，該当するそれらの写真データは**ファイル名が自動的にカルテ番号を接頭に付したファイル名に書き換えられ，画像データは“NewFile”に移動します．**

取り込みたい写真データを入れるフォルダ

カルテ番号別のフォルダが自動的につくられます



カルテ番号別のフォルダの中

《ウィステリア Pro》に取り込まれた画像ファイルは，カルテ番号を接頭に付したファイル名に変わります

※ **“NewFile”“OriginalFile”は必ず同じハードディスクにおいてください．ハードディスクが異なるとデータを取り込むことができません．**

㊟ LAN 環境でご使用の場合は，“NewFile”“OriginalFile”を共有ボリューム内に作成してください．作成後にこれらのファイルを共有に設定しても画像の共有はできません．

Attention

例では簡潔に説明するため「C ドライブ」を選択していますが，増設しているハードディスクや外付ハードディスク，データサーバーなど，C ドライブ以外のディスク（D ドライブなど）に“NewFile”“OrifinalFile”を作成されることをお勧めします．

《ウィステリア Pro4.0》を正しく使用するためには，以下の動作環境を整備する必要があります．必要なソフトウエアをご自分で揃えてください．各ソフトウエアの使用方法はそれぞれのマニュアルでご確認ください．

■《ウィステリア Pro4.0》の動作環境

●必要なハードウエアの環境

・コンピュータ本体：ファイルメーカー™ Pro8.5-10（日本語版）が稼働する CPU を搭載している PowerMacintosh および Intel Mac

・ RAM およびハードディスクの空き容量：ファイルメーカー™ Pro 8.5-10 の動作環境を参照

・表示画面： **1024 × 768 ピクセル以上**（1024 × 768 推奨）

●必要なソフトウエア

・基本 OS ： **Mac OS X 10.4.5 以上**（Factory's FileMaker Plug-in 2 を使用しない場合は **10.3.9** 以上も可）ファイルメーカー Pro のバージョン別環境は下の表をご参照ください）

・基本アプリケーション：

① **ファイルメーカー ™ ファイルメーカー ™ Pro8.5-10**（日本語版）

本テンプレートはファイルメーカー ™ Pro 10 で制作されています．

② **Factory's FileMaker Plug-in 2 MacOSX 版**

別途購入して，インストールする必要があります．（17 ページ参照）

③ QuickTime™ 7.x 以上（**QuickTime 7.x** 推奨）：“Factory's FileMaker Plug-in 2”を使用するために必要

■《ウィステリア Pro4.0》インストール方法

《ウィステリア Pro4.0》のインストールは，次の手順で行ってください．

1. Macintosh を起動します．
2. CD ドライブに《ウィステリア Pro ver.4.0》とかかれた CD-ROM をセットします．
3. デスクトップ上に現れた CD-ROM のアイコンをダブルクリックして開きます．“ウィステリア Pro4.0”フォルダが入っていることを確認してください．

   ㊟アポイント管理職 2.1 をご購入の場合は，フォルダ名は“wis40app21”と表示されます．
4. “ウィステリア Pro”を保存したいハードディスク上の場所（階層）に“ウィステリア Pro4.0”フォルダごとコピーします．CD-ROM 上の《ウィステリア Pro4.0》はロックされていますので，そのままでは書き込みができません．必ずお使いのハードディスクにコピーしてお使いください．

Attention

バージョン別動作環境は表の通りです．記載条件は最低条件です．詳しくは，ファイルメーカー社ホームページをご参照ください．

ファイルメーカー	PowerMac	IntelMac
8.5	10.3.9 以上 （RAM　256MB）	10.4.5 以上 （RAM　256MB）
9	10.4.8 以上（RAM　256MB） 10.5 の場合は RAM　512MB	
10	10.4.11 以上（RAM　256MB） 10.5 の場合は RAM　512MB	

5. ハードディスクにコピーした《ウィステリア Pro4.0》のフォルダをダブルクリックします．

“ウィステリア Pro4.0”のフォルダが開くと下記のファイルが表示されます．

・ウィステリア Photo40.fp7　・チャート 2.fp7　・来院履歴 2.fp7　・処置履歴.fp7
・ PerioAssistant4.fp7　・抜歯履歴 2.fp7　・郵便番号簿.fp7　・唾液量.fp7
・ GRAPH COLOR orange.fp7・ PerioPPD-L.fp7　・ PerioPPD-U.fp7　・ GRAPH COLOR.fp7
・ GRAPH COLOR Green.fp7 ・ Perio Color.fp7　・ GRAPH COLOR 唾液量.fp7
・開始.fp7（FileMaker Server をご使用の場合は不要．**削除**してください）
・アポイント管理職 21.fp7　・ Person Color.fp7（この 2 点はアポイント管理職をご購入済みの方のみ）
・ Dietary counselling3.fp7（付録：食事指導ソフト）

■ “Factory’s FileMaker Plug-in 2”について

“Factory’s FileMaker Plug-in2”の新規購入については，有限会社ファクトリーのホームページで購入申込みができます．

価格は，パッケージ版 20,790 円（消費税込），ノンパッケージ版 17,640 円（消費税込）です（2009 年 4 月末日現在）．ただし，ご使用の動作環境を整備されてからのご購入をお勧めします．

また，ホームページからは，“Factory’s FileMaker Plug-in2”を正式に購入する前に，“Factory’s FileMaker Plug-in2”の試用版がダウンロードできます（30 日間試用可能）．この期間中に「製品用シリアル番号」を購入することで，試用版がそのまま製品としてご使用可能です．（ノンパッケージ版）

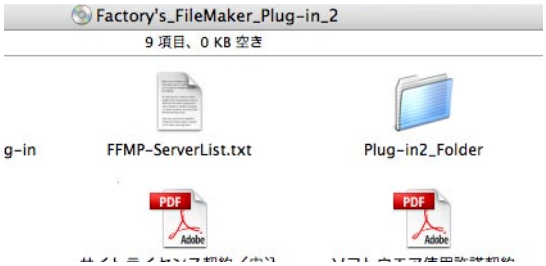
なお，本マニュアルおよび日本ヘルスケア歯科研究会事務局ではダウンロードなどのサポートは行っておりません．ホームページをよくお読みいただき，ご購入ください．

“Factory’s FileMaker Plug-in2”の使用にあたっては，「ソフトウエア使用許諾契約書」をよくお読みください．

有限会社ファクトリー：〒 154-0024　東京都世田谷区三軒茶屋 2-13-20-1004
電話： 03-5486-7370　FAX ： 03-5486-6543
http://www.factory-1987.co.jp/

■ Factory's FileMaker Plug-in2 のインストール方法

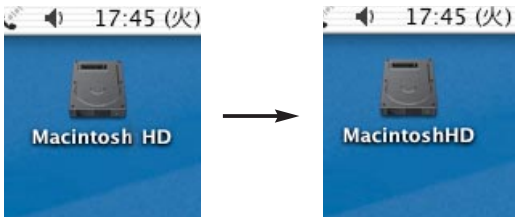
1. CD ドライブに「Factory's FileMaker Plug-in2」CD-ROM をセットします.



2. デスクトップ上に「Factory's FileMaker Plug-in2」の CD のアイコンが表示されますので，その中の“Plug-in2_Folder"というフォルダをダブルクリックし，開きます.

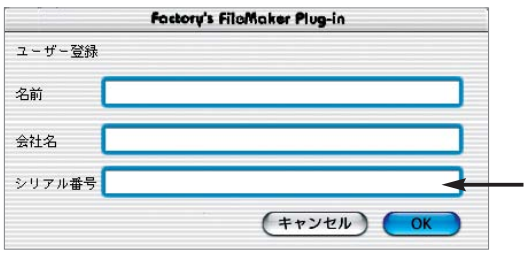
3. 中に入っている“FactoryFMPlugin2.fmplugin”ファイルを，ファイルメーカー Pro フォルダの中の「Extensions」フォルダにコピーします.

4. 次に Macintosh のハードディスク名を確認します．ハードディスク名にスペースが入っていたら，スペースを削除します.



■ファイルメーカー Pro を立ち上げて，シリアル番号などを入力

5. ファイルメーカー Pro を起動します.
6. 右のような画面が表示されますので，名前とシリアル番号を入力して「OK」ボタンをクリックします.



■ “NewFile” “OriginalFile” 作成

7.「ファイル」→「開く」から“ウィステリア Photo40.fp7”を開きます.

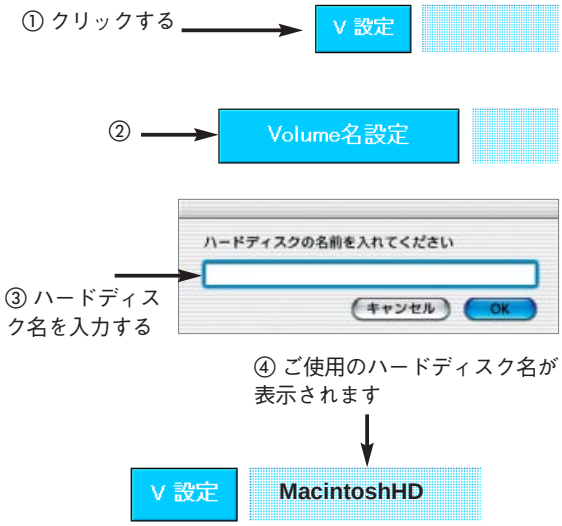
① メニュー画面にある〈V 設定〉をクリックします.

② 初期設定画面が開きますので,〈Volume 名設定〉ボタンをクリックします.

③ ハードディスク名を聞いてきますので，入力し，[OK] をクリックします.

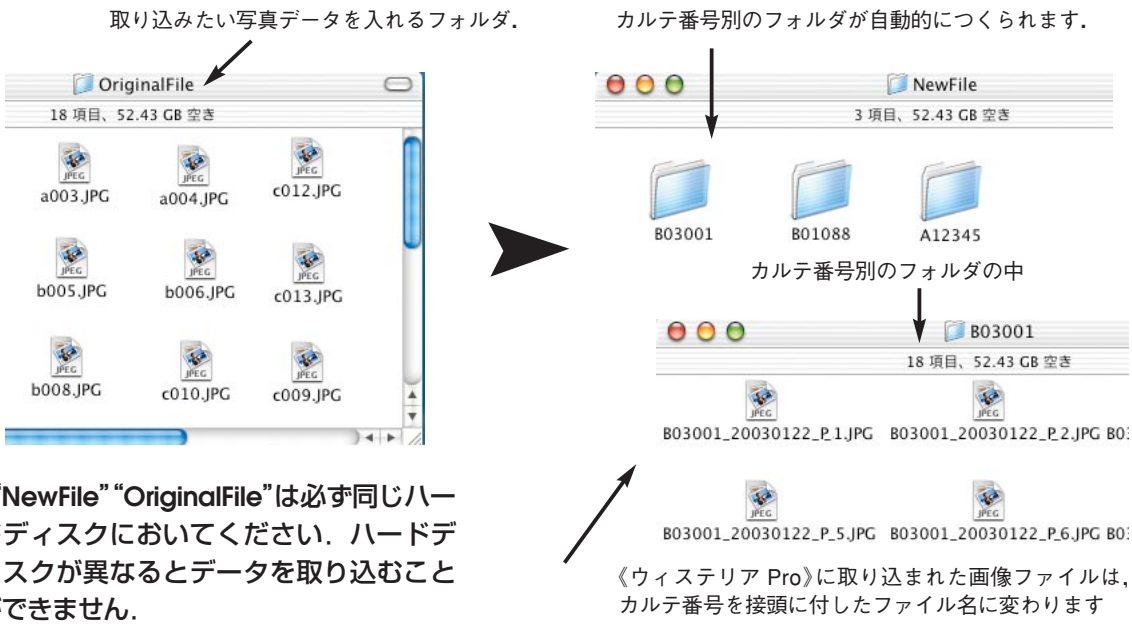
④ メニュー画面に戻ります.〈V 設定〉の横にご使用のハードディスク名が表示されます.

㊟ LAN 環境でご使用になる場合は,〈Volume 名〉にホストのパスを入力する必要があります.（巻末 Q&A 参照）



8. このとき，**ハードディスク内に“NewFile” “OriginalFile”の 2 つのフォルダが自動的につくられます.** これらは写真データを管理するために必要なフォルダです

“**OriginalFile**”は《ウィステリア Pro4.0》に取り込みたい写真データを入れるフォルダです.
このフォルダにはご自分で写真データをコピーします.
“**NewFile**”は《ウィステリア Pro4.0》に取り込まれた写真データが納められるフォルダです.
《ウィステリア Pro4.0》上で写真データの取り込み操作を行う，つまり“**OriginalFile**”の写真データを取り込むと，**カルテ番号のフォルダが自動的に作成され**，該当するそれらの写真データは**ファイル名が自動的にカルテ番号を接頭に付したファイル名に書き換えられ，画像データは“NewFile”に移動します.**



※ **“NewFile”“OriginalFile”は必ず同じハードディスクにおいてください．ハードディスクが異なるとデータを取り込むことができません.**

0 立ち上がりの画面〈メニュー画面〉

ウィステリアを立ち上げると最初に表示される画面です．メニュー画面と呼びます．

●《ウィステリア Pro4.0》を立ち上げるには，ファイルメーカー Pro8.5-10 を起動し，「ファイル」→「開く」から“ウィステリア Photo40.fp7”を開きます（LAN 環境でご使用の場合は，「ファイル」→「共有ファイルを開く」）．

ファイルが開くと下のメニュー画面が表示されます．［選択ボタン］が 10 個あります．作業の必要に応じてボタンをクリックします．

（以下の説明で［　］内の用語はファイルメーカーの用語です，〈　〉内の単語は《ウィステリア Pro》の画面に表示されている用語を示します．）

●《ウィステリア Pro4.0》は画面上では各項目（フィールド）に色を付けてあります．

“水色のフィールド”または**“ピンクのフィールド”**は，該当する文字または数字をあなたが入力するフィールドです．

“緑色のフィールド”は，そのフィールドをさわると選択項目［値の一覧］が表示されます（［ポップアップメニュー］といいます）ので，該当するものを選んでください．

㊟ご使用の環境によっては，表示に数秒かかることがあります．

“黄色のフィールド”は，上記のデータが入力されると自動的に計算されたものが表示されます．このフィールドは直接データを入力する必要はありません．

Attention

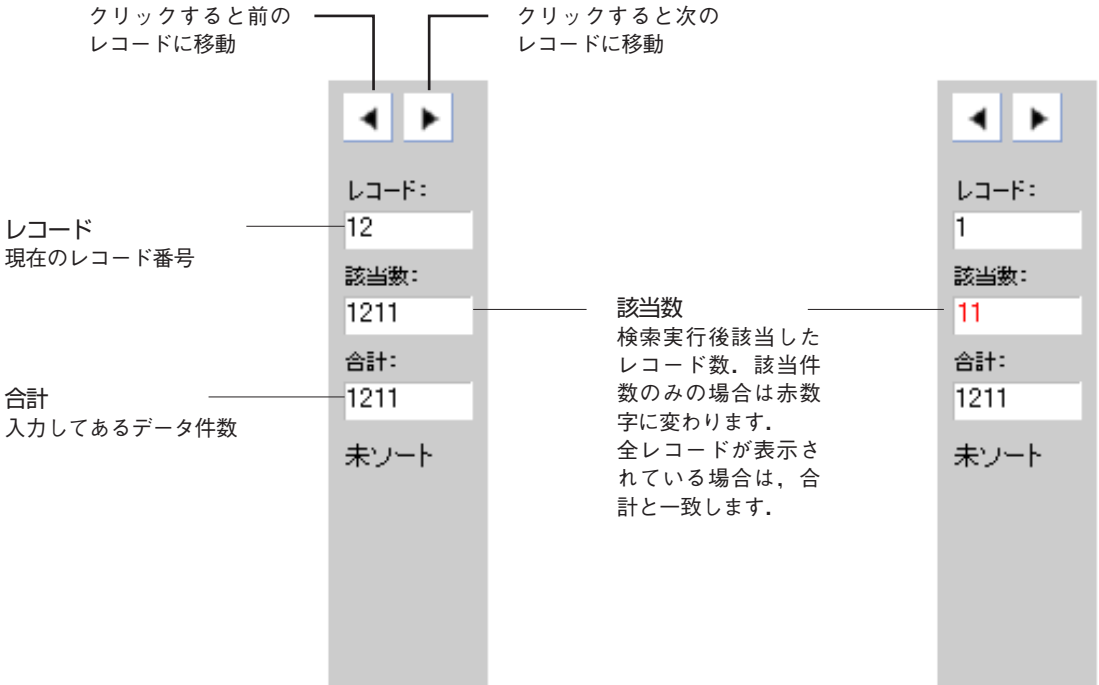
《ウィステリア Pro》には〈終了〉ボタンはありません．《ウィステリア Pro》を終了する際は，ファイルメーカーを終了させてください．

■情報エリア

ファイルメーカー Pro9 まで左側に表示されていましたステータスエリアに変わり，ファイルメーカー Pro10 より上部にステータスツールバーが表示されるようになりました．

画面を広く使用するため，《ウィステリア 4.0》ではステータスツールバー（ステータスエリア）は，表示されません．検索ボタンで検索モードに切り替え時のみ表示されます．ファイルメーカー 10 をご使用の場合は，検索終了後，非表示に戻ります．また，左下のステータスエリアコントロールから表示／非表示の切り替え可能です．

このため，《ウィステリア 4.0》ではレコード数の表示を右側に設置しています．この部分を〈情報エリア〉と呼びます．



■ステータスツールバー（検索モード時）

検索モード時は，ステータスツールバーが表示されます．ここで検索実行や演算子（ファイルメーカー 9 までは「記号」）を使用できます．

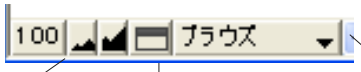
Attention

本マニュアルではファイルメーカーの用語を基本的にファイルメーカー Pro10 にあわせて表記します．ファイルメーカー 9 以下をご使用の場合は読み替えてください．

■ステータスエリアコントロール

画面左下に表示されます．この部分はステータスエリアの表示・非表示にかかわらず常に表示されます

ファイルメーカー 10

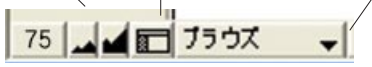


ズームコントロール
ここをクリックするとモニタ表示の割合が変わります．

ステータスエリアコントロール
ここをクリックすると，ステータスツールバー（ステータスエリア）の表示・非表示の切り替えができます．

モードポップアップメニュー
モードの切り替えをします．

ファイルメーカー 9/8.5



■画面の縮小

お使いのモニターによっては，基本画面がモニターからはみ出して，全画面をご覧になれないことがあります．そのような場合は，左下にあるズームコントロール（縮小・拡大ボタン）をクリックしてください．左端の数値は 100 が基準値の 100 %で，75 は 75 %に縮小，50 は 50 %に縮小して画面を見ることができます．ただし，画面を縮小しても取り込んだ写真画像は縮小されません．写真を表示する際は，100 %で表示して下さい．

Attention

ステータスツールバー（ステータスエリア）ほか，ファイルメーカーの機能については，ファイルメーカーに添付のユーザーズガイド・チュートリアルおよびヘルプをご一読ください．

1 〈患者検索〉画面

患者さんのデータを検索します．

チェアサイドで歯周組織検査をおこない，直接データを入力したり，口腔内写真をみせたり，患者さんに見せながら使用するときに，基本画面を表示せずに検索できます．（他人のデータを見せることなく，当人データの検索が可能です）

メニュー画面の〈患者検索〉1のボタンをクリックすると下の画面が表示されます．

■検索

検索方法は，マウスから入力する方法とキーボードから入力する方法の 2 通りあります．氏名（よみ）とカルテ No.から検索できます．

A マウスを使って検索する．

1. 50 音表からひらがなを入力

① 検索したい患者さんの氏名（よみ）を 50 音表から入力します．該当する文字を一度クリックすると入力されます．このとき姓と名の間のスペースも検索条件になりますので，カルテに入力した通りに入力してください．姓のみでも検索は可能です．名のみの検索は，姓と名のあいだにスペースがあれば可能です．新規にカルテを入力する際に，統一しておくと検索時に便利です．

② 入力後，検索ボタンをクリックします．

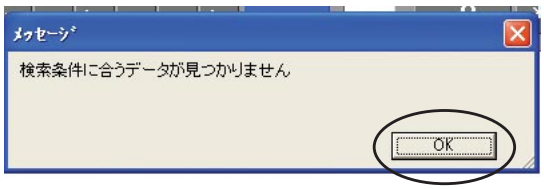
③ 検索結果が下に一覧表示されますので，該当する患者さんを選び，④ 共通ボタンで表示したい画面に移動します．

2. カルテ No.を入力

右側のテンキー表から入力し，検索ボタンをクリックします．該当するカルテが表示されますので，共通ボタンから表示したい画面へ移動します．

検索実行後，該当するデータがない場合は，該当なしのダイアログボックスが表示されます．［OK］をクリックすると全データが表示されます．

再度，検索条件を入力してください．

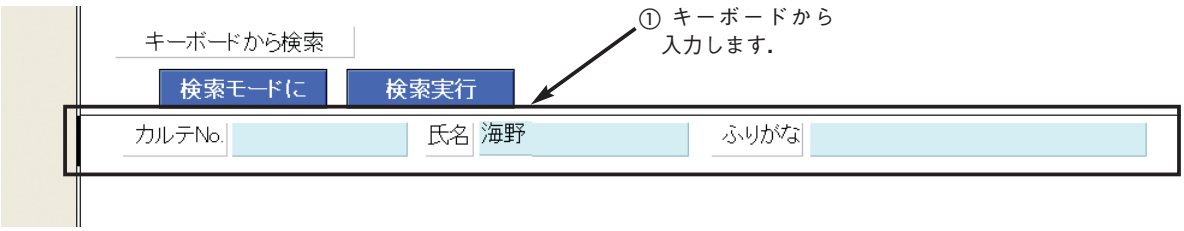


Attention

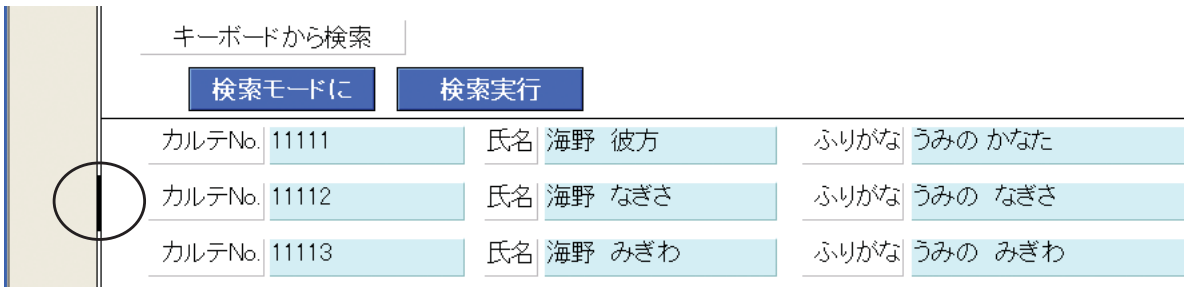
ファイルメーカーの検索では，「1」と検索すると「1」「11」「111」などがすべて表示されます．カルテ No.には予め桁数分の 0 をつけておくと検索の際便利です．（例： 0001，0011，0111）

Bキーボードを使って検索する.

① キーボードから入力します．カルテ No.，氏名（漢字），ふりがな（ひらがな）のいづれかを入力し，検索実行 ボタンをクリックします．



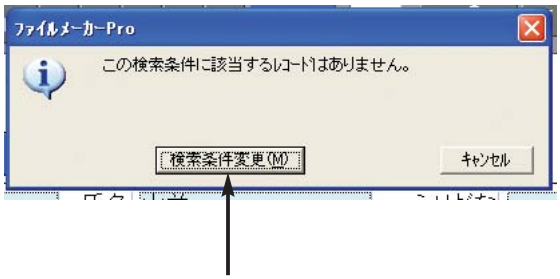
② 検索結果が表示されますので，該当するカルテを選び，共通ボタンをクリックして表示したい画面へ移動します．



検索実行後，該当するデータがない場合は，該当なしのダイアログボックスが表示されます．

［検索条件変更］をクリックすると検索画面に戻りますので，再度検索条件を入力してください．

［キャンセル］すると検索を解除し，全データが表示されます．

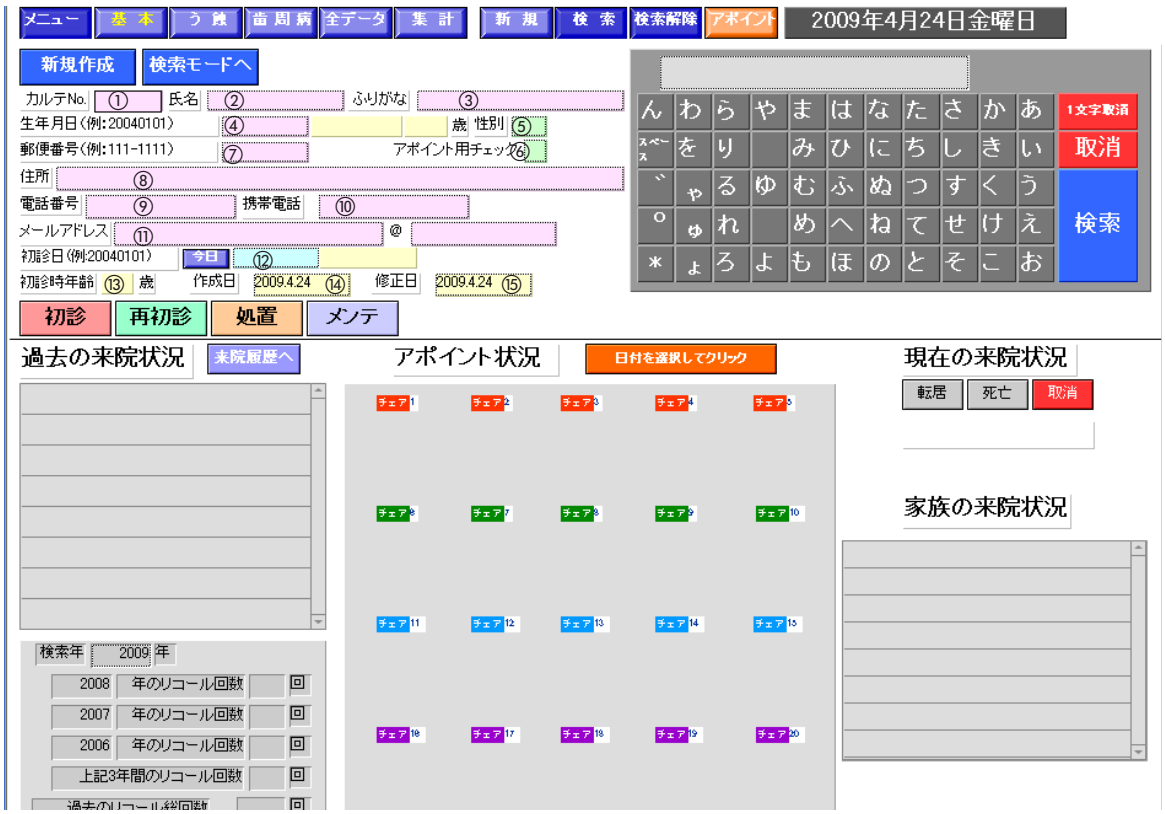


再度検索するときは 検索モードに をクリックしてください．

2 〈新規〉画面

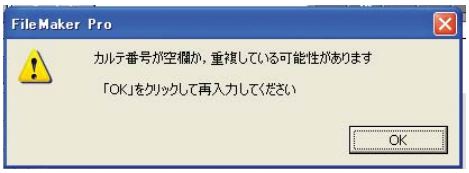
新しいレコードを作成します．患者さんの基本データを入力します．

立ち上がり画面の〈新規〉2のボタンをクリックすると［新規レコード］が作成され，基本画面が表示されます．患者 1 人分について患者データ［レコード］を 1 つ作成します．この画面が基本データになります．



新規データ入力

①：〈カルテ No.〉



カルテ番号を入れます．〈カルテ No.〉は必ず入力してください．カルテ番号が空欄だったり，番号が重複したりしていると警告が繰り返し表示されます．改行キー，tab キーで次のフィールドに移動します．また，半角スペースは使用しないでください．写真の取込ができなくなります．

②：〈氏名〉

患者の氏名を入力します．姓と名の間にスペースを入れるか否かを統一しておきます．検索をする際に便利です．

③：〈ふりがな〉

ふりがなは〈氏名〉を入力すると，ひらがなで自動的に入力されます．訂正をしたい場合は直接入力してください．〈氏名〉と同様に姓と名の間にスペースを入れるか否かは統一しておきます．

㊟ MacOS でご使用の場合，「ふりがな」は入力した変換前の文字にかかわらず OS の機能により表示されます．Windows の場合は，入力した文字のまま表示されます．

Attention

“ピンク色のフィールド”は「改行（return，enter）キー」で次のフィールドに移動します．ウィステリア Pro3.1 より改行キーが使用可能になりました．

④：〈生年月日〉

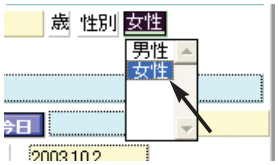
生年月日は西暦で 8 桁の数字を入力してください．たとえば昭和 37 年 6 月 1 日生まれの人は 1962 年 6 月 1 日になりますから，19620601 というように 1 桁の月と日は前にゼロをつけて入力します．正しく入力されていないと警告が表示されます．

ここで 8 桁の西暦にすると，患者の年齢，サリバテスト（Orion Diagnostica 社製造，オーラルケア社発売）や歯周病の検査を受けた日の年齢が表示できるようになります．

［フィールド復帰］をクリックして正しく入力しなおします．

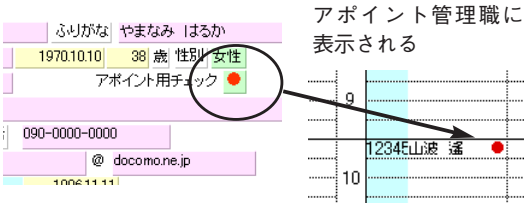
⑤：〈性別〉

このフィールドをクリックすると，右のように〈男性〉と〈女性〉が表示されます．該当する性別を選んでください．このような“緑色のフィールド”を［ポップアップメニュー］といいます．



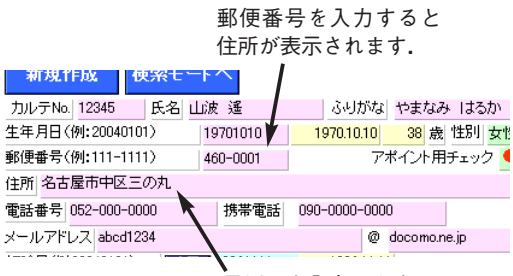
⑥：〈アポイント用チェック〉

アポイント管理職をお使いの場合，ここにチェックをいれておくとアポイント画面にもチェックが表示されます．表示する文字・記号は値一覧から追加できます．



⑦，⑧：〈郵便番号〉〈住所〉

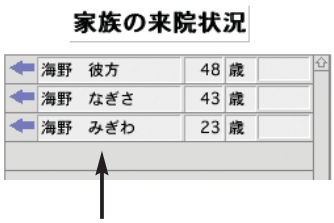
郵便番号を入力します．入力後「改行キー（Enter，Return）」または「tab キー」を押すか，住所欄をクリックすると，住所が町名まで自動的に入力されますので，丁目以下番地等を入力します．



⑨，⑩：〈電話番号〉〈携帯電話番号〉

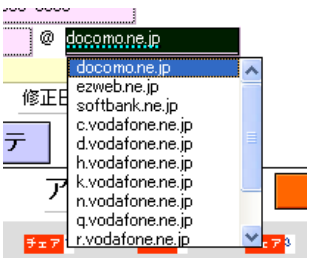
電話番号を入力します．電話番号を入力すると，右下の〈家族の来院状況〉に名前が表示されます（詳細 30 ページ）．携帯電話番号も入力できるようになりました．

㊟ 入力の際，局番の間の「-（ハイフォン）」は入れても入れなくても構いませんが，統一して入力していないと，〈家族の来院状況〉に全員が表示されませんので，ご注意ください．



⑪：〈メールアドレス〉

メールアドレスを入力できるようになりました．ネームアカウントとドメイン名を分けて入力します．携帯電話のドメイン名はポップアップメニューから選ぶことができます．



⑫ ：〈初診日〉

初診日を入力します．〈生年月日〉と同様に西暦で 8 桁の数字を入力します．当日の場合は〈今日〉ボタンを押します．初診日から計算してリコール日や初診からの経過年数，メインテナンス経過年数などを表示します．

⑬ ：〈初診時年齢〉

“黄色のフィールド”ですから入力する必要はありません．④ の生年月日と ⑨ の初診日が入力されていれば自動的に表示されます．〈初診日〉を入力すると初診時の年齢が計算されているのがわかります．

⑭，⑮ ：〈作成日〉〈修正日〉

“黄色のフィールド”ですから入力する必要はありません．〈作成日〉は新規に作成した日付，〈修正日〉は何か修正を入れた日付が自動的に表示されます．

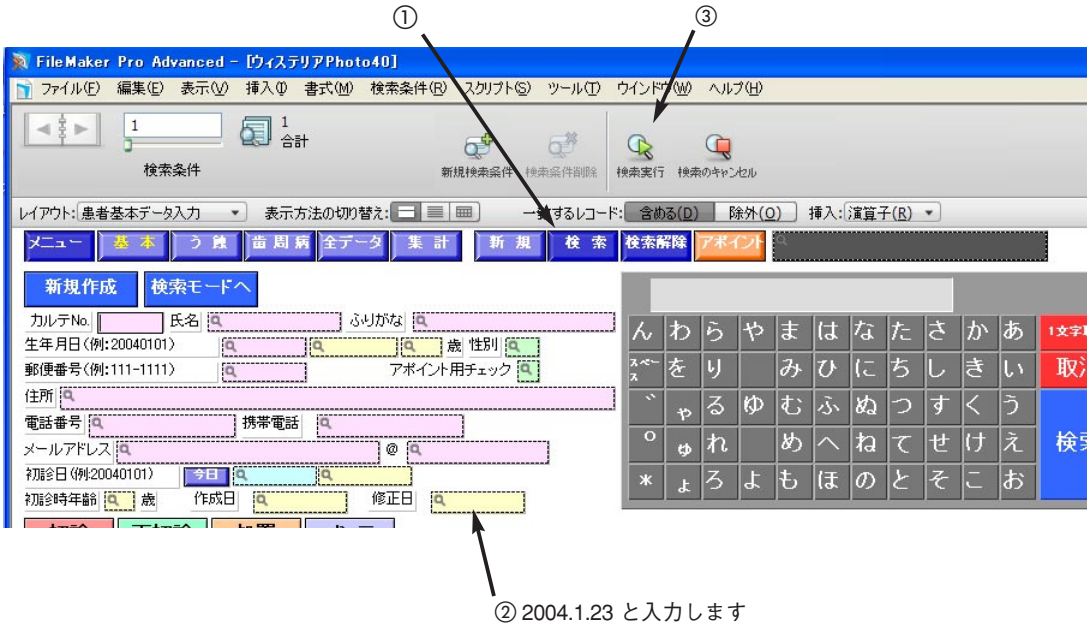
例 2004 年 1 月 23 日の修正分を検索し，その日に来院した患者さんのデータが正しく修正されているかを確認する．

① 基本画面で，［検索］をクリックします．

② 修正日に検索したい日付（例： 2004.1.23）を入力します．この欄は 8 桁で入力する必要はありません．年，月，日は「.（ピリオド）」で区切ります．

③ ステータスツールバーの［検索実行］をクリックします．

④ 検索されたデータを確認します．

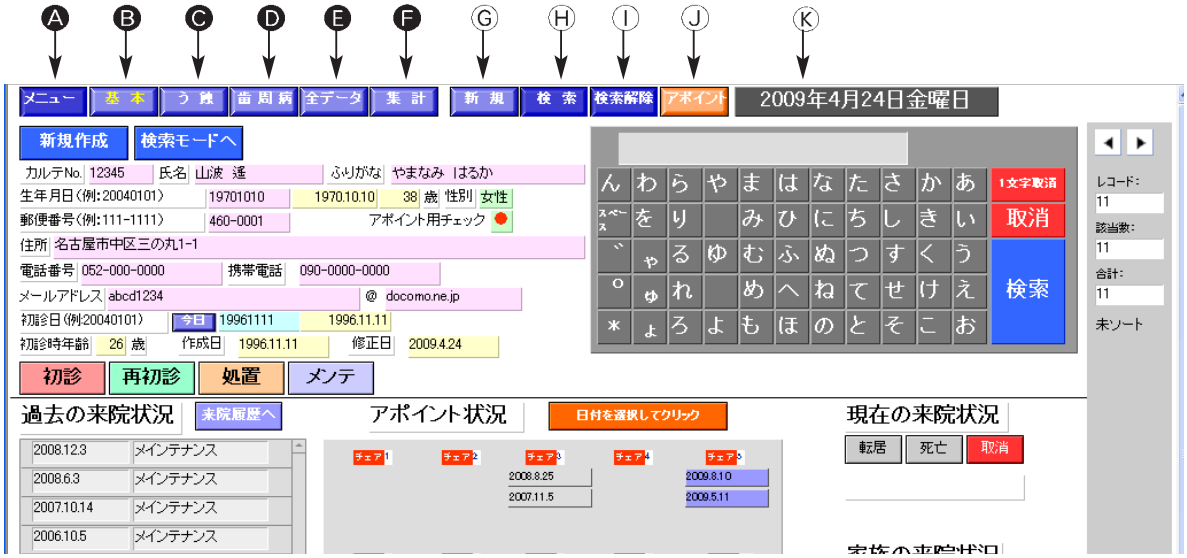


Attention

メニュー画面の〈新規〉ボタンをクリックした段階で，管理データの数が自動的に 1 つ増えます．間違えて新レコードを増やした場合は，メニューバー［レコード］→［レコード削除...］を選んでください．このとき全削除しないようご注意ください．

■共通ボタン

画面のボタンをみてください．Ⓐ～Ⓕ，Ⓖ～Ⓚのボタンは，他の画面でも表示されます．対応するボタンをクリックすると，それぞれの画面にジャンプします．今自分が見ている画面のボタンは文字が**黄色**で表示されます．このマニュアルでは，これらのボタンを**共通ボタン**と呼びます．



Ⓐ〈メニュー〉：《ウィステリア Pro》を開くと最初にこの画面が現れます．また，操作中に常に左上に現れる〈メニュー〉ボタンをクリックするとメニュー画面（19 ページ参照）に戻ります．

Ⓑ〈基本〉：基本データ画面です．氏名，住所など変更する場合は，ここで修正します．

Ⓒ〈う蝕〉：サリバテストの検査結果を入力したり，過去のサリバテストのデータを見ることができます．この画面はメニュー画面の 4 と同じです．

Ⓓ〈歯周病〉：歯周病精密検査結果を入力したり，過去の検査結果データを見ることができます．この画面はメニュー画面の 5 と同じです．

Ⓔ〈全データ〉：〈う蝕〉〈歯周病〉のデータを一度に見ることができます．データの入力漏れなどの確認にも使用できます．この画面はメニュー画面の 6 と同じです．

Ⓕ〈集計〉：検索及び集計画面です．〈う蝕リスク集計〉〈歯周病リスク集計〉〈最新 DMFT 集計〉〈DMFT 増加集計〉〈P 進行度集計〉〈プロービング集計〉〈メインテナンス来院状況〉〈初診時年齢分布〉〈抜歯原因年間割合〉の集計ができます．この画面はメニュー画面の 7 と同じです．（詳細 71 ページ）

Ⓖ〈新規〉：新しいレコードを作成するときにクリックします．この画面はメニュー画面の 2 と同じです．ここで作成された画面が基本画面となります．このボタンは〈基本〉画面にのみあります．また 新規作成 をクリックしても同じです．

Ⓗ〈検索〉：患者さんの該当データを探すときに使います．患者の基本データの変更，確認などに使用します． 検索モードへ をクリックしても同じです．

Ⓘ〈検索解除〉：検索を中止するときに使用します．検索モードが解除されます．

Ⓙ〈アポイント〉：《アポイント管理職 2.1》をご使用の場合は，このボタンから作業中のアポイント管理職へ移動できます．《アポイント管理職 2.1》をお持ちでない場合は，このボタンをクリックしても画面は変わりません．

Ⓚ〈今日の日付〉：当日の日付を表示します．《アポイント管理職 2.1》をご使用の場合は，ここをクリックすると当日のアポイント管理職へ移動します．移動後，〈ウィステリア〉ボタンをクリックすると歯周病画面に戻ります．

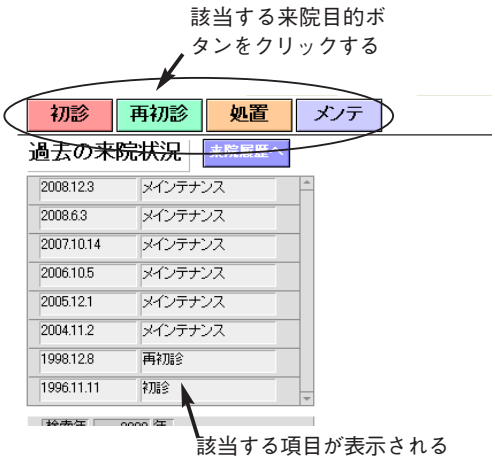
3 〈基本データ〉画面

患者さんの基本データとなる画面です．来院履歴やリコール状況がわかります．

メニュー画面の〈基本データ画面〉3をクリックすると，次のような画面が表示されます．これは新規作成した画面と同じです．ここからデータの検索や修正が可能です．また来院履歴やリコール状況，アポイント状況（アポイント管理職 2.1 ご使用の場合）がわかります．

①：〈過去の来院状況〉

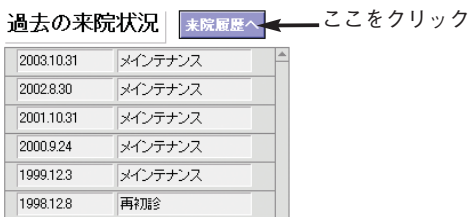
患者さんの来院履歴が作成されます．初診時には，〈初診〉のボタンをクリックします．以後，来院ごとに該当するボタンをクリックします．〈過去の来院状況〉欄に〈日付〉と〈来院目的〉が表示されます．日付はその当日の日付が入力されますので過去の日付にしたい場合は，直接日付欄を訂正します．ここでは 8 桁で入れる必要はありません．年，月，日の区切りは「.（ピリオド）」を入力してください．（例：2003.3.10）



㊟ 歯周病治療の場合は，再評価までは，［処置］にします．それ以後は［メンテ］を選択してください．

㊟ う蝕画面，歯周病画面からも入力できます（34 ページ参照）

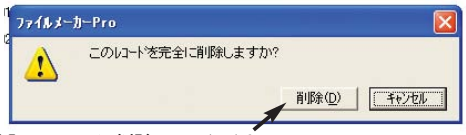
間違えて入力した場合は，「来院履歴」から削除します．〈来院履歴へ〉をクリックします．



■来院履歴ファイル

1. 〈基本〉画面から〈来院履歴へ〉ボタンをクリックすると，“来院履歴”ファイルへ移動します．この画面で不要なレコードを選択し，〈レコード削除〉をクリックします．削除のダイアログボックスが表示されますので．［削除（D）］をクリックします．一度削除すると，元に戻すことはできません．削除するレコードかどうか確認してから削除してください．

2. ウィステリアへ をクリックしてウィステリア画面に戻ります．来院状況から削除されていることを確認してください．



② ：〈過去のリコール回数〉

自動的に表示されますので，操作は不要です．来院履歴のメインテナンスの回数を集計します．検索年は,現在の年が表示されますが，任意の年を入力することもできます．

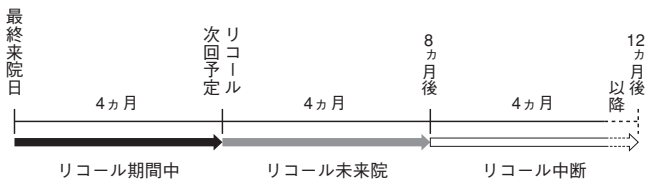
③ ：〈現在の来院状況〉

自動的に下記のいづれかが表示されます．

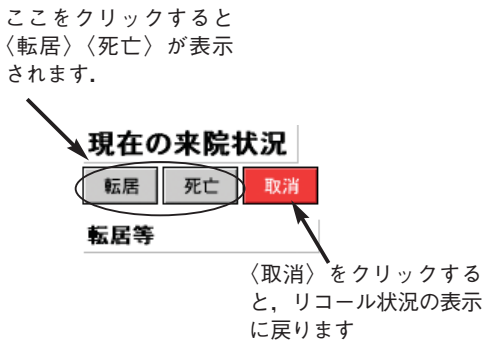
〈リコール期間中〉〈リコール中断〉〈リコール未来院〉

期間の表示は，倍の期間が過ぎると次の表示に変わります．

例 リコール期間 4 ヵ月の場合



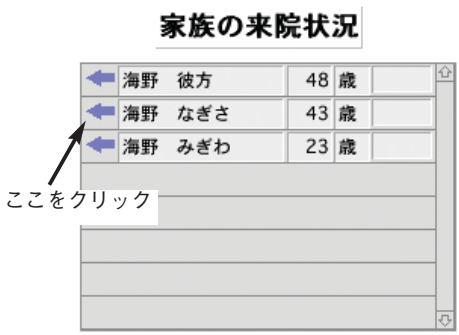
患者さんが転居，死亡した場合は，〈転居〉,〈死亡〉ボタンをクリックします．



④ ：〈家族の来院状況〉

基本データに電話番号を入力すると，同じ電話番号の家族を表示します．

をクリックすると家族のデータにジャンプします．



Attention

“ファイルメーカー Pro”はファイルに対する操作を行うと，変更内容を自動保存します．レコードを削除／変更したりすると，元に戻せません．レコードの削除を「取り消し」コマンドで取り消すこともできません．レコードの削除等をする際は，間違いないか必ず確認してください．また作業にあたっては，予めバックアップ（ファイルをコピーし別に保存）して作業してください．

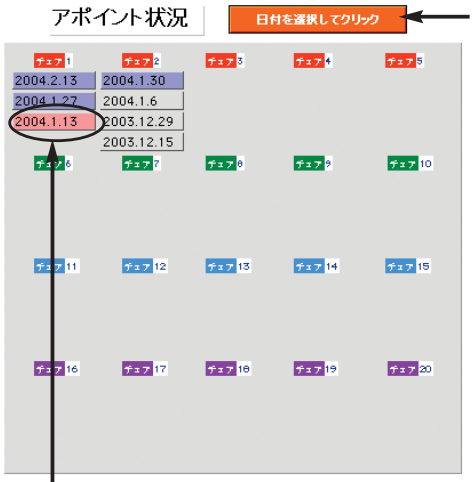
⑤：〈アポイント状況〉

《アポイント管理職 ver.2.1》をお持ちの場合は，この画面から，予約状況の確認や，アポイント管理職へ移動することが可能です．

アポイント管理職に予約状況が入力されていれば，該当チェア欄に予約の日付が色分けされて表示されます．

過去の日付：グレー，当日：ピンク，未来：ブルーで表示されます．

予約の日付を選択してから，日付を選択してクリック をクリックすると，該当する《アポイント管理職 ver.2.1》一覧画面へ移動します．



アポイント管理職で，表示したい日付を選択します

⑥：〈患者検索〉

〈基本データ〉画面で患者検索をするときに使用します．メニュー画面の1患者検索と使用方法は同じです．（22 ページ参照）

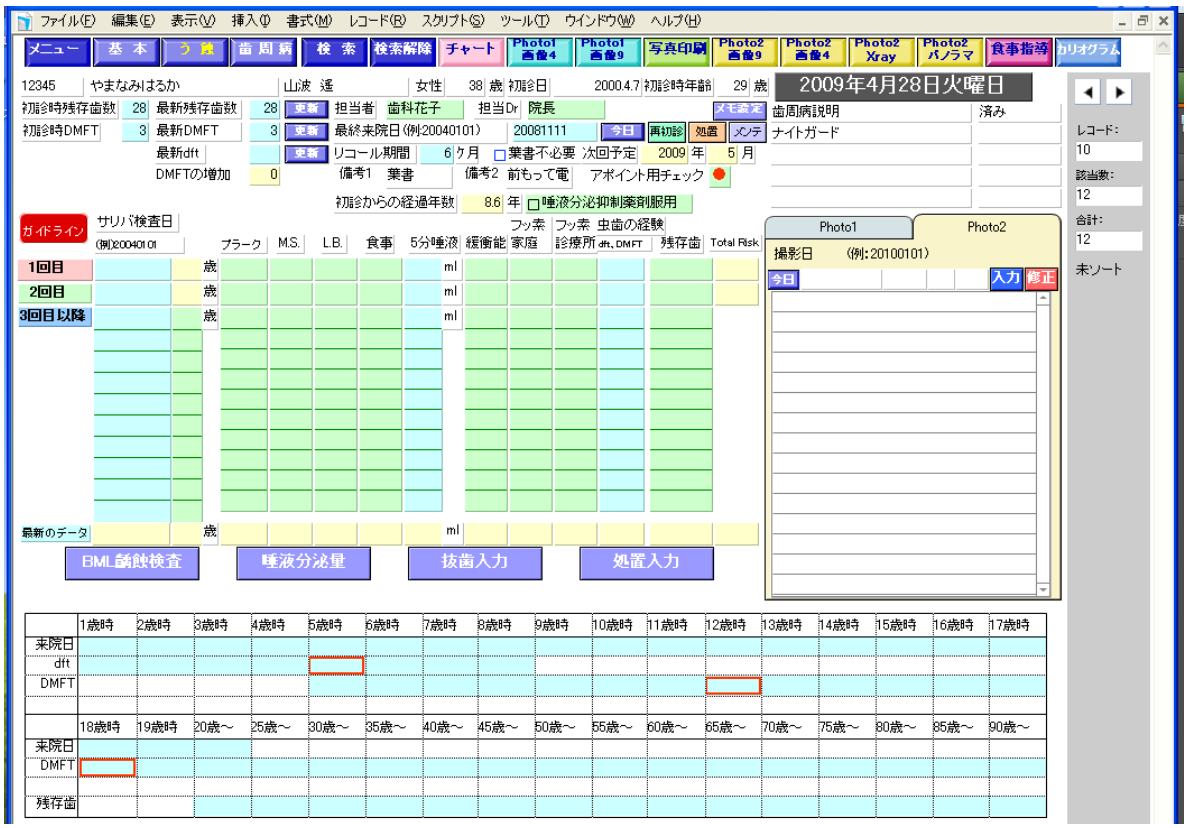
Attention

《アポイント管理職 ver.2.1》の詳細については，《アポイント管理職 ver.2.1》のマニュアルをご参照下さい．《アポイント管理職 ver.2.1》をお持ちでない場合は，〈アポイント〉ボタンをクリックしても画面は切り替わりません．

4 〈う蝕〉画面

サリバ検査の結果を記録します．

メニュー画面の〈う蝕〉4ボタンをクリックするか，共通ボタンのⒸをクリックすると，う蝕に関する画面を表示できます．



データの入力方法は，〈新規〉画面，〈基本〉画面と同様，フィールドに色分けがされています．

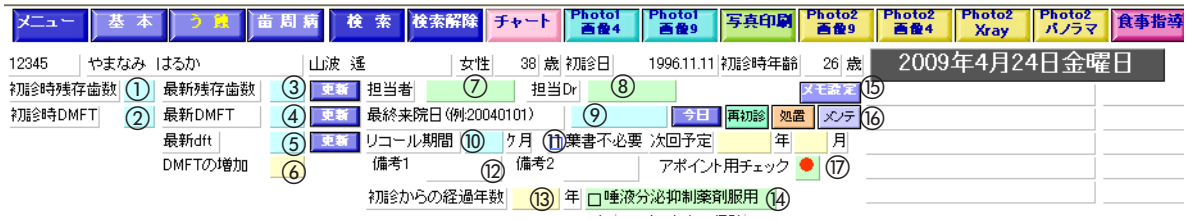
“水色のフィールド”は該当する文字または数字を自分で入力するフィールドです．

“緑色のフィールド”は，そのフィールドをさわると選択項目［値の一覧］が表示されますので［ポップアップメニュー］から該当するものを選んでください．

“黄色のフィールド”は，上記のデータが入力されると自動的に計算されたものが表示されます．このフィールドは直接データを入力する必要がありません．

Attention

基本データ部分は，〈う蝕〉画面などから変更・修正することはできません．〈基本〉ボタンをクリックして〈基本データ〉画面を表示させて変更してください．



患者データの入力

①：〈初診時残存歯数〉

定期管理のベースラインを記録するために初診時（保険の初診とは限りません）に残存しているすべての歯の数を合計し入力します．このデータに残存乳歯，智歯（第 3 大臼歯）および過剰歯，埋状歯は含みません．

②：〈初診時 DMFT〉

メインテナンス中のう蝕の状況の変化や定期管理を受けない状態でのう蝕の状況を知るために，患者さんが，初めて来院したとき（保険の初診とは限りません）の DMF 歯数を入力しておきます．この記録には智歯（第 3 大臼歯）は含みません．

③：〈最新残存歯数〉

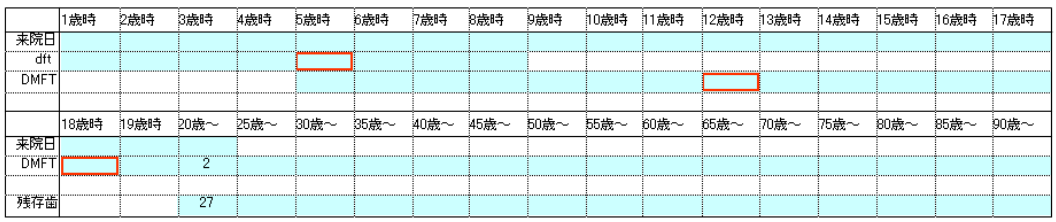
最新残存歯数を入力します．入力したら更新ボタンをクリックします．この記録には智歯（第 3 大臼歯）は含みません．

④：〈最新 DMFT〉

〈DMFT〉は本来一人平均の DMF 歯を表す指数（下㊟参照）ですが，ここでは該当患者の，う蝕（D），喪失（M）した歯および修復（F）した歯の数を合計して入力します．う蝕の病歴と現状を表します．この記録には，DMF 歯数に智歯（第 3 大臼歯）は含みません．

⑤：〈最新 dft〉

乳歯の最も新しい〈d〉と〈f〉の合計歯数を入力します．③ ～ ⑤ の〈更新〉ボタンを押すと下の一覧表の数値が更新されます（40 ページ参照）．ここで更新されたデータは集計する際の数値となりますので，必ず更新ボタンをクリックしてください．



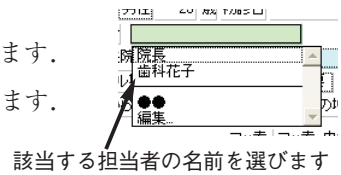
⑥：〈DMFT の増加〉

初診時からの DMFT 増加を表示します．② 初診時 DMFT と ④ 最新 DMFT のどちらかが未入力のままですと，正しく表示されません．

⑦⑧：〈担当者〉〈担当 Dr〉

〈担当者〉フィールドをクリックすると，担当者 DH の名前が表示されます．担当者の名前を選びます．この部分は，使いやすいように予め編集しておきます．

〈担当 Dr〉も同様に担当者の名前を入力します．



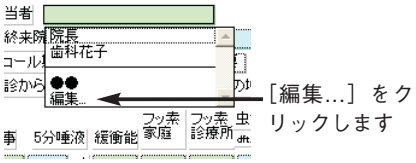
該当する担当者の名前を選びます

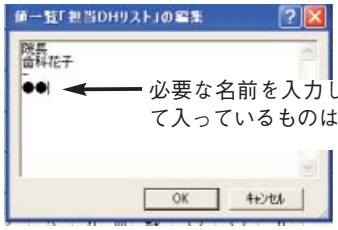
Attention

㊟ dft および DMFT は，「ある集団の一人平均のう蝕歯，喪失歯，修復歯の合計数をもって，その集団のう蝕の罹患状況を表す指数です．このウィステリアでは以下便宜的に対象となる一人の患者の DMF 合計指数をこのように表記します．

■担当者値一覧の追加修正〈担当 DH〉〈担当 Dr〉

1. 担当者欄をクリックすると，ポップアップメニューが開きます．ここで［編集...］をクリックします．
2. 値一覧の定義〈担当 DH リスト〉編集の画面が現れますので，必要な氏名を入力し，氏名ごとに改行します．入力したら［OK］します．もう一度〈担当者〉のフィールドをプルダウンすると，［値一覧の定義］に入力された氏名が選択できるようになります．
   同様に〈担当 Dr〉にも名前を入力しておきます．





⑨：〈最終来院日〉

西暦で 8 桁の数字を入力してください．〈最終来院日〉が〈今日〉であれば，〈今日〉のボタンをクリックします．

⑩：〈リコール期間〉

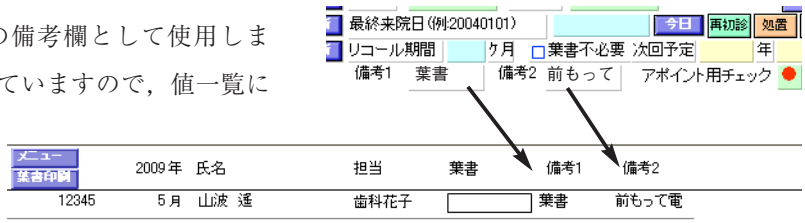
〈リコール期間〉を入力してください．リコールの〈次回予定〉（黄色のフィールド）が表示されます．リコール期間の欄を未入力のままにしておくと，次回予定は最終来院日と同年月が表示されます．

⑪：〈葉書不必要〉

リコールの葉書が不必要の患者は□をチェックしてください．葉書印刷の際，対象から除外されます（85 ページ参照）．

⑫：〈備考 1〉，〈備考 2〉

リコールリストを印刷する際の備考欄として使用します．ポップアップメニューになっていますので，値一覧に予め入力しておくと便利です．



⑬：〈初診からの経過年数〉

初診からの経過年数は初診日から最終来院日までの経過年数を自動計算します．初診日と最終来院日のどちらかが未入力のままですと正しく表示されません．

⑭：〈唾液分泌抑制剤服用〉

唾液分泌抑制剤を服用されている場合にチェックボックスをチェックしておきます．

⑮：〈メモ設定〉

任意に項目を設定し，記録・検索ができます．

⑯：〈来院状況ボタン〉

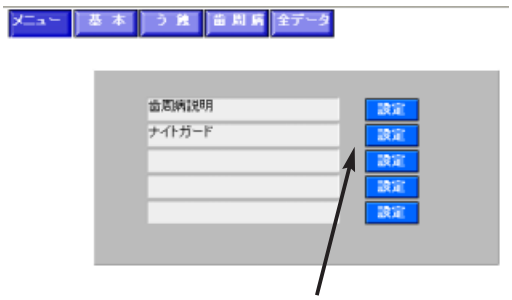
「基本画面」の来院状況入力ボタンと同じです．ここでクリックしても来院履歴に保存されます（29 ページ参照）．

⑰：〈アポイント用チェック〉

アポイント管理職をお使いの場合，ここにチェックをいれておくとアポイント画面にもチェックが表示されます．

■メモ設定の方法

1. 〈メモ設定〉ボタンをクリックすると，設定画面が開きます．設定したい項目を入力し〈設定〉ボタンをクリックします．
2. 「う蝕」,「歯周病」画面に設定した項目が表示されます．



任意の項目を入力して［設定］をクリック

3. 右欄はポップアップメニューになっていますので，該当する項目を選びます．ポップアップで表示する項目は値一覧で編集します．値一覧は行ごとに設定できます（値一覧の編集は 34 ページ参照）．

項目が表示される

ポップアップメニューから選択

㊟ 〈設定〉ボタンをクリックしてからう蝕や歯周病画面に戻ると一番最後のレコードに移動しています．〈メモ設定〉ボタンをクリックする前と異なるカルテが表示されていますので，ご注意ください．

サリバテストデータ入力

このサリバ検査項目の入力値がレーダーチャートに表示されます．以下の番号に沿って説明します．

①	②	③		④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
ガイドライン	サリバ検査日 (例)20040101			プラーク	M.S.	L.B.	食事	5分唾液		緩衝能	フッ素 家庭	フッ素 診療所	虫歯の経験 dft, DMFT	残存歯	Total Risk
1回目	20030604	15	歳	3	3	3	8以上	3	ml	黄緑	×	×	2	27	21
2回目	20040909	16	歳	2	3	3	7	4	ml	緑	△	△	2	27	17
3回目以降	20050304	17	歳	2	3	2	5	6	ml	緑	○	△	2	27	
	20060507	18		1	2	2	5	6		緑	○	○	2	27	
	20081023	20		1	2	2	5	7		青緑	○	○	2	27	
⑮ 最新のデータ	20081023	20	歳	1	2	2	5	7	ml	青緑	○	○	2	27	10

Photo　撮影日　今日

①：〈サリバテストの回数〉

3 回目以降の一番新しいデータは，〈最新のデータ〉として一番下の欄 ⑮ に表示されます．したがってこの欄は常に新しいデータに更新されます．4 回目以降のデータは ② から ⑫ までの全てのデータを入力してください．（空欄があると，最新データ欄に以前のデータが表示されますのでご注意ください）

②③：〈サリバ検査日〉〈年齢〉

サリバテスト（Orion Diagnostica 社製造，オーラルケア社発売）の実施日を西暦で 8 桁の数字を入力してください．そのときの年齢が“黄色のフィールド” ③ に表示されます．

④：〈プラーク〉

このフィールドはプラークスコアを意味します．O’Leary 法によりプラーク付着歯面を記録し，全歯面数におけるプラーク付着部位の割合（%）で次のように 4 段階に分類します．“緑色のフィールド”は［ポップアップメニュー］ですから，そのフィールドをプルダウンすると 0 から 3 の数字が表示されます．該当するものを選んでください．

0 ： 15 %未満
1 ： 15 %以上 30 %未満
2 ： 30 %以上 50 %未満
3 ： 50 %以上

注 ポップアップメニューはご使用の環境によっては，表示に数秒かかることがあります．

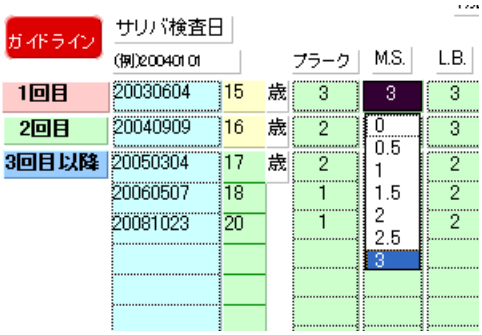
Attention

サリバテスト（Orion Diagnostica 社製造）は，（株）オーラルケア社から発売されています．
〈う蝕〉画面での検査値フィールドには 3 回目以降の検査も保存できます．ただし，レーダーチャートに反映されるのは，1・2 回目の検査と最新検査の数値です．

⑤：〈M.S.〉（ミュータンス菌のコロニー数）

M.S.（Dentocult SM ®）は Bratthall が示す検査方法に従い，唾液中のミュータンス菌のコロニー数を，Strip mutans で分類します．“緑色のフィールド”ですから［ポップアップメニュー］の 7 段階から選びます．

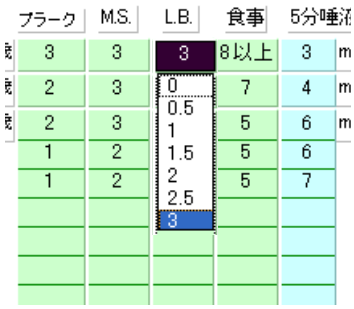
0	：	0 CFU/ml
0.5	：	0 と 1 の中間
1	：	10 万 CFU/ml
1.5	：	1 と 2 の中間
2	：	50 万 CFU/ml
2.5	：	2 と 3 の中間
3	：	100 万 CFU/ml



⑥：〈L.B.〉

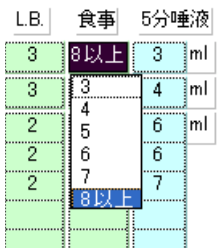
L.B.（Dentocult LB ®）は，唾液中の lactobacilli のコロニー数を判定するものです．7 段階に分類しています．［ポップアップメニュー］から選んでください．

0	：	1000 CFU/ml
0.5	：	0 と 1 の中間
1	：	1 万 CFU/ml
1.5	：	1 と 2 の中間
2	：	10 万 CFU/ml
2.5	：	2 と 3 の中間
3	：	100 万 CFU/ml



⑦：〈食事〉

間食や糖分を含む飲み物も含めて平均的な飲食回数を表示します．［ポップアップメニュー］から該当するものを選んでください．〈3 回〉から〈8 回以上〉まであります．3 回は 3 食以下を含みます．



⑧：〈5 分唾液〉

5 分間のパラフィンワックスの咀嚼刺激による分泌量により唾液分泌速度を記録します．

このフィールドに測定値を入力してください．集計をとる際に，唾液分泌量を次の 4 段階に分類します．

10 ml 以上/5 分
6 ml 以上 10 ml 未満/5 分
3.5 ml 以上 6 ml 未満/5 分
3.5 ml 未満/5 分

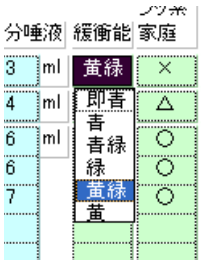
Attention　食事の回数は，糖分を含む飲み物や間食（飴 1 個，砂糖入りのコーヒー）なども 1 回と数えます．

⑨：〈緩衝能〉

Bratthall が示す検査方法に従い，Dentobuff ® Strip で分類した唾液緩衝能を表します．［ポップアップメニュー］から選んでください．

検査の結果，〈黄〉か〈緑〉かなど判断に迷う場合は，〈黄緑〉にします．集計における判定は中間値の高いほうに整理されます．この［ポップアップメニュー］では以下の 6 つに分類できます．

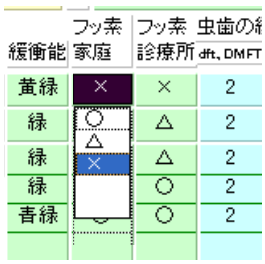
即青：良好な唾液緩衝能
青　：普通または良好な唾液緩衝能，pH ≧ 6.0
青緑：青と緑の中間
緑　：良好とはいえない唾液緩衝能，pH 4.5 ～ 5.5
黄緑：緑と黄の中間
黄　：低い唾液緩衝能，pH ≦ 4.0

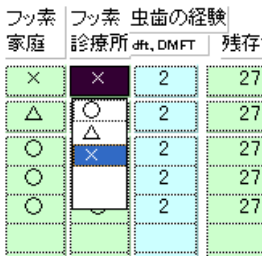


⑩：〈フッ素家庭〉，⑪：〈フッ素診療所〉

フッ素の使用状況を表します．フッ素の使用頻度により，○から×の 3 段階に分類してあります．［ポップアップメニュー］から選んでください．

・フッ素家庭
○：家庭でほとんど毎日フッ素製品を使用している
△：半分くらいは使用している
×：ほとんど使用していない
・フッ素診療所
○：定期的にフッ素塗布を受けている
△：たまにフッ素塗布を受けている
×：フッ素塗布を受けていない

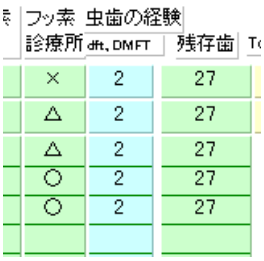




⑫：虫歯の経験〈dft，DFMT〉

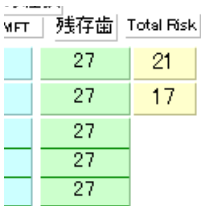
dft を入力するか DMFT を入力するかは，そのときどちらのレーダーチャートを描画したいかによって決めてください．一般的に，初回で 6 歳前後までの場合は，その時点の過去の虫歯の経験として dft を入力したほうがよいでしょう．

ここに入力しても画面下の一覧表（dft，DMFT を入力するフィールド）には反映されません．



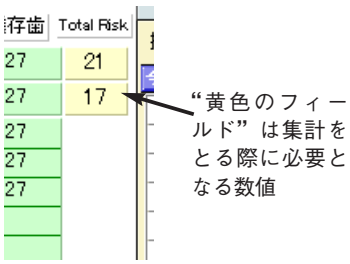
⑬：〈残存歯〉

残存歯数を入力します．



⑭：〈Total Risk〉

② ～ ⑬ までの入力結果に応じて自動的に入力されます．



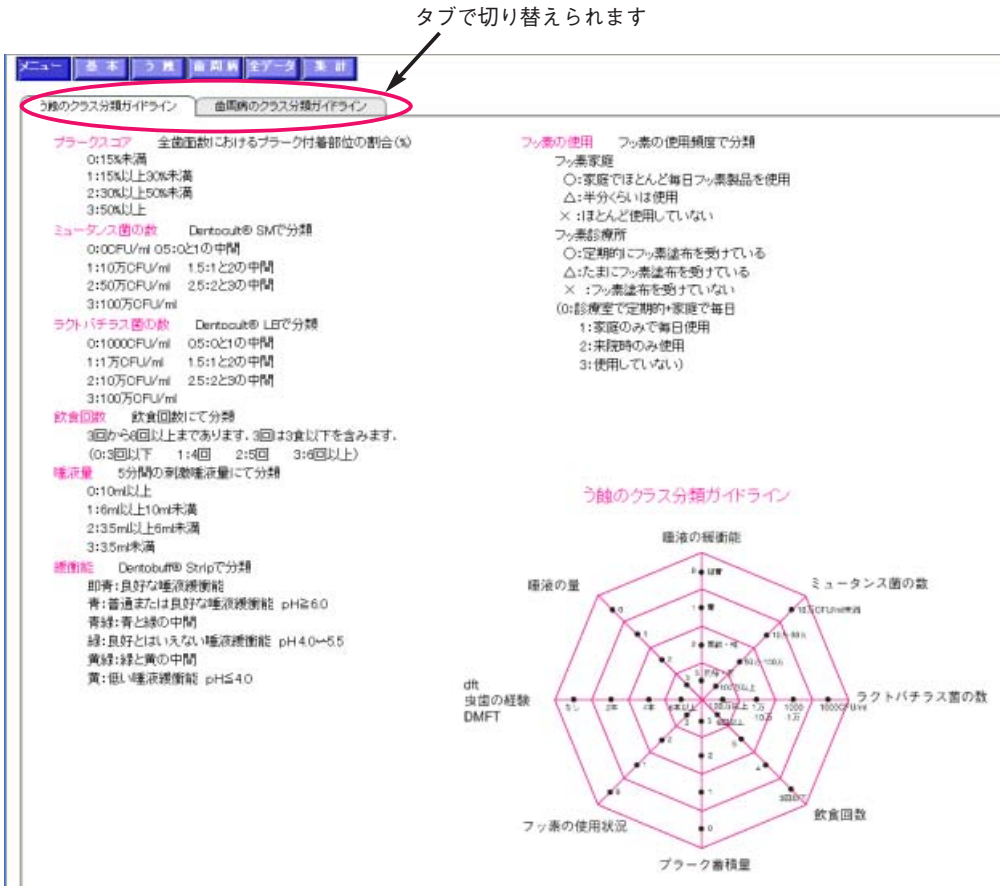
■クラス分類ガイドライン

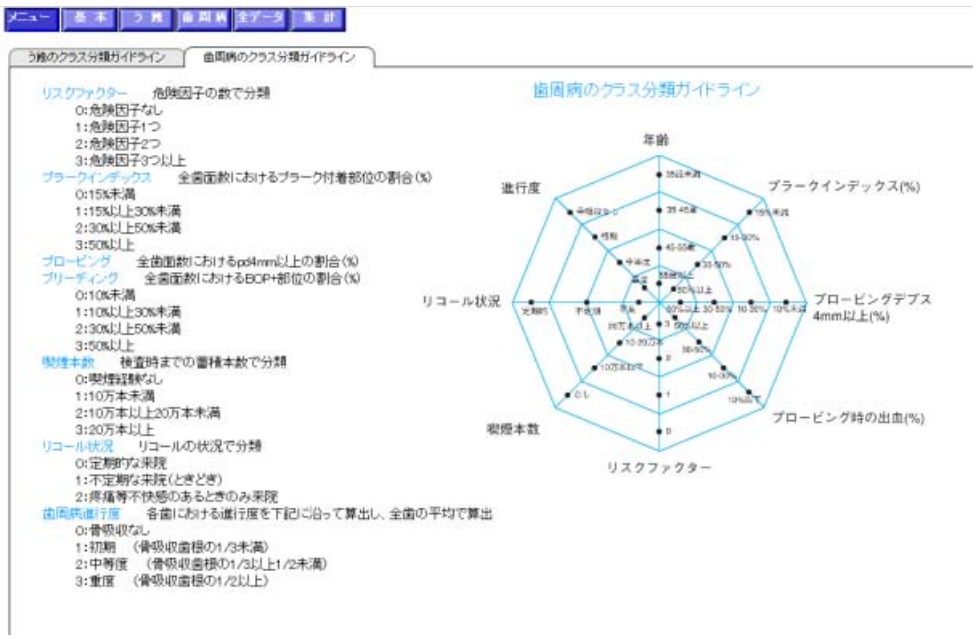
入力の手助けとなるガイドラインを設置しました．

［ガイドライン］ボタンをクリックすると下の一覧が表示されます．ご利用ください．

タブをクリックすると「う蝕」と「歯周病」のガイドラインが切り替えらます・

「う蝕」画面からは「う蝕のクラス分類ガイドライン」が，「歯周病」画面からは「歯周病のクラス分類ガイドライン」が先に表示されます．

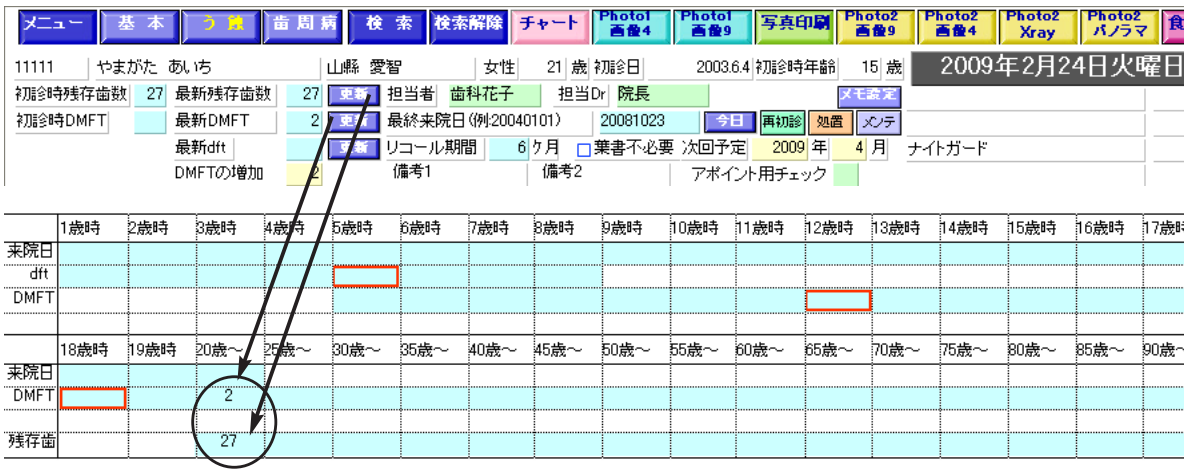




■ dft ・ DMFT ・残存歯の記録

dft は 1 ～ 8 歳までを入力します．DMFT は 5 歳以上を，残存歯数は 20 歳以上を記録し，年齢ごとに表示します．水色のフィールドですから直接入力できますが，更新ボタンをクリックすることで該当する年齢のフィールドに表示されます．ここで更新された DMFT データを〈集計〉画面の〈最新 DMFT 集計〉〈DMFT（6 歳から 12 歳）〉〈DMFT 増加集計〉で使用します．必ず更新ボタンをクリックするか，直接入力してください．

注 《ウィステリア Photo ver.2.2》以前では〈歯周病〉画面にありましたが，《ウィステリア Pro3.0》より〈う蝕〉画面で表示しています．



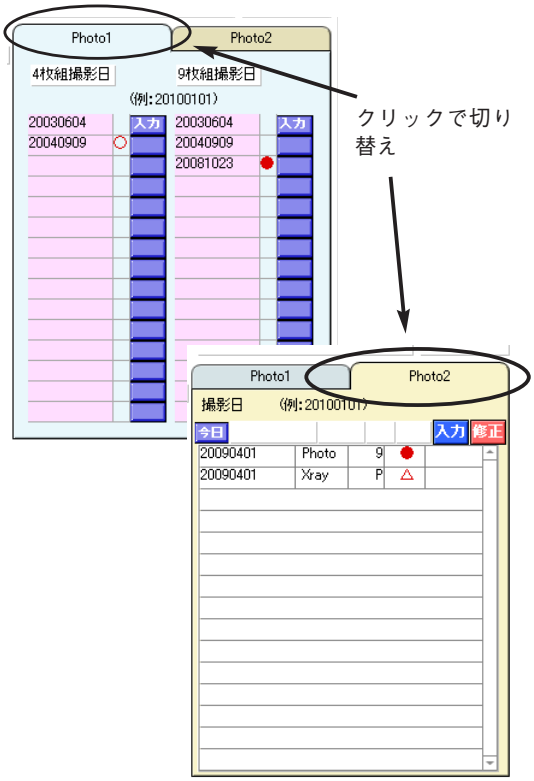
■ Photo1，Photo2

写真データを取り込むための項目です．

「Photo1」は旧バージョンの《ウィステリア》で使用していた形式になります．15 回分の写真を，4 枚組または 9 枚組で取り込み，保存します．

「Photo2」は，回数制限なく保存が可能です．4 枚，9 枚のほか 14 枚までのエックス線写真，パノラマ X 線写真の保存が可能になりました．

詳しくは，**「画像表示の手順」**（詳細 90 ページ）をご覧ください．



注 旧バージョンの《ウィステリア》で取り込んだ画像は今まで通り使用可能です．初期設定では「Photo2」が先に表示されます．「Photo1」タブを先に表示したい場合は初期設定画面（87 ページ参照）または歯周病画面で設定できます（49 ページ参照）．

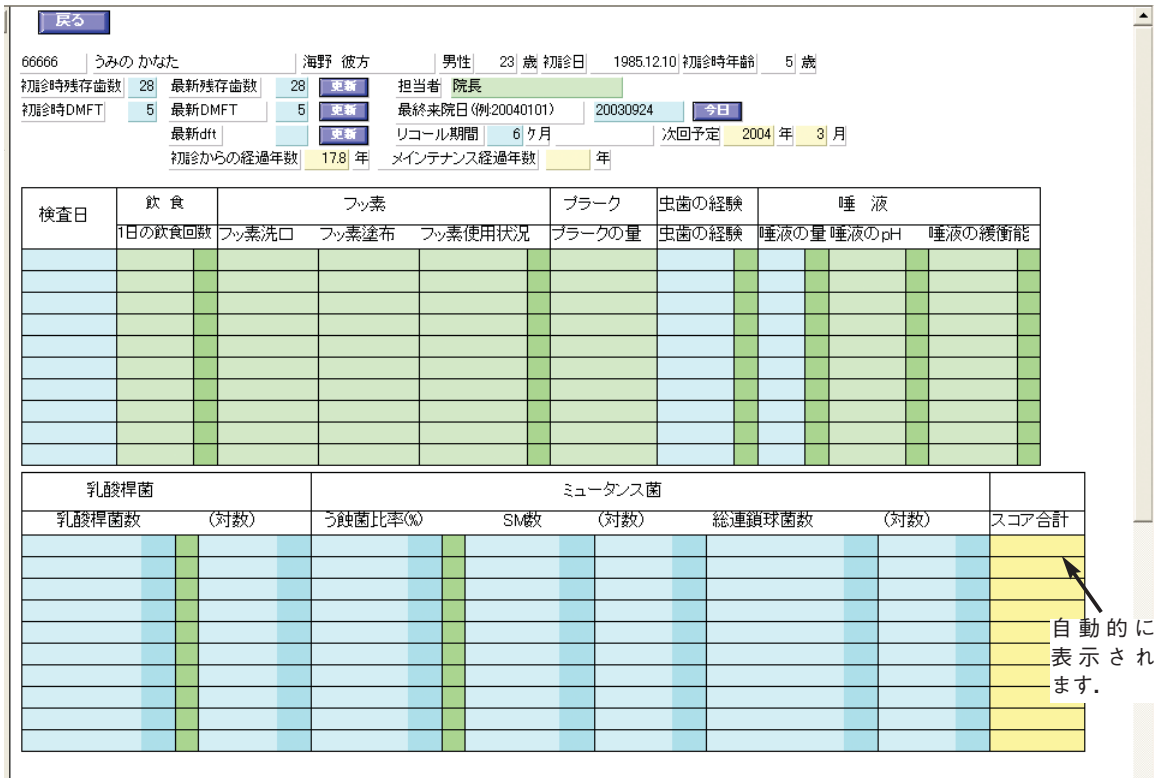
Attention

D ； Decayed teeth の略（未処置のう蝕歯）　F ； Filled teeth の略（治療済み）
M ； Missing teeth の略（喪失歯）　T ； Teeth の略

■ BML 齲蝕検査詳細

BML齲蝕検査 をクリックすると詳細なデータにジャンプできます．ここに検査データを入力します．

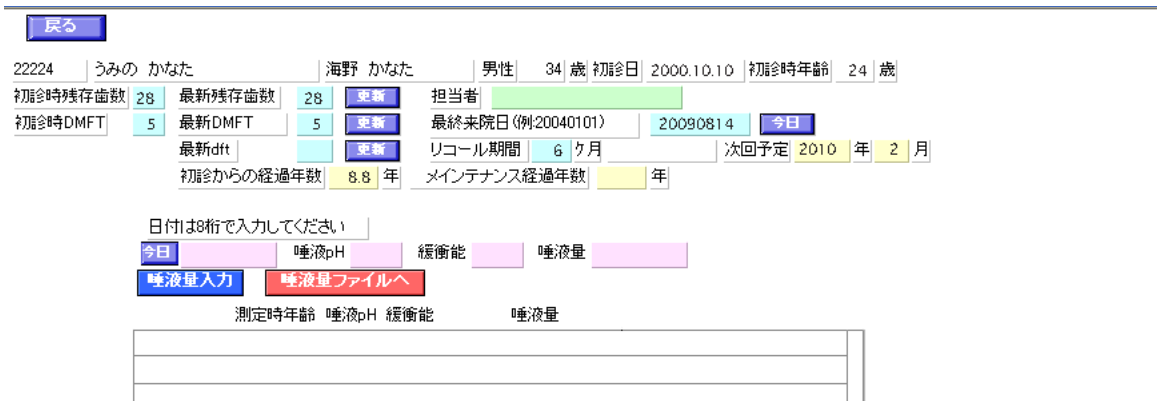
〈検査日〉は西暦で 8 桁の数字を入力します．以下，それぞれの項目にデータを入力していきます．“緑色のフィールド”は項目をプルダウンして該当項目をクリックします．〈スコア合計〉は自動的に表示されます．



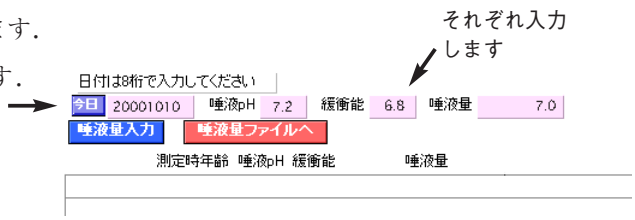
唾液量入力

唾液 PH，緩衝能，5 分唾液量のデータを蓄積します．

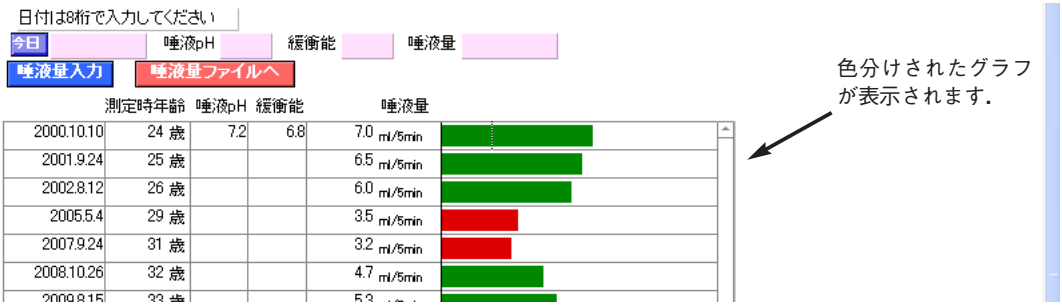
唾液分泌量 をクリックすると入力画面にジャンプします．



1. 日付を 8 桁で入力します．当日の場合は〈今日〉をクリックします．
2. 唾液 PH，緩衝能，唾液量をそれぞれ入力します．
3. 全てを入力後，唾液量入力 をクリックします．
   下の一覧にデータが入力されます．



唾液量が 3.5 以下の場合はグラフが赤で表示されます．それ以上の場合は緑で表示されます．変化を視覚的に患者さんに見せることができます．今回より，一覧に測定時の年齢も表示されるようになりました．



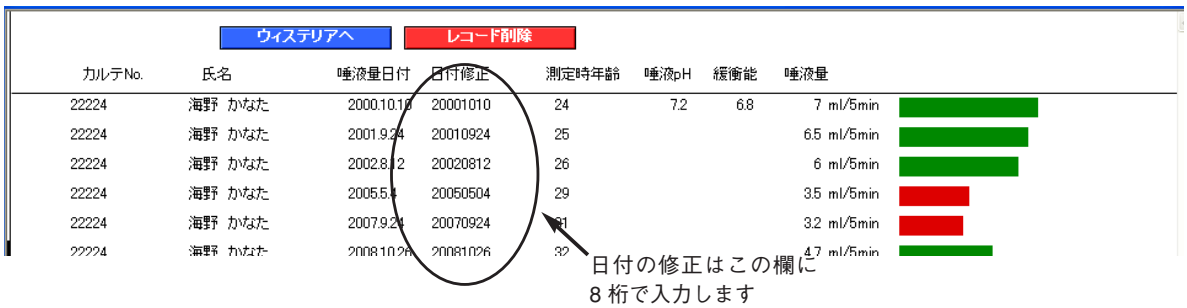
4. 入力したデータを修正するときは，唾液量ファイルを開いてから修正・削除します．

唾液量ファイルへ をクリックすると唾液量ファイルへジャンプします．

■唾液量ファイル

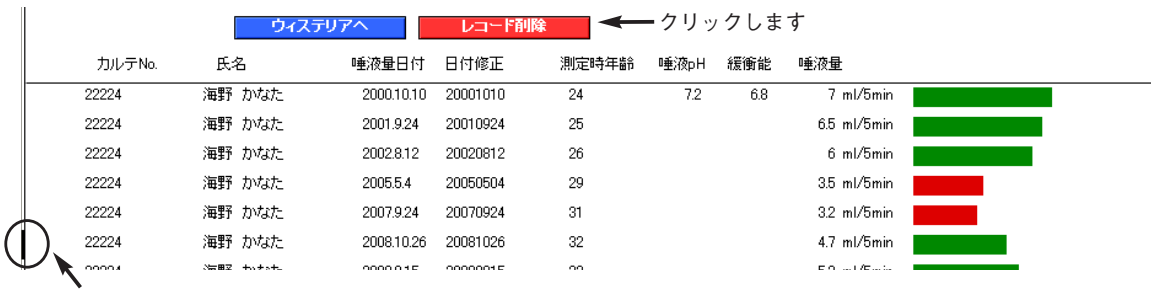
①：〈レコードの修正〉

日付の修正は〈日付修正〉欄に 8 桁の数字を入力します．その他の項目は直接入力します．

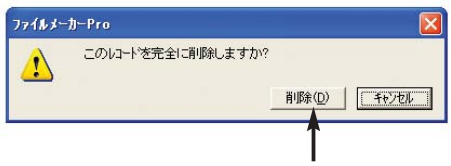


②：〈レコード削除〉

削除するレコードを選択し， レコード削除 をクリックします．



確認のダイアログボックスが開きますので，確認してから［削除（D）］をクリックします．一度削除すると元に戻せません．必ず確認してください．



ウィステリアへ をクリックし，〈唾液量〉画面へ戻り， 戻る をクリックすると〈う蝕〉画面へ戻ります．

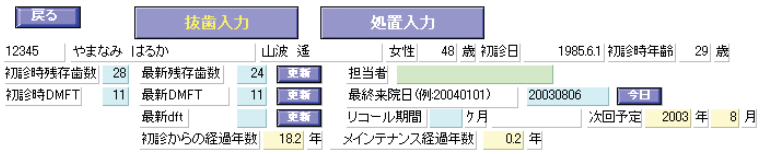
Attention

レコードを削除する際は，必ず削除するレコードか間違いがないかを確認してから削除してください．一度削除したレコードは元に戻せません．

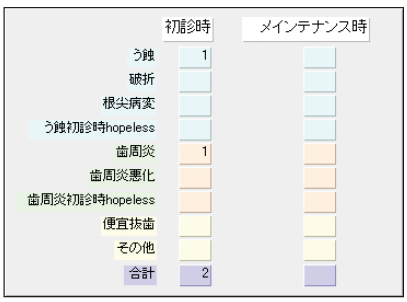
抜歯入力

抜歯入力 をクリックすると抜歯入力画面にジャンプします．

現在開いている画面の文字が黄色で表示されます．



基本データが表示されます．ここでは修正できません



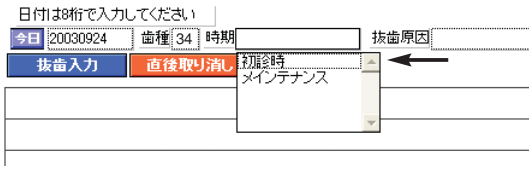
1. 日付を 8 桁で入力します．〈今日〉をクリックすると当日の日付が表示されます．

2. 歯種を入力します．

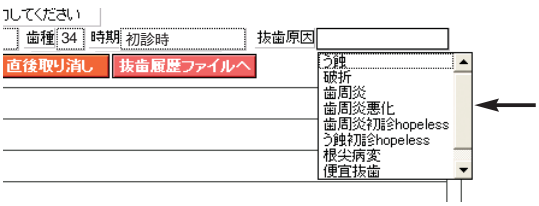
   歯種は下の FDI 方式で入力します．

18 17 16 15 14 13 12 11	21 22 23 24 25 26 27 28
48 47 46 45 44 43 42 41	31 32 33 34 35 36 37 38

3. 時期をクリックすると［ポップアップメニュー］が表示されますので，該当する項目を選びます．直接入力することもできます．



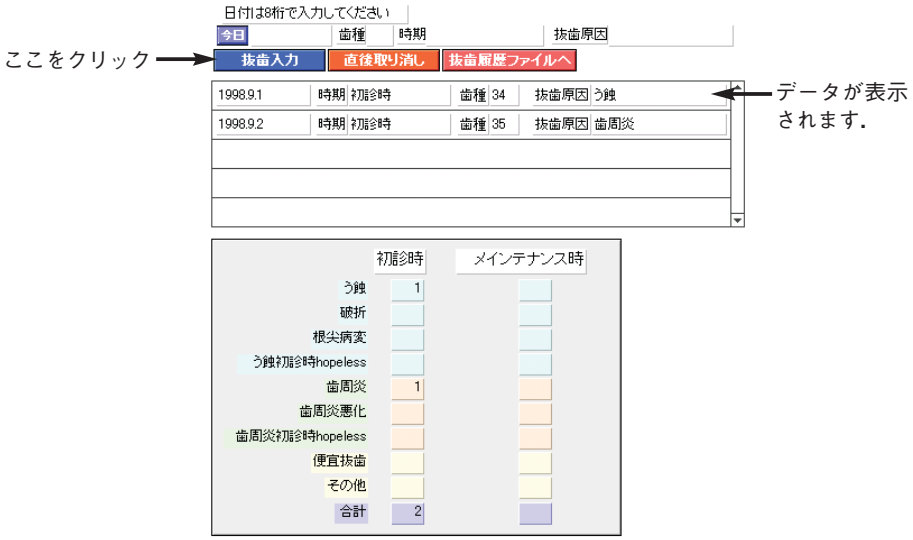
4. 抜歯原因を入力します．［ポップアップメニュー］が表示されますので，該当する項目を選びます．



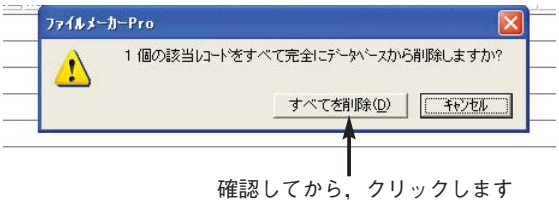
Attention

唾液量，抜歯履歴，処置履歴の基本データ部分はここでは変更できません．修正は〈基本〉画面で行ってください．

5. すべてを入力後，［抜歯入力］をクリックします．一覧表にデータが表示されます．また，下に時期別に原因別集計が自動集計されます．



6. 入力直後に取り消したい場合は，［直後取り消し］をクリックします．確認のダイアログボックスが開きますので，確認後［すべてを削除（D)］をクリックします．



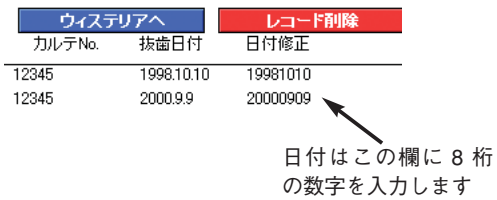
7. 以前に入力したデータの修正をするときは，「抜歯履歴ファイル」を開いてから修正・削除します．入力画面からは修正できません．

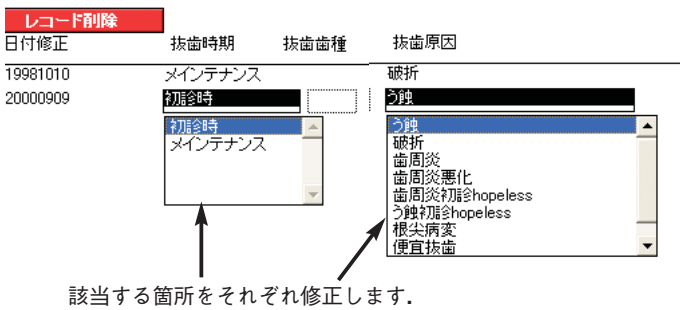
［抜歯履歴ファイルへ］をクリックすると「抜歯履歴ファイル」へジャンプします．

■抜歯履歴ファイル

①：〈レコードの修正〉

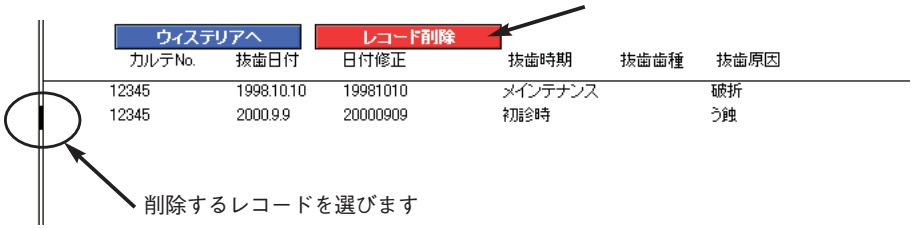
日付の修正は〈日付修正〉欄に 8 桁の数字を入力します．その他の項目は直接入力します．〈抜歯時期〉と〈抜歯原因〉は［プルダウンメニュー］になっていますので，該当するものを選択します．



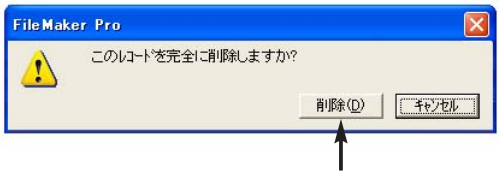


②：〈レコードの削除〉

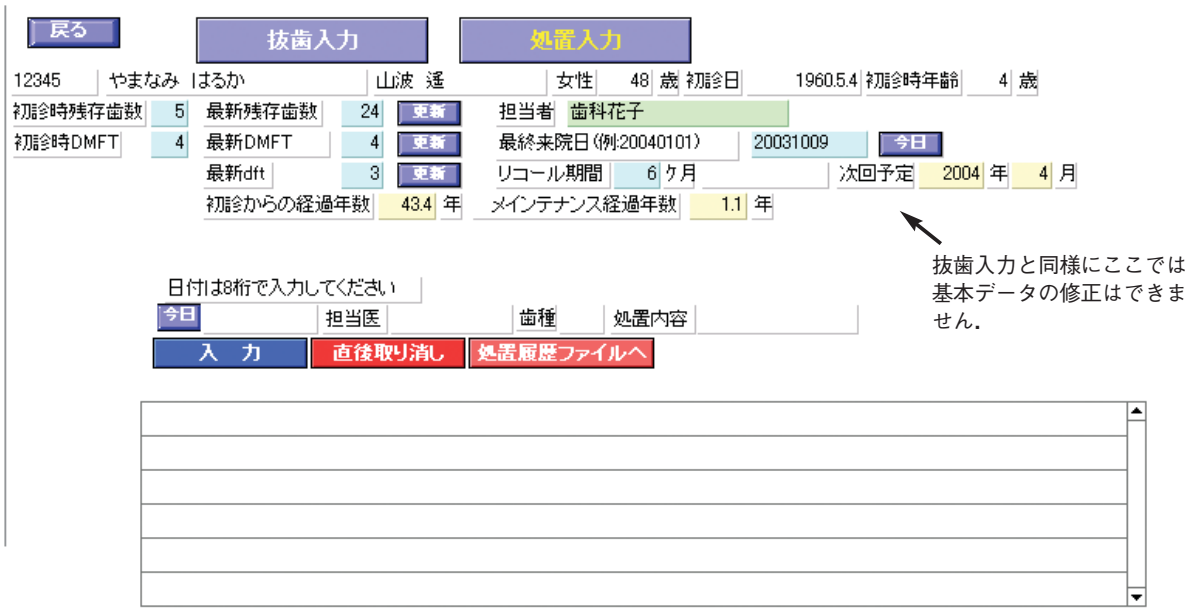
削除するレコードを選択し，レコード削除 をクリックします．



確認のダイアログボックスが表示されますので，確認してから［削除（D）］をクリックします．一度削除すると，元に戻せません．必ず確認してから，削除してください．

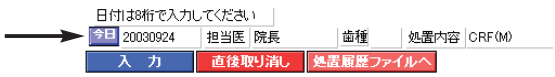


ウィステリアへ をクリックし，〈抜歯入力〉画面へ戻り，戻る をクリックすると，〈う蝕〉画面へ戻ります．



処置入力

処置入力 をクリックすると処置入力画面にジャンプします．

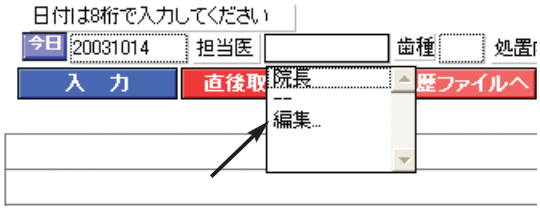


1. 日付を 8 桁で入力します．〈今日〉をクリックすると当日の日付が表示されます．

Attention

一度削除したデータは元に戻せません．データの削除の際には，必ず確認してください．また作業前にはバックアップをお取りください．

2. 担当医をクリックすると，［ポップアップメニュー］が表示されますので，該当する項目を選びます．〈う蝕〉画面の〈担当者〉の入力と同様に，［編集...］をクリックすると，値一覧「処置履歴担当医」の編集ダイアログボックスが開きますので，ここで編集できます．ここで使用している値一覧は「処置履歴ファイル」のものを共通で使用しています．



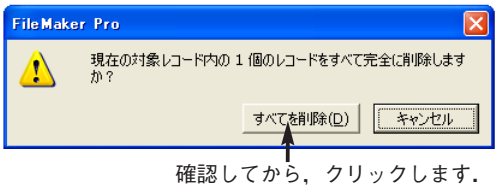
18	17	16	15	14	13	12	11	21	22	23	24	25	26	27	28
48	47	46	45	44	43	42	41	31	32	33	34	35	36	37	38

3. 歯種を右の FDI 方式で入力します．

4. 処置内容を入力します．ここも担当医と同様に［ポップアップメニュー］が表示されますので，該当項目を選びます．

5. すべてを入力後，［入　力］をクリックします．下の一覧表にデータが入力されます．

6. 入力直後に取り消したい場合は，［直後取り消し］をクリックします．確認のダイアログボックスが開きますので，確認後［すべてを削除（D)］をクリックします．



7. 以前に入力したデータの修正をする場合は，「処置履歴ファイル」を開いてから修正・削除します．〈抜歯〉の場合と同様に，入力画面からは修正できません．

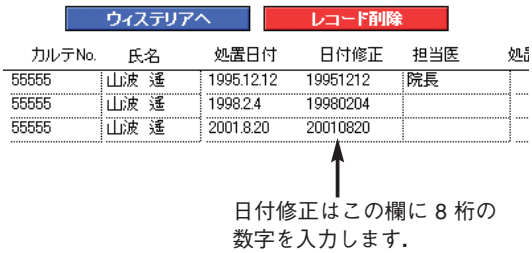
［処置履歴ファイルへ］をクリックすると「処置履歴ファイル」へジャンプします．

■処置履歴ファイル

①：〈レコードの修正〉

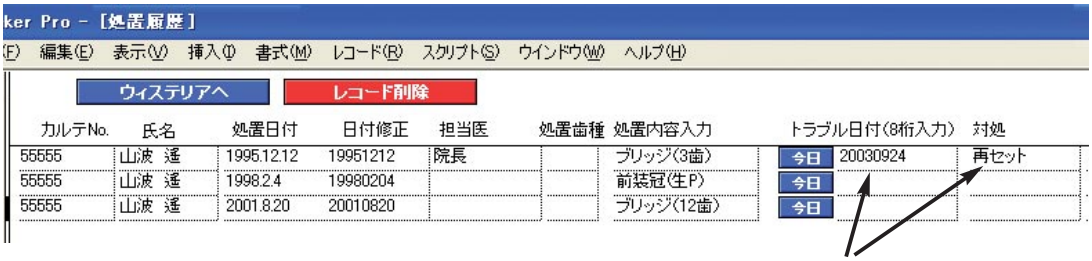
日付の修正は〈日付修正〉欄に 8 桁の数字を入力します．〈担当医〉と〈処置内容入力〉は［ポップアップメニュー］になっていますので，該当する項目を選びます．

〈担当医〉欄は処置入力画面と同様に編集が可能です．あらかじめ担当者の名前を入力しておきます．入力画面で使用した「担当 Dr」はこの値一覧を使用していますので，ここで編集したものは，《ウィステリア Pro》でも同じ表示になります．



②：〈トラブル発生〉

処置後，トラブルが発生した場合に追加入力します．この欄の入力は，「処置履歴ファイル」へ移動してから行います．〈処置入力〉画面では入力できません．

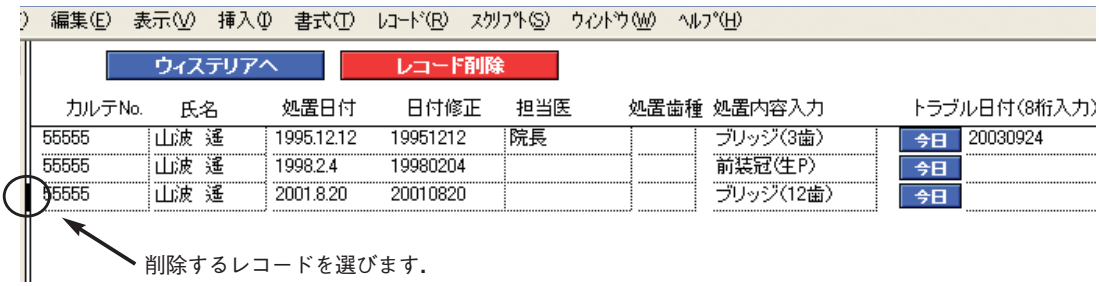


〈トラブル日付〉に 8 桁の数字を入力します．〈今日〉をクリックすると当日の日付が入力されます．

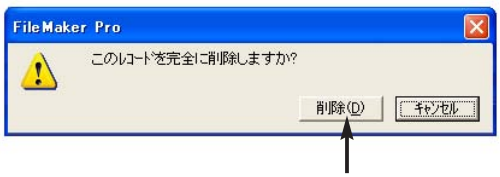
〈対処〉フィールドをクリックすると［ポップアップメニュー］が表示されますので，該当する項目を選択します．直接入力することも可能です．

③：〈レコードの削除〉

削除するレコードを選択し，レコード削除 をクリックします．



確認のダイアログボックスが表示されますので，確認してから．［削除（D）］をクリックします．一度削除すると，元に戻せません．必ず確認してから削除してください．



ウィステリアへ をクリックし，〈処置入力〉画面に戻ります．戻る をクリックして〈う蝕〉画面に戻ります．

Attention

〈抜歯入力〉〈処置入力〉画面は，〈う蝕〉画面に戻らずに，それぞれの画面からボタンをクリックして移動できます．

抜歯入力　処置入力

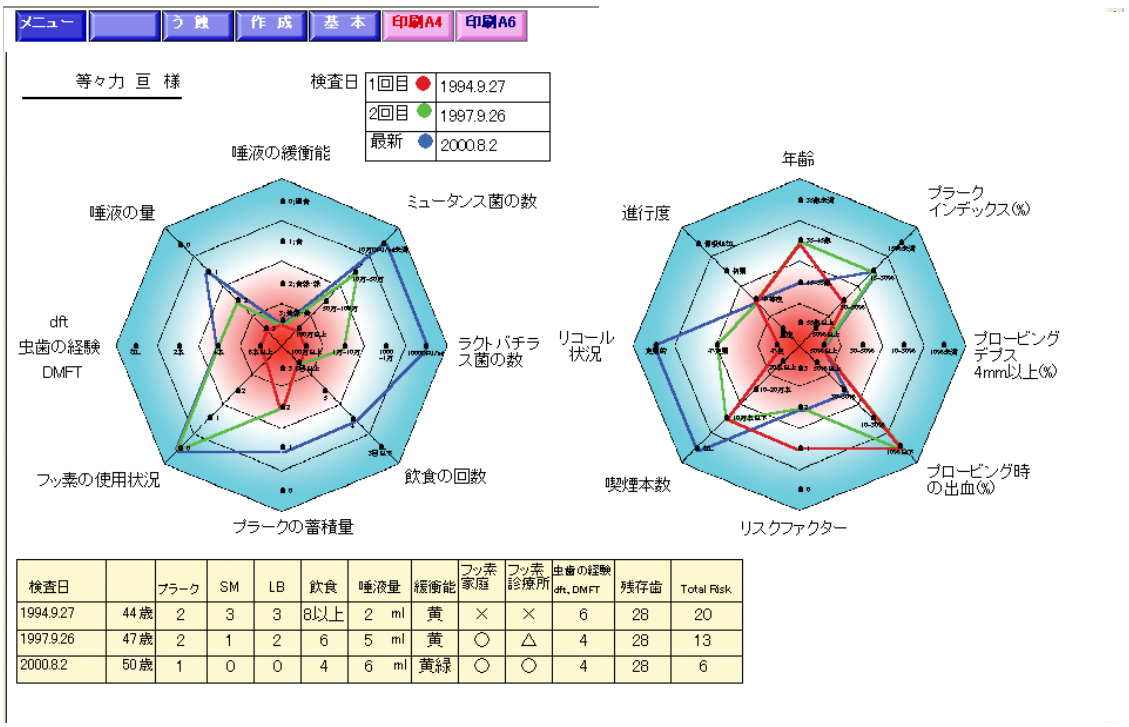
チャートボタンをクリックするとう蝕チャートが表示されます

〈う蝕チャート〉

〈チャート〉ボタンをクリックすると，該当患者の“レーダーチャート”が表示されます．検査結果を，それぞれ赤（1 回目），緑（2 回目），青（最新検査）で表示します．チャートの折れ線は，8 つの項目に未入力があると結ばれません．

このチャートは 3 回分を記録できるようになっています．初回と 2 回目は変更されずに表示されますが，3 回目以降は常に最新の情報のみが表示されます．患者が 5 回サリバテストを受けたとします．1 回目，2 回目の後は 5 回目が表示されるわけです．

同様に，レーダーチャートの下に入力済みのデータが表形式で表示されます．また〈う蝕のチャート〉では右側に歯周病のリスクチャートが表示されます．



検査日		プラーク	SM	LB	飲食	唾液量	緩衝能	フッ素家庭	フッ素診療所	虫歯の経験 dft, DMFT	残存歯	Total Risk
1994.9.27	44 歳	2	3	3	8以上	2 ml	黄	×	×	6	28	20
1997.9.26	47 歳	2	1	2	6	5 ml	黄	○	△	4	28	13
2000.8.2	50 歳	1	0	0	4	6 ml	黄緑	○	○	4	28	6

〈印刷 A4〉ボタンをクリックすると，印刷のダイアログボックスが表示されますので，A4 サイズの用紙にカラー印刷します．（ご使用の環境に合わせて印刷設定を行ってください．）この印刷ではう蝕のレーダーチャートのみが印刷されます．

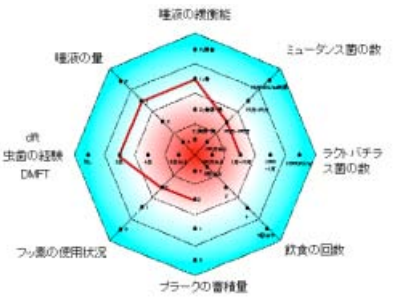
〈印刷 A6〉ボタンをクリックするとハガキサイズに印刷します．健康手帳などに，綴じることができます．ご利用ください．

このレーダーチャートで検査初回，2 回目，最新検査の比較ができます．患者さんにレーダーチャートを渡すことができます．

Attention

8 つの項目のなかで，1 つでも入力漏れがある場合，〈チャート〉ボタンをクリックしても，図中の折れ線を結ぶことができません．

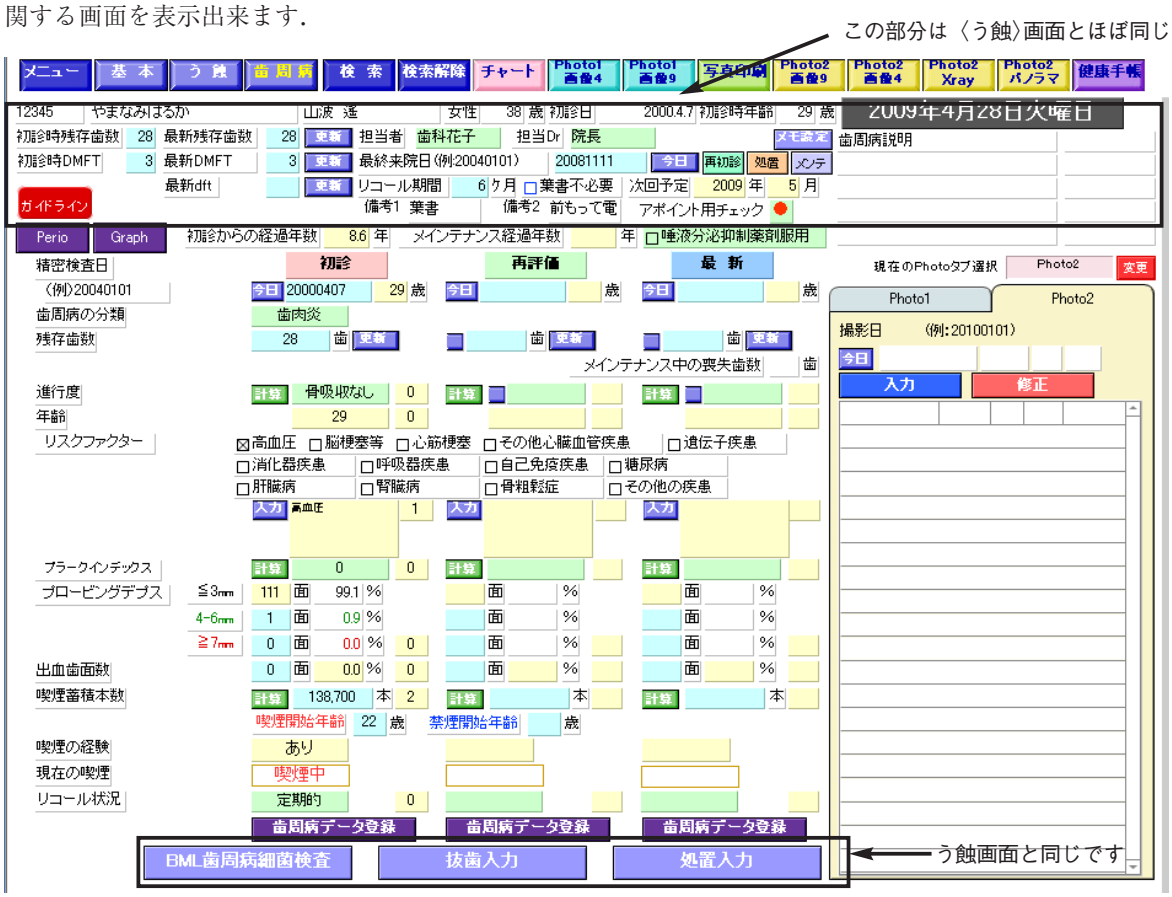
このレーダーチャートは，〈う蝕〉画面で選んだ患者 1 人分のレーダーチャートのみご覧になれます．他の人のレーダーチャートを見る場合は，〈基本〉画面から検索，または家族の来院状況から表示をさせてから，〈う蝕〉→〈チャート〉ボタンをクリックしてください．



5 〈歯周病〉画面

PerioAssistant を利用して精密検査データを全て蓄積できます．

立ち上がり画面の〈歯周病〉5をクリックするか，共通ボタン〈歯周病〉Ⓓをクリックすると歯周病に関する画面を表示出来ます．



データの入力方法は〈う蝕〉画面と同様，フィールドに色分けがされています．

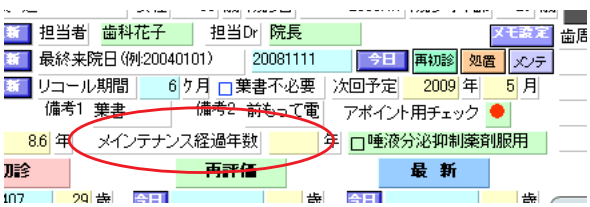
“水色のフィールド”は該当する文字または数字を自分で入力するフィールドです．“緑色のフィールド”は［ポップアップメニュー］から，該当するものを選んでください．“黄色のフィールド”は上記のデータが入力されると自動的に表示されます．このフィールドには直接データを入力する必要がありません．

患者データの入力

上記の〈基本〉データ部分は〈う蝕〉画面の基本データとほぼ同様（32 ページ参照）です．

〈メインテナンス経過年数〉

〈歯周病〉画面に追加されているフィールドです．2 回目の精密検査日から〈最終リコール年月日〉までの経過年数を表します．



■現在の Photo タブ選択

Photo タブの優先表示を切り替えます

〈変更〉ボタンをクリックするごとに「Photo2」と「Photo1」を切り替えます．初期設定では「Photo2」となっています．初期設定画面でも変更できます（88 ページ参照）．

精密検査データの入力

この検査データは 3 回分を表示できるようになっています．初回と 2 回目は変更されずに表示できますが，3 回目以降は常に最新の情報のみが表示されます．患者が 5 回歯周病の精密検査を受けたとしますと，1 回目，2 回目のあとは 5 回目が表示されるわけです．

ここに入力された数値からレーダーチャートが作成されます．

■ PerioAssistant

《ウィステリア Pro3.0》より〈PerioAssistant〉という機能が加わりました．〈PerioAssistant〉を使用することですべてのデータを蓄積することが可能です．また，精密検査データをより視覚的に出血点，プロービングの深さ，出血点 4-6mm ・ 7mm 以上の割合を表示できます．〈PerioAssistant〉の使い方は次の 2 通りになります．

A

ウィステリアに精密検査データを入力し，それを〈PerioAssistant〉に蓄積していく．

➪ 詳細 51 ページ

利点：すべての回数のデータを蓄積可能．

出血点などのグラフを使い変化をみることができる．

B

〈PerioAssistant〉ですべてのポケットデプス，出血点などを入力し，そのデータをウィステリアに表示させる．**➪ 詳細 59 ページ**

利点：詳細なデータをパソコンで管理できる．

イラスト画面で患者に視覚的に見せることができる．

A と同様に出血点などのグラフを使って変化をみることができる．

どちらかの方法を選択し使用します．

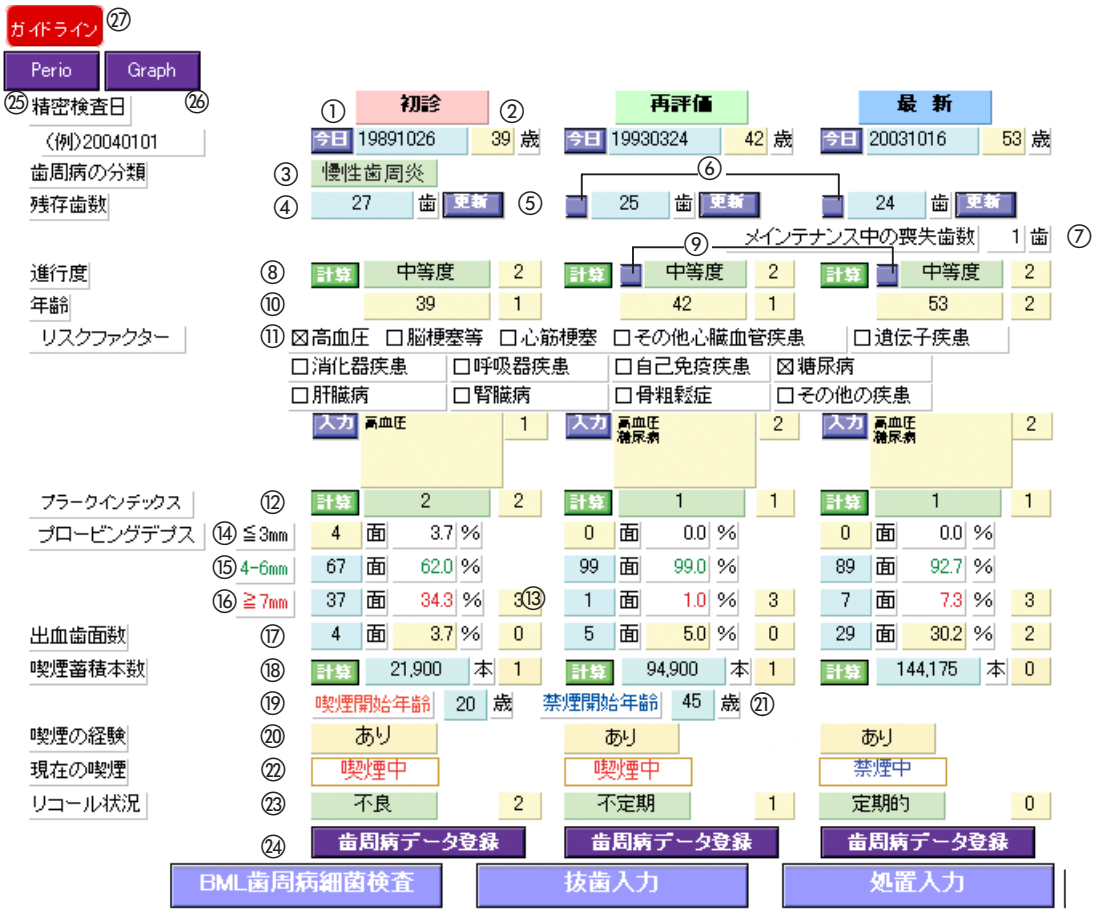
ひとりの患者さんのデータで **2 つの使い方を混在することはできません**（注）．データが正しく蓄積されなくなります．

まず，A の使い方を解説していきます．

注 ある時期を境にしてそれ以降の患者さんについてのデータの入力方法を変えることは可能です．
たとえば，「2004 年 3 月末までの初診患者さんは，A の方法で入力していたが，2004 年 4 月からの初診患者さんについては B の方法の入力に切り替える」というように，ひとりの患者さんのデータについて一貫した入力方法であればよいわけです．

旧ヴァージョン（Photo2.2 以前）のウィステリアのデータはコンバートして〈PerioAssistant〉で使用可能です．

A ウィステリアにデータを入力し，〈PerioAssistant〉に蓄積する．



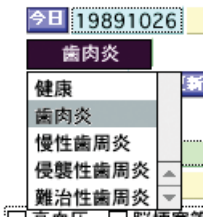
①：〈精密検査日〉

このフィールドに実施日を西暦 8 桁で入力します．今日 ボタンをクリックすると当日の日にちに更新されます．（㊟ 検査日が入力されていないと他のデータが正しく表示されない場合があります）

②：入力は不要です．① のフィールドに検査日が入力されると，年齢が“黄色のフィールド”に表示されます．基本データに生年月日が入力されていないと表示されません．

③：〈歯周病の分類〉

歯周病の分類のフィールドは［ポップアップメニュー］です．そのフィールドをプルダウンすると歯周病のタイプが表示されます．健康，歯肉炎，慢性歯周炎，侵襲性歯周炎，難治性歯周炎の 5 つのタイプに分類されます．該当するものを選びます．（下注参照）



④⑤⑥：〈残存歯数〉

④ に残存歯数を入力します．残存歯数を入力して ⑤ の更新ボタンをクリックすると基本データの最新残存歯数（33 ページ ③）も更新されます．⑥ のボタンをクリックすると前回の検査日と同じ残存歯数が入力されます．このフィールドが空欄のままですと〈出血歯面数〉に歯面数を入力しても，プラークインデックスの計算結果やプロービングデプスの割合が正しく表示されません．また集計をとる際にも正しいデータが集計されなくなります．ご注意下さい．

Attention

歯周病の分類は，2.2 以前のウィステリアでは 4 分類で表示されていました．2.2 以前の《ウィステリア Pro》をご使用の方はコンバート終了後，初期設定画面の「PerioAssistant にデータを移す」ボタンをクリックすることにより変換されます．“成人型歯周炎”は“慢性歯周炎”に，“早期発現型”は“侵襲性歯周炎”に変換されます．ただし，“健康”は入力されません．

⑦：〈メインテナンス中の喪失歯数〉

〈メインテナンス中の喪失歯数〉は，最新の残存歯数から 2 回目の残存歯数を引いて表示されます．ただし，最新の〈残存歯数〉が入力されていないと表示されません．

⑧：〈進行度〉

各歯における歯周病の進行度を下記に沿って算出し，全歯の平均で算出します．

［ポップアップメニュー］ですので，該当する欄をクリックしてください．カテゴリーは「骨吸収なし，初期，中等度，重度」の 4 つに分けてあります．このいずれかを選ぶと，右欄の“黄色のフィールド”に次のような数値で分類されます．これは集計をとる際に必要となる数値です．

0：骨吸収なし
1：歯根の 1/3 未満の骨吸収（初期）
2：歯根の 1/3 以上 1/2 未満の骨吸収（中等度）
3：歯根の 1/2 以上の骨吸収（重度）

また，［ポップアップメニュー］を選ばなくても ⑧ の 計算 をクリックして計算から入力もできます．

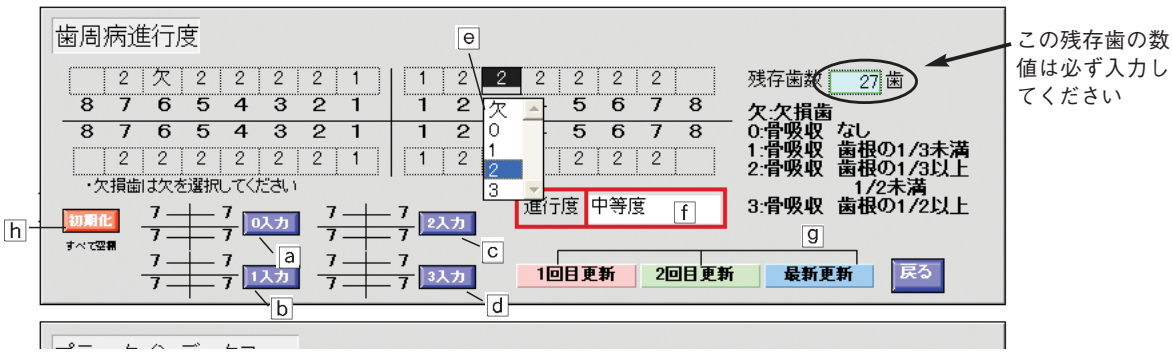
■進行度の計算

計算 をクリックすると「計算画面」にジャンプします．この画面は〈歯周病進行度〉〈プラークインデックス〉〈喫煙蓄積本数〉の計算画面になります．ここでは上段の〈歯周病進行度〉に入力します．

a の 0入力 は，全歯が骨吸収のない場合にクリックします．同様に b の 1入力 は，全歯が歯根の 1/3 未満の骨吸収（初期）の場合，c の 2入力 は，全歯の歯根の 1/3 以上 1/2 未満の骨吸収（中等度）の場合，d の 3入力 は，全歯の歯根の 1/2 以上の骨吸収（重度）の場合に使用します．歯によって数値が異なる場合は，e のようにそれぞれの歯の欄をクリックして，［ポップアップメニュー］から該当する値を選びます．また，**右上の残存歯数は必ず入力してください．**

すべての項目を入力すると f に進行度が表示されます．残存歯が入力されていないと表示されません．該当する更新ボタン（1 回目の更新なら g の〈1 回目更新〉）をクリックすると，〈歯周病〉画面に戻り，進行度のフィールドも更新されています．〈更新〉ボタンをクリックせずに 戻る ボタンで〈歯周病〉画面に戻ると進行度は変更されません．

h をクリックすると記入した数値は初期化されて，全歯が空欄になります．



Attention　検査項目フィールドを選択または入力すると，その判定の数値が右側の黄色のフィールドに自動的に表示されます．この黄色のフィールドは集計をとる際に必要になります．

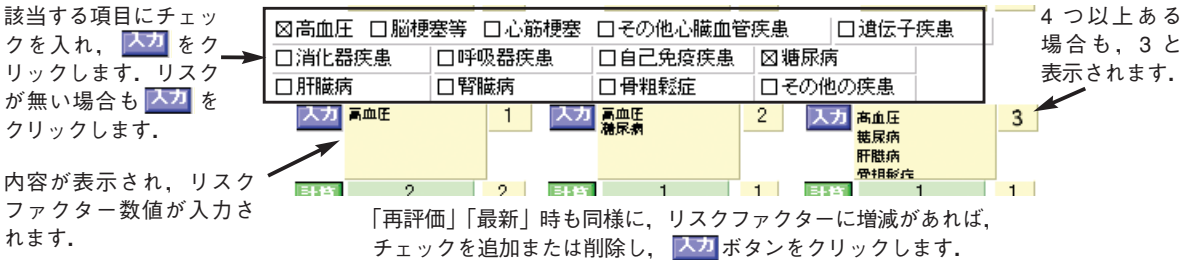
⑨：ボタンをクリックすると前回の検査日と同じ歯周病の進行度が入力されます．

⑩：患者の年齢は“黄色のフィールド”ですから入力の必要はありません．集計をとる際に年齢は，「35 歳未満」，「35 歳以上 45 歳未満」，「45 歳以上 55 歳未満」，「55 歳以上」の 4 つに分類されます．

⑪：〈リスクファクター〉

危険因子の数で分類します．危険因子は，歯周病に影響を与える全身疾患の数で判断します．

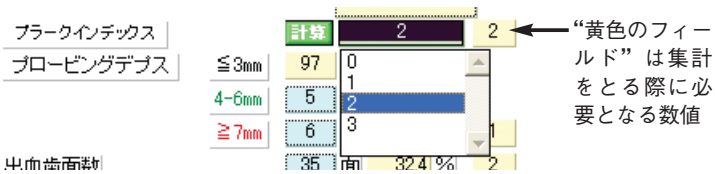
チェックリストが追加され，入力が便利になりました．該当する項目をチェックして，入力ボタンをクリックすれば，自動で表示されます．**リスクファクターがない場合も入力ボタンをクリックし，「0」を表示させます．**この欄が空白になっていると集計に反映されなくなり，チャートを表示したときに，線が結ばれなくなります．必ず入力をクリックしてください．



⑫：〈プラークインデックス〉

全歯面数におけるプラーク付着部位の割合（%）で分類します．次のように 0 から 3 のカテゴリーに分類されます．［ポップアップメニュー］ですので，該当するカテゴリーを選択してください．

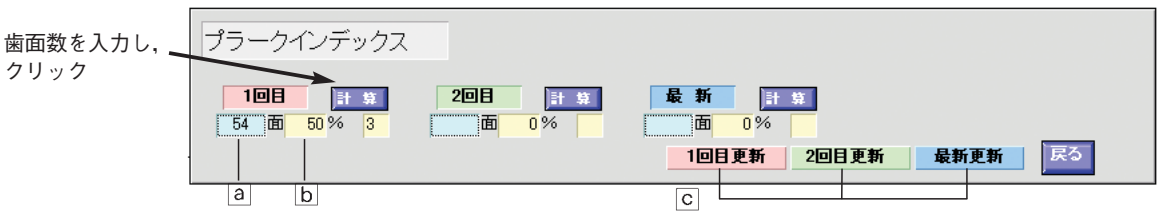
0 ： 15 %未満
1 ： 15 %以上 30 %未満
2 ： 30 %以上 50 %未満
3 ： 50 %以上



また，［ポップアップメニュー］を選ばなくても左の計算をクリックして計算から表示もできます．

■プラークインデックスの計算

計算をクリックすると「計算画面」にジャンプします．進行度計算をした画面と同じです．中段の〈プラークインデックス〉に入力します．

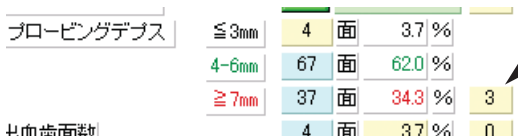


aの水色のフィールドにプラーク付着部位の歯面数を入力し計算をクリックします．〈計算〉ボタンをクリックしないと，bの%フィールドは表示されません．%のフィールドに数値が表示されたのを確認し，cの該当する〈更新〉ボタンをクリックします．〈歯周病〉画面に戻り，プラークインデックスが更新されているのを確認してください．〈更新〉ボタンをクリックしないまま戻るをクリックすると進行度は更新されません．

⑬：〈プロービングデプス〉

入力の必要はありません．プロービングデプス 4-6 とプロービングデプス≧ 7 に入力された全歯面数の割合（%）で分類され，以下のように分類されて“黄色のフィールド”に表示されます．これは集計をとる際に必要となる数値です．〈残存歯数〉が入力されていないと正しく表示されません．

0 ： 10 %未満
1 ： 10 %以上 30 %未満
2 ： 30 %以上 50 %未満
3 ： 50 %以上



“黄色のフィールド”は集計をとる際に必要となる数値

⑭：〈プロービングデプス≦ 3〉

プロービングデプス 3 mm 以下の全歯面数を表しますが，“黄色のフィールド”になっているので入力の必要はありません．これはその下の〈プロービングデプス 4-6〉と〈プロービングデプス≧ 7〉の全歯面数を入力すると残存歯数から計算して表示されます．ただし〈残存歯数〉が入力されていないと％は表示されませんので，〈残存歯数〉が入力されていることを確認してください．

⑮：〈プロービングデプス 4-6〉

プロービングデプス 4 mm 以上 7 mm 未満の全歯面数を入力してください．

⑯：〈プロービングデプス≧ 7〉

プロービングデプス 7 mm 以上の全歯面数を入力してください．

⑰：〈出血歯面数〉

全歯面数におけるプロービング時の出血部位の歯面数の合計を入力します．数値に基づいて“黄色のフィールド”に 0 から 3 までのカテゴリーに分類されます．ただし〈残存歯数〉が入力されていないと％は表示されませんので，〈残存歯数〉が入力されていることを確認してください．

0 ： 10 %未満
1 ： 10 %以上 30 %未満
2 ： 30 %以上 50 %未満
3 ： 50 %以上

“黄色のフィールド”は集計をとる際に必要となる数値

⑱：〈喫煙蓄積本数〉

検査時までの蓄積本数を入力します．喫煙本数は喫煙蓄積本数で分類します．喫煙本数 /1 日× 365 ×喫煙年数で算出します．

右側の“黄色のフィールド”の数値は，喫煙本数から次のような 0 から 3 のカテゴリーに分類された数値です．〈集計〉画面の〈歯周病リスク集計〉で表示される数値となります．この数値は喫煙本数を入力すると表示されます．喫煙の有無を入力します．

0 ：喫煙経験なし
1 ：蓄積本数 10 万本未満
2 ：蓄積本数 10 万本以上 20 万本未満
3 ：蓄積本数 20 万本以上

また，左の 計算 をクリックして，計算から表示することができます．

Attention

〈プロービングデプス 4-6〉〈プロービングデプス≧ 7〉と〈出血歯面数〉を入力したら，必ず〈残存歯数〉が入力されていることをご確認ください．

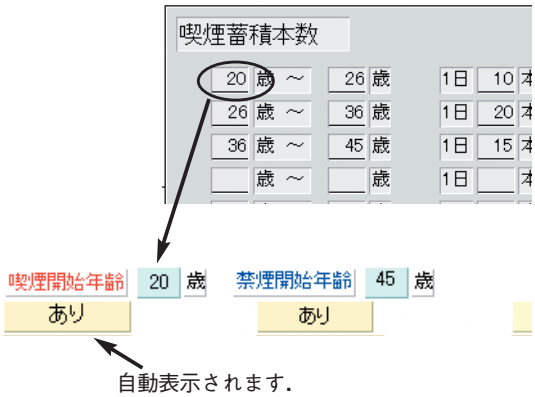
■喫煙蓄積本数の計算

計算 をクリックすると「計算画面」にジャンプします．進行度計算をした画面と同じです．下段の〈喫煙蓄積本数〉に入力します．

a精密検査 1 回目，喫煙年数と 1 日当たりの平均喫煙本数を入力し，b 計算 をクリックします．赤枠内に喫煙蓄積本数が表示されます．c〈更新〉のボタンをクリックして〈歯周病〉画面に戻ります．このとき，〈歯周病画面〉の喫煙蓄積本数も更新されます．2 回目の計算をするときは，dbcの手順になります．b 計算 をせずに〈更新〉ボタンをクリックしたり，〈更新〉ボタンをクリックしないまま 戻る をクリックすると喫煙本数は更新されません．

⑲ ：〈喫煙開始年齢〉

喫煙を始めた年齢を入力します．⑱ で計算を使用した場合は，最初の喫煙年数に入力した年齢が自動的に表示されます．



⑳ ：〈喫煙の経験〉

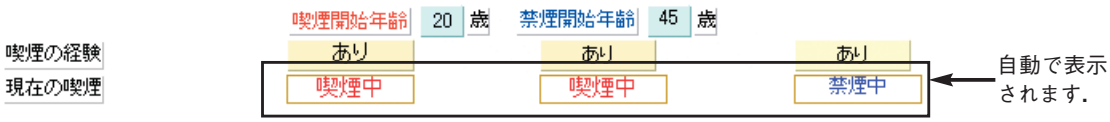
入力の必要はありません．〈喫煙開始年齢〉に年齢を入力すると〈あり〉が表示され，空白の時は〈なし〉が自動で表示されます．基本データに「生年月日」が入力されていないと表示されません．

㉑ ：〈禁煙開始年齢〉

喫煙者だった人が禁煙を開始した年齢を入力します．

㉒ ：〈現在の喫煙〉

入力の必要はありません．〈喫煙開始年齢〉〈禁煙開始年齢〉を入力すると，〈喫煙中〉〈禁煙中〉と文字の色が変わって表示されます．喫煙の経験がない場合は〈なし〉と表示されます．



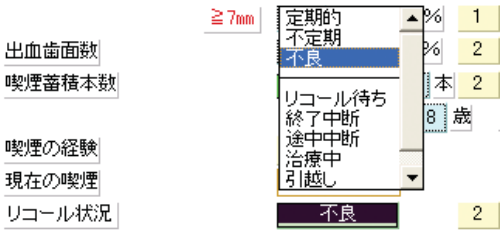
Attention　基本データに漏れがあると集計用のフィールドに反映されなくなります．ご注意ください．

㉓：〈リコール状況〉

リコールの状態を，〈定期的〉〈不定期〉〈不良〉〈リコール待ち〉〈終了中断〉〈途中中断〉〈治療中〉〈引越し〉〈その他〉の 9 つに分類します．［ポップアップメニュー］になっていますので，該当する項目を選択します．

右欄の“黄色のフィールド”の数値は集計をとる際に必要な数値です．集計されるのは，〈定期的〉〈不定期〉〈不良〉の 3 つで，それ以外を選ぶと数値は空欄のままで，集計には反映されません．（チャートの線も結ばれなくなります．）メモとしてお使いください．

0 ：定期的な来院
1 ：不定期的な来院（不定期）
2 ：疼痛等不快感のあるときのみ来院（不良）

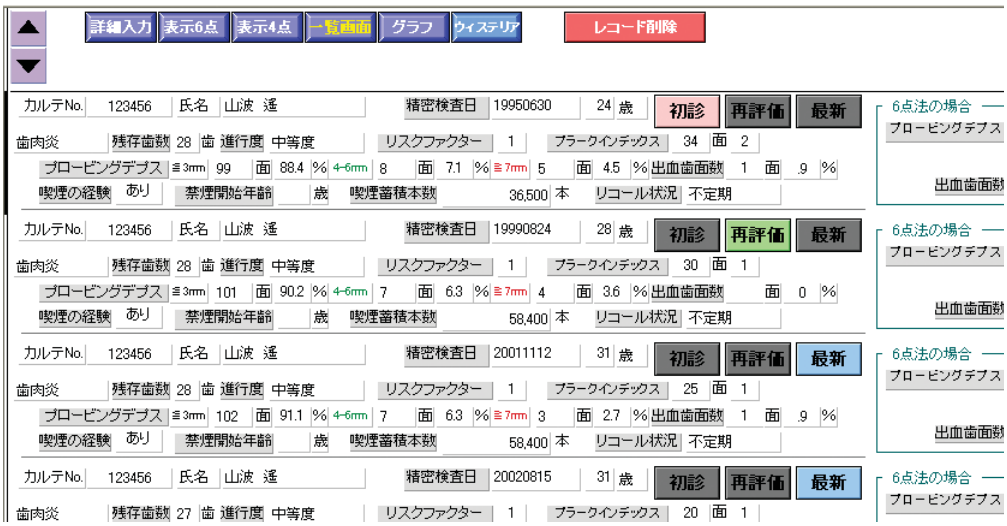


㉔：〈歯周病データ登録〉

① ～ ㉓ すべて入力ができましたら，［歯周病データ登録］をクリックします．これをクリックすることで，検査データが〈PerioAssistant〉に蓄積されます．クリックする度ごとに〈PerioAssistant〉にデータが蓄積されていきます．誤って余分にクリックした場合は〈PerioAssistant〉ファイルから不要なレコードを削除します．

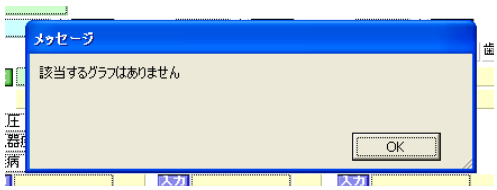
㉕：〈PerioAssistant〉ボタン

［Perio］をクリックすると〈PerioAssistant〉ファイルにジャンプします．蓄積されたデータが一覧で表示されます．



㉖：〈Graph〉ボタン

［Graph］をクリックすると〈PerioAssistant〉の「グラフ」画面に移動します．〈PerioAssistant〉に該当するカルテがない場合は，エラーダイアログが表示されますので，［OK］します．



㉗：〈ガイドライン〉ボタン

クラス分類ガイドラインを表示します（39 ページを参照）．

■ PerioAssistant

ここで使用する〈PerioAssistant〉について順に解説していきます．

①：〈詳細入力〉

詳細なデータを入力する際に使用します．ウィステリアからデータを蓄積させる場合は，このボタンは使用しません．（使用方法は 59 ページからの B 詳細データ入力を参照ください）

②③：〈表示 6 点〉〈表示 4 点〉

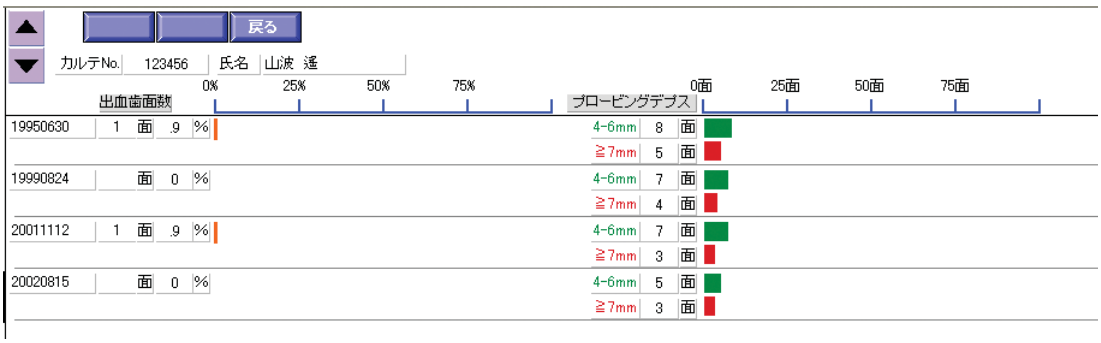
詳細データを表示させる際に使用します．ここでは使用しません．

④：〈一覧表示〉

今までに入力されたデータが一覧で表示されます．ウィステリアから Perio ボタンで移動すると表示される画面です．

⑤：〈グラフ〉

〈出血面数〉と〈プロービングデプス〉を棒グラフで表示します．過去の記録と比較でき，患者さんに視覚的に見せることが可能です．ウィステリアから Graph ボタンで表示できます．



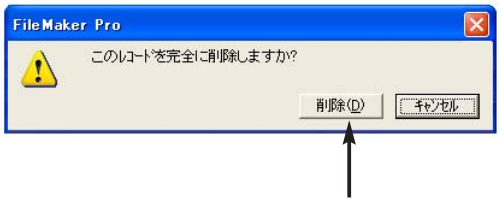
⑥：〈ウィステリア〉

〈歯周病〉画面に戻ります．

⑦：〈レコード削除〉

ウィステリアからデータを入力する際に，〈歯周病データ登録〉ボタンを複数回押してしまったり，間違ったデータを入力した場合，ここから削除します．

削除したいレコードを選び，レコード削除ボタンをクリックします．確認のダイアログボックスが表示されますので，確認して［削除（D）］をクリックします．一度削除すると元に戻すことはできません．削除するレコードは必ず確認してください．



⑧：レコードを移動する際に使用します．

⑨：6 点法の場合のプロービングデプスと出血歯面数

6 点法で入力した場合に表示されます．ここでは空欄になります．

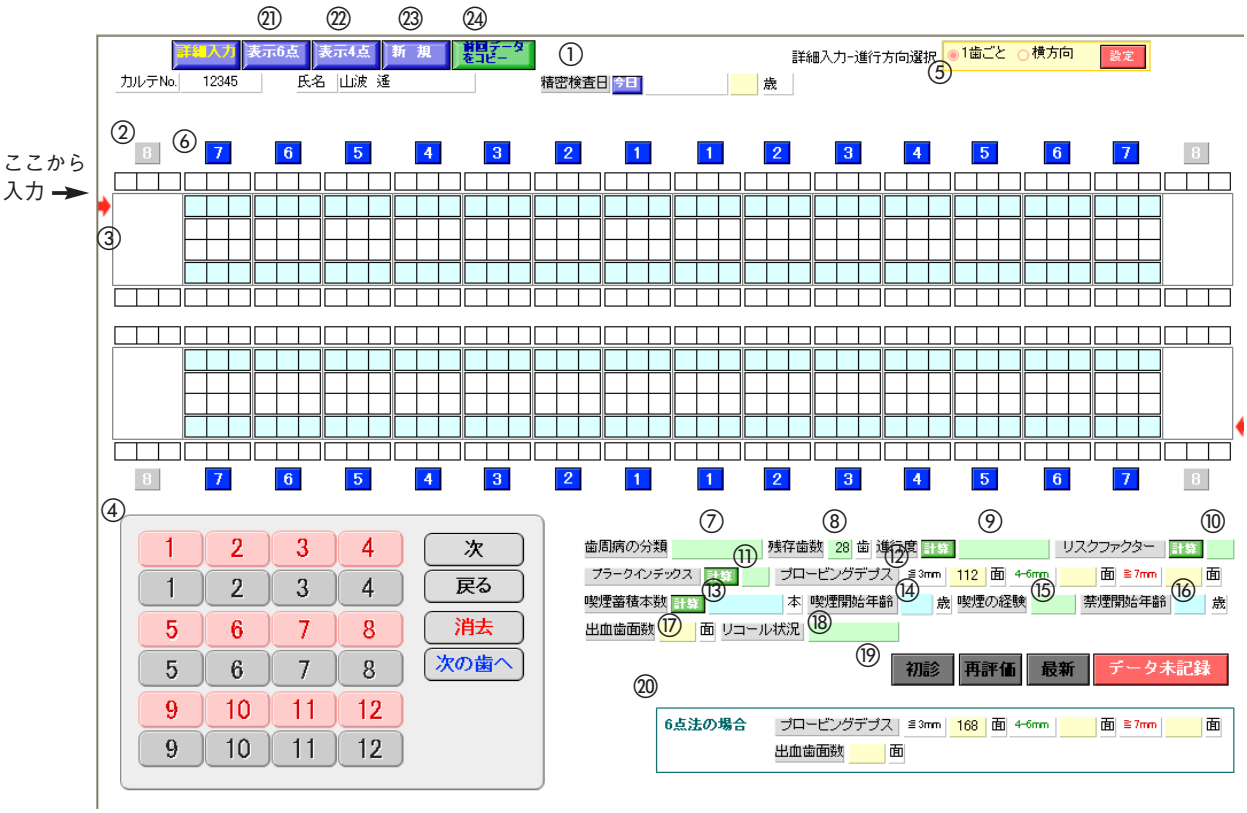
Attention

レコードを削除すると，元に戻すことができなくなります．レコードの削除にあたっては，間違いないか必ず確認してください．また作業を進める際には，予めバックアップ（ファイルをコピーし，別に保存）して作業してください．

B〈PerioAssistant〉に詳細データを入力し，ウィステリアで表示させる

〈歯周病〉画面から Perio をクリックし，〈PerioAssistant〉の〈一覧画面〉へ移動します．カルテ No.と氏名のみ入力されたレコードが表示されます．詳細入力 をクリックし〈入力画面〉を表示します．

■ PerioAssistant 詳細データ入力



① ：〈精密検査日〉

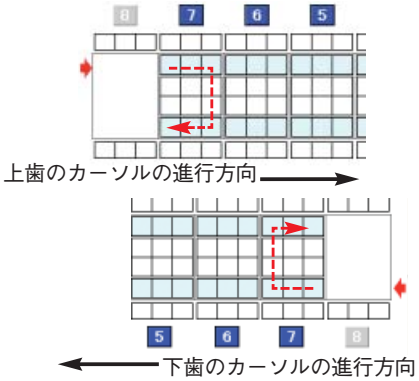
精密検査をした日を 8 桁で入力します．当日の場合は 今日 をクリックします．この日付を入力すると年齢が表示されます．

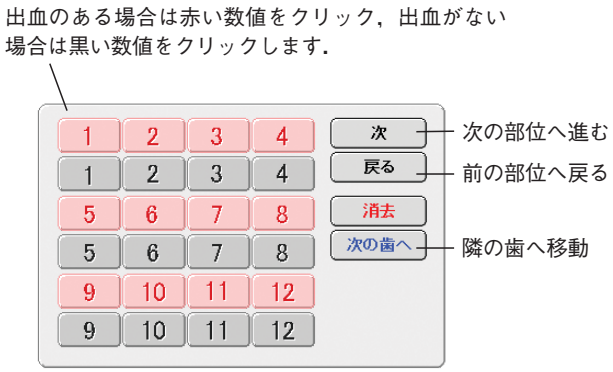
② ：〈欠損歯〉入力

青色の歯種を表すボタンをクリックするとグレー（欠損）表示になります．⑦ 残存歯数は，ここでグレーになった歯を減算します．智歯はデフォルトでは欠損にしていますが，歯種ボタンをクリックすれば表示されるようになります．ただし，残存歯数には含まれません．

③④：〈プロービング値〉入力〈数値ボタン〉

右上 8 遠心（左の赤い矢印）から入力していきます．④ の数値ボタンを使用するとマウスから入力が行えます．数値をクリックし入力すると，順に次の部位へカーソルが移動します．〈次の歯へ〉をクリックすると，隣の歯へ移動します．

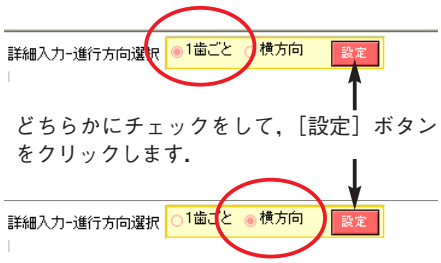


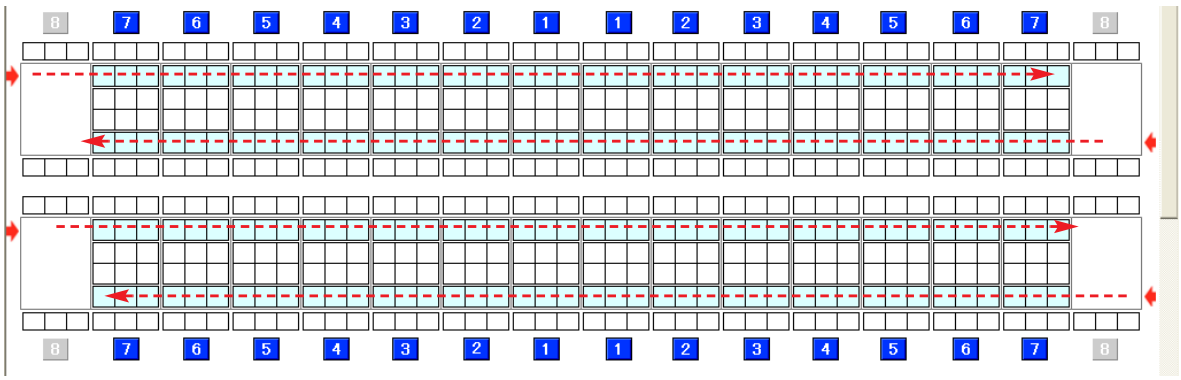


⑤：〈入力進行方向選択〉

詳細入力のカーソルの移動を一歯または横方向へ移動するか選択できるようになりました．横方向を選ぶとカーソルは下のように移動します．

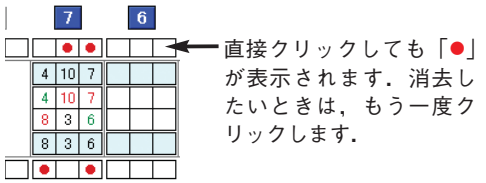
㊟ 初期設定は 1 歯ごとになっています．





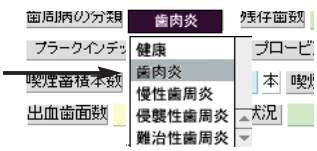
⑥：〈出血点〉入力

出血点を入力します．数値ボタンで入力するときに，赤い数値を入力すると該当箇所に「●」が表示されます．ボックスを直接クリックしても「●」は表示されます．



⑦：〈歯周病の分類〉

［ポップアップメニュー］になっています．該当する項目を選びます．〈歯周病〉画面での入力と同じです．



Attention

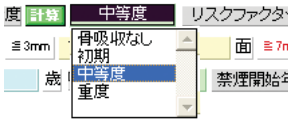
プロービング値をマウスで入力している最中にパソコンがフリーズ等した場合，入力途中のデータは，保存されていない場合があります．画面のデータを書き留めてからパソコンを再起動してください．

⑧：〈残存歯数〉

② の欠損歯を入力すると自動計算されますので，入力は不要です．

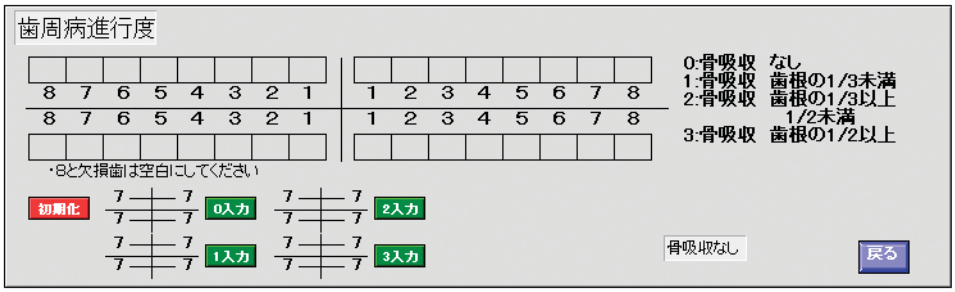
⑨：〈進行度〉

［ポップアップメニュー］になっていますので，該当する項目を選びます．〈歯周病〉画面での入力と同じです．



計算 をクリックすると計算画面にジャンプします．

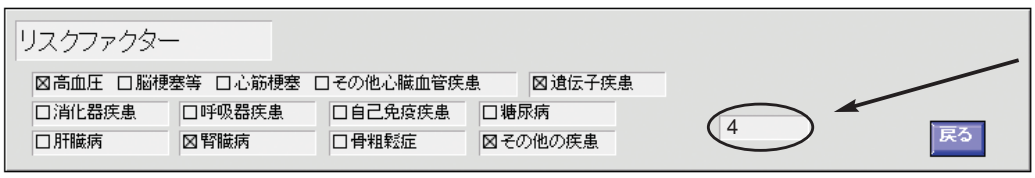
〈歯周病画面〉の〈進行度計算〉とほぼ同じです，必要な数値を入力し 戻る をクリックして戻ります．（52 ページ参照）



⑩：〈リスクファクター〉

計算 をクリックし，〈計算画面〉へジャンプします．該当する項目にチェックを入れると，因子個数が自動表示されます．〈戻る〉をクリックし，〈入力画面〉に戻ります．リスクファクター欄に表示されていることを確認してください．

リスクファクターが何もない場合は［ポップアップメニュー］から「0」を選びます．ここが空欄のままですと，チャートが正しく表示されなくなります．必ず「0」か数値を入力してください．



個数が表示されます．

4 つ以上の場合も「3」が表示されます．

⑪：〈プラークインデックス〉

全歯面数におけるプラーク付着部位の割合（%）で分類します．右のように 0 から 3 のカテゴリーに分類されます．［ポップアップメニュー］で該当する値を選択してください．

0 ： 15 %未満
1 ： 15 %以上 30 %未満
2 ： 30 %以上 50 %未満
3 ： 50 %以上

計算 をクリックすると計算画面にジャンプします．

プラーク付着部位の歯面数を入力し 計 算 をクリックします．割合とカテゴリーの数値が表示されたのを確認して，戻ります．

⑫ ：〈プロービングデプス〉

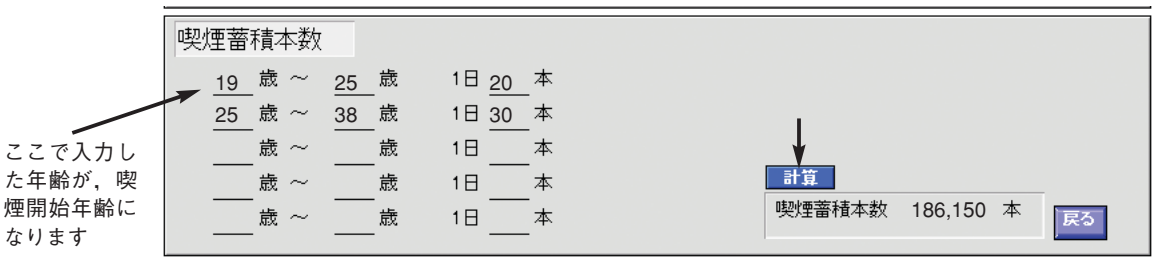
ここは入力の必要はありません．③ で入力をすると集計されて表示されます．

⑬ ：〈喫煙蓄積本数〉

検査時までの蓄積本数を入力します．喫煙本数は喫煙蓄積本数で分類します．喫煙本数 /1 日× 365 ×喫煙年数で算出します．

左の 計算 をクリックして，計算から表示させることができます．

喫煙年数と一日当たりの平均喫煙本数を入力し， 計 算 をクリックします．喫煙蓄積本数が表示されたのを確認してから 戻る をクリックします．



⑭ ：〈喫煙開始年齢〉

喫煙を始めた年齢を入力します．⑬ の〈喫煙蓄積本数〉で計算を使用した場合は，最初の喫煙年数に入力した年齢が，自動的に表示されます．

⑮ ：〈喫煙の経験〉

入力の必要はありません．⑭〈喫煙開始年齢〉を入力すると自動的に〈あり〉が表示され，空欄の場合には〈なし〉が表示されます．①〈精密検査日〉が入力されていないと表示されませんので，ご注意ください．

⑯ ：〈禁煙開始年齢〉

喫煙者だった人が禁煙を開始した年齢を入力します．

⑰ ：〈出血歯面数〉

入力の必要はありません．⑥ で入力をすると集計されて表示されます．

⑱ ：〈リコール状況〉

リコールの状態を，〈定期的〉〈不定期〉〈不良〉〈リコール待ち〉〈終了中断〉〈途中中断〉〈治療中〉〈引越し〉〈その他〉の 9 つに分類します．［ポップアップメニュー］になっていますので，該当する項目を選択します．〈定期的〉〈不定期〉〈不良〉の 3 つ以外を選ぶと集計には反映されません．（チャートの線も結ばれなくなります．）メモとしてお使いください．

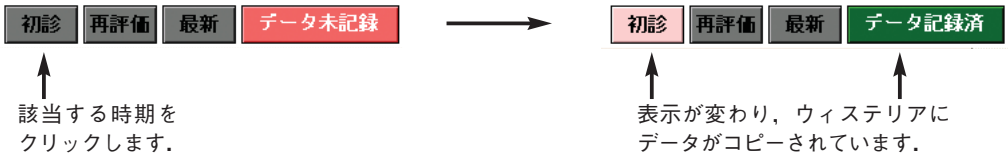
Attention

計算画面は〈歯周病進行度〉〈リスクファクター〉〈プラークインデックス〉〈喫煙蓄積本数〉と同時に 4 項目が表示されますが，それぞれの 戻る をクリックすることで，入力画面に反映されます．一度にまとめて計算することはできません．

⑲：〈初診〉〈再評価〉〈最新〉ボタン

すべてのデータを入力後，該当するボタンをクリックします．〈表示画面 6 点〉に移動し，該当する時期の表示がグレーからカラー表示に変更されます．このとき，ウィステリアにもデータがコピーされます．

〈表示画面 6 点〉から〈表示画面 4 点〉へ移動できます．この 2 つの画面が詳細データを見る画面になります．



⑳：〈6 点法の場合〉

6 点法で入力したプロービングと出血面数をカウントし，表示します．

㉑ ㉒：〈表示 6 点〉〈表示 4 点〉ボタン

6 点法，4 点法のそれぞれの表示画面へ移動します．

㉓：〈新規作成〉ボタン

新しいレコードを作成します．続けて入力する場合は，必ずこのボタンから新規レコードを作成し，入力してください．

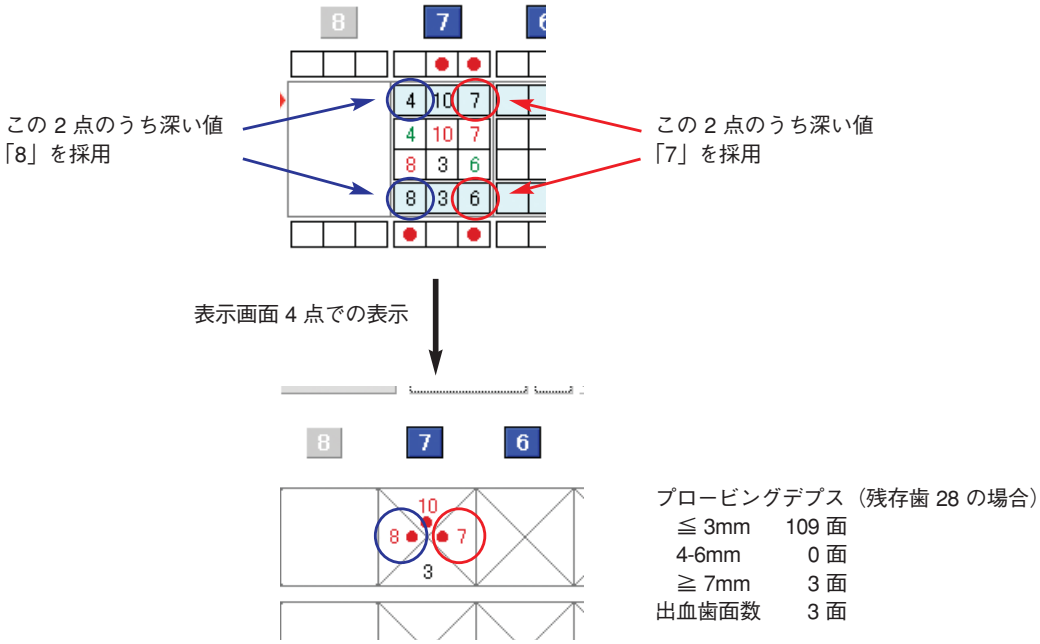
㉔：〈前回データをコピー〉ボタン

クリックすると前回（現在表示している）レコードを複製します．その際，精密検査日には当日の日付が入力され，右下のボタンは「データ未登録」に変わります．最新データを更新する際に，変更点のみ修正ができるので便利です．修正後，〈最新〉をクリックします．〈最新〉ボタンをクリックしないで，他の画面へ移動すると修正したデータは登録されません．ご注意ください．

プロービング値（盲嚢測定値）は，本来ウォーキングストロークにて測定した値を 1 歯あたり 4 点または 6 点で記録するもので，6 点法が必ずしも精密になるものではありませんが，保険診療のとりきめ対応して PerioAssistant の詳細入力は〈ウィステリア 3.1.1〉より 6 点法に変更されました．旧バージョン（ver.3.1 以下）の 4 点法のデータとの整合性を保つため，ウィステリアの集計は 6 点から深い 4 点を選んで集計します．したがって 6 点法で入力した数値は以下のように表示，カウントされます．

■ 4 点法への変換について

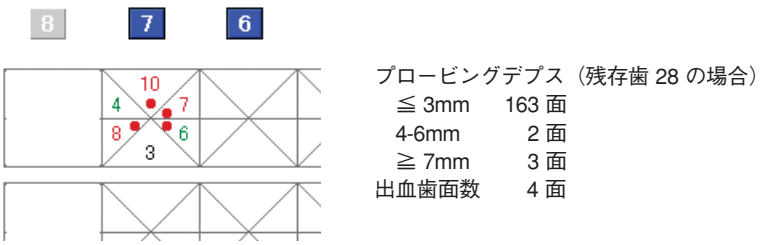
・**6** 点で入力したデータの隣接面の **2** 点のうち深い **1** 点を採用します．



・出血歯面数は，隣接面のうち，どちらかに出血が認められる場合は，「**1**」とカウントします．隣接面どちらにも出血が認められる場合も「**1**」とカウントします．

・《ウィステリア》では，**4** 点法でカウントした数値を〈歯周病画面〉のデータに表示し，集計します．

【参照】上の例を 6 点法の表示，カウントにすると下のようになります．

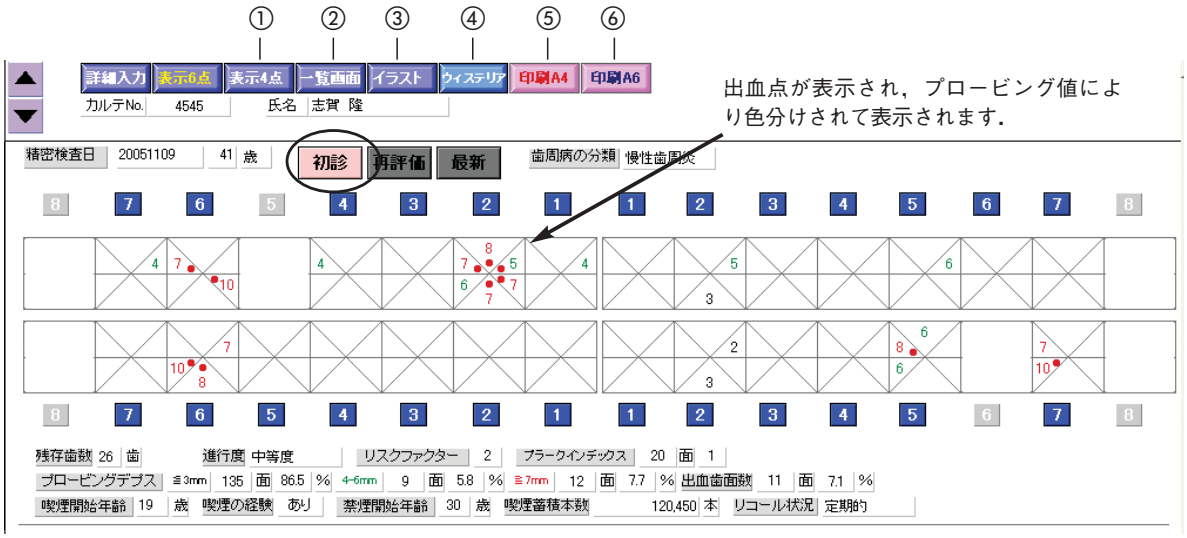


Attention

入力画面で入力した後，表示する画面を〈画面表示 4 点〉に変更したい場合は，スクリプトの管理「入力データから表示データに（初診）」「入力データから表示データに（再評価）」「入力データから表示データに（最新）」の最終行「レイアウト切り替え」を〈表示画面 4 点〉に変更してください．

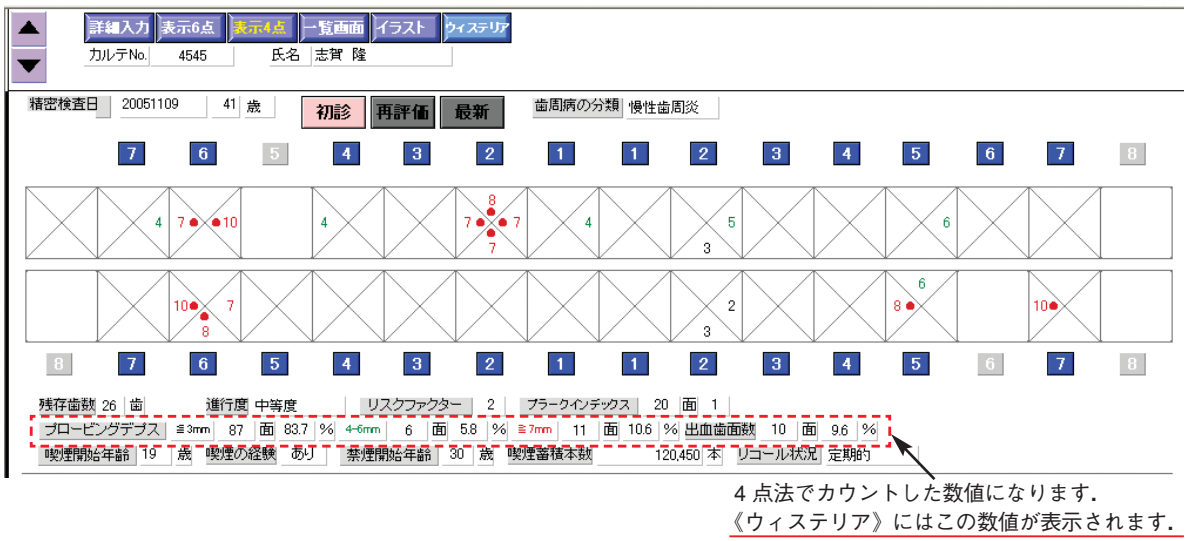
■〈PerioAssistant〉表示画面

入力画面から〈初診〉〈再評価〉〈最新〉ボタンをクリック，または左上の〈表示 6 点〉ボタンをクリックすると〈表示画面 6 点〉画面に移動します．このとき，〈初診〉ボタンをクリックした場合は，〈初診〉がピンクになります．〈再評価〉はグリーン〈最新〉はブルーになります．（未入力の場合はグレー表示）



① ：〈表示 4 点〉ボタン

4 点法の表示画面に移動します．プロービングデプス，出血歯面数が 6 点法の場合と異なります．



② ：〈一覧画面〉ボタン

〈一覧画面〉〈PerioAssistant〉の最初に表示される画面（57 ページ）へ移動します．

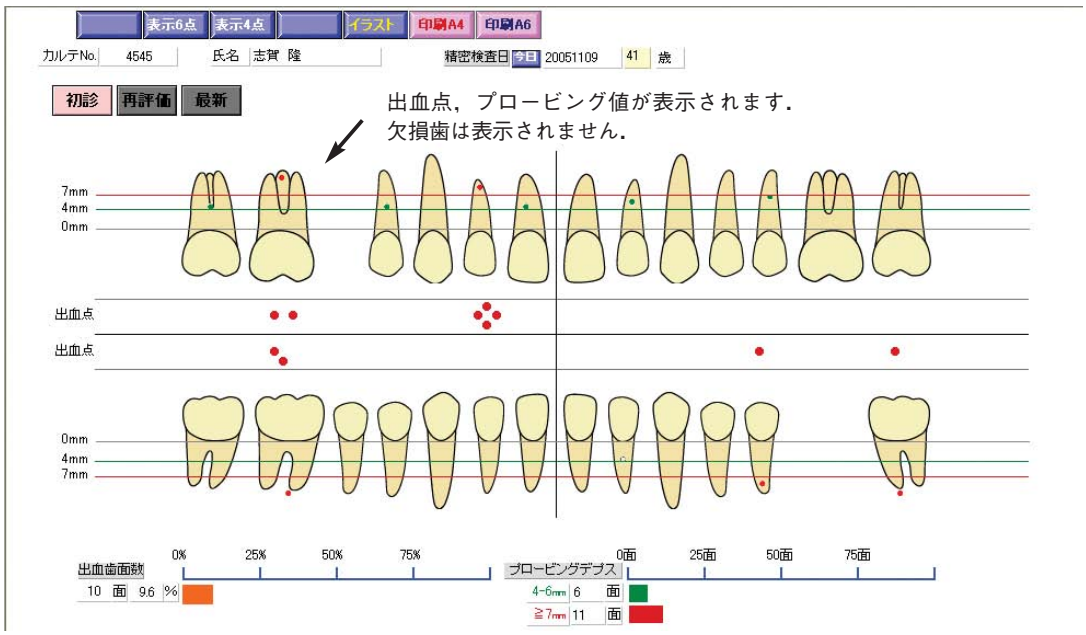
Attention

4 点法で入力していた旧バージョンの《ウィステリア》《PerioAssistant2》との整合性を保つため，6 点法で入力しても，《ウィステリア 4.0》には 4 点法でカウントした数値が表示されます．ご注意ください．

③：〈イラスト〉

入力した出血点，プロービング値がイラスト上にポイント表示され，下にグラフ表示されます．患者さんに視覚的に説明するのに便利です．ご活用ください．

イラスト画面を印刷する場合は，印刷A4ボタンまたは印刷A6ボタンをクリックします．用紙サイズの設定はご自身で行う必要があります．巻末の設定方法（129 ページ）をお読みください．（設定にはご使用プリンタのマニュアルもご参照ください）



④：〈ウィステリアへ〉

〈歯周病〉画面へ戻ります．

⑤⑥：〈印刷 A4〉〈印刷 A6〉

〈表示画面 6 点〉を印刷します．印刷A4をクリックすると A4 サイズに，印刷A6をクリックすると A6 サイズに印刷されます（あらかじめ設定が必要です．巻末 131 ページ参照）．

Attention

用紙サイズなどの設定は，巻末 129 ページの印刷設定およびご使用のプリンタのマニュアルをご参照ください．

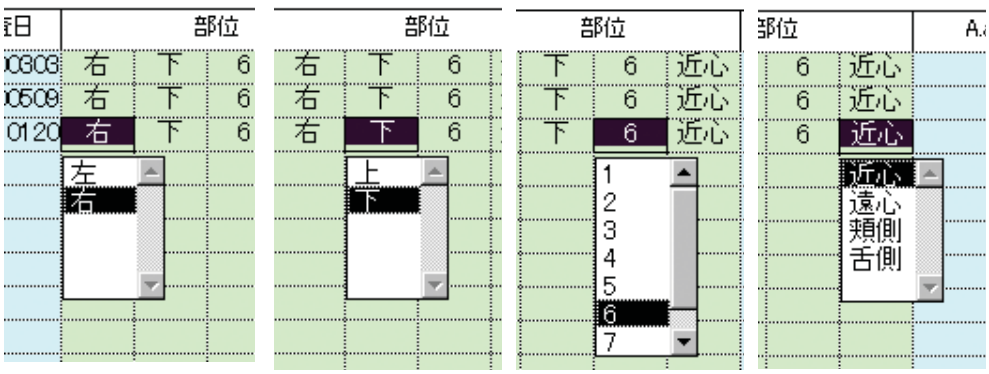
細菌検査データの入力

■細菌検査詳細

BML歯周病細菌検査 をクリックすると詳細なデータにジャンプします．ここに細菌検査のデータを入力します．

〈検査日〉：西暦で 8 桁の数字を入力します．

〈部位〉：“緑色のフィールド”ですから，［ポップアップメニュー］からそれぞれ該当の項目をクリックします．以下のように左から，左側・右側，上顎・下顎（1 ～ 8），部位，近心・遠心・頬側・舌側を選ぶようになっています．



この表は BML 社の細菌検査結果などを入力するものです．

細菌名の下には，必要であれば細菌数を入力します．

〈A.a.〉〈P.i.〉〈P.g.〉〈B.f.〉はそれぞれ下記の略語です．

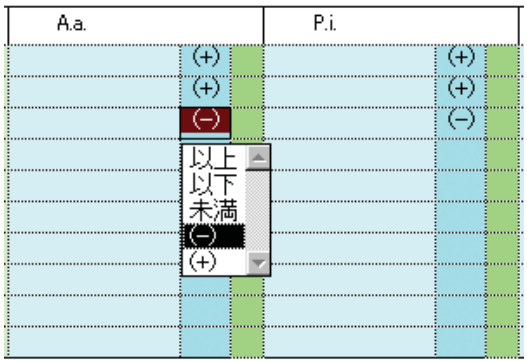
“水色のフィールド”のそれぞれの項目をプルダウンして該当項目をクリックします．いずれも（－）か（＋）を選びます．

〈A.a.〉：*Actinobacillus actinomycetemcomitans*

〈P.i.〉：*Prevotella intermedia*

〈P.g.〉：*Porphyromonas gingivalis*

〈B.f.〉：*Bacteroides fragilis*



BML 社から戻ってきた表を見て右の表に入力しておきます．

検査日		
検査項目	検査結果	スコア
食事・歯磨き状況		
口腔内状況		
生活習慣		
喫煙状況		
プラーク指数		
歯肉炎指数		
主な口腔細菌総菌数		
Aa菌数		
Aa菌比率		
主な口腔細菌総菌数		
Pg菌数		
Pg菌比率		
スコア合計		

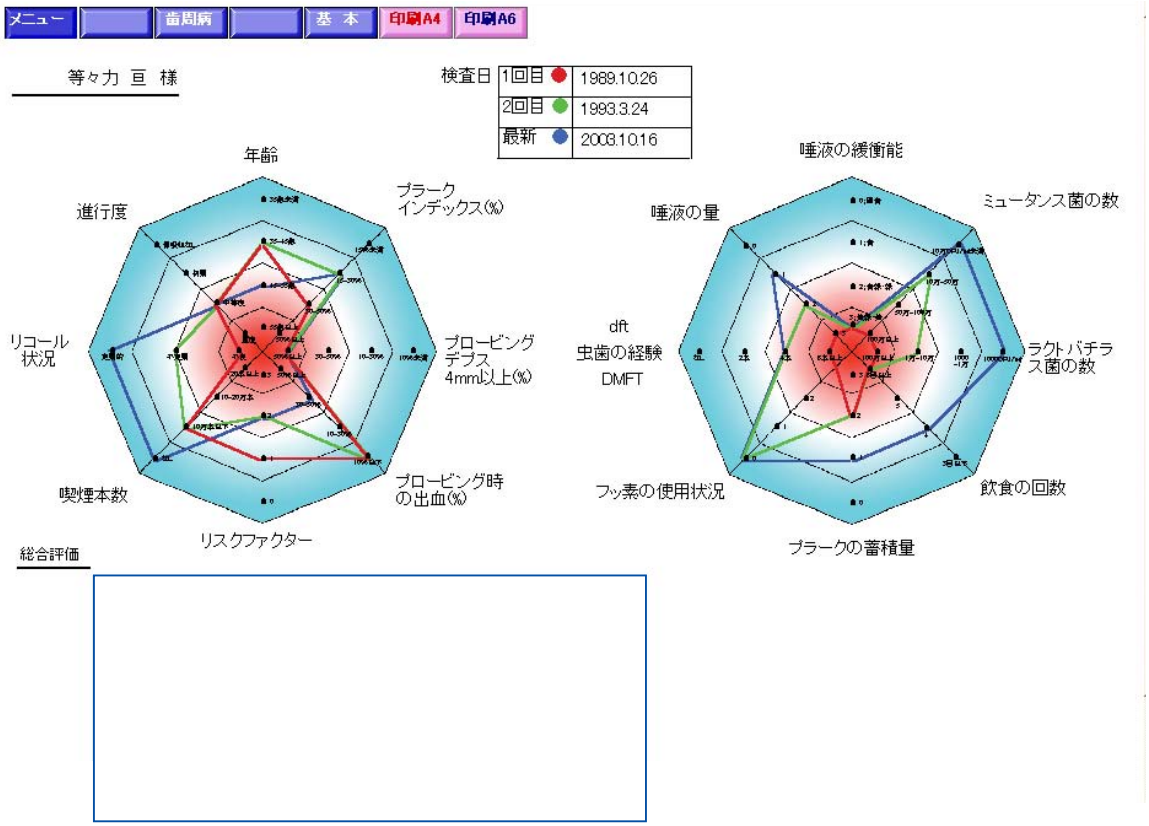
このボタンをクリックすると歯周病チャート画面へジャンプします

〈歯周病チャート〉

〈チャート〉ボタンをクリックすると，該当患者の“レーダーチャート”が表示されます．それぞれ赤（1 回目），緑（2 回目），青（最新検査）で表示されます．

総合評価の欄は，患者への注意点など，メモとしてお使いください．

〈歯周病のチャート〉では，右側にう蝕リスクのレーダーチャートが表示されます．



〈印刷 A4〉ボタンをクリックすると，印刷のダイアログボックスが表示されますので，A4 サイズの用紙にカラー印刷します（ご使用の環境に合わせて印刷設定を行ってください）．この印刷では歯周病のレーダーチャートのみが印刷されます．

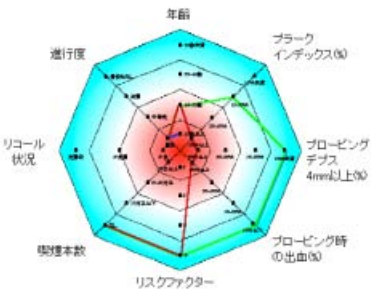
〈印刷 A6〉ボタンをクリックするとハガキサイズに印刷します．健康手帳などに，綴じることができます．ご利用ください．

このレーダーチャートで検査初回，2 回目，最新検査の比較ができます．患者さんにレーダーチャートを渡すことができます．

Attention

8 つの項目のなかで，1 つでも入力漏れがある場合，〈チャート〉ボタンをクリックしても，図中の折れ線を結ぶことができません．

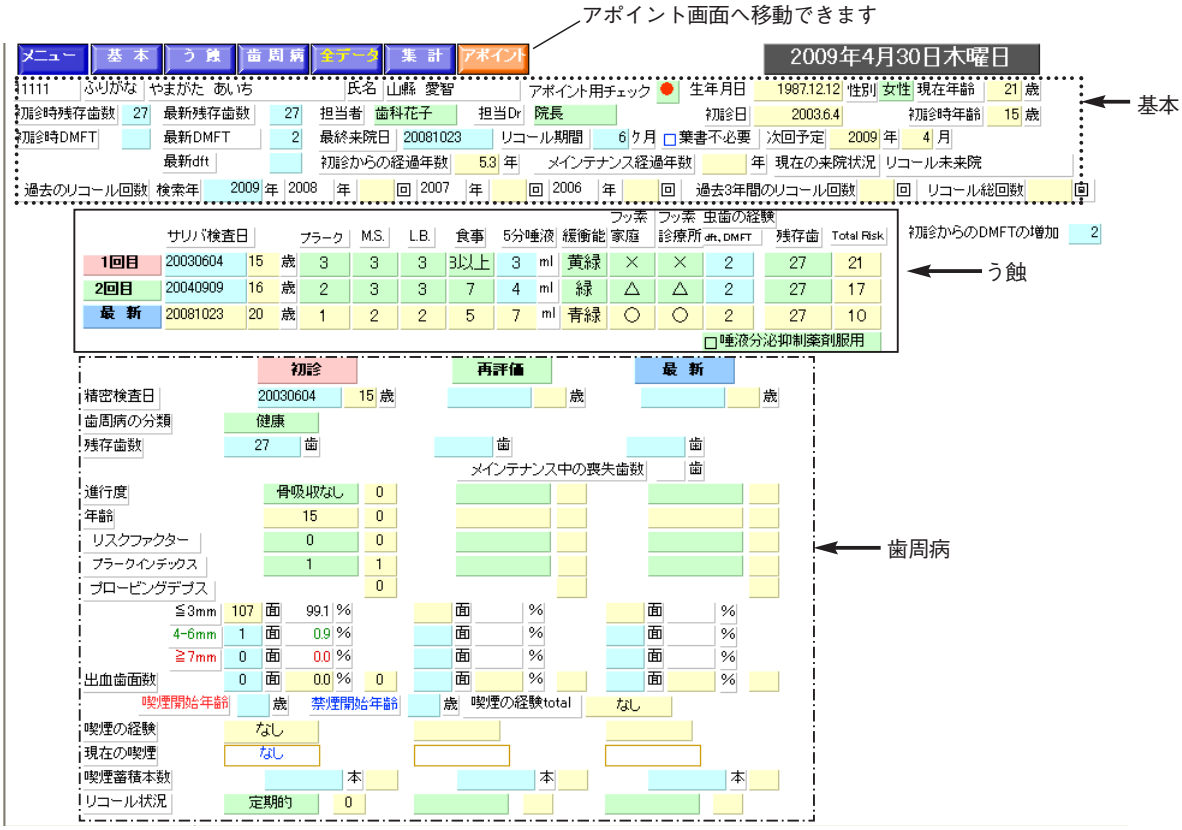
このレーダーチャートは，〈歯周病〉画面で選んだ患者 1 人分のレーダーチャートのみご覧になれます．他の人のレーダーチャートを見るには，〈基本〉画面から検索，または家族の来院状況から表示をさせてから，〈歯周病〉→〈チャート〉ボタンをクリックしてください．



6 〈全データ〉画面

〈う蝕〉と〈歯周病〉のデータを一度に見ることができます．

立ち上がり画面の6または基本画面のⒺ〈全データ〉をクリックすると全データ画面が表示されます．



ひとりの患者さんの〈う蝕〉データと〈歯周病〉データを一度に見ることが可能です．必要な項目に入力漏れがないか，空白レコードがないかを確認することができます．

上から順に〈基本〉での入力項目，〈う蝕〉での入力項目，〈歯周病〉での入力項目になります．

この画面で修正・追加の作業は行えません．データに修正・追加をするときは，それぞれの画面へ移動してから行ってください．

Attention

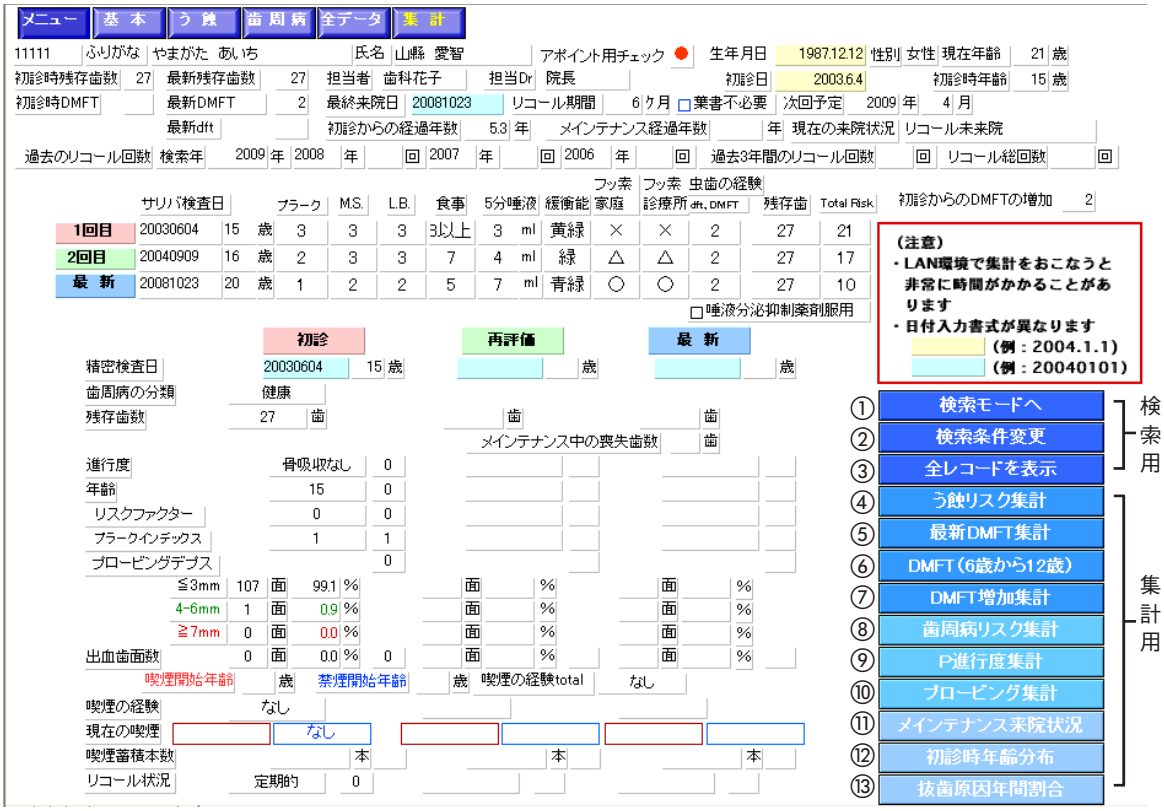
アポイント管理職 2.1 をお持ちの場合は，この画面からも〈アポイント画面〉へ移動が可能です．ご活用ください．

7 〈集計〉画面

集計がひとつの画面に集約

立ち上がり画面の7または基本画面のⒻ〈集計〉ボタンをクリックすると〈集計〉画面が表示されます．

右下にある〈検索用ボタン〉と〈集計用ボタン〉を利用して，簡単に検索・集計ができるようになりました．



① ～ ⑬ のボタンについて順に解説していきます．

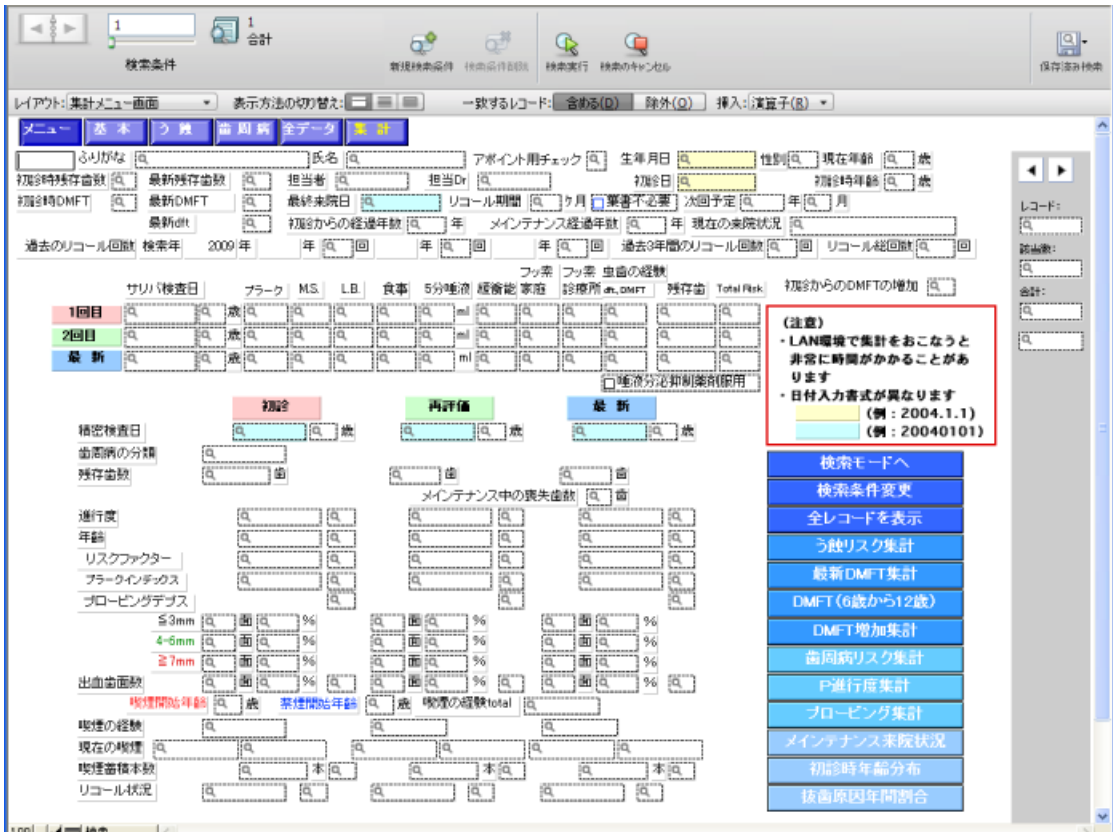
Attention

《ウィステリア Pro3.0》より集計の各ボタンは〈集計〉画面へ一括されました．
ひとつの検索結果から様々な集計を〈う蝕〉・〈歯周病〉画面に切り替えずに見ることができます．
ご活用ください．

① ： 検索モードへ

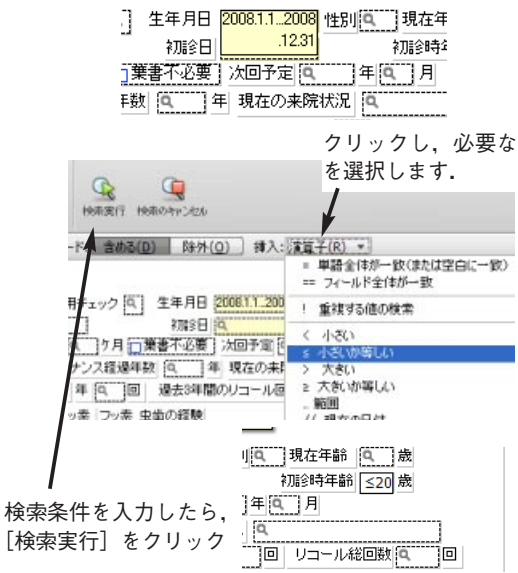
ここをクリックすると画面が検索モードになり，すべてのフィールドが空欄になります．ファイルメーカー 10 をご使用の場合は虫眼鏡マークが，検索可能なフォールドに表示されます．

検索したい項目に検索条件を入力します．検索条件は複数の項目に入力できます．



例 ある年 1 年間（例： 2008 年）の初診患者で初診時年齢が 20 歳以下の患者をすべて検索する．

1. 〈検索モードへ〉をクリックします．初診日に 2008.1.1 と入力し，ステータスツールバーの［演算子］またはステータスエリアの［記号］から［...範囲］を選び，続いて 2008.12.31 と入力します．
2. 初診時年齢欄をクリックし，ステータスツールバーの［演算子］（記号）から［<＝小さいか等しい］を選びます．続いて 20 と入力します．
3. ステータスツールバー（エリア）の［検索実行］をクリックします．検索結果が表示されます．条件に該当するデータが無いときは，エラーのダイアログボックスが表示されますので，検索条件を変更してください．



② ： 検索条件変更

検索条件を変更するときに使用します．一度検索し，結果が表示されてから，ここをクリックすると，その検索条件を入力したフィールドはその条件のまま，残りのフィールドは空欄になります．検査項目を追加・削除して検索を続けることができます．

③：全レコードを表示

検索後，ここをクリックすると検索結果が解除され，すべてのレコードが表示されます．

④：う蝕リスク集計

う蝕リスクの集計表画面になります．検索を何もしない状態でこのボタンをクリックすると，ファイルにあるすべてのレコードが集計されます．〈印刷〉をクリックすると印刷用ダイアログボックスが表示されますので，ご使用の環境に合わせて設定してください．

戻る　印刷

う蝕リスク		1回目	(%)	2回目	(%)	最新	(%)
Dentocult SM	0	43	13.0	14	13.7	1	9.1
	1	52	15.7	14	13.7	0	0.0
	2	89	26.8	36	35.3	6	54.5
	3	148	44.6	38	37.3	4	36.4
	Total	332		102		11	
Dentocult LB	0	180	54.5	52	51.5	8	72.7
	1	58	17.6	23	22.8	1	9.1
	2	55	16.7	23	22.8	0	0.0
	3	37	11.2	3	3.0	2	18.2
	Total	330		101		11	
Dentobuff	0	18	5.4	7	6.9	2	18.2
	1	158	47.4	60	58.8	7	63.6
	2	90	27.0	26	25.5	1	9.1
	3	67	20.1	9	8.8	1	9.1
	Total	333		102		11	
唾液分泌量	0	29	9.0	11	10.8	2	18.2
	1	101	31.3	29	28.4	3	27.3
	2	104	32.2	30	29.4	1	9.1
	3	89	27.6	32	31.4	5	45.5
	Total	323		102		11	
飲食回数	0	20	6.0	5	5.0	1	9.1
	1	138	41.3	45	45.0	5	45.5
	2	120	35.9	42	42.0	5	45.5
	3	56	16.8	8	8.0	0	0.0
	Total	334		100		11	
プラーク蓄積量	0	8	2.4	1	1.0	0	0.0
	1	149	44.6	54	54.0	9	81.8
	2	146	43.7	40	40.0	1	9.1
	3	31	9.3	5	5.0	1	9.1
	Total	334		100		11	
フッ素の使用状況	0	79	23.8	64	62.7	9	81.8
	1	67	20.2	14	13.7	1	9.1
	2	91	27.4	21	20.6	1	9.1
	3	95	28.6	3	2.9	0	0.0
	Total	332		102		11	

レコード:
12
該当数:
570
合計:
570
未ソート

この一覧では，レコード数は 570 ですが，1 回目と 2 回目の各項目の Total は 332 と 102 です．これは集計される有効なデータがこの数しかないことを意味しています．したがって最新の集計では 11 人分しか有効データがないことを意味しています．

また検索を実行した後，〈う蝕リスク集計〉をクリックすれば，検索結果ごとに集計を表示します．（例：前ページで検索した結果を表示後，このボタンをクリックすると 1 年間の初診患者についてのデータが表示されることになります）

Attention　LAN 環境で集計を行うと非常に時間がかかることがあります．ご使用の環境により異なります．

■う蝕リスク集計の見方

この画面は〈う蝕〉画面で入力した数値のままではなく，入力した数値を以下のように分類して表示します．

・**Dentocult SM**：唾液中の mutans streptococci 数について検査した患者の 1 回目検査，2 回目検査，最新検査の統計が表示されます．〈う蝕〉画面では 7 つに分類されていますが，ここでは中間値はリスクの高いほうに判定されます．

0：10 万 CFU/ml 未満
1：10 万以上 50 万 CFU/ml 未満
2：50 万以上 100 万 CFU/ml 未満
3：100 万 CFU/ml 以上

・**Dentocult LB**：唾液中の lactobacilli 量について検査した患者の 1 回目検査，2 回目検査，最新検査の統計が表示されます．〈う蝕〉画面では 7 つに分類されていますが，ここでは中間値はリスクの高いほうに判定されます．

0：1000 CFU/ml
1：1000 以上 1 万 CFU/ml 未満
2：1 万以上 10 万 CFU/ml 未満
3：100 万 CFU/ml 以上

・**Dentobuff**：唾液の緩衝能を検査した 1 回目検査，2 回目検査，最新検査の統計が表示されます．〈う蝕〉画面では 6 つに分類されていますが，ここでは中間値はリスクの高いほうに，青緑は緑に，黄緑は黄に判定されます．

0：即青の集計
1：青の集計
2：青緑と緑の集計
3：黄緑と黄の集計

・**唾液分泌量**：5 分間のパラフィンワックスの咀嚼刺激による分泌量で分類された唾液量検査を受けた患者の 1 回目検査，2 回目検査，最新検査の統計がそれぞれ表示されます．ここでは次のように 4 段階に分けて集計されます．

0：10 ml 以上/5 分
1：6 ml 以上 10 ml 未満/5 分
2：3.5 ml 以上 6 ml 未満/5 分
3：3.5 ml 未満/5 分

・**飲食回数**：1 日の飲食回数について検査した患者の 1 回目検査，2 回目検査，最新検査の統計が表示されます．

0：3 回以下
1：4 回
2：5 回
3：6 回以上

・**プラーク蓄積量**：プラークスコアを記録した患者の 1 回目検査，2 回目検査，最新検査の統計が表示されます．〈う蝕〉画面同様に分類されます．

0 ： 15 %未満
1 ： 15 %以上 30 %未満
2 ： 30 %以上 50 %未満
3 ： 50 %以上

・**フッ素の使用状況**：フッ化物の使用状況を調査記録した患者の 1 回目検査，2 回目検査，最新検査の統計が表示されます．〈う蝕〉画面では〈フッ素家庭〉と〈フッ素診療所〉の 2 つに分け，それぞれ 3 つに分類されていますが，ここでは〈フッ素家庭〉と〈フッ素診療所〉を合わせた 4 段階に判定します．

0：家庭でほぼ毎日使用〈フッ素家庭○〉＋診療所で定期的にフッ素塗布を受けている〈フッ素診療所○〉
　家庭でほぼ毎日使用〈フッ素家庭○〉＋診療所でたまにフッ素塗布を受けている〈フッ素診療所△〉
1：家庭でほぼ毎日使用〈フッ素家庭○〉＋診療所でフッ素塗布を受けていない〈フッ素診療所×〉
　家庭で半分くらい使用〈フッ素家庭△〉＋診療所で定期的にフッ素塗布を受けている〈フッ素診療所○〉
2：家庭で半分くらい使用〈フッ素家庭△〉＋診療所でたまにフッ素塗布を受けている〈フッ素診療所△〉
　家庭で半分くらい使用〈フッ素家庭△〉＋診療所でフッ素塗布を受けていない〈フッ素診療所×〉
　家庭で使っていない〈フッ素家庭×〉＋診療所で定期的にフッ素塗布を受けている〈フッ素診療所○〉
3：家庭で使っていない〈フッ素家庭×〉＋診療所でたまにフッ素塗布を受けている〈フッ素診療所△〉
　家庭で使っていない〈フッ素家庭×〉＋診療所でフッ素塗布を受けていない〈フッ素診療所×〉

Attention

〈う蝕リスク集計〉のフッ素の使用状況についての表示は，〈う蝕〉画面で入力したものと異なります．〈う蝕〉画面では〈フッ素家庭〉と〈フッ素診療所〉の 2 つに分け，それぞれ 3 つに分類されていますが，〈う蝕リスク集計〉では〈フッ素家庭〉と〈フッ素診療所〉を合わせた 4 段階で判定します．

⑤：最新DMFT集計

下のような集計が表示されます．予め検索をしておくことで，詳細なデータを集計することが可能です．（例：過去 3 年間に来院した患者，初診時の年齢，世代別など）

この〈最新 DMFT 集計〉は〈う蝕〉画面の「dft ・ DMFT ・残存歯の記録」で蓄積されたデータを集計しています．〈う蝕〉または〈歯周病〉画面の〈最新 DMFT〉を更新しても蓄積されていきます．〈最新 DMFT〉は必ず更新してください．（40 ページ参照）

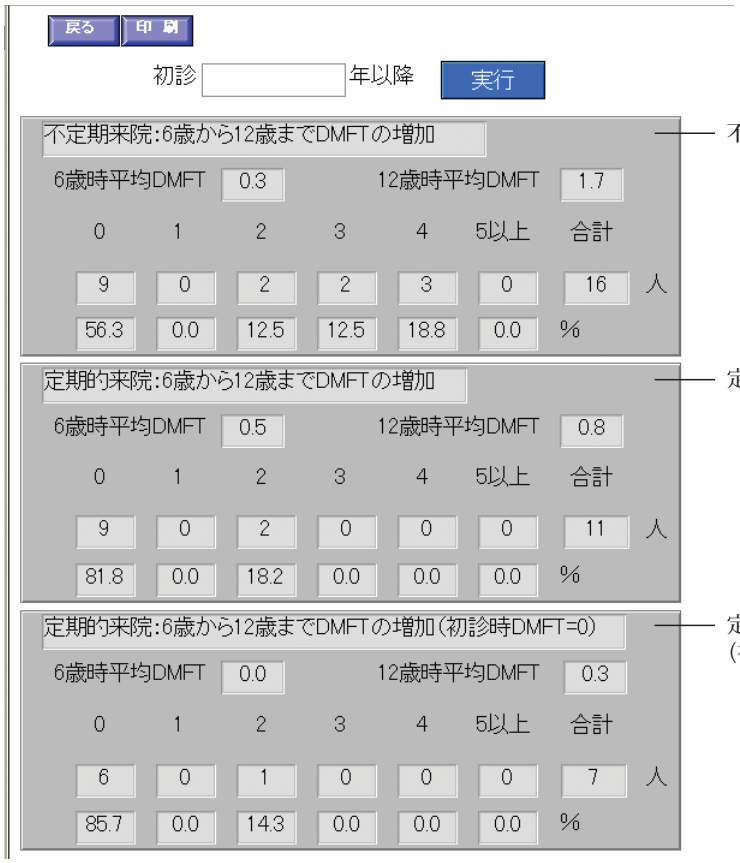
印刷 をクリックすると，印刷のダイアログボックスが開きます．ここで設定（用紙サイズなど）して印刷します．印刷の設定についてはお手持ちのプリンタのマニュアルをご参照ください．

一覧表示 をクリックすると一覧が表示されます．

⑥：DMFT（6歳から12歳）

このボタンをクリックすると，以下の集計が表示されます．

このデータを比較することで，（少なくとも一年に 1 回以上来院している）定期的来院の効果を知ることができます．



不定期来院：6 歳から 12 歳まで DMFT の増加

DMFT6 と DMFT12 の二つのフィールドにデータが入っている全ての患者のデータが表示されます．

定期来院：6 歳から 12 歳まで DMFT の増加

DMFT6 から DMFT12 までの全てのフィールドにデータが入っている患者のデータが表示されます．

定期来院：6 歳から 12 歳まで DMFT の増加（初診時 DMFT=0）

DMFT6 から DMFT12 までの全てのフィールドにデータが入っている患者のうち，DMFT6 が「0」の患者のみのデータが表示されます．

予防的定期管理に来院した場合に，〈う蝕画面〉で DMFT を更新することが必要です（40 ページ参照）．1 年に最低 1 回でも予防的定期管理に来院すれば，DMFT6 から 12 までのフィールドに DMFT の数値が入力されます．集計の検索条件は，その DMFT6 から DMFT12 にデータが入っているかどうかになります．

定期管理に来院した時には必ず DMFT の更新をおこなうこと，それ以外（処置のための来院）には DMFT の更新をおこなわないようにします．この条件が守られていない場合，正しい集計結果を出すことができなくなります．ご注意ください．

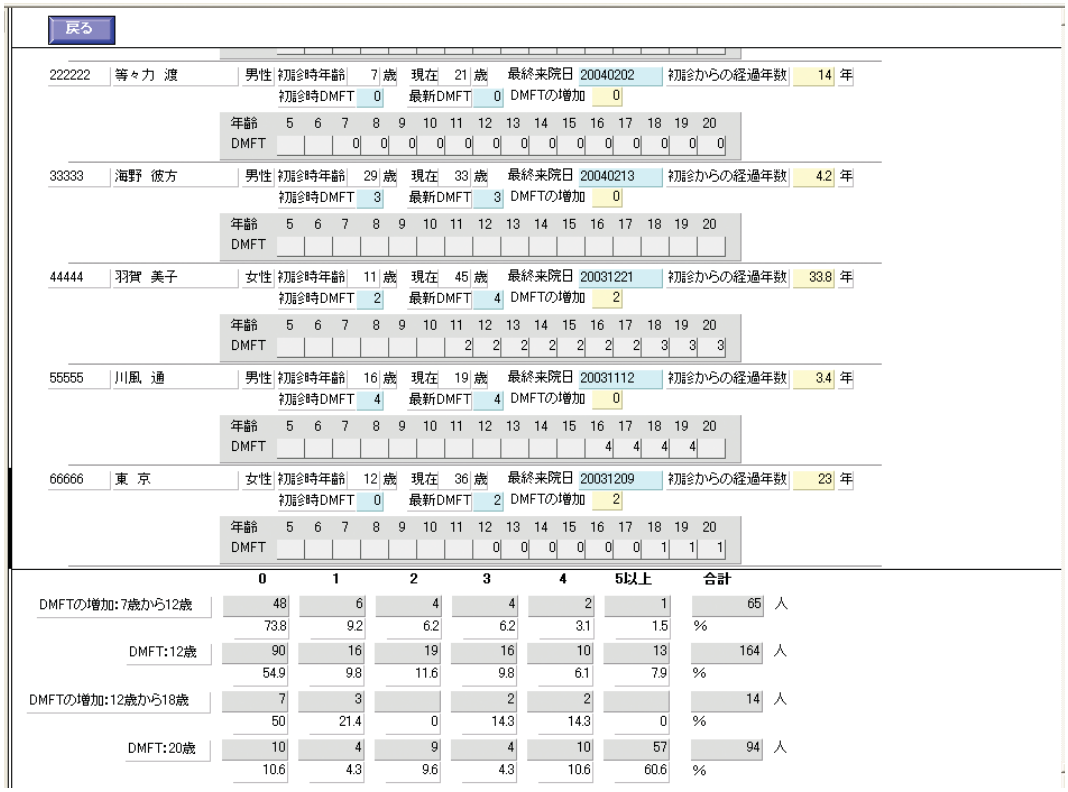
Attention　DMFT の更新条件が守られていない場合，正しい集計結果を得られなくなります．

⑦：DMFT増加集計

7 歳から 12 歳まで，12 歳，12 歳から 18 歳まで，20 歳の DMFT の増加と平均を表示します．予め集計したい母集団（任意年の初診患者など）の検索をしておくと，詳細なデータを得ることが可能です．

印刷ボタンをクリックすると，印刷のダイアログボックスが開きます．ここで設定（用紙サイズなど）して印刷します．印刷の設定についてはお手持ちのプリンタのマニュアルをご参照ください．

一覧表示をクリックすると一覧が表示されます．



⑧：歯周病リスク集計

歯周病リスクの集計表画面になります．検索を何もしない状態でこのボタンをクリックすると，ファイルにあるすべてのレコードが集計されます．また予め検索をしておくと，検索結果ごとに集計を表示することが可能です．

この画面の〈印刷〉ボタンをクリックすると，印刷のダイアログボックスが開きます．ここで設定（用紙サイズなど）して印刷します．

この画面は〈歯周病〉画面で入力した数値のままではなく，入力した数値を以下のように分類して表示します．

戻る　印刷

歯周病リスク		1回目	(%)	2回目	(%)	最新	(%)
年齢	0	10	4.5	6	3.1	2	1.1
	1	39	17.6	35	17.9	14	7.5
	2	87	39.4	74	37.9	46	24.7
	3	85	38.5	80	41.0	124	66.7
	Total	221		195		186	
プラーク インデックス	0	1	0.7	1	0.8	24	14.2
	1	38	27.3	91	69.5	83	49.1
	2	64	46.0	35	26.7	53	31.4
	3	36	25.9	4	3.1	9	5.3
	Total	139		131		169	
プロービングデプス 4mm以上	0	110	50.5	181	92.8	176	94.6
	1	83	38.1	11	5.6	10	5.4
	2	21	9.6	3	1.5	0	0.0
	3	4	1.8	0	0.0	0	0.0
	Total	218		195		186	
プロービング時の出血	0	73	33.5	109	55.9	113	60.8
	1	59	27.1	76	39.0	67	36.0
	2	46	21.1	6	3.1	5	2.7
	3	40	18.3	4	2.1	1	0.5
	Total	218		195		186	
リスクファクター	0	136	91.9	129	92.1	120	85.1
	1	11	7.4	10	7.1	19	13.5
	2	1	0.7	1	0.7	2	1.4
	3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	Total	148		140		141	
喫煙本数	0	126	84.0	116	92.8	115	92.0
	1	12	8.0	3	2.4	4	3.2
	2	6	4.0	3	2.4	2	1.6
	3	6	4.0	3	2.4	4	3.2
	Total	150		125		125	
リコール状況	0	1	100.0	1	100.0	1	100.0
	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	Total	1		1		1	
進行度	0	12	5.8	0	0.0	0	0.0
	1	85	40.9	67	38.5	60	35.7
	2	89	42.8	87	50.0	90	53.6
	3	22	10.6	20	11.5	18	10.7
	Total	208		174		168	

レコード:
12
該当数:
570
合計:
570
未ソート

Attention

〈歯周病リスク集計〉画面の表示は，〈歯周病〉画面での各レコードの表示方法（51 ～ 56 ページ）とは異なります．

■歯周病リスク集計の見方

・**年齢**：〈歯周病〉画面に表示されている年齢は次のような 4 段階に分類して集計されます．

0 ： 35 歳未満
1 ： 35 歳以上 45 歳未満
2 ： 45 歳以上 55 歳未満
3 ： 55 歳以上

・**プラークインデックス**：〈歯周病〉画面に表示されているプラークインデックスと同様に 4 段階で集計されます．

0 ： 15 %未満
1 ： 15 %以上 30 %未満
2 ： 30 %以上 50 %未満
3 ： 50 %以上

・**プロービングデプス 4 mm 以上**：〈歯周病〉画面では，4 mm 以上 6 mm 以下の全歯面数と 7 mm 以上の全歯面数の 2 つのフィールドを合わせた，プロービングデプスのフィールドで集計されます．

0 ： 10 %未満
1 ： 10 %以上 30 %未満
2 ： 30 %以上 50 %未満
3 ： 50 %以上

・**プロービング時の出血**：〈歯周病〉画面に表示されている〈残存歯数〉と〈出血歯面数〉のフィールドに必要事項が入力されていれば次の 4 段階に分類して集計されます．

0 ： 10 %未満
1 ： 10 %以上 30 %未満
2 ： 30 %以上 50 %未満
3 ： 50 %以上

・**リスクファクター**：〈歯周病〉画面に表示されているリスクファクターと同様に集計されます．

0 ：危険因子なし
1 ：危険因子 1 つ
2 ：危険因子 2 つ
3 ：危険因子 3 つ以上

・**喫煙本数**：喫煙患者では，喫煙をはじめてからの蓄積本数が，1 回目検査，2 回目検査，最新検査の統計で表示されます．喫煙本数は〈歯周病〉画面で表示されている喫煙本数が次のような 4 段階に分類して集計されます．

0 ：喫煙経験なし
1 ：蓄積本数 10 万本未満
2 ：蓄積本数 10 万本以上 20 万本未満
3 ：蓄積本数 20 万本以上

Attention

〈歯周病リスク集計〉画面の表示は，〈歯周病〉画面での各レコードの表示方法（51 ～ 56 ページ）とは異なります．

・**リコール状況**：〈歯周病〉画面に表示されているリコール状況と同様に集計されます．

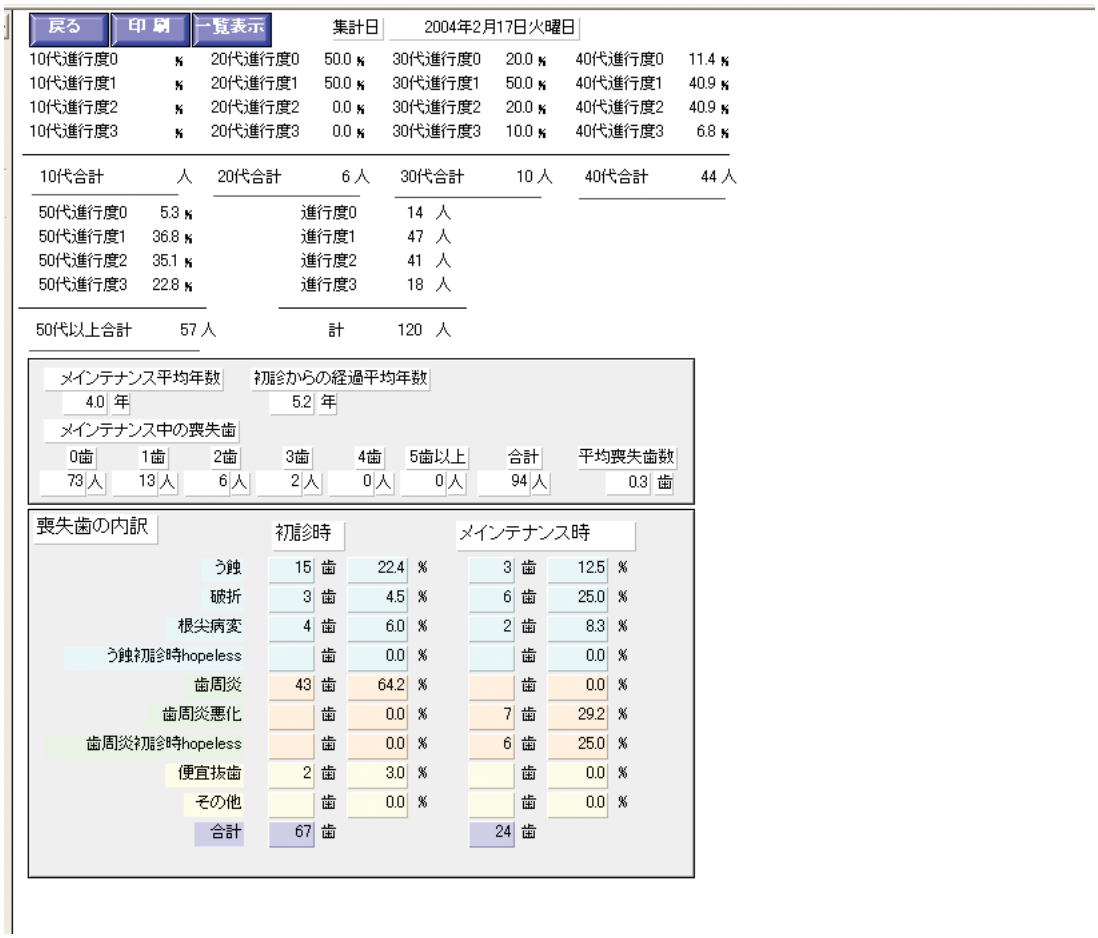
0 ：定期的な来院
1 ：不定期的な来院（不定期）
2 ：疼痛等不快感のあるときのみ来院（不良）

・**進行度**：〈歯周病〉画面に表示されている進行度と同様に集計されます．

0 ：骨吸収なし
1 ：歯根の 1/3 未満の骨吸収（初期）
2 ：歯根の 1/3 以上 1/2 未満の骨吸収（中等度）
3 ：歯根の 1/2 以上の骨吸収（重度）

⑨：P進行度集計

下の集計表が表示されます．〈印刷〉をクリックすると印刷ダイアログボックスが表示されますので，用紙等を設定してから印刷してください．



⑩：プロービング集計

下の集計が表示されます．初診時と最新時の検査結果が集計されます．

戻る　印刷　一覧表示　　集計日　2004年2月17日火曜日

初回精密検査時

10代0～3mm	97.8 %	20代0～3mm	90.9 %	30代0～3mm	85.5 %
10代4～6mm	2.0 %	20代4～6mm	8.6 %	30代4～6mm	12.8 %
10代7mm～	0.1 %	20代7mm～	0.5 %	30代7mm～	1.8 %
10代合計	7 人	20代合計	26 人	30代合計	64 人
40代0～3mm	86.9 %	50代0～3mm	87.7 %	全体0～3mm	87.7 %
40代4～6mm	11.7 %	50代4～6mm	11.3 %	全体4～6mm	11.1 %
40代7mm～	1.4 %	50代7mm～	1.1 %	全体7mm～	1.2 %
40代合計	200 人	50代以上合計	364 人		674 人

最終精密検査時

10代0～3mm	92.0 %	20代0～3mm	96.5 %	30代0～3mm	96.1 %
10代4～6mm	8.0 %	20代4～6mm	3.3 %	30代4～6mm	3.6 %
10代7mm～	0.0 %	20代7mm～	0.2 %	30代7mm～	0.3 %
10代合計	2 人	20代合計	13 人	30代合計	43 人
40代0～3mm	96.0 %	50代0～3mm	96.5 %	全体0～3mm	96.4 %
40代4～6mm	3.7 %	50代4～6mm	3.2 %	全体4～6mm	3.3 %
40代7mm～	0.3 %	50代7mm～	0.2 %	全体7mm～	0.3 %
40代合計	133 人	50代以上合計	246 人		466 人

メインテナンス平均年数	初診からの経過平均年数
4.8 年	6.9 年

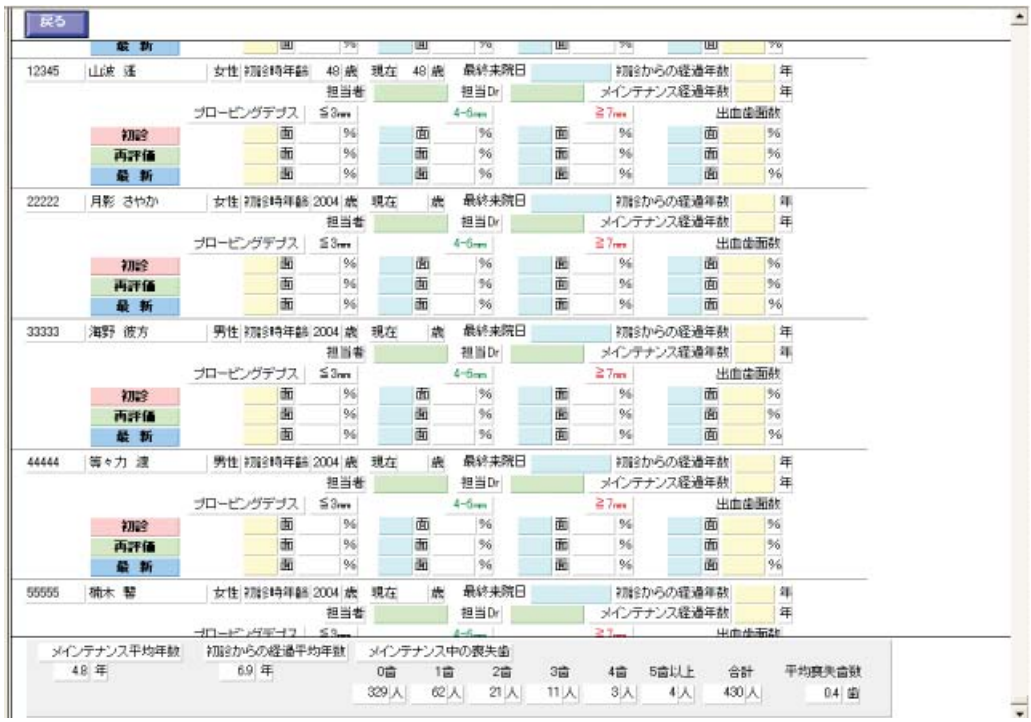
メインテナンス中の喪失歯

0歯	1歯	2歯	3歯	4歯	5歯以上	合計	平均喪失歯数
329 人	62 人	21 人	11 人	3 人	4 人	430 人	0.4 歯

喪失歯の内訳

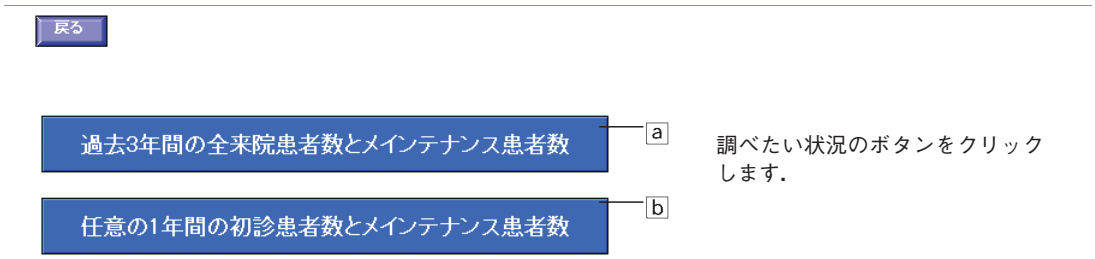
	初診時			メインテナンス時		
う蝕	85	歯	25.8 %	23	歯	15.2 %
破折	35	歯	10.6 %	27	歯	17.9 %
根尖病変	25	歯	7.6 %	11	歯	7.3 %
う蝕初診時hopeless		歯	0.0 %	2	歯	1.3 %
歯周炎	175	歯	53.2 %	2	歯	1.3 %
歯周炎悪化		歯	0.0 %	54	歯	35.8 %
歯周炎初診時hopeless	5	歯	1.5 %	32	歯	21.2 %
便宜抜歯	4	歯	1.2 %		歯	0.0 %
その他		歯	0.0 %		歯	0.0 %
合計	329	歯		151	歯	

一覧表示 をクリックすると一覧が表示されます．

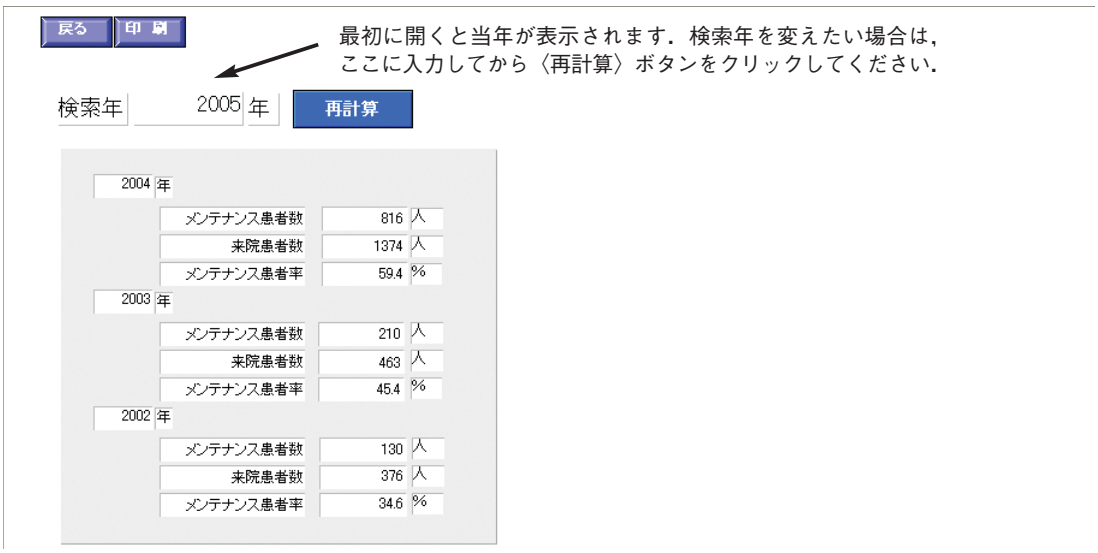


⑪：メインテナンス来院状況

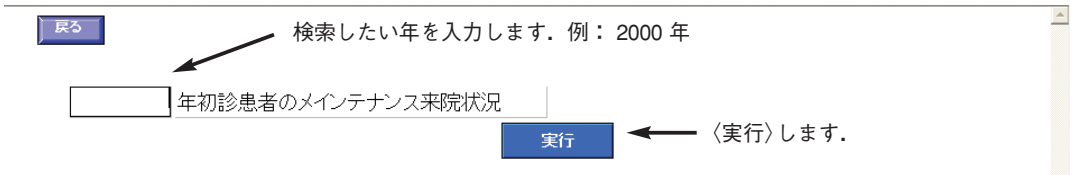
過去 3 年のメインテナンス来院状況か任意の 1 年の初診患者の来院状況を集計します．



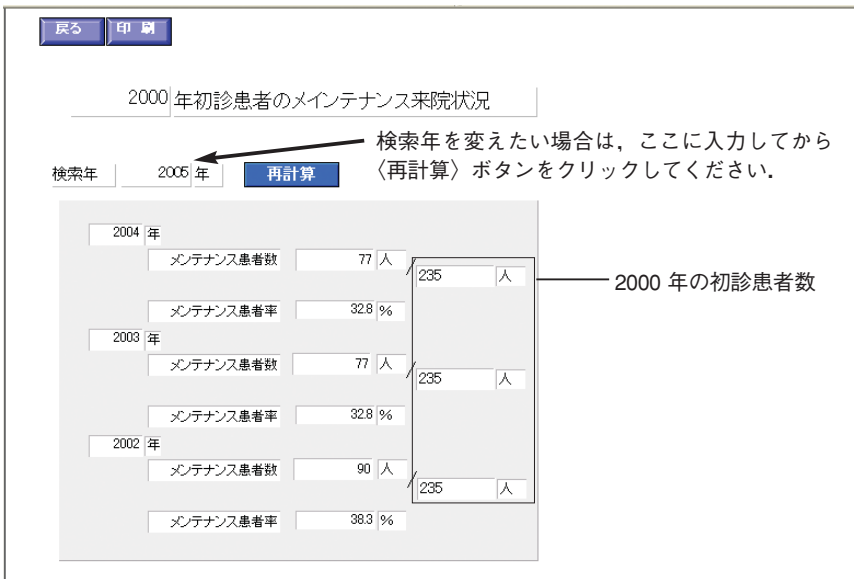
a 過去 3 年間の全来院患者数とメインテナンス患者数



b 任意の 1 年の初診患者数とメインテナンス患者数．

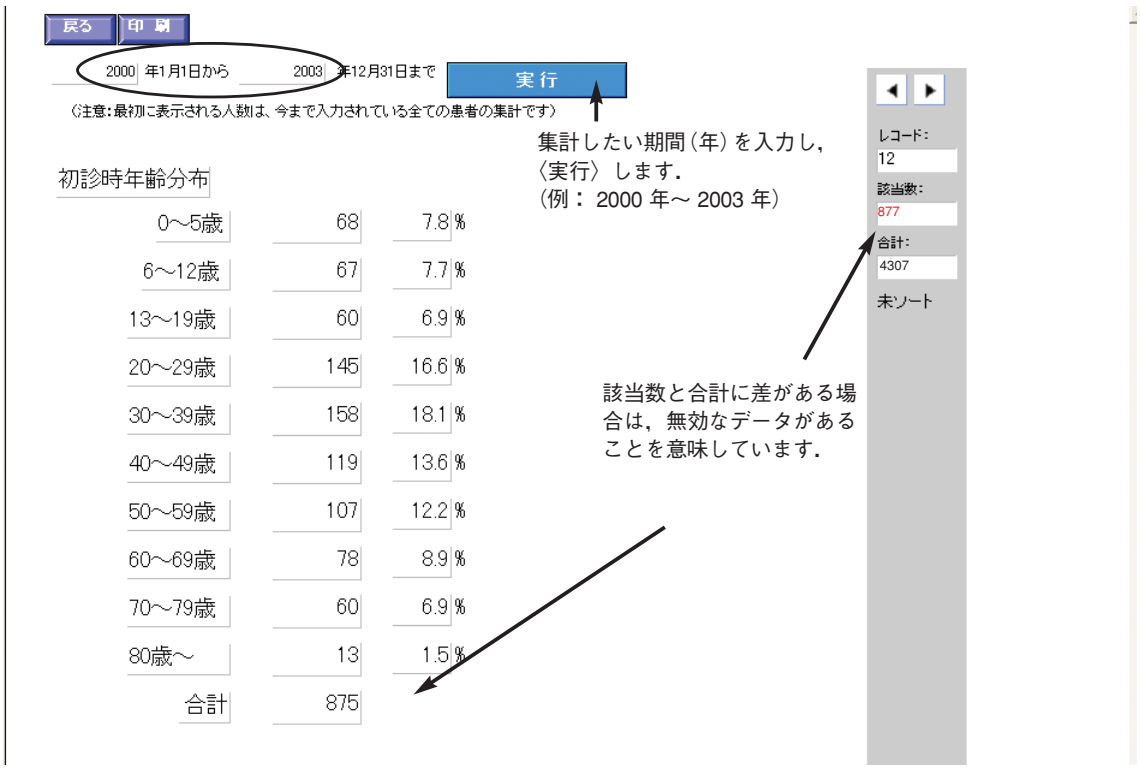


結果が表示されます．
この場合は，2000 年の初診患者の，過去 3 年間のメインテナンス来院状況になります．



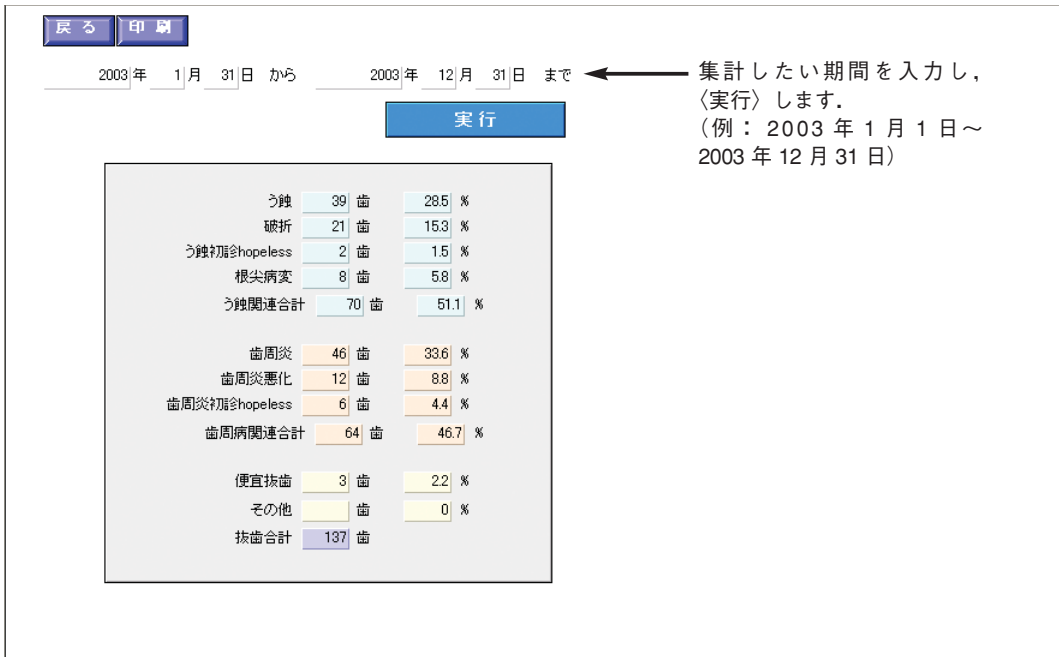
⑫：初診時年齢分布

初診時の年齢を集計します．表示される数値は有効データの数値になります．



⑬：抜歯原因年間割合

抜歯原因の年間割合を集計します．集計したい期間を入力し，〈実行〉をクリックします．この集計は，〈集計〉画面での検索結果に関わらず全データを対象に集計します．



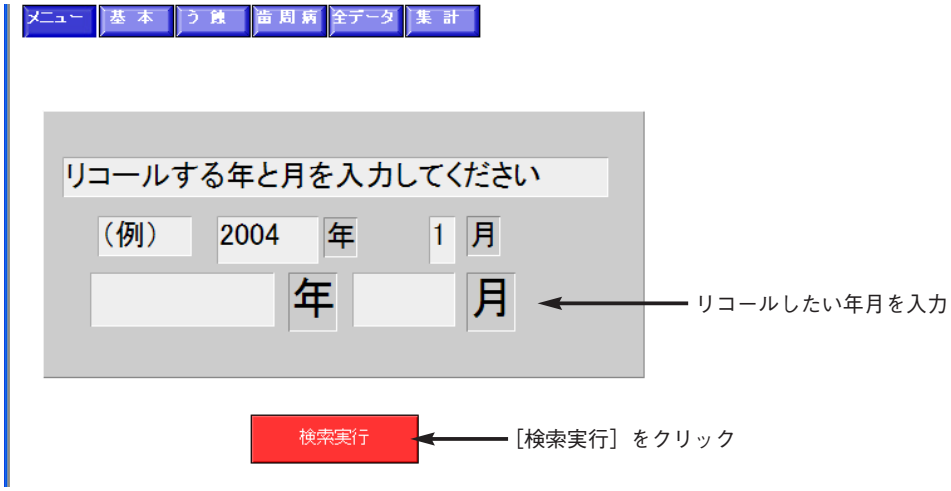
Attention

集計した合計と該当数に違いがある場合，合計された数値が有効データとなります．集計されなかったデータには，記入漏れや，入力ミスなどがあると考えられます．

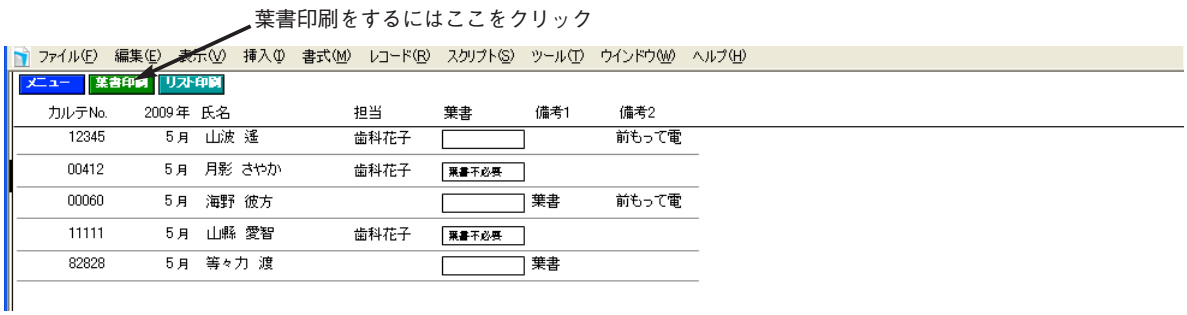
8 リコール〈一覧・葉書〉印刷

リコール用の一覧表示・リスト印刷，葉書宛名印刷をします．

〈メニュー〉画面の〈リコール一覧・葉書印刷〉8のボタンをクリックするとリコール年月を入力する画面が表示されます．ここから，リコールリストの一覧表示・リスト印刷や葉書印刷を行います．



該当するリコールリストが表示されます．この画面の〈葉書印刷〉または〈リスト印刷〉ボタンから必要な印刷をします．



■葉書印刷

葉書印刷は葉書のおもて面の宛名を印字するものです．葉書裏面の文面等は含まれておりません．また〈う蝕〉〈歯周病〉画面などで葉書不要にチェックしたものは印字されません．リコール葉書が必要な患者のみを印字します．

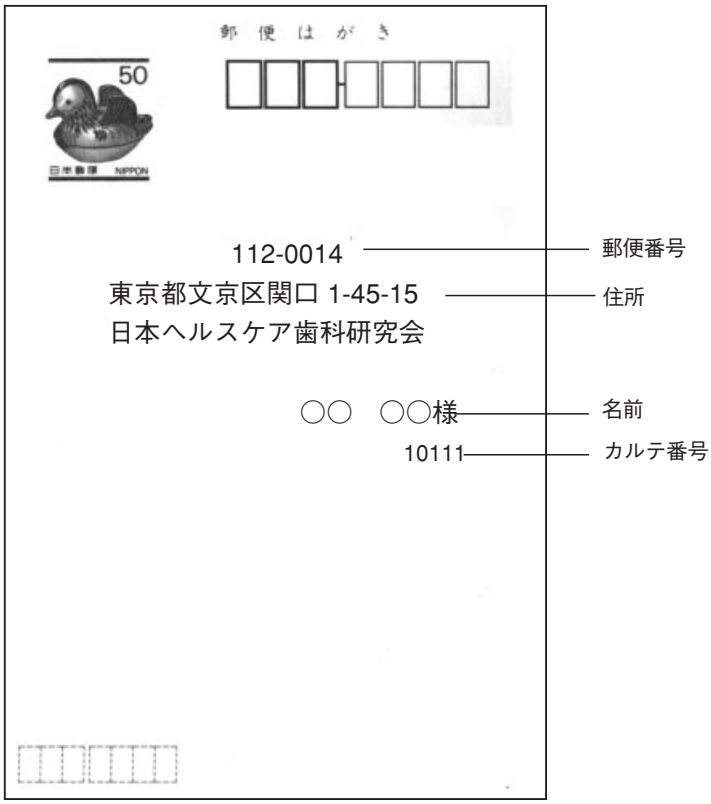
〈葉書印刷〉ボタンをクリックすると印刷ダイアログボックスが表示されます．印刷欄が「対象レコード」になっていることを確認して［OK］してください．なお，このダイアログボックスはプリンタの機種によって表示画面が異なります．

プリント後はメニュー画面に戻ります．

Attention

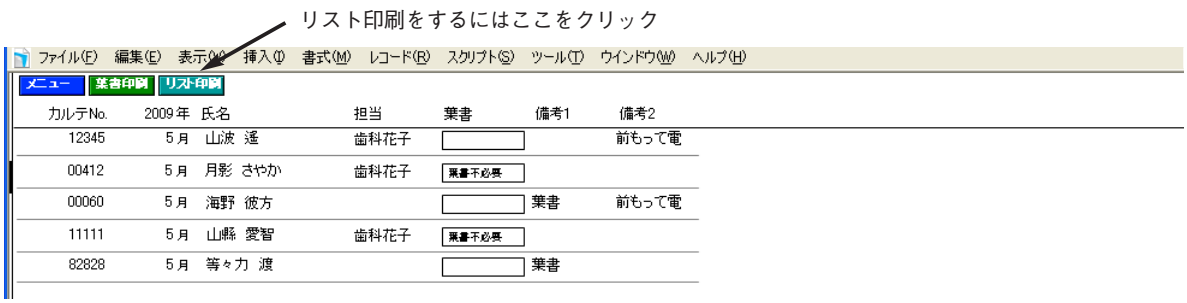
印刷する文字やレイアウトを変えたい時は，メニューバーの［表示］→［レイアウト］から「葉書宛名」のレイアウトを選び，書体等を変更します．印字の種類はお使いの環境によって異なります．初期設定のままお使いになると，Windows では MS ゴシック，Macintosh では Osaka で出力されます．

葉書印刷を行う場合は，ご使用のプリンタマニュアルを必ずお読みください．プリンタの種類によっては，印刷が若干ずれることがあります．



■リコールリスト印刷

葉書印刷の場合と同様にリコールする年月を検索し，一覧を表示します．



［リスト印刷］ボタンをクリックすると印刷指示画面［ダイアログボックス］が表示されますので，［OK］をクリックします．

リストには“備考 1”と“備考 2”があります．この項目は「う蝕」または「歯周病」画面で入力した事項が反映されます．ご利用ください．プリント後はメニュー画面に戻ります．

Attention

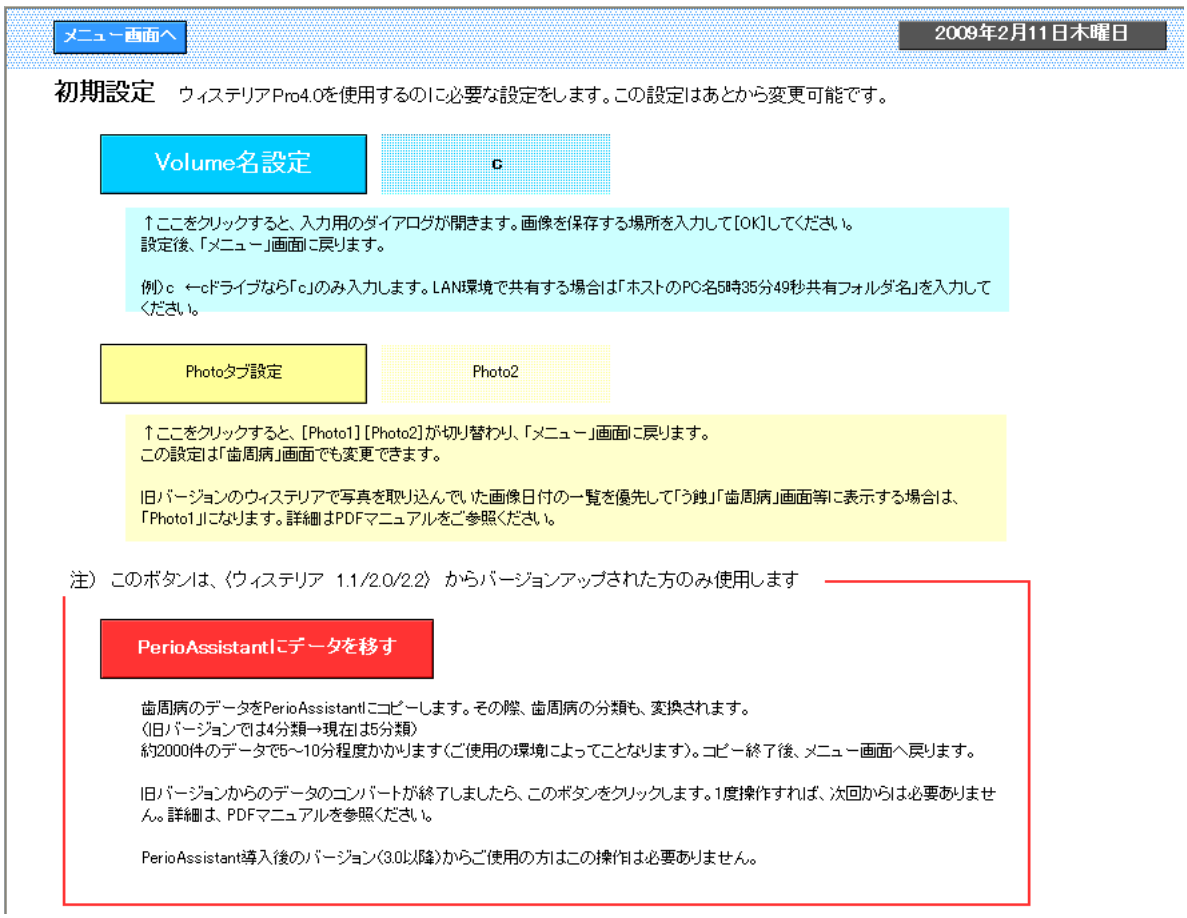
〈葉書印刷〉では〈葉書不必要〉にチェックのある患者を除外して印刷しますが，〈リコールリスト印刷〉では葉書の有無にかかわらず，検索したリコール年月に該当する全ての患者を一覧にして印刷します．また，印刷にあたっては，必ずご使用のプリンタのマニュアルをご参照ください．

9 初期設定

設定画面が追加されました．

メニュー画面 9 〈V 設定〉または〈P 設定〉ボタンをクリックすると初期設定画面が表示されます．この画面で写真を取り込みための Volume 名の設定や画像日付のタブ表示を設定します．

また，《ウィステリア Pro2.2》以前からバージョンアップされた場合は，歯周病データの PerioAssistant ファイルへのコピーを行います．



■ Volume 名の設定

写真を取り込む際に使用するフォルダのパスを設定し，“NewFile”および“OriginalFile”を作成します．（13 ・ 18 ページ参照）

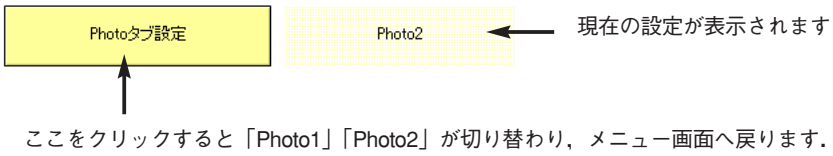
㊟ メニュー画面の V 設定ボタン横に表示されるハードディスク名（フォルダ名）はメニュー画面では変更できません．

Attention

各設定後，画面は自動でメニュー画面に戻ります．設定・変更などをせずにメニュー画面に戻るときは，左上の〈メニュー画面へ〉ボタンをクリックします．

■ Photo タブの設定

今回より写真データは回数制限なく取り込み・表示できるようになりました（Photo2）．初期設定では，〈Photo2〉の日付入力欄が表示されています．旧バージョンの仕様をそのままお使いになる場合は，表示するタブを切り替えます．この設定は〈歯周病〉画面でも変更できます（49 ページ参照）．



〈う蝕〉〈歯周病〉画面に表示される日付一覧が変更されます．

Photo1 を選択した場合

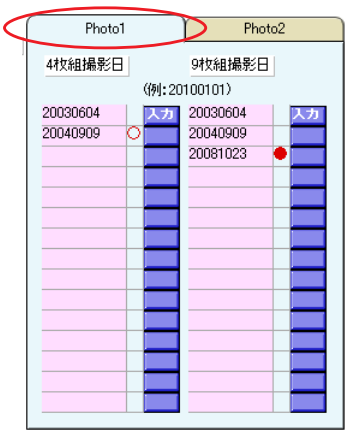


Photo2 を選択した場合

■ PerioAssistant にデータを移す

このボタンはウィステリア 2.2 以前からバージョンアップされた場合のみ使用します．

歯周病のデータを PerioAssistant にコピーします．その際，歯周病の分類も変換されます（51 ページ参照）．
約 2000 件のデータで 5 ～ 10 分程度かかります．（ご使用の環境により異なります）．
コピー終了後，メニュー画面に戻ります．
この作業は最初に旧バージョンの《ウィステリア》からデータをインポートした後，1 回のみ操作します．
PerioAssistant 導入後のバージョン（Pro3.0 以降）からご使用の方はこの操作は必要ありません．

写真データの準備

画像管理の手順を解説します．

以下では《ウィステリア Pro》の画像管理のための操作を解説します．〈メニュー〉画面のボタンの解説，〈う蝕〉画面，〈歯周病〉画面などのデータ入力についての解説は 19 ～ 88 ページをご覧ください．

写真データの準備

1. まず，《ウィステリア Pro》で取り込みたい，デジタルカメラもしくはフィルムスキャナで取り込んだ写真データ（画像デジタルデータ）を用意します．
2. “Factory's FileMaker Plug-in2” をインストール後，volume 名を入力したときに，ハードディスク内につくられた “OriginalFile” フォルダに写真データをコピーします．
   このとき，オリジナルの写真データのバックアップを必ずとっておいてください．“OriginalFile” の写真データは《ウィステリア Pro》で取り込むと，ファイル名が変わって “NewFile” に移動します．元に戻したいと思っても “OriginalFile” に入れた写真は見つかりません．また，画像ファイル名には半角スペースを使用しないでください．

《ウィステリア Pro》の立ち上げ

それでは《ウィステリア Pro》を立ち上げましょう．メニュー画面が現れます．

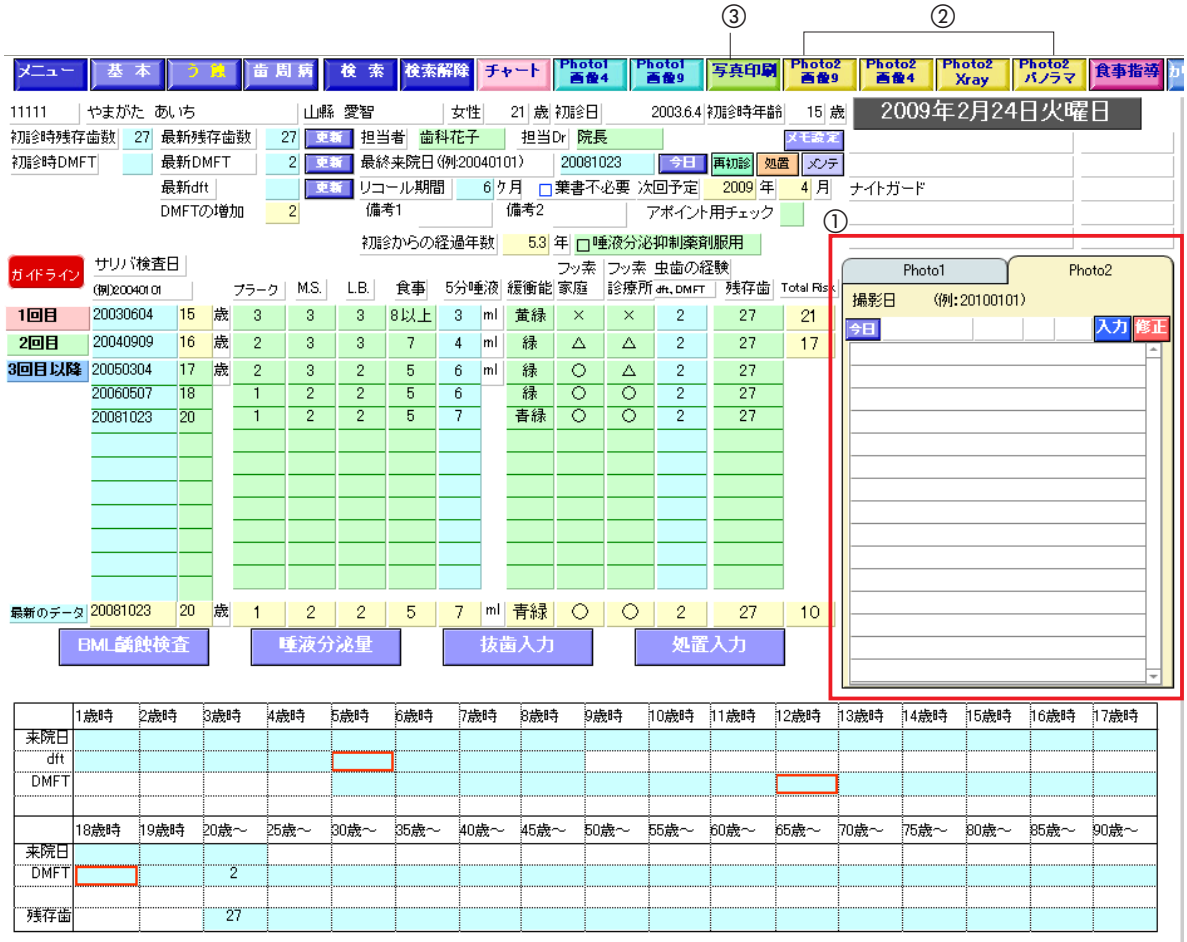
各データを入力後，写真データの取り込みを行います．〈う蝕〉4か〈歯周病〉5のボタンをクリックします．（データの入力については 25 ページからをご覧ください．）

Photo2 画像表示の手順

〈う蝕〉〈歯周病〉画面から写真データを取り込みます．

ここでは〈う蝕〉画面を用いて，今回から導入された「Photo2」の写真データの取り込みおよび表示を説明します．

立ち上がり画面の〈う蝕〉4のボタンをクリックし，う蝕に関する画面を表示します．



①〈Photo2 タブ〉：日付，分類，枚数を入力するフィールドです．新しい日付順に表示されます．

②〈Photo2 画像 9〉〈Photo2 画像 4〉〈Photo2 Xray〉〈Photo2 パノラマ〉：取り込んだ写真を表示するのに使用します．

③〈写真印刷〉：画像 4 枚，9 枚，デンタル X 線およびパノラマ X 線をハガキサイズに印刷します．ここから印刷したい写真を選びます．

Attention

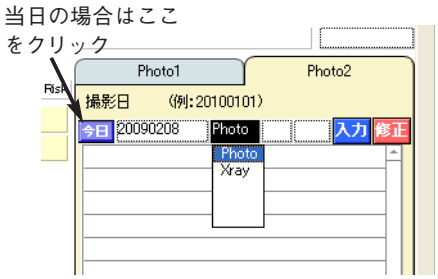
元になる画像は必ずバックアップをお取り下さい．

旧バージョンの写真の表示については，112 ページを参照ください．

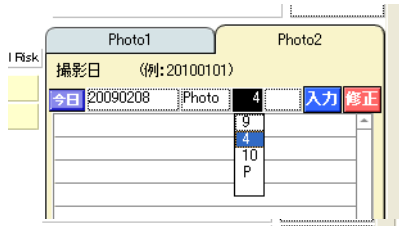
画像データの入力〈Photo2　4 枚画像〉

〈Photo2 画像 4〉ボタンで表示するためのデータ入力

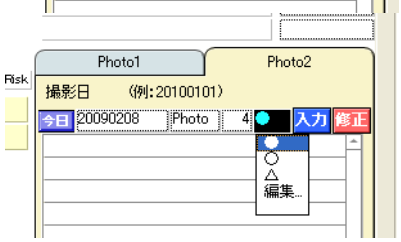
1. 撮影日を入力します．当日の場合は 今日 をクリックします．日にちは西暦 8 桁で入力します（2009 年 2 月 8 日の場合 20090208 となります）．
日付が入力されていないと右の〈入力〉ボタンをクリックしても画面は切り替わりません．

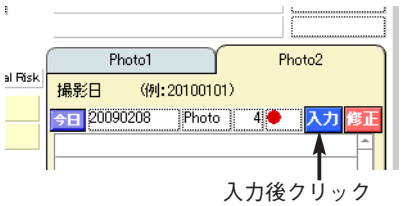


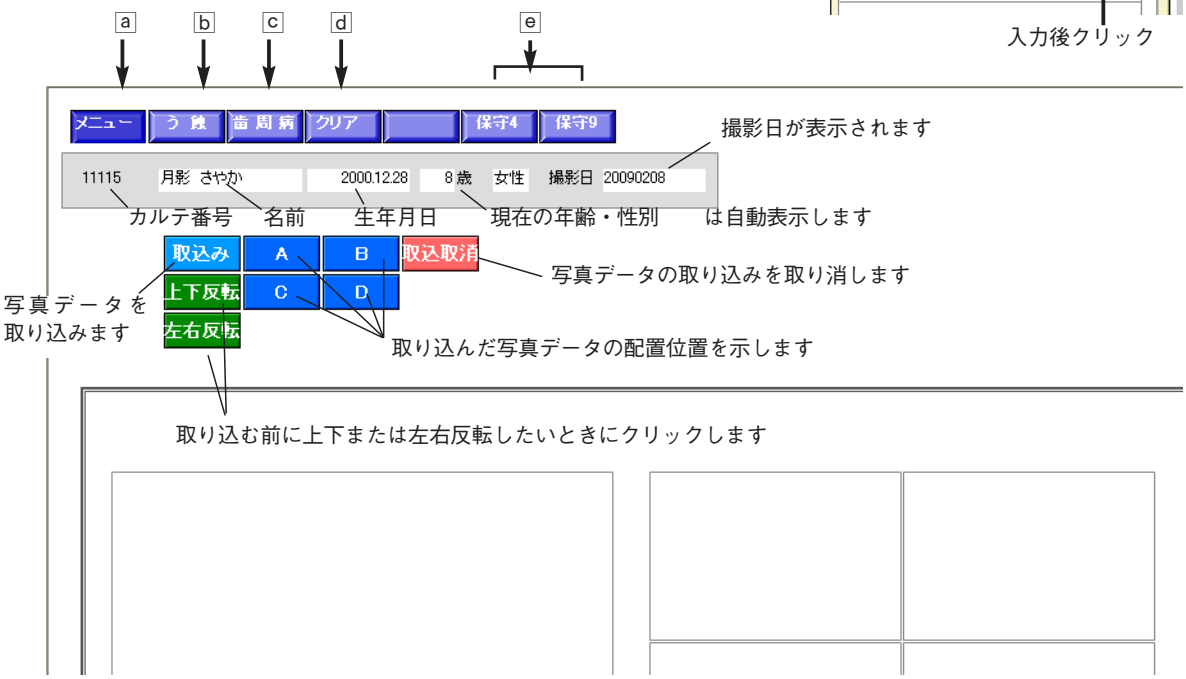
2. 続いて，ポップアップから「Photo」を選択し，4 枚なので，次のフィールドは「4」を選択します．この次のフィールドは「●」「○」「△」を選択できます．画像を《ウィステリア Pro》に取り込んだときの覚えなどにご利用ください．「編集」をクリックすると値一覧を編集できますので，追加や削除ができます．



3. 入力できましたら 入力 をクリックします．
次の画面が表示されます．







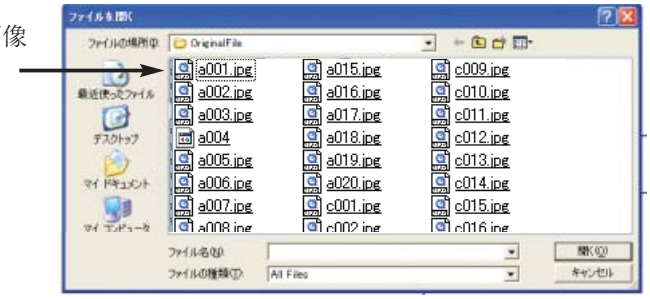
・a をクリックすると，立ち上がりのメニュー画面に戻ります．
・b をクリックすると，〈う蝕〉画面に戻ります．メニュー画面の 4 と同じです．
・c をクリックすると，〈歯周病〉画面に戻ります．メニュー画面の 5 と同じです．
・d それまでの操作を取り消し〈入力〉ボタンを選択したと同じ画面になります．
・e 取り込んだ際のパス情報が表示されます．確認などにご利用ください

さて，実際に画像を取り込んでみましょう．

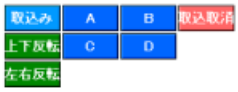
4. 取込み をクリックします．

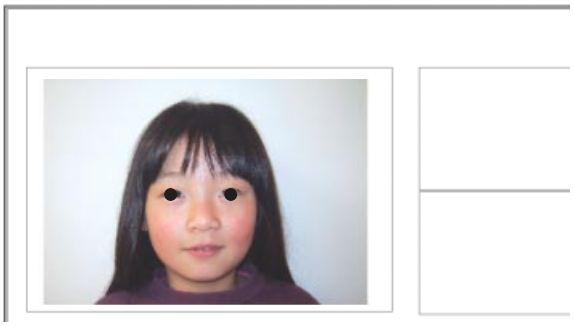
5. 写真データの入っている“OriginalFile”フォルダを選択して開きます．

6. “OriginalFile”フォルダの中の取り込みたい画像を選択して，［開く］をクリックします．



7. 選択した写真が大写しになって表示されます．この写真で間違いなければ，取り込みたい A ～ D の位置のボタンをクリックします．





画像ファイルが間違っている場合は，再度〈取り込み〉ボタンをクリックして「3」の操作を繰り返します．

直前の取り込みを取り消したいときは，右の 取込取消 ボタンをクリックしてください．直前の取り込みが取り消されますので，もう一度取り込みの作業を繰り返します．

Attention

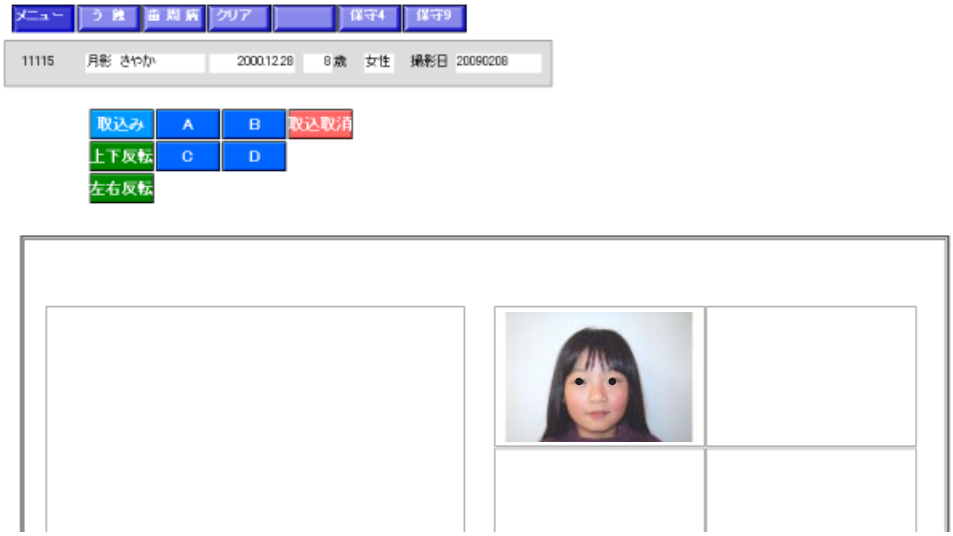
“OriginalFile”フォルダは，Volume 名を入力した際に指定したハードディスクに自動的に作成されます．ここに用意した《ウィステリア Pro》上で表示させたい写真データをコピーします．必ず写真データのバックアップをお取りください．

取り込みを行うことによって，“OriginalFile”フォルダから“NewFile”フォルダに写真データのカルテ番号のついたフォルダが自動的に作成され，該当するそれらはファイル名が自動的にカルテ番号を接頭に付したファイル名に書き換えられ，画像データは“NewFile”に移動します．

8. A に写真を取り込んだときの状態です．同様に B ～ D に写真を取り込みます．

注 作業中は取り込んでいる写真のみ表示されます．

4 枚とも取り込めたら取り込みは終了です． う 蝕 ボタンをクリックして〈う蝕〉画面へ戻ります．



9. 取り込みを終わり，〈う蝕〉画面の Photo2 画像4 ボタンから表示させた画面です．

A の位置に取り込んだ写真

Attention

写真データの取り込みが終了したら，〈Photo2 画像 4〉ボタンをクリックして，画像を表示させてください．

〈取り消し〉ボタンは 1 枚の写真データを取り込んだ直後にそのデータの取り込みを取り消したいときに使用します．

■撮影日削除

撮影日一覧に入力したデータを修正や削除したいときは，修正ボタンをクリックします．

日付一覧が表示されますので，削除したい日付を選択してレコード削除します．一度削除したデータは元に戻せません．削除する前に確認してから削除してください．

■撮影日修正

日付の修正をしたい場合は，日付 8 桁を修正します．日付を修正すると，取り込んだ画像が表示されなくなります．日付を修正した場合は，NewFile 内の画像の日付も同様に修正してください．

NewFile に取り込まれた画像は，カルテ番号ごとのフォルダに移動し，カルテ番号 _ 日付 _ 分類 _ 取込位置.jpg とファイル名を変更されています．修正する場合はこの日付部分を修正してください．その際，他の部分を削除しないようご注意ください．

1115_20090208_P_A.JPG

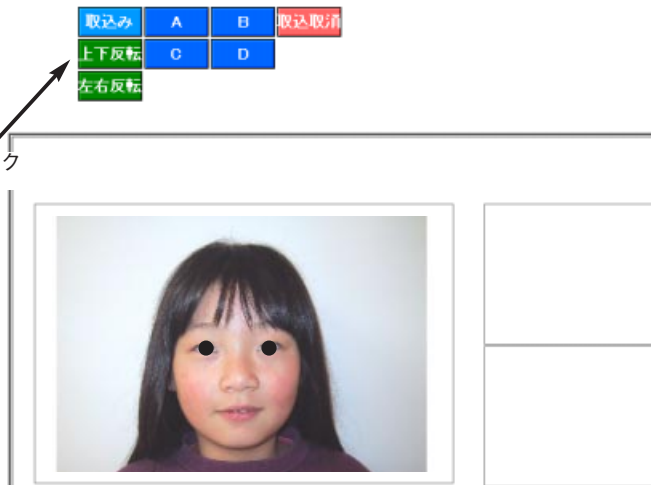
カルテ番号 _ 日付 _ 分類 _ 取込位置

Attention　削除したデータは元に戻せません．削除する前によく確認してから，削除してください．

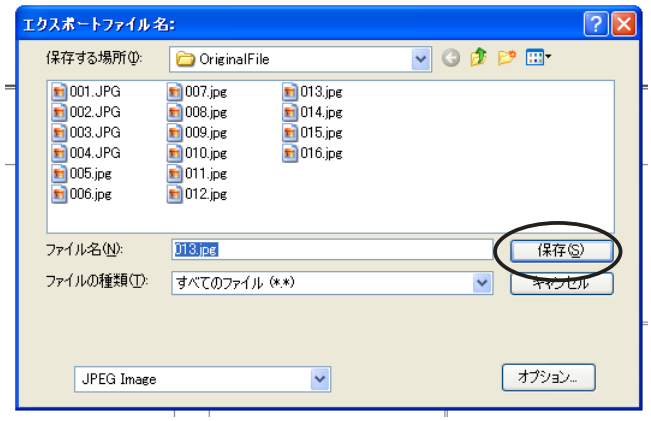
■画像の反転

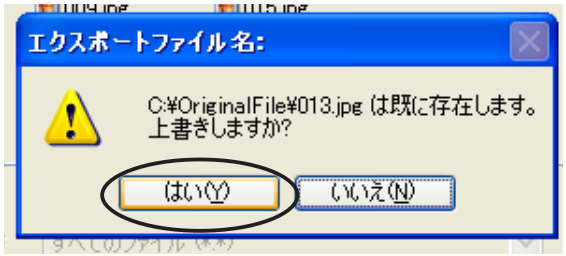
今回から写真を取り込む際に，写真の上下・左右の反転が可能になりました．

写真取り込み時に選択した写真が大写しになって表示されたところで，上下反転クリックボタンをクリックします．



保存するダイアログが表示されますので，［保存］をクリックし，上書き保存します．





反転した状態で表示されますので，取り込みたい位置ボタンをクリックします．

左右反転する場合も同様に位置ボタンを選択する前に反転してください．

㊟ Macintosh をご使用の場合は，保存するダイアログは表示されず，反転した画像が表示されます．

㊟ 反転した状態が分かりやすいように顔写真を使用しています

画像を取り込むと，“OriginalFile”フォルダから“NewFile”フォルダへ写真データは自動的に移ります．この取り込まれた写真データを“OriginalFile”に戻したいときには，ウィステリアを終了して，Windows エクスプローラ（Mac の場合は Finder）で操作します．“OriginalFile”に取り込みなおしたい写真データ（デジカメなどで撮影した元のデータ）を入れなおし，“NewFile”に移った間違った写真データは削除してください．この時必要なデータを削除しないように，注意してください．その後，再度《ウィステリア **Pro**》で取り込みなおしてください．元の写真データがない場合は，下記の方法を行ってください．

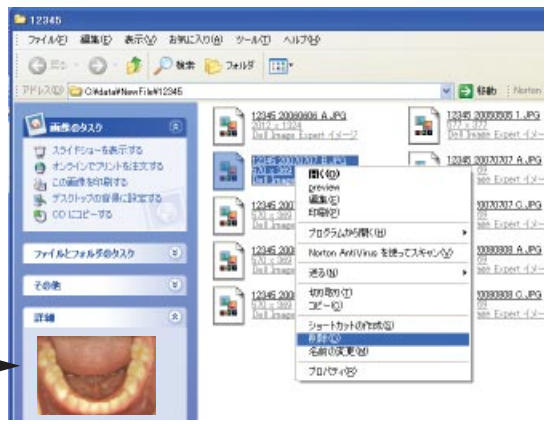
■ Windows の場合

① 「マイコンピュータ」から“NewFile”を選択します．“NewFile”フォルダの中の戻したいカルテ番号のフォルダから該当するファイルを選択し，右クリックしてコピーを選びます．（またはメニューバーの「編集」→「コピー」を選択します）

② 次に“OriginalFile”を選択し，右クリックして「貼り付け」を選びます．（またはメニューバー「編集」→「貼り付け」を選択します）

③ 写真データの名前は“NewFile”へ取り込まれた時に自動的に書き変わった名前になっています．元の名前に戻すには，元に戻したい該当のファイル上で右クリックし，「名前の変更」を選んで変更してください．その際，拡張子（.jpg）を消さないように注意してください．（Windows の環境設定によっては拡張子は表示されません）

④ “OriginalFile”に戻し終えましたら，“NewFile”の不要になった写真データを削除します．

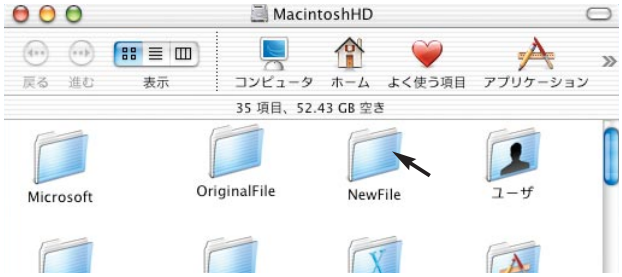


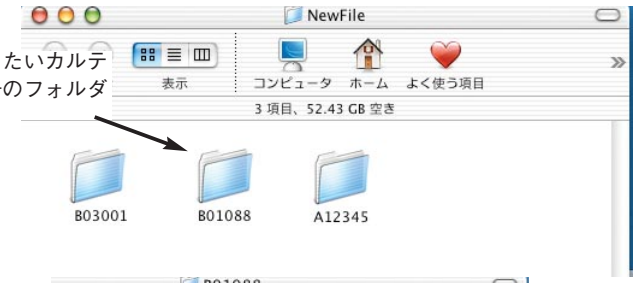
Attention

フォルダ移動の作業の際には，写真ファイル名を確認のうえ，フォルダの移動をしてください．“NewFile”に移動したデータ名は自動的にカルテ番号・日付のついた名前に変更されています．

■ Macintosh の場合

①「MacintoshHD」から“NewFile”をダブルクリックして開きます．“NewFile”フォルダの中の戻したいカルテ番号のフォルダから該当するファイルを選択し，ドラッグして“OriginalFile”フォルダに移します．





② 写真データの名前は“NewFile”へ取り込まれた時に自動的に書き変わった名前になっていますので，元の名前に戻します．

移動するファイルを間違えないように，サムネールなどで確認してから移動してください．

③《ウィステリア Pro》を立ち上げ，写真を取り込みなおします．

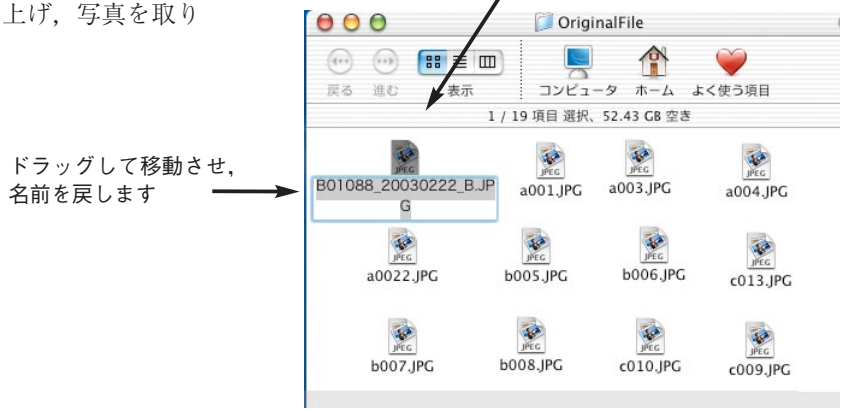
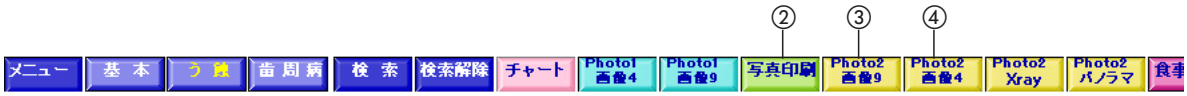
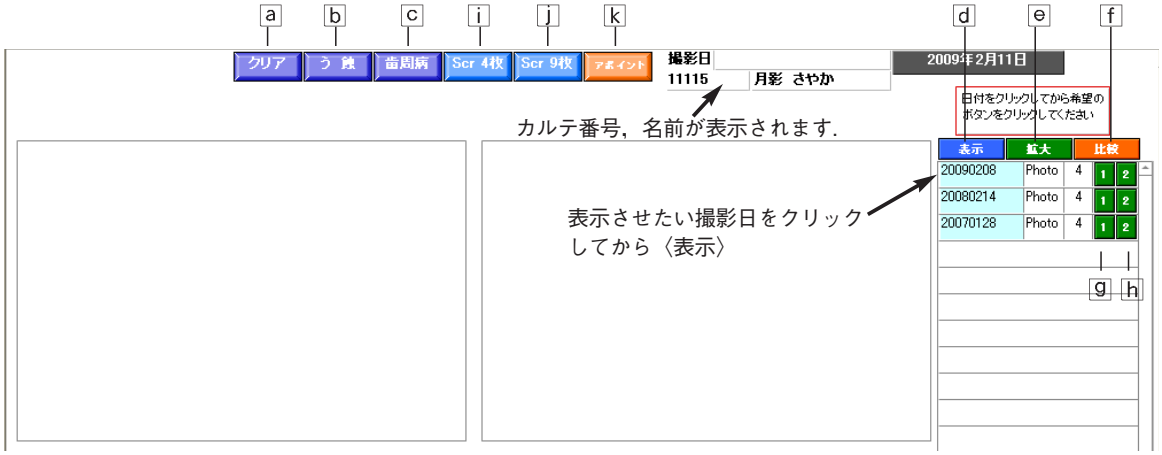


Photo 画像データ表示〈Photo2　4 枚画像〉

〈Photo2 画像 4〉ボタンを用いて画像データを表示します．



〈う蝕〉画面か〈歯周病〉画面の上の〈Photo2 画像 4〉④ ボタンをクリックすると，4 枚撮影の表示画面が現れます．表示させたい〈撮影日〉を選択し，d〈表示〉ボタンをクリックすると画像が表示されます．（〈表示〉をクリックするまでは，撮影日，写真は表示されません）



撮影日を選択して〈表示〉ボタンをクリックすると写真が表示されます

㊟ WindowsVista をご使用の場合，取り込み位置に空欄があるとその部分が黒く表示されることがあります．

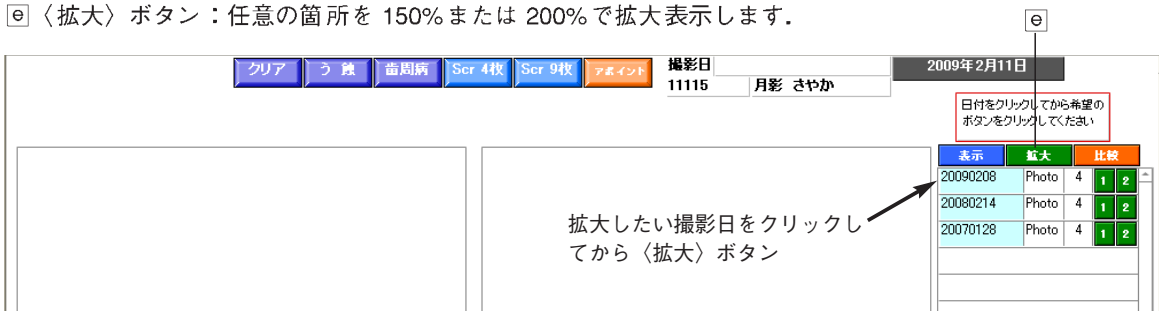
・a〈クリア〉ボタン：それまでの操作を取り消し，〈Photo2 画像 4〉ボタンを選択した場合と同じ画面になります．

・b〈う蝕〉ボタン：〈う蝕〉画面に戻ります．メニュー画面の 4 と同じです．

・c〈歯周病〉ボタン：〈歯周病〉画面に戻ります．メニュー画面の 5 と同じです．

d〈表示〉ボタン：撮影日を選択してからクリックします．

ⓔ〈拡大〉ボタン：任意の箇所を 150% または 200% で拡大表示します．



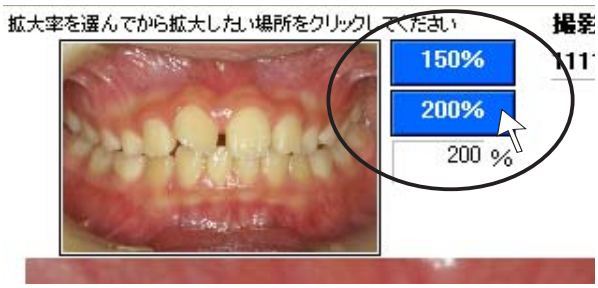
Attention

拡大率の初期設定は 150% です．200% にしたい場合は，〈200%〉ボタンで切り替えます．

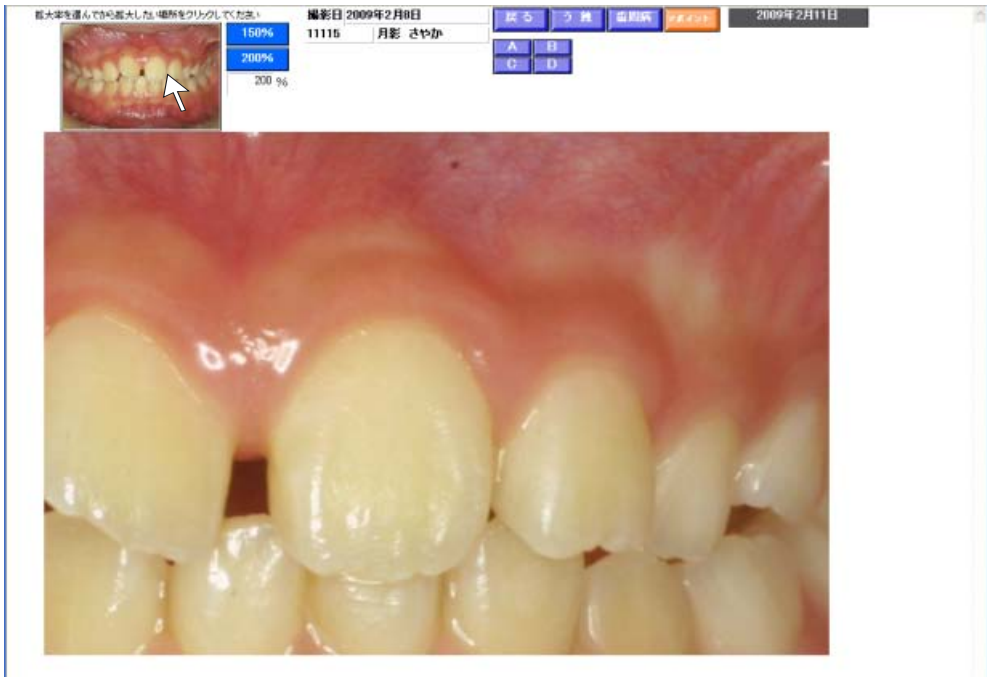
Photo 画像 4　　拡大 200%

拡大率の初期設定は 150%です．200%で拡大したい場合は，〈200%〉ボタンをクリックします．現在選択している拡大率はボタンの下に表示されます．

〈戻る〉をクリックすると〈表示画面〉に戻ります．



200%で拡大



Attention　拡大した画像はモニタでのみ確認ができます．このままプリントすることはできません．

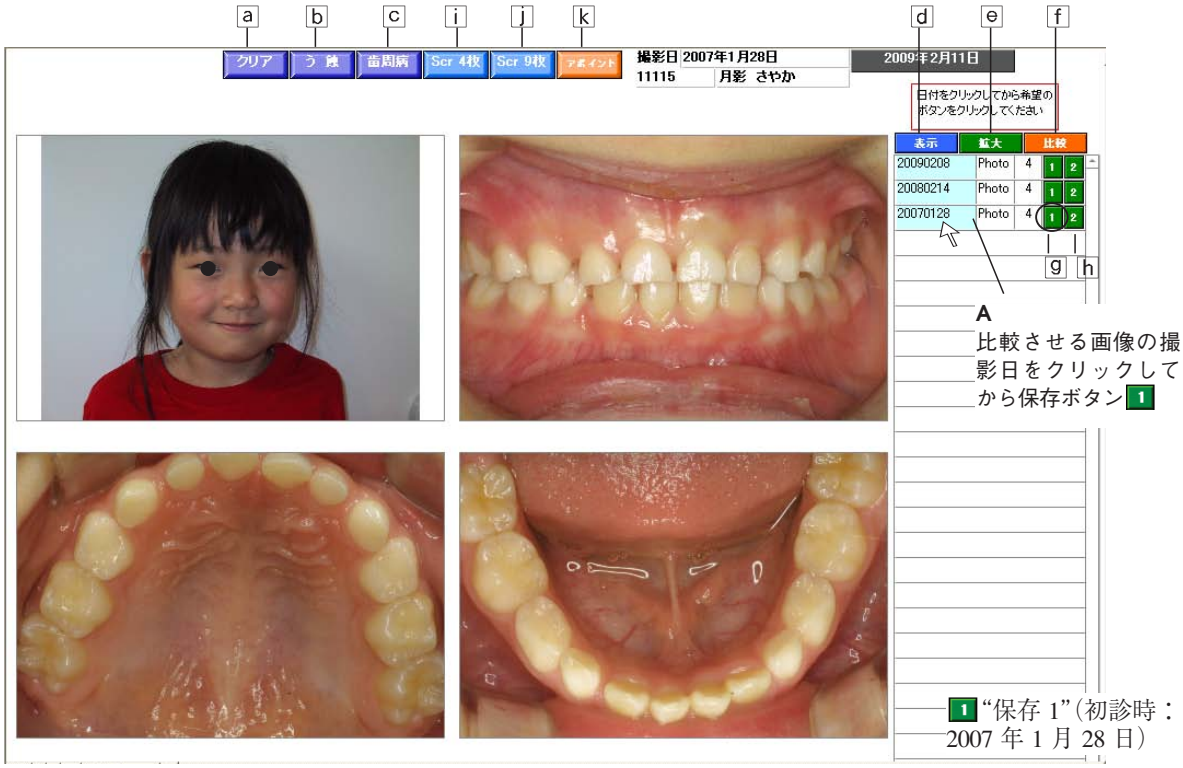
・f〈比較〉ボタン：異なる撮影日の画像を比較するためのボタンです．以下の順に操作します．

■〈4 枚を比較する〉方法

以下の A ～ D の順に操作します．〈画像撮影日〉横に保存ボタンが追加されて操作が簡単になりました．

A　〈画像 4〉ボタンの画面で，〈撮影日〉をクリックしてから g 1 をクリックします．

ここでは 2007 年 1 月 28 日の 4 枚の画像データが“保存 1”となります．



B　比較表示したい〈撮影日〉の h 2 をクリックします．

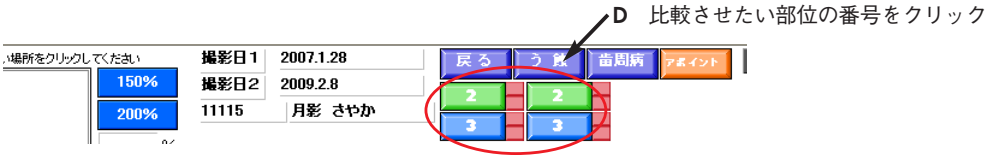
ここでは 2009 年 2 月 8 日の 4 枚の画像データが“保存 2”となります．

これで比較する 2 組の 4 枚の画像が選択されました．

C　f〈比較〉ボタンをクリックします．

D　下の画面が表示されます．**A**，**B** で操作して保存した 1 “保存 1”と 2 “保存 2”の画像を，ここで表示されたボタンの 2，3 の部位で比較表示させることができます．

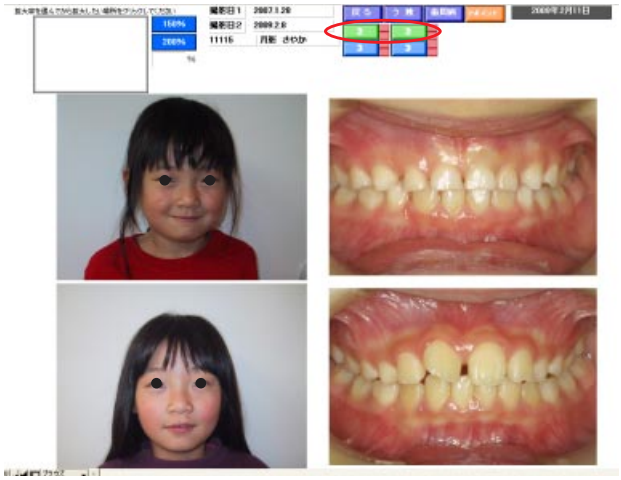
左上の位置ボタンを確認します．同色のボタンをクリックすると，1 “保存 1”と 2 “保存 2”の同位置の画像が一つの画面に表示されます．



2 をクリックすると，“保存 1”（初診時：2007 年 1 月 28 日）と “保存 2”（最新時：2009 年 2 月 7 日）が比較表示される．

1 “保存 1”（初診時：2007 年 1 月 28 日）

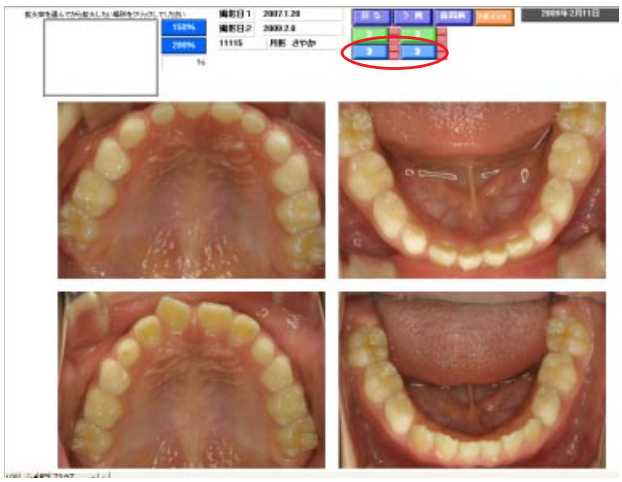
2 “保存 2”（最新時：2009 年 2 月 8 日）



3 ボタンをクリックしたときの初診時と最新時の比較

1 “保存 1”（初診時：2007 年 1 月 28 日）

2 “保存 2”（最新時：2009 年 2 月 8 日）



Attention

位置ボタンでは，同色・同番号をクリックすれば表示されます（必ず先に日付をクリックする必要があります）．

異なる撮影日の同位置の写真データが一つの画面上に表示され，比較するのに便利です．

画像データの入力〈Photo2　9 枚画像〉

〈Photo2 画像 9〉ボタンで表示するためのデータ入力

1. 撮影日を入力します．当日の場合は 今日 をクリックします．日にちは西暦 8 桁で入力します（2009 年 2 月 7 日の場合 20090207 となります）．

日付が入力されていないと右の〈入力〉ボタンをクリックしても画面は切り替わりません．

2. 続いて，ポップアップから「Photo」を選択し，9 枚なので，次のフィールドは「9」を選択します．この次のフィールドは「●」「○」「△」を選択できます．画像を《ウィステリア Pro》に取り込んだときの覚えなどにご利用ください．「編集」をクリックすると値一覧を編集できますので，追加や削除ができます．

3. 入力できましたら 入力 をクリックします．

次の画面が現れます．入力および a～e の操作は，〈画像 4〉の場合（91 ページ参照）と同じです．

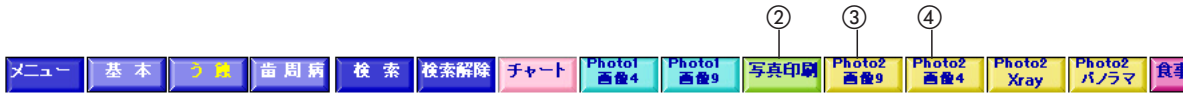
作業中は取り込んでいる写真のみ表示されます．

Attention

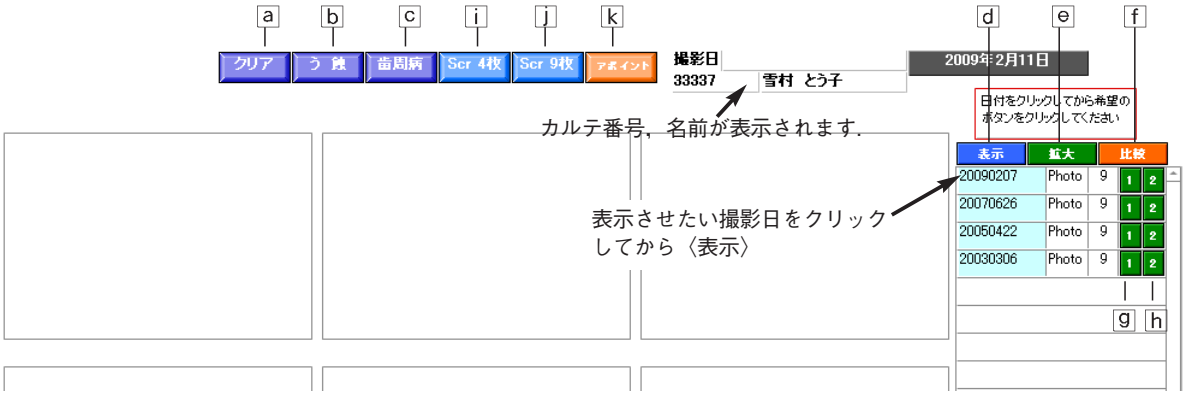
〈撮影日〉に日付が正しく入力されていないと〈入力〉ボタンをクリックしても画面は切り替わりません．

Photo 画像データ表示〈Photo2　9 枚画像〉

〈Photo2 画像 9〉ボタンを用いて画像データを表示します．



〈う蝕〉画面か〈歯周病〉画面の上の〈Photo2 画像 9〉③ ボタンをクリックすると，9 枚撮影の表示画面が現れます．表示させたい〈撮影日〉を選択し，d〈表示〉ボタンをクリックすると画像が表示されます．（〈表示〉をクリックするまでは，撮影日，写真は表示されません）〈Poto2 画像 4〉での表示とほぼ同じです．

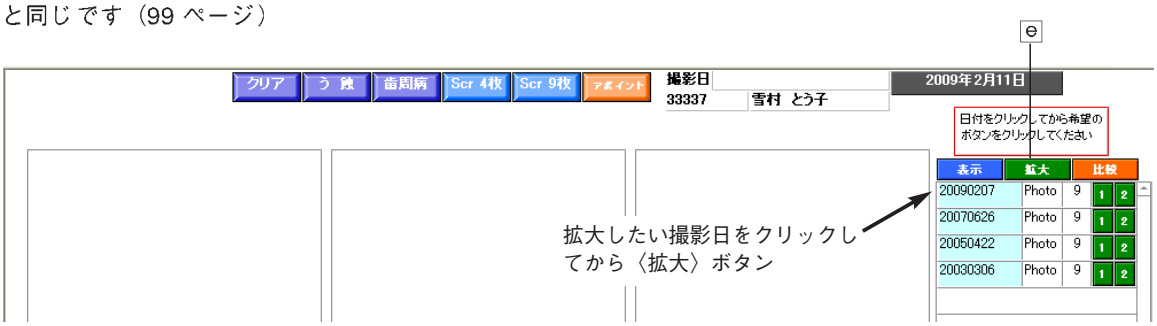


撮影日を選択して〈表示〉ボタンをクリックすると写真が表示されます

㊟ WindowsVista をご使用の場合，取り込み位置に空欄があるとその部分が黒く表示されることがあります．

- a〈クリア〉ボタン：それまでの操作を取り消し〈Photo2 画像 9〉ボタンを選択した場合と同じ画面になります．
- b〈う蝕〉ボタン：〈う蝕〉画面に戻ります．メニュー画面の 4 と同じです．
- c〈歯周病〉ボタン：〈歯周病〉画面に戻ります．メニュー画面の 5 と同じです．
- d〈表示〉ボタン：撮影日を選択してからクリックします．

ⓔ〈拡大〉ボタン：任意の箇所を 150%または 200%で拡大表示します．この動作は〈Photo2 画像 4〉と同じです（99 ページ）

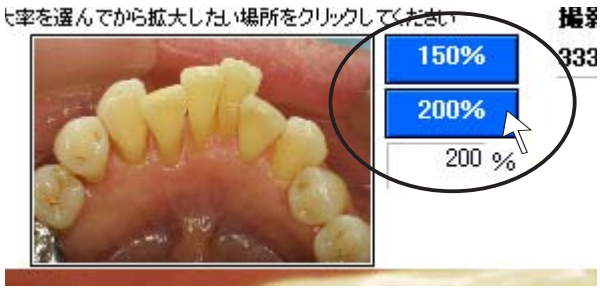


Attention　拡大率の初期設定は 150% です．200% にしたい場合は，〈200%〉ボタンで切り替えます．

Photo 画像 9　拡大 200%

拡大率の初期設定は 150%です．200%で拡大したい場合は，〈200%〉ボタンをクリックします．現在選択している拡大率はボタンの下に表示されます．

〈戻る〉をクリックすると〈表示画面〉に戻ります．



200%で拡大

※同じ撮影日の 4 枚画像もここから拡大表示できます．A ～ D の該当する位置ボタンをクリックして表示させてください．

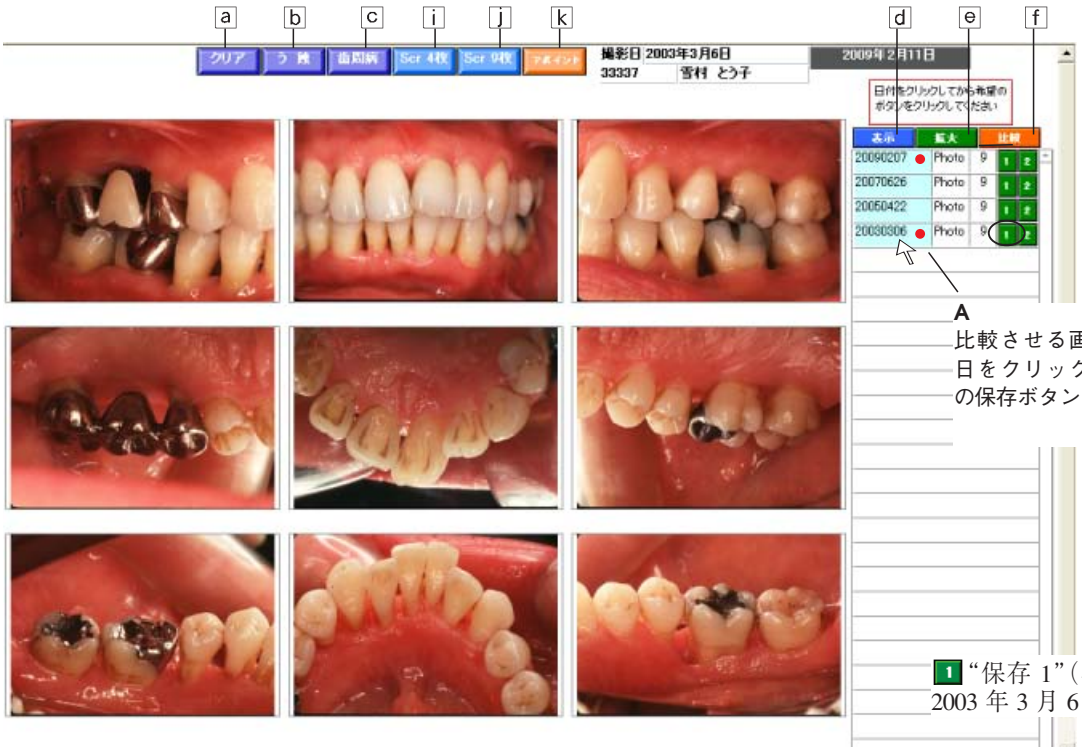
・f〈比較〉ボタン：異なる撮影日の画像を比較するためのボタンです．以下の順に操作します．

■〈9 枚を比較する〉方法

以下の A ～ D の順に操作します．

A　〈Photo2 画像 9〉ボタンの画面で，〈撮影日〉をクリックしてから横の h 1 をクリックします．

ここでは 2003 年 3 月 6 日の 9 枚の画像データが“保存 1”となります．



B　次に〈画像 9〉ボタンの画面で，比較表示したい〈画像撮影日〉の i 2 をクリックします．

ここでは 2009 年 2 月 7 日の 9 枚の画像データが“保存 2”となります．

これで比較する 2 組の 9 枚の画像が選択されました．

C　f〈比較〉ボタンをクリックします．

D　「比較画面」が表示されます．**A**，**B** で操作して保存した 1 保存 1”と 2 保存 2”の画像を，ここで表示されたボタンの 1 ～ 5 の部位で比較表示させることができます．

位置ボタンから表示します．同色のボタンをクリックすると，1“保存 1”と 2“保存 2”の同位置の画像が一つの画面に表示されます．

1 ボタンをクリックすると，“保存 1”（初診時： 2003 年 3 月 6 日）と“保存 2”（最新時： 2009 年 2 月 7 日）が比較表示される．

1 “保存 1”初診時： 2003 年 3 月 6 日）

2“保存 2”（最新時: 2009 年 2 月 7 日）

どちらのボタンをクリックしても同じです

2 ボタンをクリックしたときの初診時と最新時の比較

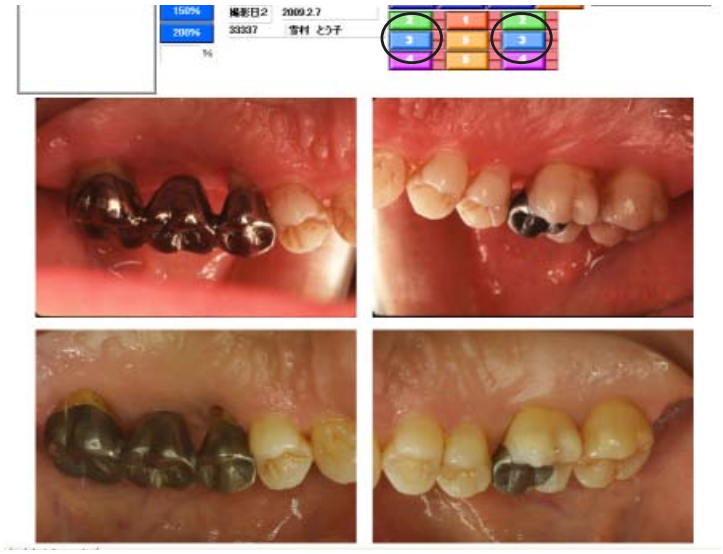
1 “保存 1”
（初診時： 2003 年 3 月 6 日）

2 “保存 2”
（最新時: 2009 年 2 月 7 日）

Attention

位置ボタンでは，同色・同番号をクリックすれば表示できます．
異なる撮影日の同位置の写真データが一つの画面上に表示され，比較することができます．

3 ボタンをクリックしたときの初診時と最新時の比較



1 “保存 1”
（初診時： 2003 年 3 月 6 日）

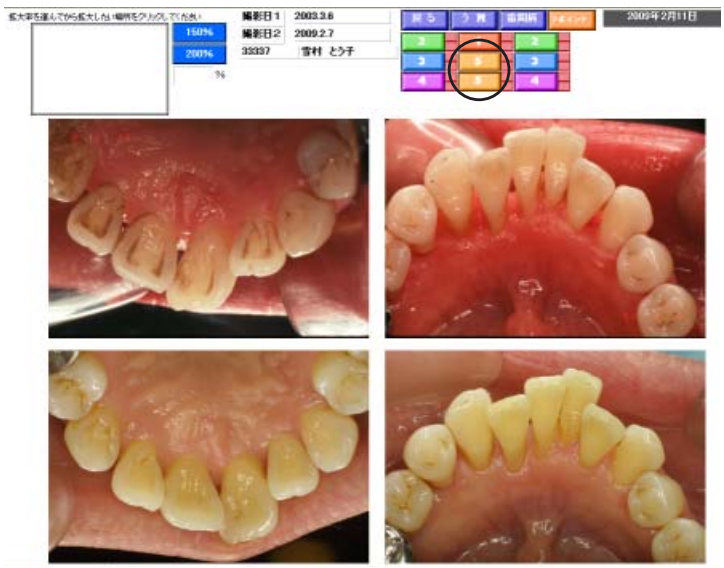
2 “保存 1”
（最新時： 2009 年 2 月 7 日）

4 ボタンをクリックしたときの初診時と最新時の比較

1 “保存 1”
（初診時： 2003 年 3 月 6 日）

2 “保存 2”
（最新時： 2009 年 2 月 7 日）

5 ボタンをクリックしたときの初診時と最新時の比較



1 “保存 1”
（初診時： 2003 年 3 月 6 日）

2 “保存 2”
（最新時：2009 年 2 月 7 日）

Attention

位置ボタンの右横のボタンは，上段をクリックすると 1 “保存 1” を，下段をクリックすると 2 “保存 2” をそれぞれ拡大表示します．

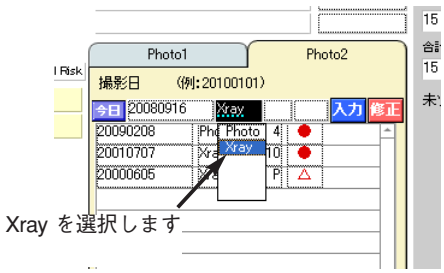
画像データの入力〈デンタル X 線・パノラマ X 線〉

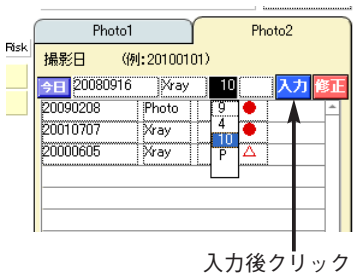
〈Photo2 Xray〉,〈Photo2 パノラマ〉ボタンで表示するためのデータ入力

今回のバージョンよりデンタル X 線，パノラマ X 線も入力できるようになりました．取り込み・表示の方法は〈Photo2 画像 4〉および〈Photo2 画像 9〉と同じです．

■デンタル X 線

1. 撮影日を入力します．当日の場合は 今日 をクリックします．日にちは西暦 8 桁で入力します（2009 年 9 月 16 日の場合 20090916 となります）．
   日付が入力されていないと右の〈入力〉ボタンをクリックしても画面は切り替わりません．
2. 続いて，ポップアップから「Xray」を選択し，「10」を選択します．この次のフィールドは「●」「○」「△」を選択できます．画像を《ウィステリア Pro》に取り込んだときの覚えなどにご利用ください．





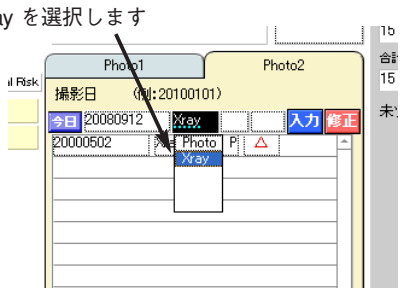
3. 入力できましたら 入力 をクリックします．
4. 取り込み画面になりますので，写真の取込をします．取り込み方は「画像 4 枚および 9 枚」と同じです．X 線画像を取り込む際に，上下・左右反転させることもできます．

5. 「う蝕」または「歯周病」画面の上の Photo2 Xray ボタンから表示画面に移動します．日付をクリックしてから，〈表示〉します．また，〈拡大〉することも可能です．

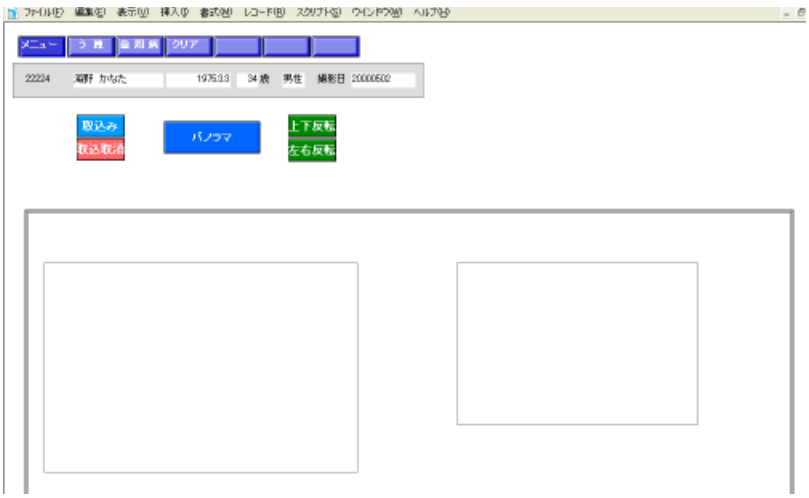
Attention　デンタル X 線写真は 14 枚まで取り込むことが可能です．

■パノラマ X 線

1. 撮影日を入力します．当日の場合は 今日 をクリックします．日にちは西暦 8 桁で入力します（2008 年 9 月 12 日の場合 20080912 となります）．
日付が入力されていないと右の〈入力〉ボタンをクリックしても画面は切り替わりません．
2. 続いて，ポップアップから「Xray」を選択し，「P」を選択します．この次のフィールドは「●」「○」「△」を選択できます．画像を《ウィステリア Pro》に取り込んだときの覚えなどにご利用ください．
3. 入力できましたら 入力 をクリックします．



4. 取り込み画面になりますので，写真の取込をします．取り込み方は「画像 4 枚および 9 枚」と同じです．パノラマ X 線画像を取り込む際に，上下・左右反転させることもできます．



5. 「う蝕」または「歯周病」画面の上の Photo2 Xray ボタンから表示画面に移動します．日付をクリックしてから，〈表示〉します．
また，この画面で〈拡大〉することも可能です．左上のサムネールをクリックするとその部位を拡大します（99 ページ参照）．

Attention　画像データ取り込みについての詳細は，〈Photo2 画像 4〉91 ページからをご参照ください．

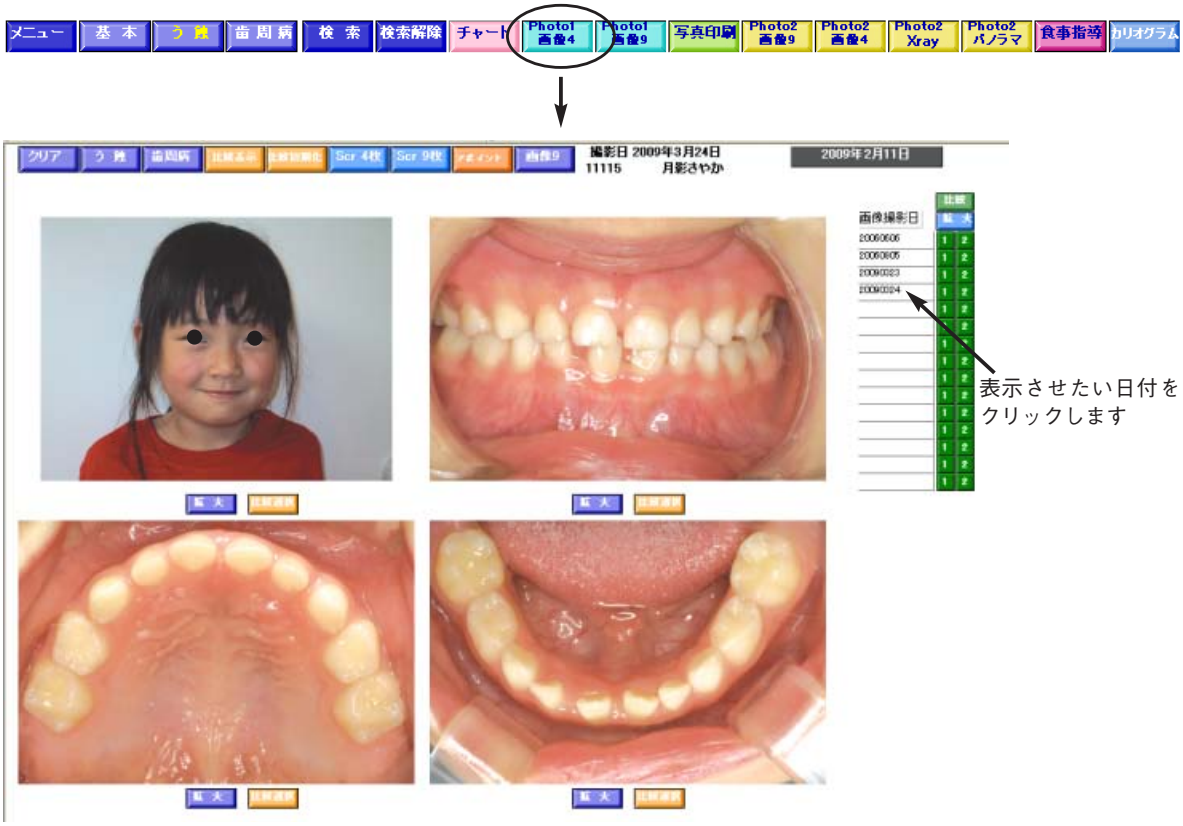
Photo1 画像 4 ／画像 9

旧バージョンの写真取り込み・表示

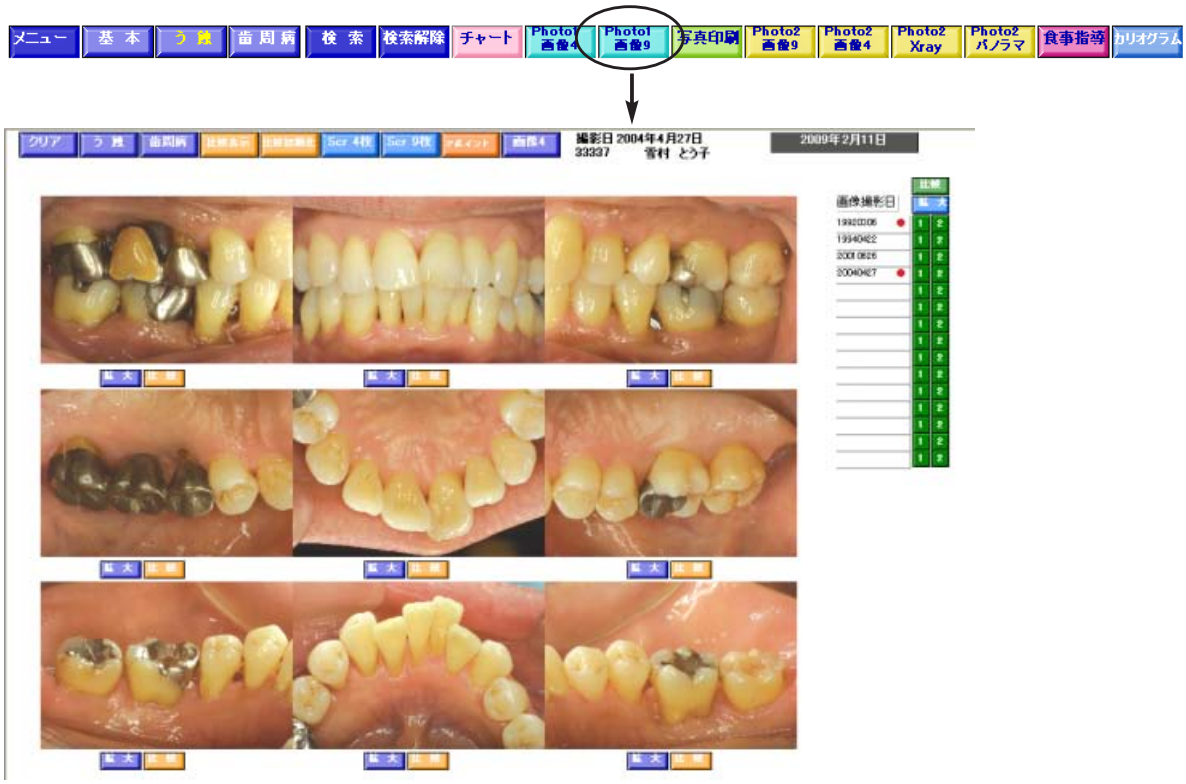
■ Photo1-画像 4 枚／ 9 枚表示

今までの《ウィステリア》で取り込みをした画像は，そのまま表示することが可能です．

〈う蝕〉または〈歯周病〉画面のボタンで〈Photo1　画像 4〉をクリックします．



同様に〈Photo　画像 9〉ボタンから 9 枚画像も表示できます．

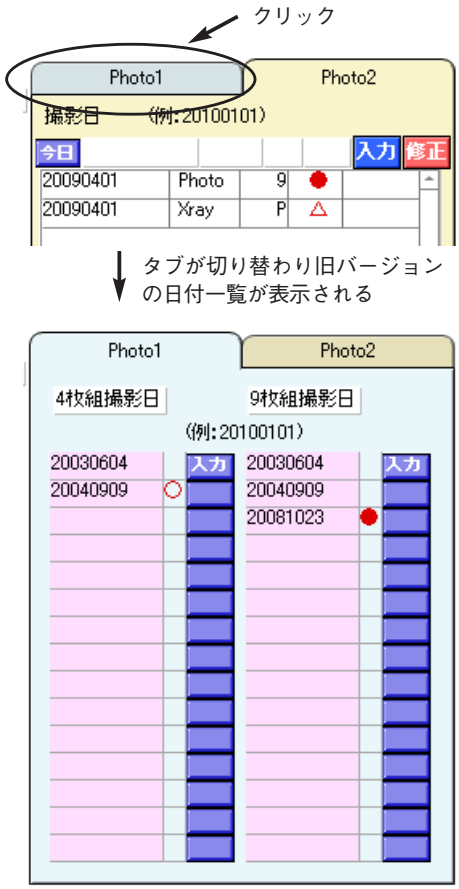


■ Photo1-画像 4 枚／ 9 枚取り込み

旧バージョンの写真取り込み方法は，そのまま使用できます．但し，15 回分までの制限がありますので，新しく追加された〈Photo2〉をご使用になることをお勧めします．

〈Photo1〉をご使用になる場合は，Photo タブで〈Photo1〉をクリックし，撮影日付一覧を切り替えます．

4 枚組撮影日（9 枚組撮影日）に 8 桁で日付を入力し，横の 入力 ボタンをクリックすると，取り込み画面に移動します．取り込み手順は〈Photo2〉とほぼ同じです．お手持ちの旧バージョンのマニュアルも参照ください．



㊟ Photo1 の取り込みでも，画像の上下・左右反転は可能になりました．反転方法は Photo2 の取り込み方法（95 ページ）を参照ください．

㊟ Photo タブの表示は初期設定では「Photo2」になっていますが，変更可能です．歯周病画面（49 ページ参照）または初期設定（88 ページ参照）で設定してください．

Attention

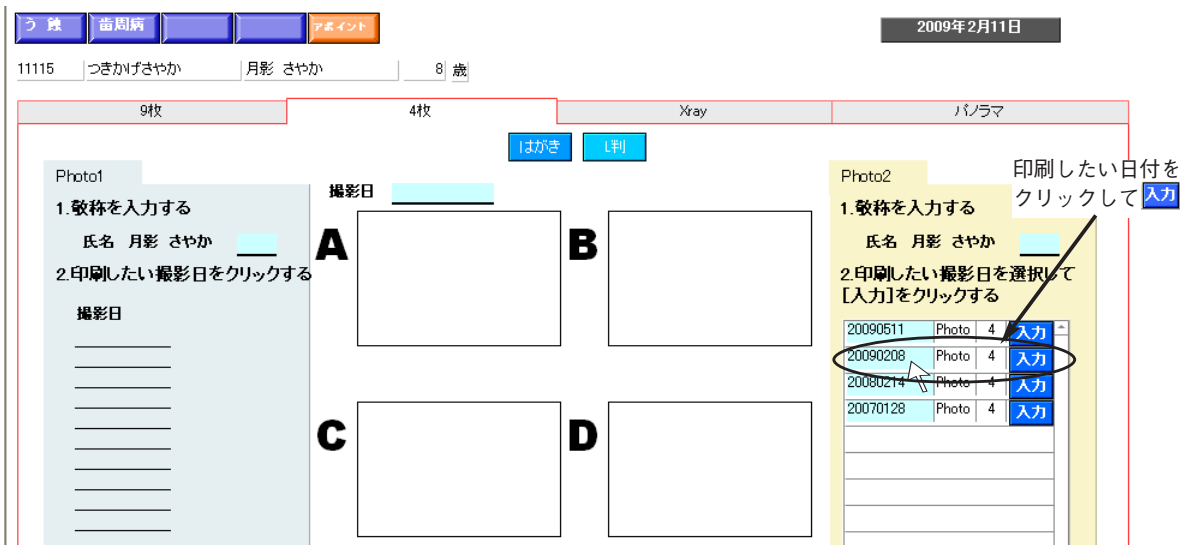
旧バージョンの取込み・表示（Photo1）はそのままご使用可能ですが，〈Photo2〉は，取込回数制限がなくなりました．〈Photo2〉をご使用になることをお勧めします．

Photo 写真印刷〈4 枚画像〉

4 枚画像の印刷方法を解説します．

〈う蝕〉画面から ② の 写真印刷 ボタンをクリックすると次のような画面が表示されます．手順に従って 4 枚画像の写真が印刷できます．今回より L 判サイズの印刷もできるようになりました．

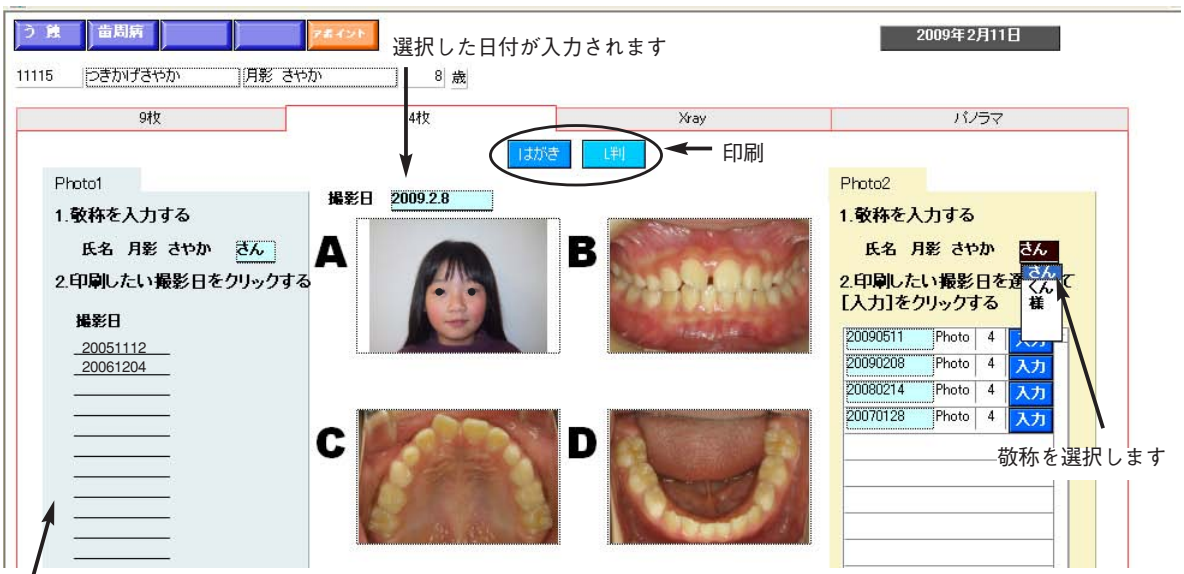
1. 印刷したい撮影日をクリックします．



2. 写真が表示されます．

3. 敬称を入力します．プルダウンメニューで“さん”“くん”“様”の 3 つが選べます．

4. はがき または L判 ボタンをクリックして印刷．

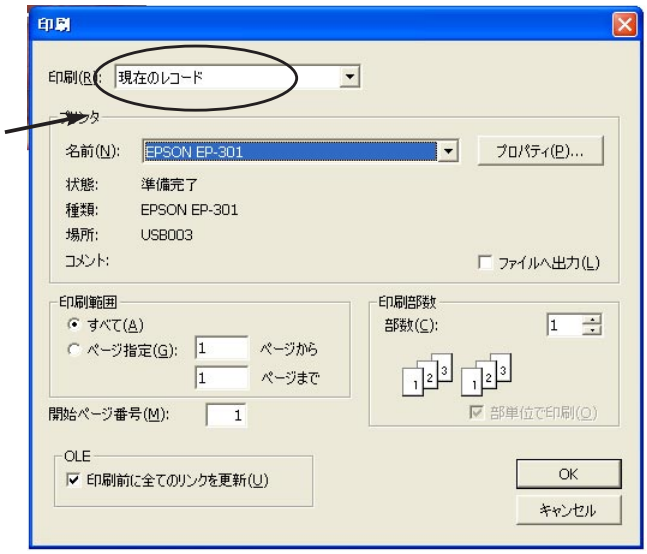


㊟ 旧バージョンの画像も同様に印刷できます．撮影日をクリックして画像を表示させてから， はがき または L判 をクリックします．

Attention

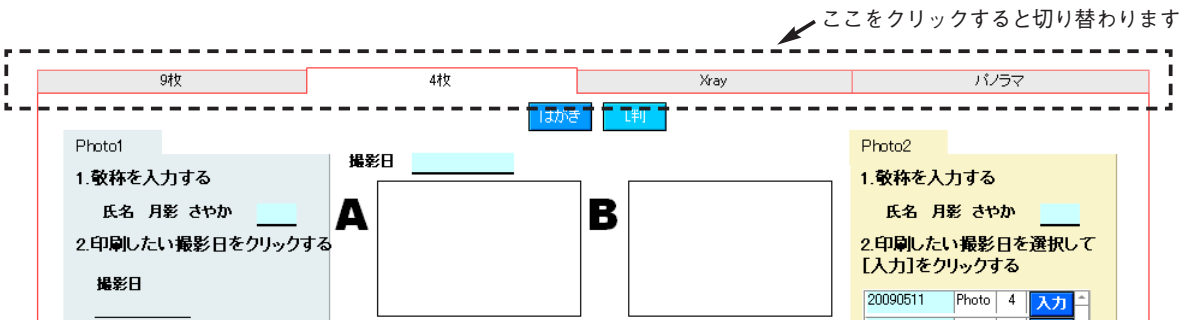
この画面で〈4 枚画像〉〈9 枚画像〉〈Xray〉〈パノラマ〉タブの切り替えが可能です．
〈う蝕〉画面からは〈4 枚画像〉の印刷のタブ画面が表示されます．〈歯周病〉画面からは〈9 枚画像〉の印刷のタブが表示されます．

5. 〈印刷〉ボタンをクリックすると，お使いのプリンタの印刷ダイアログが表示されます．このダイアログは，プリンタの機種によって画面表示が異なります．お使いのプリンタマニュアルをご確認ください．



6. 下図が印刷されたサンプルです．下に患者さんの名前と撮影日が印刷されます．

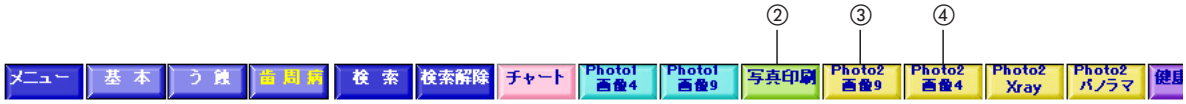
※タブをクリックして〈9 枚〉〈4 枚〉〈Xray〉〈パノラマ X 線〉を切り替えられます．



Attention　印刷するときは，必ずご使用のプリンタのマニュアルをお読みください．プリンタの機種によって画面表示や操作が異なります．

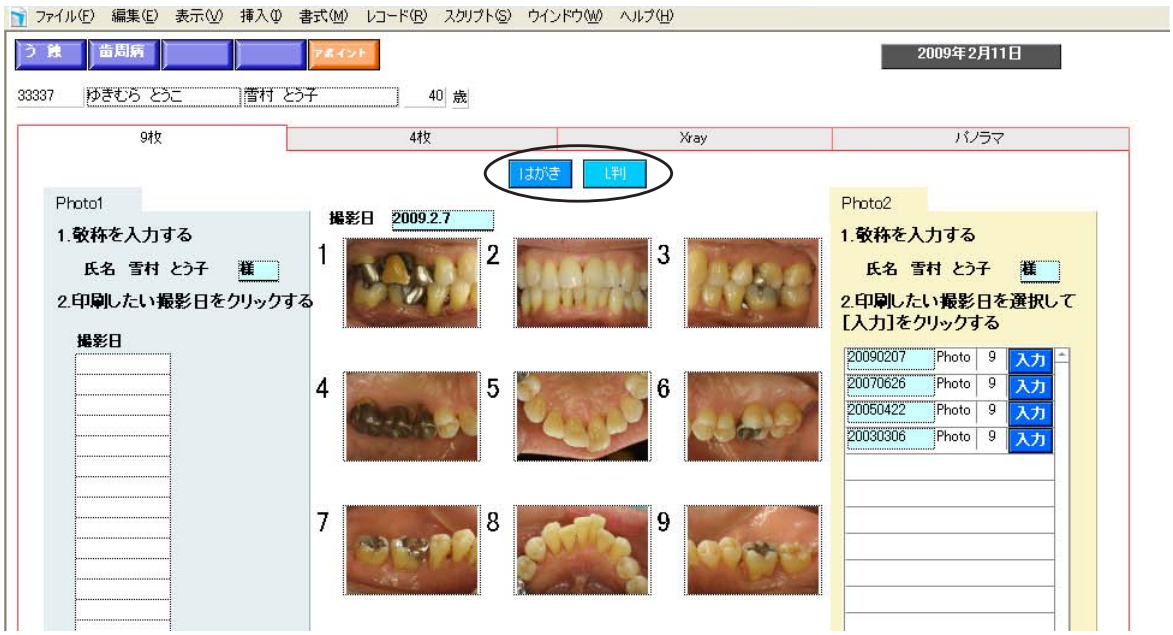
Photo 写真印刷〈9 枚画像〉

9 枚画像の印刷方法を解説します．



〈歯周病〉画面から ② の 写真印刷 ボタンをクリックすると次のような画面が現れます．手順は〈う蝕〉画面から 4 枚画像を印刷するのと同じです．（114 ～ 115 ページ参照）

下図は 9 枚の写真が表示されたところです．これでよければ はがき または L判 ボタンをクリックして印刷します．



Attention

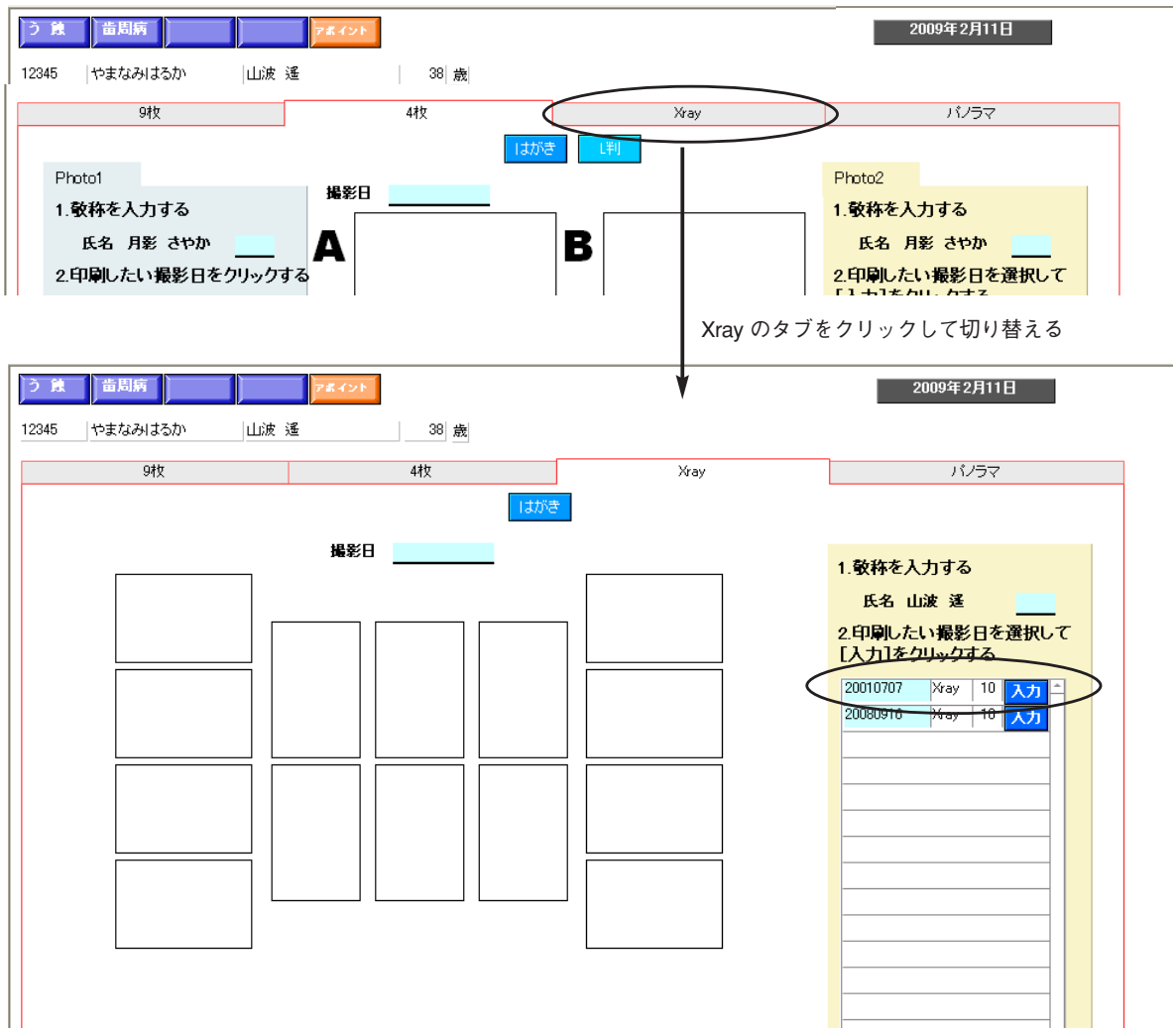
旧バージョンの画像も同様に印刷できます．〈Photo1〉の撮影日をクリックして画像を表示させてから， はがき または L判 をクリックします．

Photo 写真印刷〈デンタル X 線〉〈パノラマ X 線〉

〈デンタル X 線〉〈パノラマ X 線〉写真画像の印刷方法を解説します．

■デンタル X 線写真

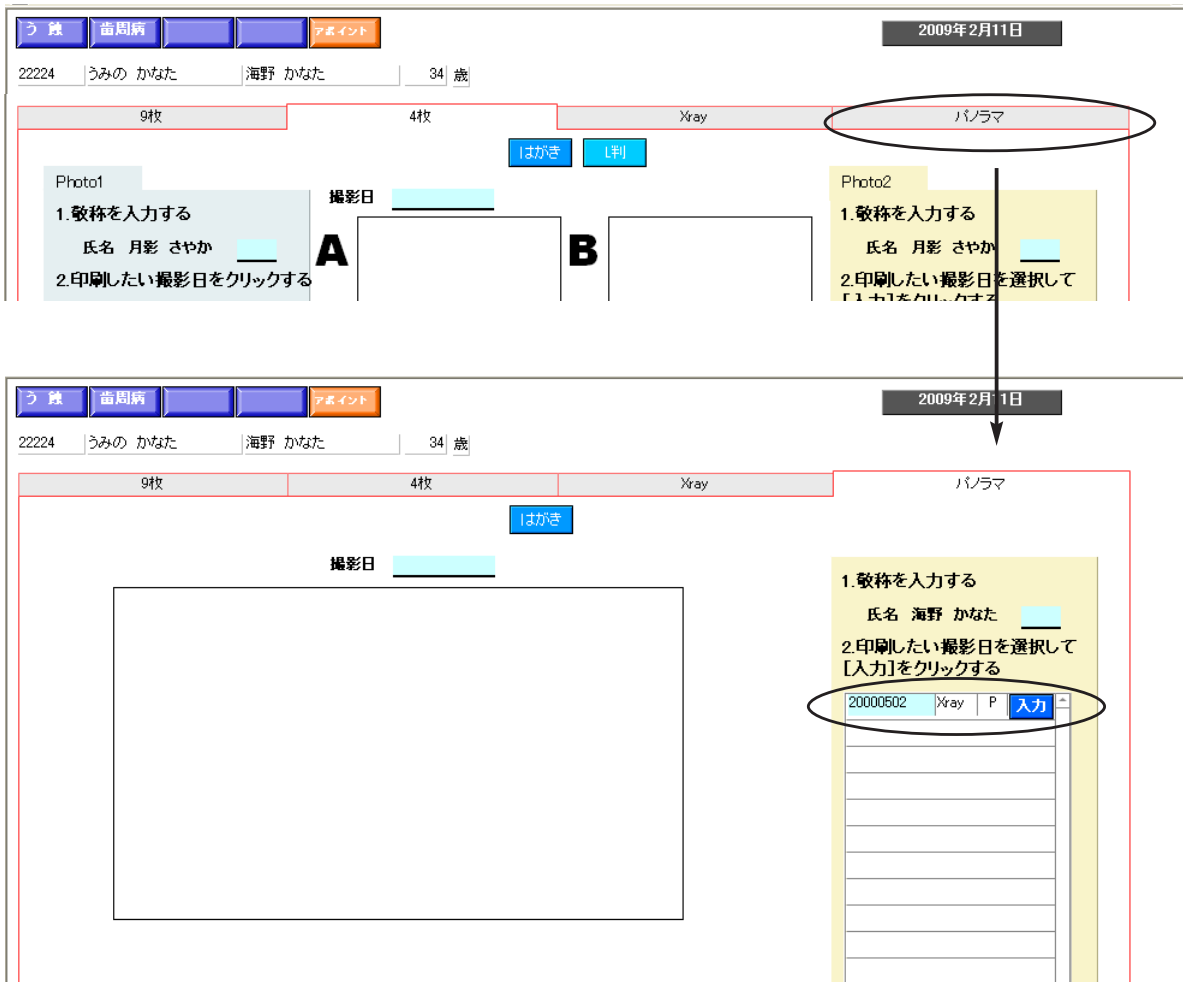
〈う蝕〉または〈歯周病〉画面から ② の 写真印刷 ボタンをクリックすると次のような画面が表示されますので，〈Xray〉のタブをクリックします．印刷の手順は〈4 枚〉画像を印刷するのと同じです．（114 ページ～参照）



印刷したい日付を選択し，入力 をクリックします．画像が表示されたら，はがき ボタンをクリックして印刷します．

■パノラマ X 線写真

デンタル X 線写真と同様に〈う蝕〉または〈歯周病〉画面から ② の 写真印刷 ボタンをクリックし，〈パノラマ〉タブを選択します．



印刷したい日付を選択し，入力 をクリックします．画像が表示されたら，はがき ボタンをクリックして印刷します．

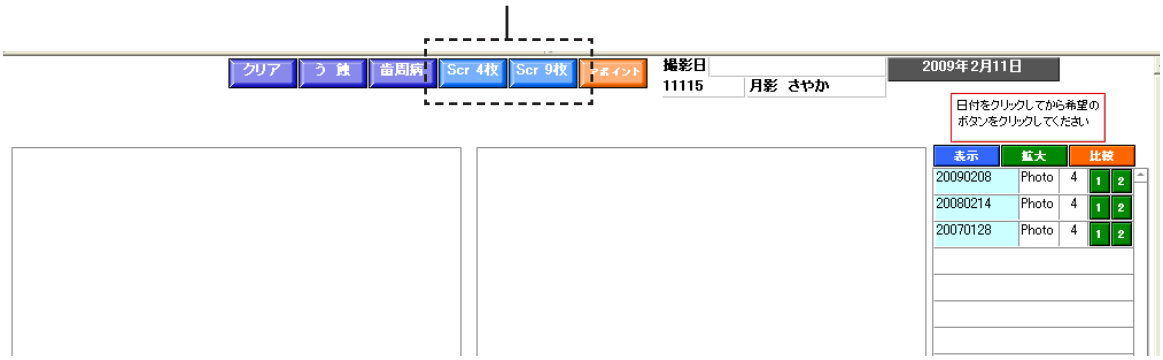
Tips 症例発表用スクリーンショット画面

症例発表用のスクリーンショットをとる画面を用意しました．

症例発表用に簡単にスクリーンショットがとれる画面を用意しました．余分な枠のないスクリーンショットが簡単にとれます．

1. 〈う蝕〉または〈歯周病〉画面の Photo2 画像4 ボタンクリックし，画像表示画面の中央の Scr 4枚 Scr 9枚 ボタンをクリックします．

このボタンからそれぞれ４枚用・９枚用スクリンショット画面に移動できます



下図の画面が表示されます．

2. 表示したい日付をクリックし，すると，写真が表示されます．この画面をスクリンショットでとり，不要な部分を画像編集ソフトでカットします．

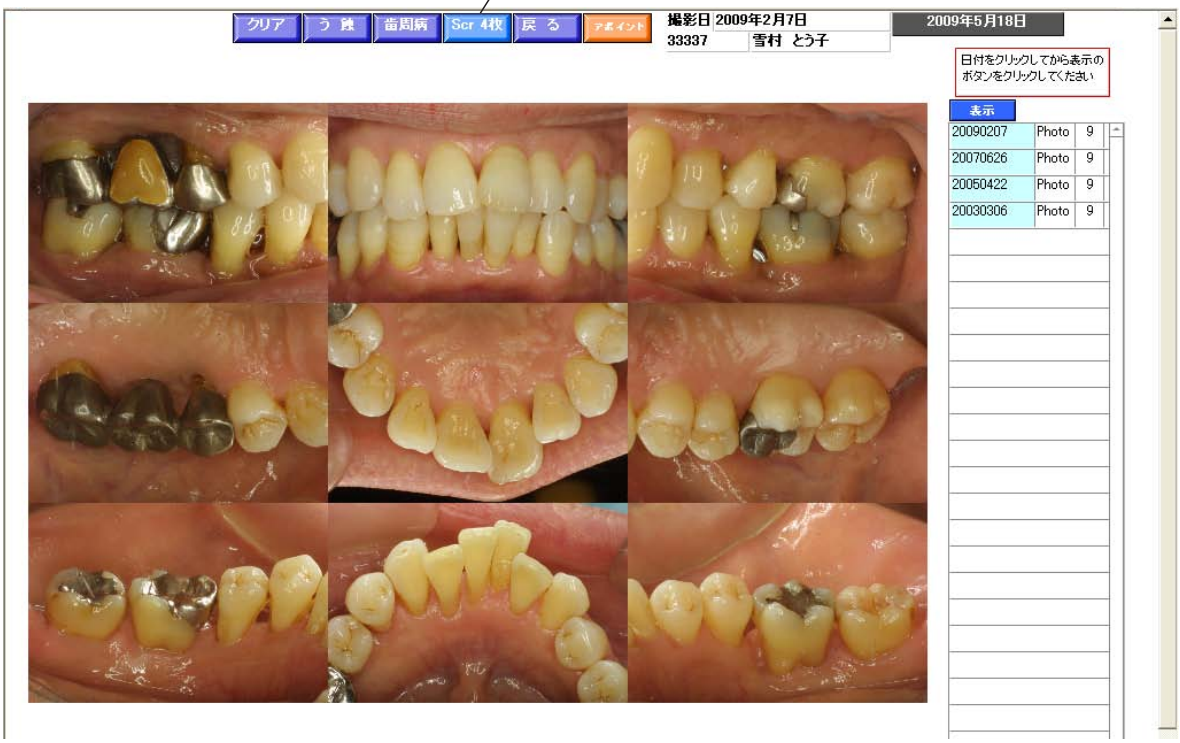
このボタンから９枚用スクリンショット画面に移動できます

Attention 画像編集ソフトは別途購入が必要です．デジタルカメラに附属している場合があります．ご使用の環境をご確認ください．画像編集は《ウィステリア》の機能ではありません．

Tips スクリーンショット画面

3. 同様に，9 枚画像も表示できます．

このボタンから 4 枚用スクリンショット画面に移動できます

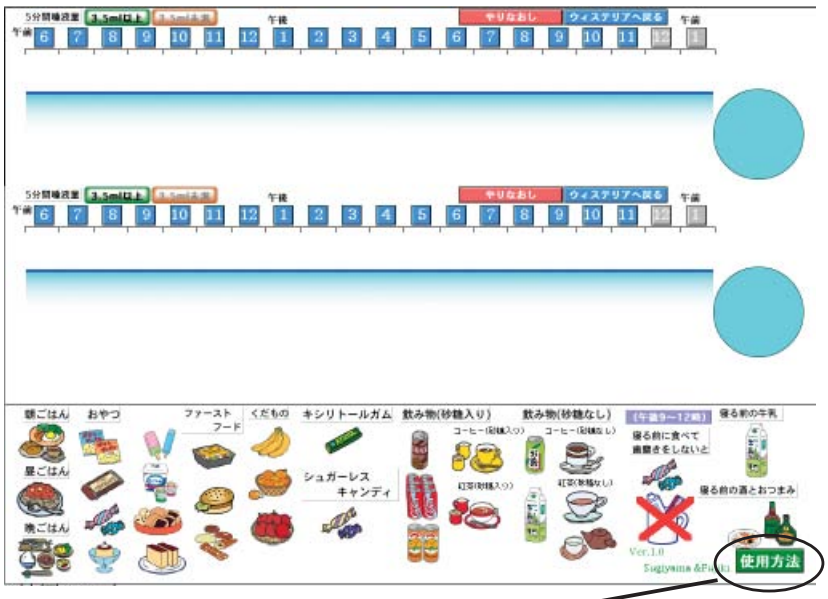


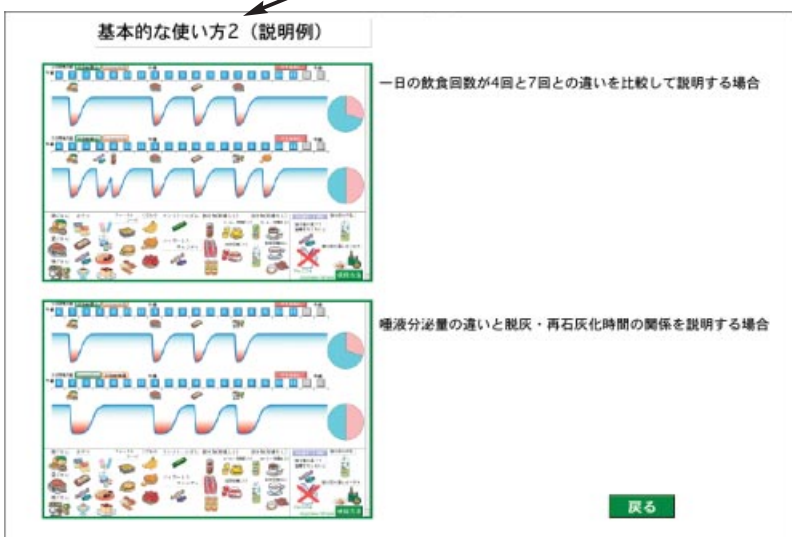
付 食事指導ソフト

一日のステファンカーブの変化がひと目でわかります．

〈う蝕〉画面から〈食事指導〉画面が表示できます．飲食回数によって一日のステファンカーブの変化を描きます．患者さんへのカウンセリングなどにご活用ください．

使用方法は，右下のボタンをクリックして使用方画面をご参照ください．





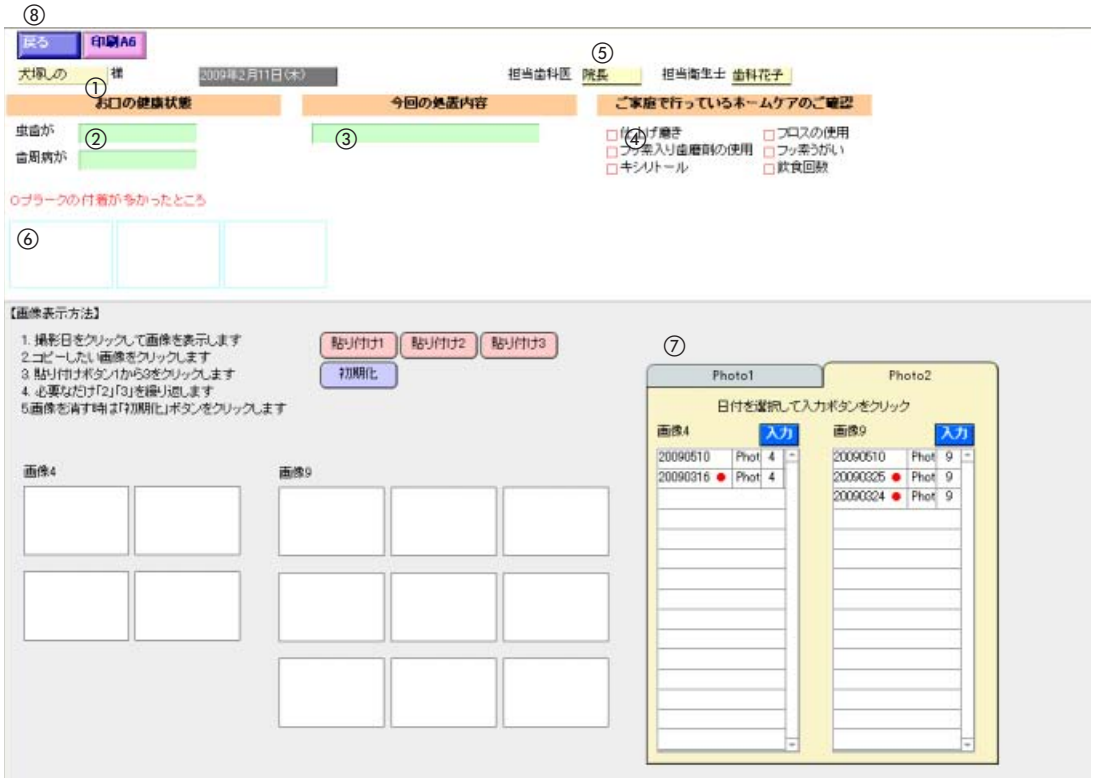
㊟ 食事指導ソフトを印刷したい場合は，画面をスクリンショットでおとりください．

付 健康手帳

ウィステリアと PerioAssistant4 に印刷ページがあります．ご活用ください．

■ ウィステリア

〈歯周病〉画面のボタンに 健康手帳 ボタンがあります．保険診療で求められる「歯科口腔衛生指導，歯科衛生実地指導に利用できる説明文書」の作成画面に移動します．



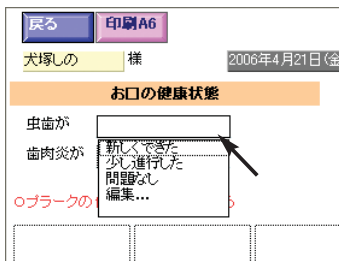
① ：〈氏名〉

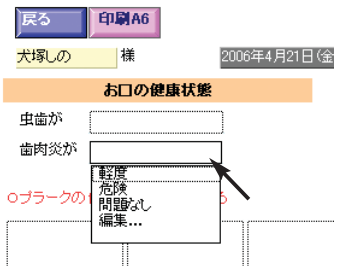
歯周病画面で表示していた患者さんの名前がそのまま表示されますので，入力する必要はありません．

② ：〈お口の健康状態〉

健康状態を入力します．〈むし歯が〉〈歯肉炎が〉の項目は［ポップアップメニュー］になっていますので，該当する項目を選びます．項目は値一覧を編集し，追加や削除ができます．

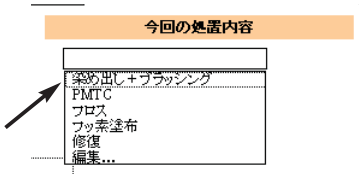
（34 ページ値一覧の追加修正参照）





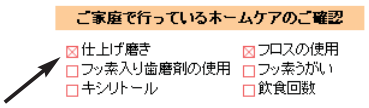
③：〈今回の処置内容〉

ポップアップメニューから入力します．



④：〈ご家庭で行っているホームケアの確認〉

チェックボックスになっていますので，該当する項目を一度クリックするとチェックが入ります．



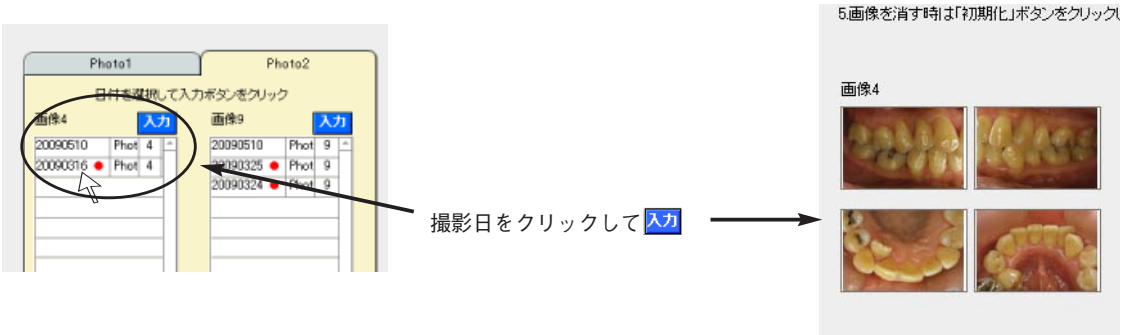
⑤：〈担当歯科医〉〈担当衛生士〉

う蝕／歯周病画面で入力している担当者名がそのまま表示されます．

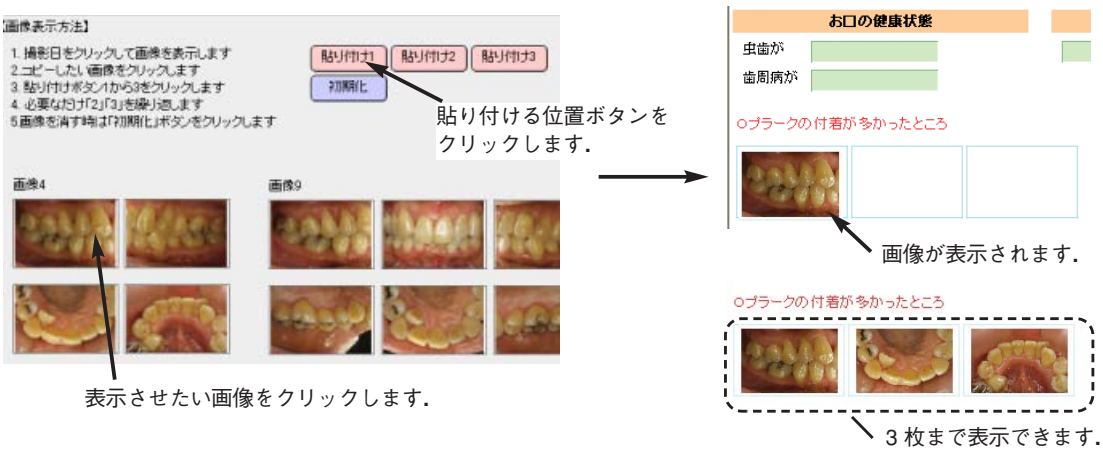
⑥：〈プラークの付着が多かったところ〉

ウィステリアに取り込んだ口腔内写真を選びだすことができます．

1. ⑦ の Photo タブの撮影日をクリックして 入力 をクリックすると画像が表示されます．タブを切り替えると旧バージョンで取り込んだ（Photo1）写真も利用できます．



2. 表示したい画像を一度クリックしてから， 貼り付け1 をクリックします．「プラークの付着が多かったところ」左側の欄に画像が表示されます．必要なだけこの作業を繰り返します． 貼り付け2 をクリックすると中央の欄に， 貼り付け3 をクリックすると右側の欄に表示されます．

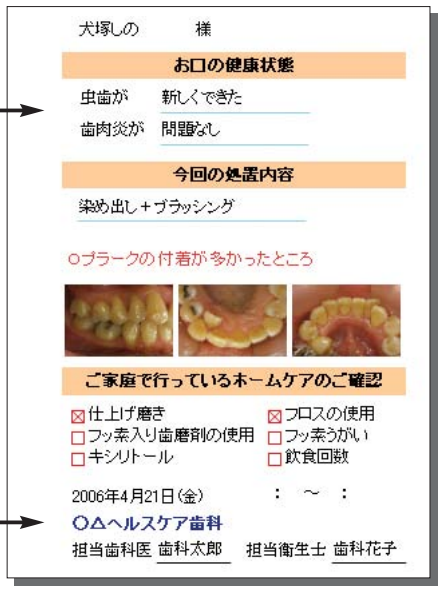


3. 表示した画像を消したい場合は， 初期化 をクリックしてください．

※例では「画像 4」のみを使用しましたが，「画像 9」の画像も選択し，表示させることができます．

4. 必要な項目を全て記入し終えましたら，左上の 印刷A6 をクリックします．A6 サイズにプリントされます（あらかじめプリンタの設定が必要です．129 ページ「印刷設定のしかた」参照）．患者さんに渡し，健康手帳に綴じ込むことができます．

入力したデータが印刷されます．



歯科医院名はメニュー画面に入力してある名称が印刷されます．メニュー画面で入力されていない場合は，空白になります．

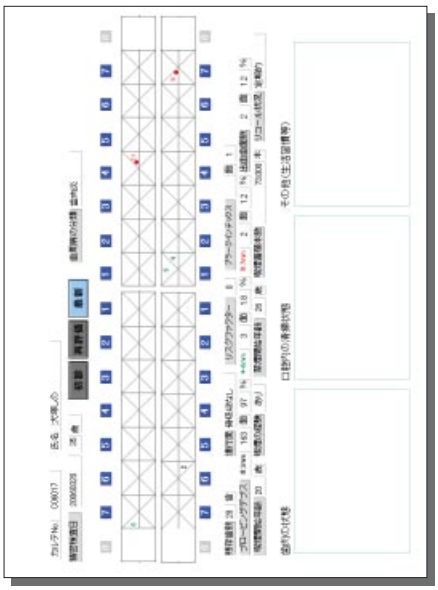
印刷が終了すると〈歯周病〉画面に戻ります．このとき入力された内容はすべてクリアされます．

⑧：〈戻る〉

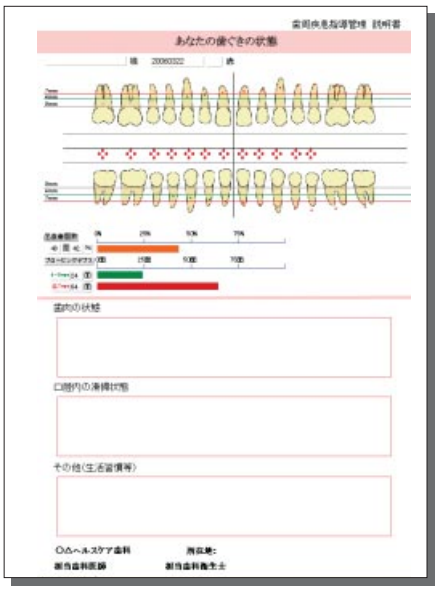
戻る をクリックすると〈歯周病〉画面に戻ります．このとき入力された内容はすべてクリアされます．

■ PerioAssistant 4

〈表示 6 点〉画面，〈イラスト〉画面の 印刷A6 ボタンをクリックすると「歯周疾患指導管理」に活用できる患者向けの説明文書が印刷できます．患者さんに渡し，健康手帳に綴じ込むことができます．ご活用ください．



〈表示 6 点〉画面から A6 印刷



〈イラスト〉画面から A6 印刷

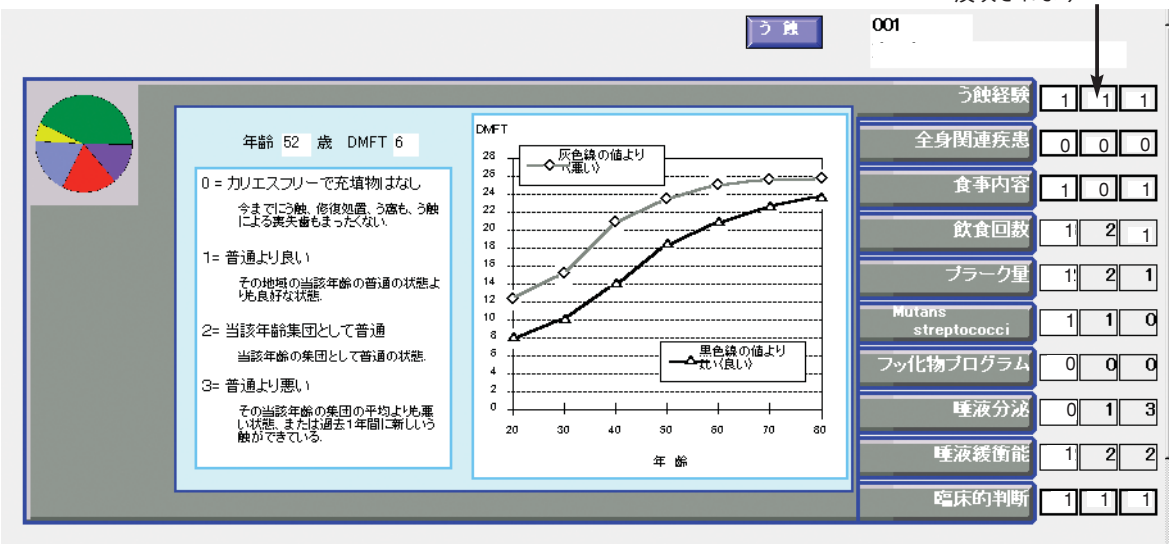
付 カリオグラムの活用

〈う蝕〉画面に〈カリオグラム〉というボタンがあります．カリオグラム ™ ver.2.0 は Windows に対応しているソフトです．Macintosh でも，Virtual PC などのソフトを使うことによって使用できます．カリオグラムを使いたいと思っても，改めて項目を探し出すのが面倒なときに，カリオグラムの項目で計算できるものを《ウィステリア Pro》で並べて一目で見られるようにしました．

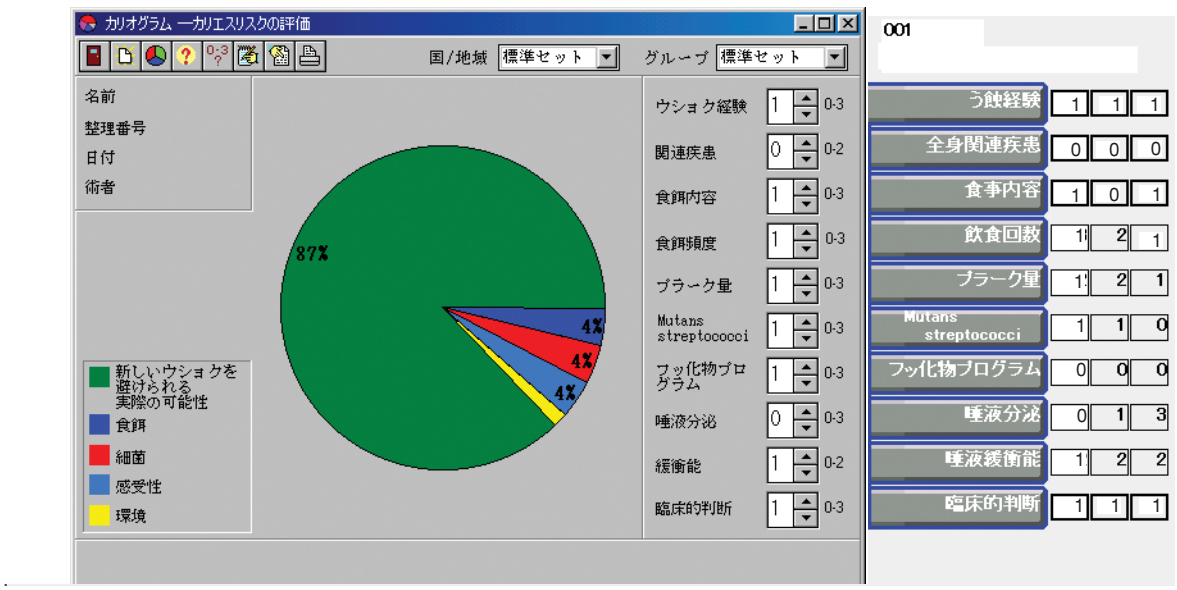
また計算できない項目の場合は，マニュアルを広げなくても済むように，判断基準を書き込んであります．《カリオグラム ™》と《ウィステリア Pro》を同時に立ち上げて重ねて表示させることが可能です．

左側から順に 1 回目，2 回目，最新のデータが反映されます

■う蝕経験

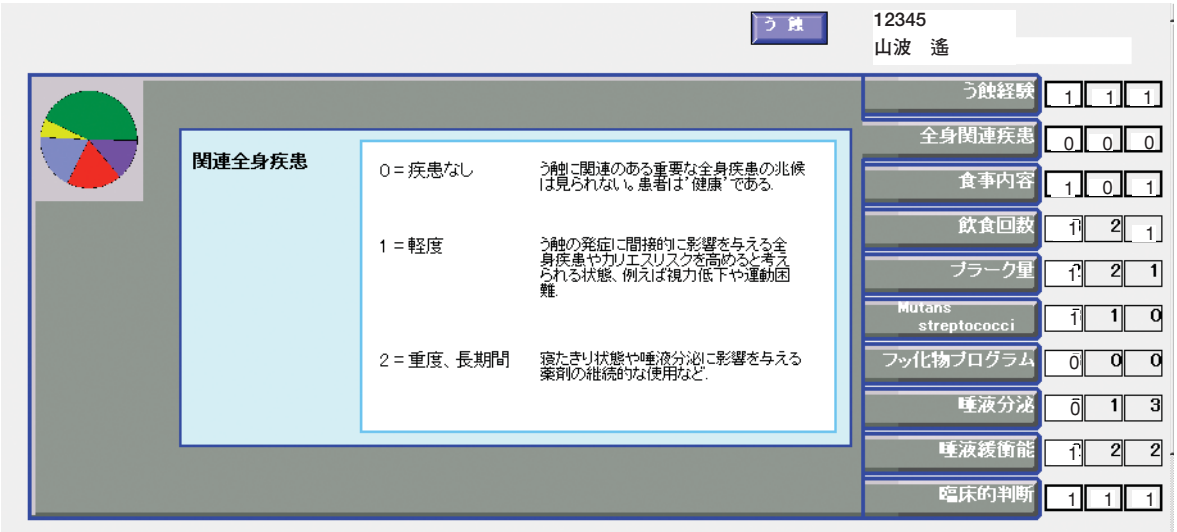


■《ウィステリア **Pro**》のう蝕経験の画面に《カリオグラム》を重ねて同時表示

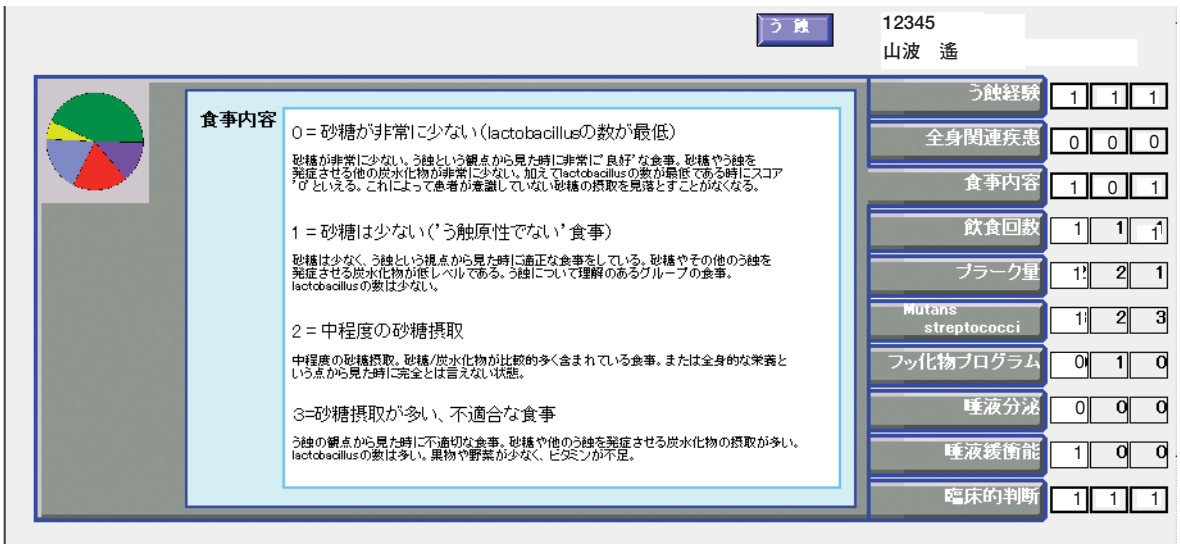


カリオグラム ™ ver.2.0（6,980 円(税別・ 2004 年 3 月末現在)）は，(株)オーラルケアから販売されています．ご使用には別途購入が必要です．ウィステリアに附属している機能ではありません．

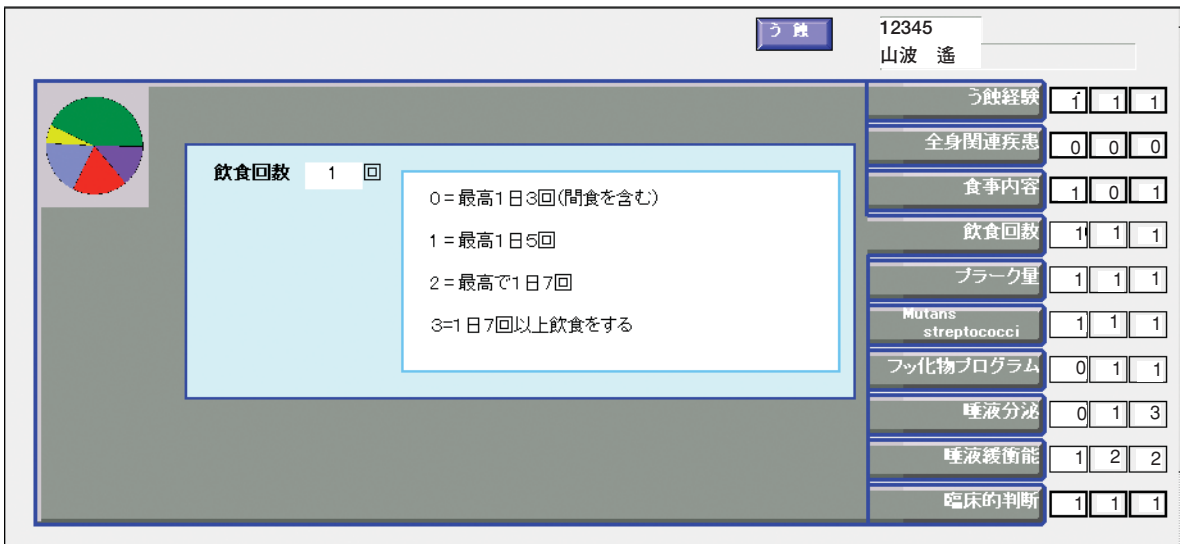
■全身関連疾患



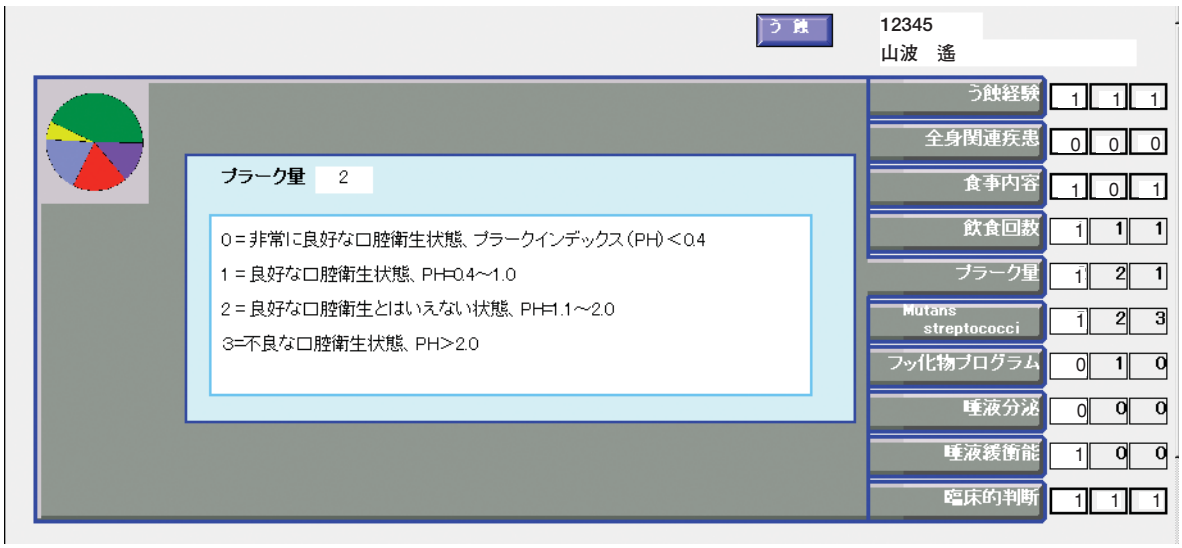
■食事内容



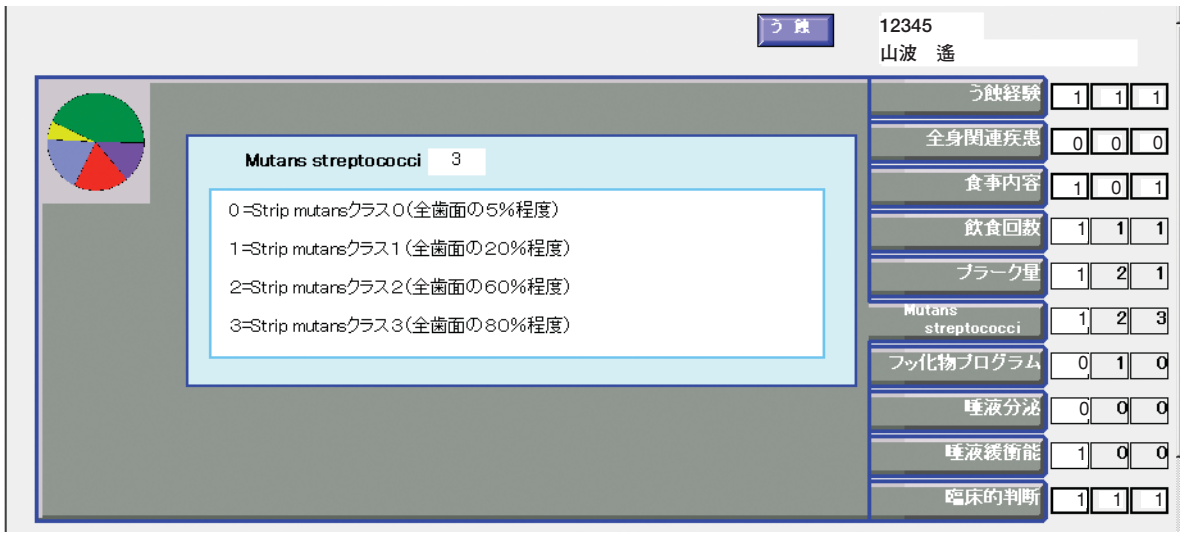
■飲食回数



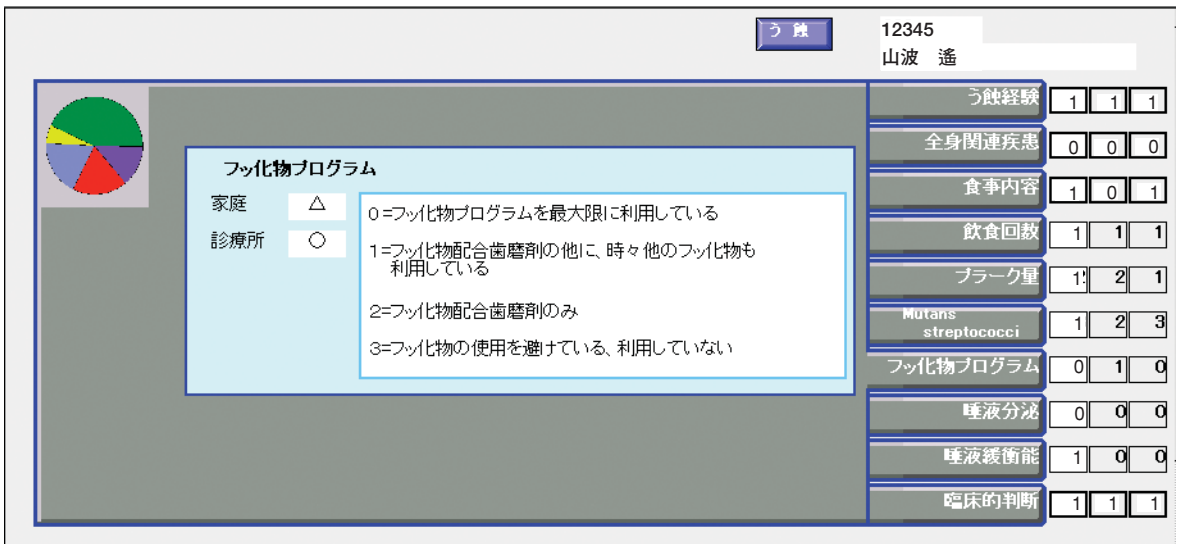
■プラーク量



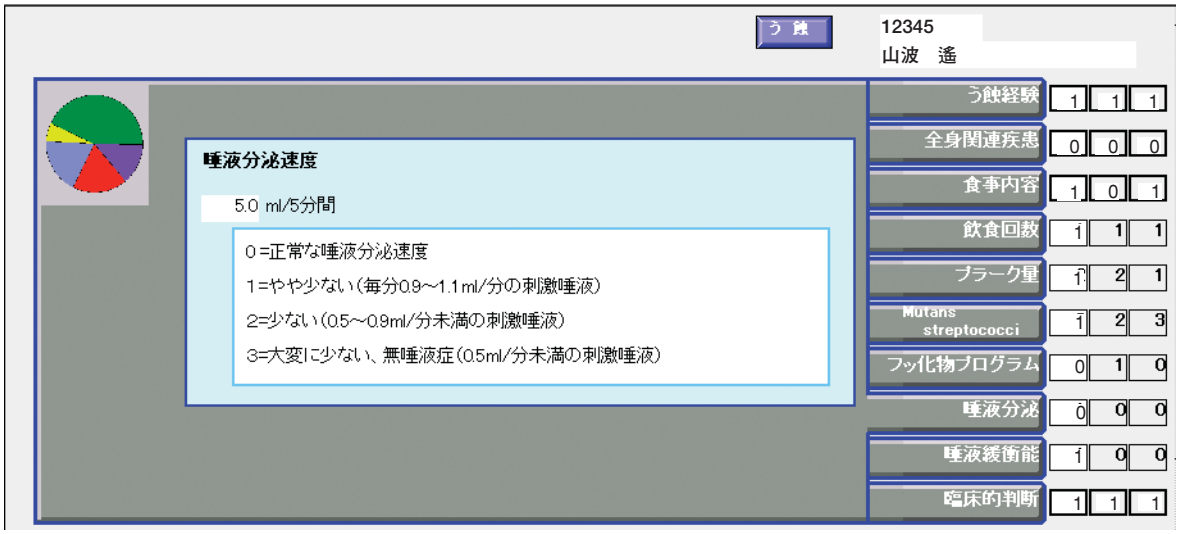
■ Mutans streptococci



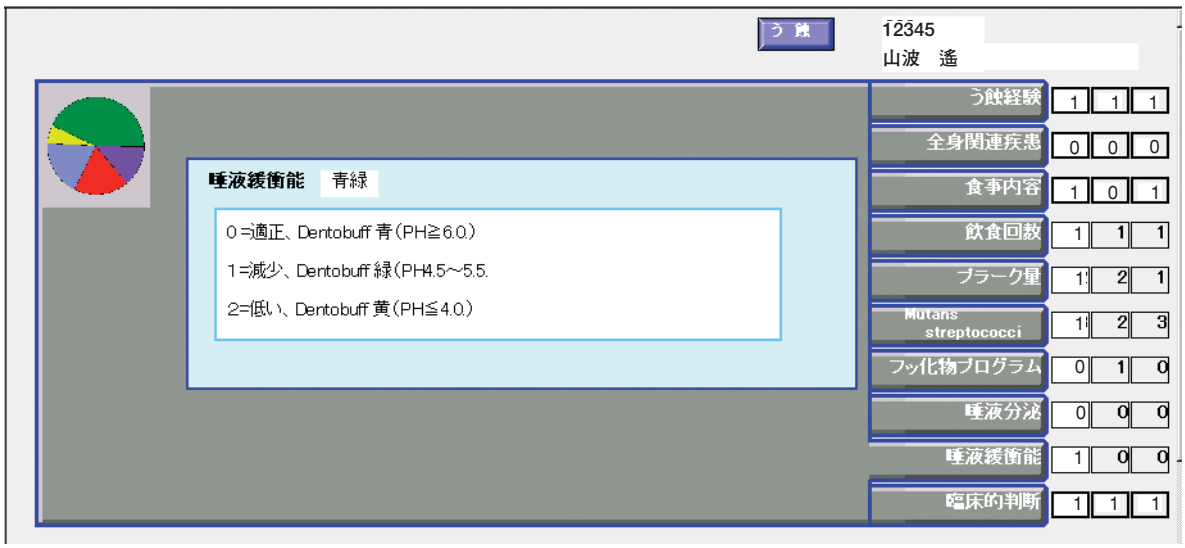
■フッ化物プログラム



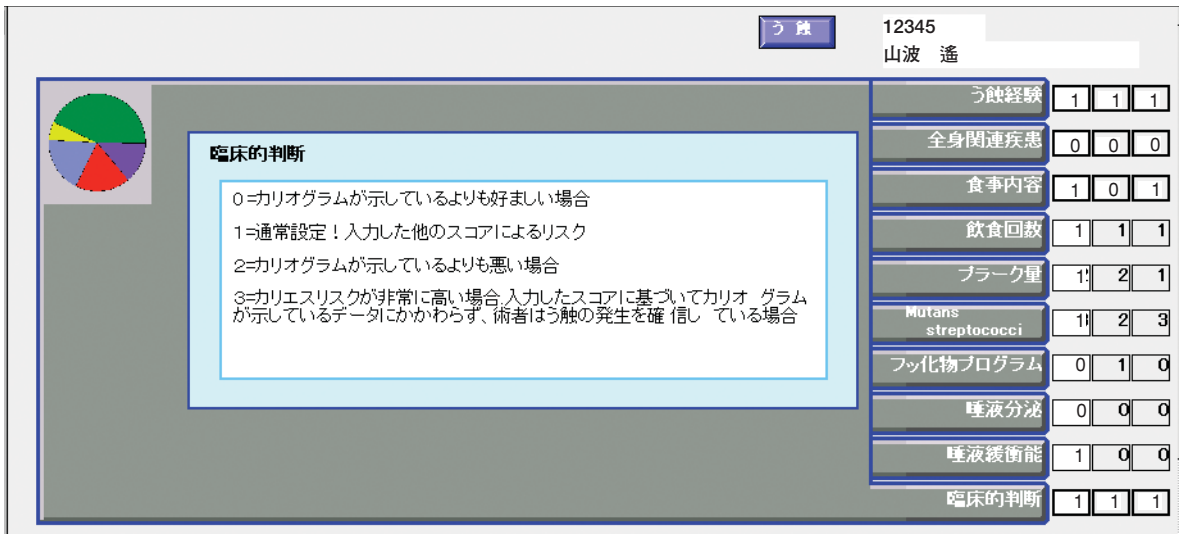
■唾液分泌



■唾液緩衝能



■臨床的判断



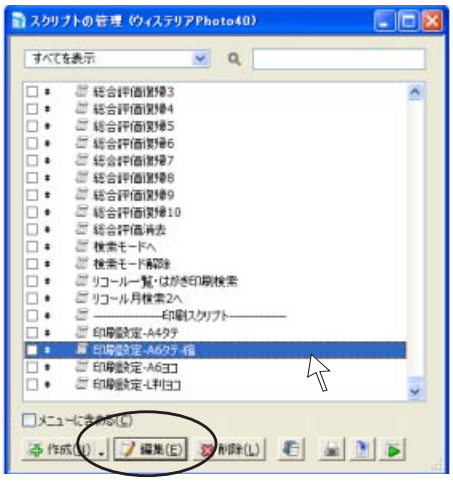
付 印刷設定のしかた

用紙サイズや縮小率をユーザーの環境に設定します．

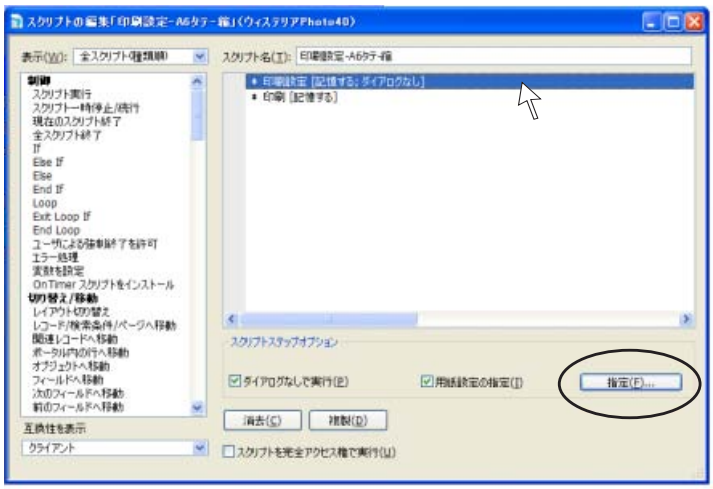
印刷用のボタンには 2 種類の用紙サイズ 印刷A4 印刷A6 があります．このボタンを使用するには，あらかじめ設定が必要です．「スクリプトの管理（ScriptMaker）」にご使用にプリンタの設定を行います．

プリンタは EPSON EP-301 を使用して説明します．ご使用のプリンタマニュアルを参照のうえ，設定してください．

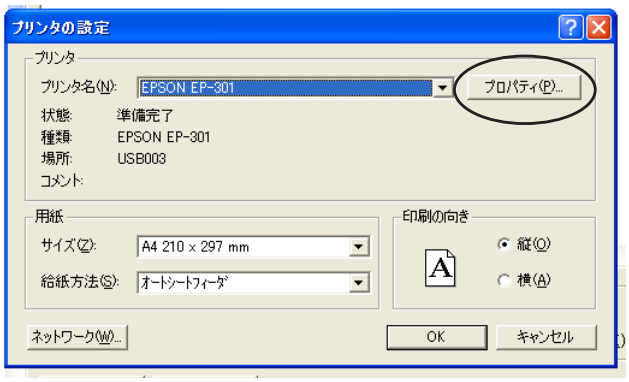
①《ウィステリア Pro》を立ち上げメニューバーの「スクリプト」→「スクリプトの管理（ScriptMaker）」を選びます．スクリプト定義のダイアログボックスが表示されますので，下までスクロールし，「**印刷設定-A6 タテ-縮**」を選択反転させ，［編集］をクリックします．



②「スクリプト編集」が表示されます．最初の行の「**印刷設定［記憶する］**」を選択反転させ，右下の［指定］をクリックします．

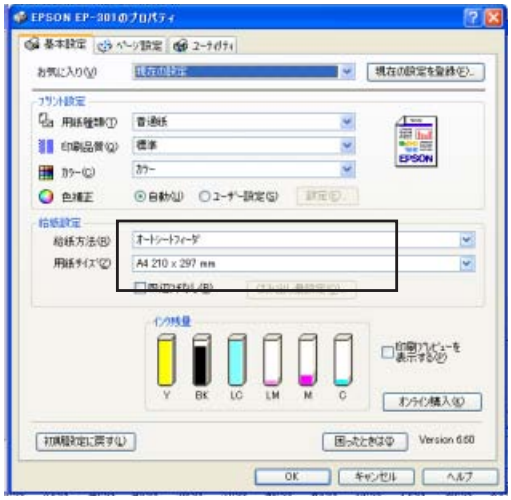


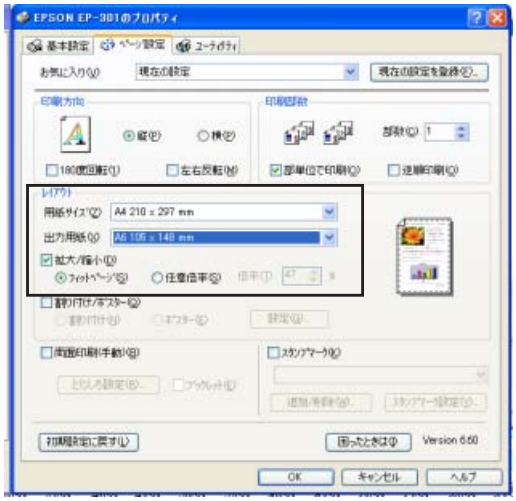
③ プリンタ設定が表示されますので，プロパティを開きます．（MacOSX の場合はプリンタ設定ユーティリティを開きます）



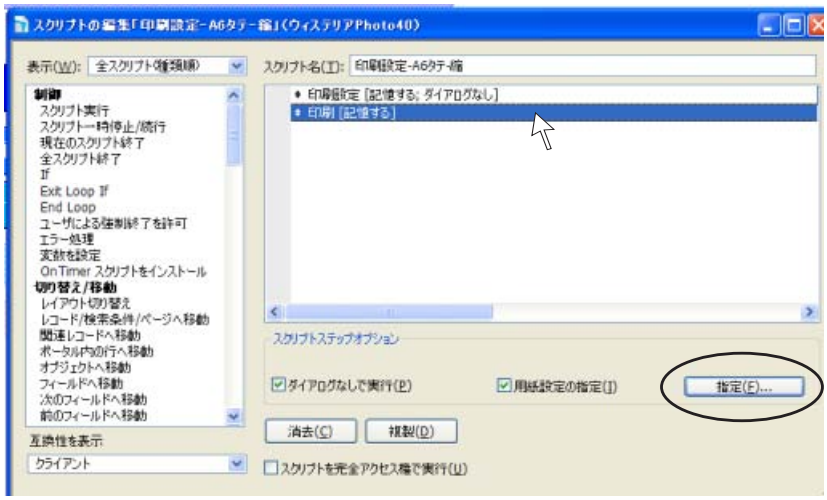
④ 用紙サイズを A4 縦に，出力用紙を A6 縦に設定し，縮小印刷します．（40 ～ 44%　縮小率はプリンタにより多少誤差があります）設定ができましたら，［OK］します．

※ご使用のプリンタにより設定画面が異なります．プリンタのマニュアルをご参照ください．



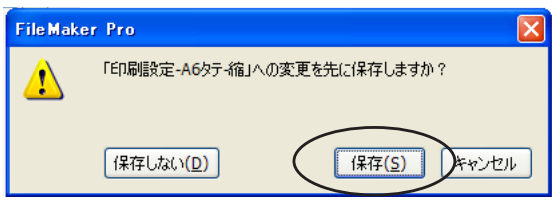


⑤「スクリプト編集」に戻りますので，次の行の「印刷［記憶する］」を選択反転し，［指定］をクリックします．



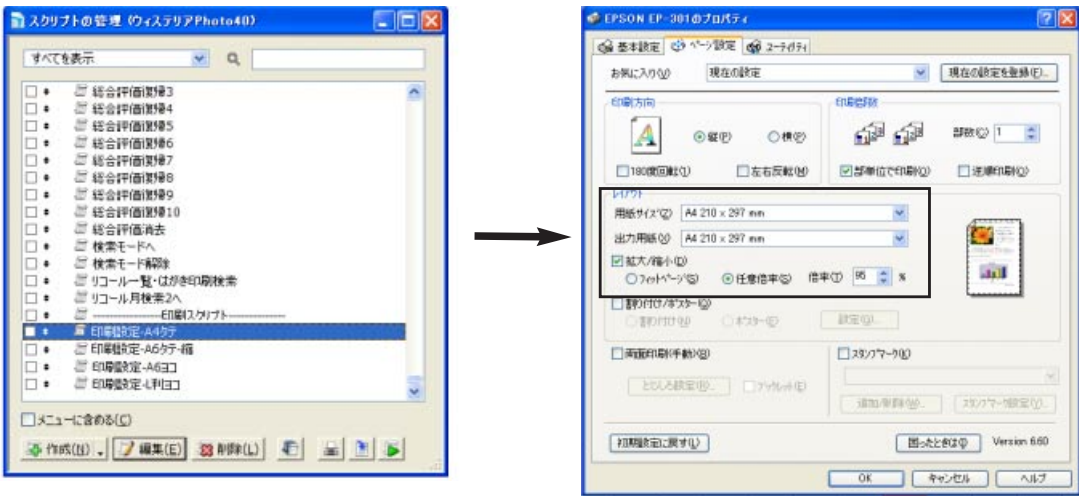
⑥ 印刷ダイアログが表示されますので，印刷を「現在のレコード」印刷範囲を「1 ページから 1 ページ」に指定し，［OK］します．

⑦ これで「印刷設定-A6 タテ-縮」の設定は終了です．「スクリプト編集」ダイアログを閉じて［保存］し，スクリプトの管理へ戻ります．



⑧ 次にスクリプトの管理「印刷設定 A4 タテ」を設定します．

設定の手順は A6 サイズの場合と同じです．用紙設定，出力用紙を A4 縦にし，90%前後の縮小印刷に設定します．（縮小率はご使用のプリンタに合わせてください）



⑨ 同様に以下のスクリプトの設定をします．

「印刷設定-A6 ヨコ」

用紙サイズ A6 横　出力サイズ A6 横（100 ～ 95%）

「印刷設定 L 判ヨコ」

用紙サイズ L 判横　出力サイズ L 判横（100 ～ 95%）

⑪「PerioAssistant4」のスクリプトの管理にも印刷用の設定があります．（以下 4 点）にも同様に用紙設定（A4・縦および A6・縦）を行ってください．

「印刷-表示 6 点 A6」

用紙サイズ A4 横　出力サイズ A6 横

縮小 40 ～ 44%

「印刷-表示 6 点 A4」

用紙サイズ A4 横　出力サイズ A6 横

縮小 40 ～ 44%

「印刷-イラスト A6」

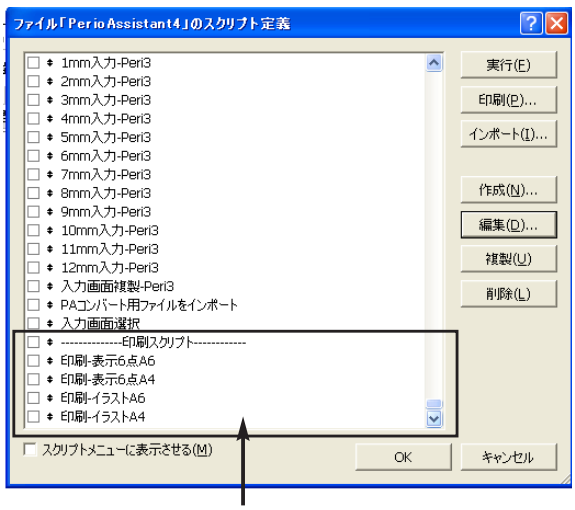
用紙サイズ A4 横　出力サイズ A6 横

縮小 40 ～ 44%

「印刷-イラスト A4」

用紙サイズ A4 横　出力サイズ A4 横

縮小 90 ～ 95%



スクリプト定義を下までスクロールして，表示します．

㊟ 縮小サイズはお手持ちのプリンタにあわせて設定ください．

Attention

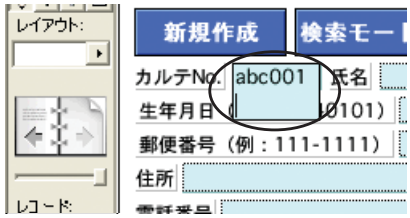
LAN でご使用の場合，環境によっては，用紙設定などが記憶されない場合があります．その場合は，印刷ボタンをクリックしたあとに表示される印刷ダイアログに用紙サイズなどを設定してから印刷してください．

Q **OriginalFile**，**NewFile** フォルダが見つかりません．

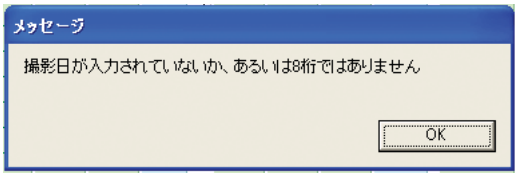
A **Volume** 名にハードディスクの名前を入れましたか？　あるいは，ハードディスクの名前の入力間違いや名前の中にスペースが入っていませんか？　確認してください．

Q 画像取り込みを実行しても，写真が表示されません．

A **NewFile** フォルダのその患者のフォルダを見てください．写真データの名前がカルテ番号のついたものに変わっていない場合は，その患者のカルテ番号を調べてみてください．カルテ番号に半角スペースが入っていると正しく動作しません．またはカルテ番号の最後に改行が入っていないか確認してください．



Q 《う蝕》画面，《歯周病》画面で撮影日を入力して，〈入力〉ボタンをクリックすると，警告のメッセージがでてきて取り込み画面に移動できません．



A 撮影日には半角数字で **8** 桁の数字が正しく入力されないと，取り込み画面に移動できません．《う蝕》画面，《歯周病》画面で撮影日を調べてみてください．警告にあるように，撮影日の最後に改行が入っている（取込みをしようとしている撮影日のところをクリックすると改行されている）と正しく動作しません．この改行を削除してください．

Q 画像の取り込みの際に間違ったカット番号を入れてしまいました．変更できませんか？

A ファイルメーカーを終了し，ファイルの移動を行って下さい（**96**, **97** ページ参照）．

Q 警告の表示がでた後など，画像の一部が白く抜けてしまいましたが，故障ではありませんか？

A このソフトでは，表示した後に画面が変わると表示が欠けてしまいます．故障ではありませんので，もう一度日付をクリックして画像を表示させてください．

Q 表示された画像の色がずれてしまったのですが

A まれに表示がおかしくなることがあるようです．もう一度表示しなおすと大抵の場合は大丈夫です．繰り返すようならファイルが壊れている可能性があります．

Q データの保存で気を付けることはありますか？

A 毎日，《ウィステリア **Pro**》と **NewFile** フォルダをバックアップしてください．安全なバックアップの方法は，**2** 枚以上のディスクを用意して，一日ごとにディスクを取り替えて保存するなど複数にバックアップすることです．また同一ハードディスク内にバックアップをしないようにしてください．（**8** ページ参照）

Q 《ウィステリア **Pro**》を **LAN** 環境で使用したい．

A **LAN** 環境でのご使用には，使用するコンピュータの台数だけ，ファイルメーカー **Pro** とプラグインを購入し，それぞれにインストールする必要があります．複数ライセンスの購入については，ファイルメーカー社，ファクトリー社のそれぞれのホームページなどでご確認ください．**LAN** の規模によってはファイルメーカー **Server** の導入をおすすめします（ファイルメーカー **Pro** は共有台数に上限があります）．

Q サーバー専用機は必要ですか？

A **MacOSX** で画像を共有する場合は必要です．**Windows** の場合はサーバー専用機がなくても画像の共有は可能ですが，**ファイルメーカーはサーバーとして公開しているマシン上で作業を行うと，ファイルを破損する危険性が高く**なります．**1** 台はデータベースおよびファイルサーバー専用とするのがよいでしょう．（**OS** が単独の場合は，サーバー **OS** でなくとも可，**Windows / Macintosh** 混在の場合は必要）

Q **LAN** 環境で画像が共有できません．（**Windows**）

A **Volume** 名にホストのパスが入力されていないとゲストのマシンで画像を見たり，取り込むことができません．**Volume** 名は，「ホストのマシン名**::**共有ボリューム名」を入力してください．

例： **MainPC::data** ← ホストのマシンの任意の場所に作成したフォルダ（共有設定済）
（共有ボリュームであれば，他の場所でも可）
↑ ホストのマシン名

必ず共有ボリュームを指定してください．作成された“**OriginalFile**”，“**NewFile**”をあとから共有に設定しても画像共有はできません．

Q **LAN** 環境で画像が共有できません．（**MacOSX**）

A **Volume** 名は「**afp:**//ホストの **IP** アドレス（または **DNS** アドレス）**/::**ホスト名**:**任意のフォルダ名」を入力します．

例： **afp://192.168.1.1/::MainX:data** ← ホストの **public** に作成した任意のフォルダ
↑ ホストの **IP** アドレス

ゲストのマシンでホストの共有ボリュームをデスクトップにマウントしておきます．なお，ホストはサーバー専用になります．

Q ファイルメーカー **Server** を使用するとき，《ウィステリア **Pro**》はどこにインストールしたらよいのですか．

A 《ウィステリア **Pro4.0**》フォルダは任意の場所にインストールし，**FileMaker Server** データベースアップロードアシスタントを使用します．詳細は **FileMaker Server** のガイドをお読みください．

※最新の **Q&A** は会員用ホームページに随時掲載しています．図入りの **PDF** マニュアルなどもダウンロードできますので，ご参照ください．

あ

アカウント 9
アクセス権 9
アポイント状況 31
イラスト 66
印刷設定 129
飲食回数 74
う蝕画面 32
う蝕チャート 48
う蝕リスク集計 73
う蝕リスク集計の見方 74
M.S. 37
L.B. 37
OriginalFile 13, 14, 18, 87, 89, 92, 96

か

拡大 200% 100, 106
拡大 150% 99, 105
過去の来院状況 29
過去のリコール回数 30
画像データ取り戻し 96, 97
画像データの入力 91, 103, 110
画像データ表示 98, 104
画像表示の手順 90
画像の反転 95
家族の来院状況 26, 30
カリオグラム 125-128
患者検索 22, 31
緩衝能 38, 41
喫煙開始年齢 55, 62
喫煙蓄積本数（喫煙本数） 54, 55, 62, 80
喫煙の経験 55, 62
基本データ 29
基本データ画面 29
共通ボタン 28
今日の日付 28
禁煙開始年齢 55, 62
健康手帳 122
クラス分類ガイドライン 39
グラフ 57
欠損歯 59
現在の喫煙 55
現在の来院状況 30
現在の Photo タブ選択 49
検索条件変更 72
検索モードへ 72
5 分唾液 37, 41

さ

細菌検査 67
最終来院日 34
最新残存歯数 33
最新 dft 33
最新 DMFT 33
最新 DMFT 集計 76
撮影日削除 94
撮影日修正 94
左右反転 95
サリバ検査日 36
サリバテスト 36
残存歯 38, 51, 61
歯周病画面 49
歯周病チャート 69
歯周病データ登録 56
歯周病の分類 51, 60
歯周病リスク集計の見方 80
写真印刷 114-118
集計画面 71
出血歯面数 54, 62
出血点入力 60
上下反転 95
詳細入力 57
情報エリア 20
症例発表用 119
食事 37
食事指導 121
初診からの経過年数 34
初診時残存歯数 33

初診時 DMFT 33
初診時年齢 27
初診時年齢分布 84
初診日 27
処置入力 45
処置履歴ファイル 46
新規画面 25
新規作成 28, 63
新規ボタン 25
進行度 52, 61, 81
進行度計算 52, 61
ステータスエリア 20
ステータスエリアコントロール 21
ステータスツールバー 20
精密検査日 51, 59
全データ 70
全レコードを表示 73

た

唾液分泌量 74
唾液 PH 41
唾液量入力 41
唾液量ファイル 42
担当者（Dr.）（DH） 33, 34, 46
チャート 48, 69
dft ・ DMFT ・残存歯の記録 40
DMFT 33, 38, 40, 76
DMFT の増加集計 78
DMFT の増加 33
DMFT（6 歳から 12 歳） 77
デンタル X 線 110
Dentocult SM 74
Dentocult LB 74
Dentobuff 74
Total Risk 38
トラブル発生 47

な

NewFile 13, 14, 18, 87, 89, 96
NewFile/OriginalFile 作成 13, 18
入力進行方向選択 60

は

葉書不必要 34, 86
葉書印刷 85
抜歯原因年間割合 84
抜歯入力 43
抜歯履歴ファイル 44
パノラマ X 線 111
BML 齲蝕検査詳細 41
比較 101, 107
P 進行度集計 81
備考 1 ..... 34, 86
備考 2 ..... 34, 86
表示画面 57
Factory's FileMaker Plug-in 2 ..... 12, 17
Photo1 ..... 40, 112
Photo タブの設定 49, 88
Photo2 ..... 40, 90
Photo2 画像 9 103
Photo2 画像 4 98
フッ素家庭 38
フッ素診療所 38
フッ素の使用状況 75
プラーク 36
プラークインデックス 53, 61, 80
プラーク蓄積量 75
プロービング値入力 60
プロービングデプス 54, 57, 62
プロービングデプス 4mm 80
PerioAssistant 50, 51, 56, 57, 59, 65
Volume 名の設定 87

ま

メインテナンス来院状況 83
メモ設定 34, 35

や

4 点法への変換について 64

ら

来院履歴ファイル 30

リコール一覧 85

リコール期間 34

リコール状況 56, 62, 81

リコールリスト印刷 86

リスクファクター 53, 61, 80

レコード削除 42, 45, 47, 58